「豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査」
「豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査」
報告書

平成２６年３月

豊田市

【目次】

Ⅰ　調査概要 1

1　調査目的 1
2　調査対象者及び配布数等 1
3　調査を実施した学校 2
4　報告書の見方 2

Ⅱ　子育てに関する事業の利用状況と利用希望（就学前児童保護者、小中学生保護者） 3

1　家族の状況 3
2　保護者の就労状況 10
3　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 17
4　地域の子育て支援事業の利用状況 24
5　土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 28
6　病気の際の対応 32
7　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 36
8　小学校就学後の放課後の過ごし方 40
9　放課後児童クラブの利用 45
10　育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度 51

Ⅲ　子ども・子育てに関する意識（就学前児童保護者、小中学生保護者） 59

1　子ども・子育てに関する意識 59
2　豊田市に対する印象 75

Ⅳ　妊娠期の状況や意識（母子手帳被交付者） 78

1　家族の状況 78
2　出産や子育ての状況や意識 89

Ⅴ　子ども・子育てに関する意識（一般市民） 98

1　家族の状況 98

２　子ども・子育て・教育に関する意識……102
３　地域や地域活動……106
４　豊田市に対する印象……107

Ⅵ　子ども・青少年の生活や気持ち（小中学生、高校生、青少年(19～29 歳)）……108

１　家族の状況……108
２　ふだんの生活や家での過ごし方……117
３　学校生活や友だち……131
４　学校や職場以外での地域の生活……140
５　ふだんの気持ちや周囲の人との関係……144
６　地域や地域活動……153
７　夢や将来……156
８　豊田市について（子どもが感じる子どもにやさしいまち）……162

Ⅶ　子どもの権利に関する意識……165

１　条例、相談室の認知度……165
２　子どもの権利……169
３　いじめ・不登校……174

Ⅰ　調査概要

1　調査目的

本調査は、第２次豊田市子ども総合計画策定に向け、市内の就学前児童・小中学生の保護者、母子手帳を受け取られる人及び一般の市民の子育て支援に関する状況や意見並びに、各年代の子どもや青少年の生活や意識を把握するための市民意向調査です。

2　調査対象者及び配布数等

・調査地域　：豊田市全域
・調査対象者及び配布数　：下表参照
・調査期間　：平成 25 年９月 13 日～９月 30 日
・調査方法　：郵送配布・回収または直接配布・回収
・調査実施機関　：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所
・回収結果　：下表参照

調査対象者		配布数（A）	回収数（B）	回収率（＝B／A）	調査方法	抽出方法等
01	就学前児童	3,000	1,978	65.9%	郵送	子どもの学齢別(0～5歳)に抽出
02	小学生保護者	2,756	2,085	75.7%	学校	調査対象者 05、06 の保護者
03	中学生保護者	1,558	1,350	86.6%	学校	調査対象者 07-1 の保護者
04	母子手帳被交付者	390	384	98.5%	手帳交付時	
05	小学校低学年	1,350	1,287	95.3%	学校	特定の小学校の1～3年生
06	小学校高学年	1,406	1,314	93.5%	学校	特定の小学校の4～6年生
07	中高校生	2,558	1,983※1	77.5%		※1 回収数には「不明・無回答」を含む。
07-1	中学生	(1,558)	(1,467※2)	(94.2%)	学校	特定の中学校の1～3年生 ※2 回収数には「不明・無回答」を含まず。
07-2	高校生	(1,000)	(474※3)	(47.4%)	郵送	学齢別(15～17 歳)に抽出 ※3 回収数には「就労者」を含み、「不明・無回答」は含まず。
08	青少年（19～29 歳）	1,000	370	37.0%	郵送	対象学齢を抽出
09	一般市民	3,000	1,608	53.6%	郵送	年代別(20～60 歳代)に抽出
合計		17,018	12,359	72.6%		

※報告書中の「就学前児童保護者」については、「就学前児童」と省略して記載しています。

3　調査を実施した学校

■小学校

小学校名（地区名）				
平和（挙母）	元城（挙母）	寺部（高橋）	畝部（上郷）	若林西（高岡）
四郷（猿投）	幸海（松平）	石畳（藤岡）	道慈（小原）	足助（足助）
大沼（下山）	小渡（旭）	稲武（稲武）		

※バランスを考慮しながら、各地区の学校を選考し、各学校の全校生徒を対象とした。

■中学校

中学校名（地区名）				
朝日丘（挙母）	梅坪台（挙母）	逢妻（挙母）	益富（高橋）	美里（高橋）
末野原（上郷）	若園（高岡）	前林（高岡）	猿投台（猿投）	石野（猿投）
松平（松平）	藤岡南（藤岡）	小原（小原）	足助（足助）	下山（下山）
旭（旭）	稲武（稲武）			

※バランスを考慮しながら、各地区の学校を選考し、各学校各学年1クラスの生徒を対象とした。

4　報告書の見方

●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「N（number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

●グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部省略した表現に置き換えている場合もあります。

●報告書中の「就学前児童保護者」については、「就学前児童」と省略して記載しています。

●図表文中の「対象の子ども」とは、調査票の宛名の子どものことです。

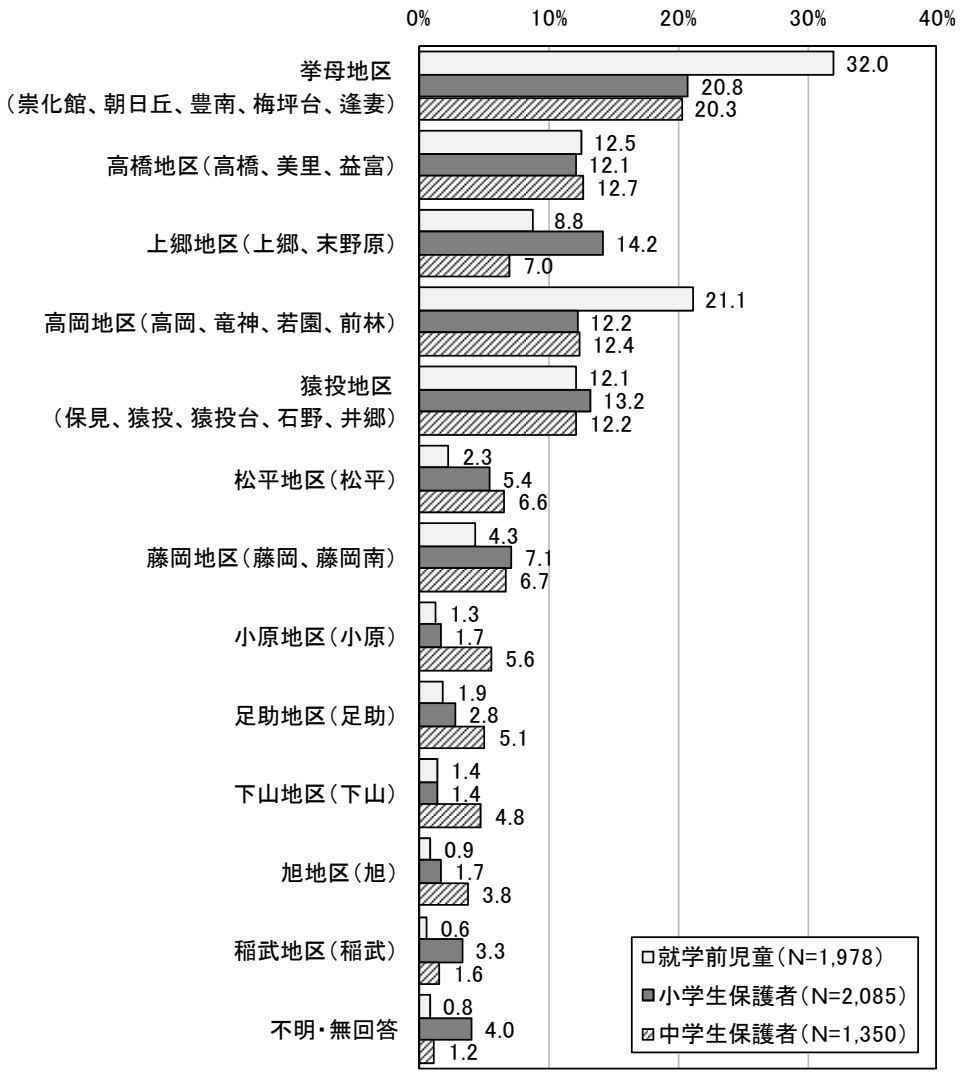
●「高校生」には、中学校卒業後就労している18歳以下の人（N=6）も含んで、修正・分析を行っています。

Ⅱ　子育てに関する事業の利用状況と利用希望（就学前児童保護者、小中学生保護者）

1　家族の状況

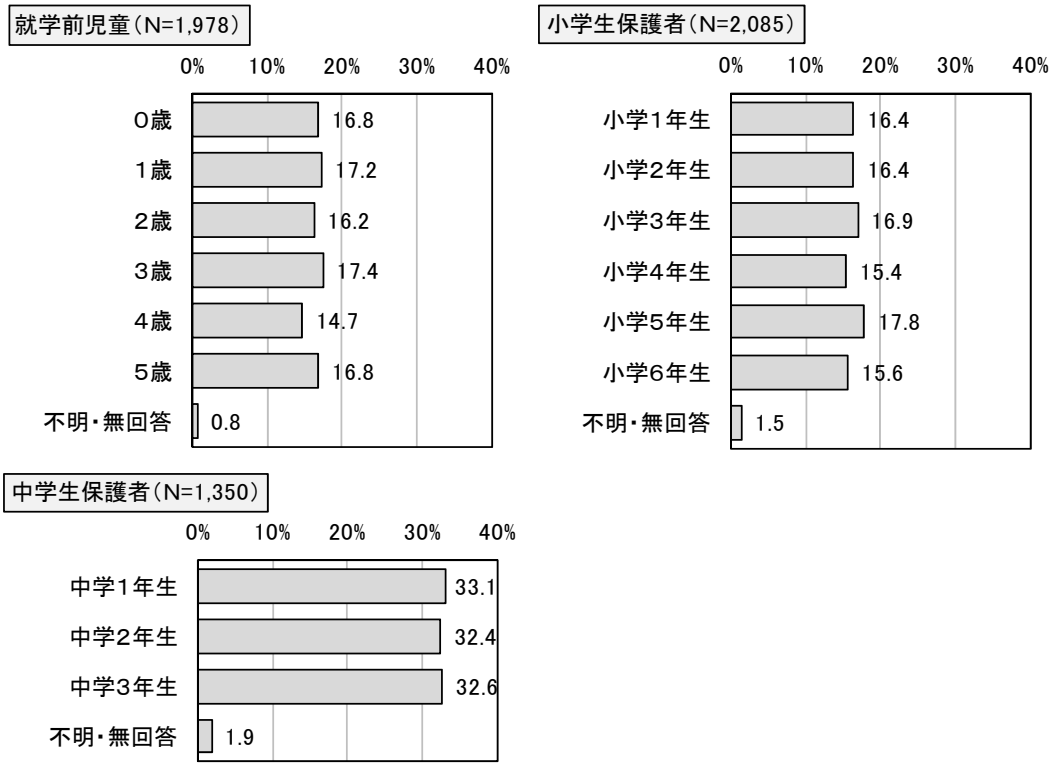
居住地区 〈単数回答〉

就学前児童問1、小学生保護者問1、中学生保護者問1



対象の子どもの年齢・学年 〈数量回答〉

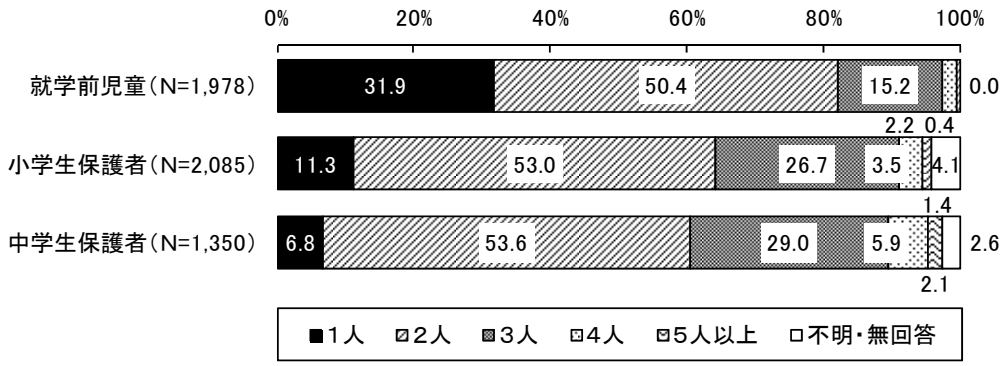
就学前児童問2、小学生保護者問2、中学生保護者問2



※平成 25 年4月1日現在の年齢・学年（それ以降に生まれた子どもは「0歳」に含む）

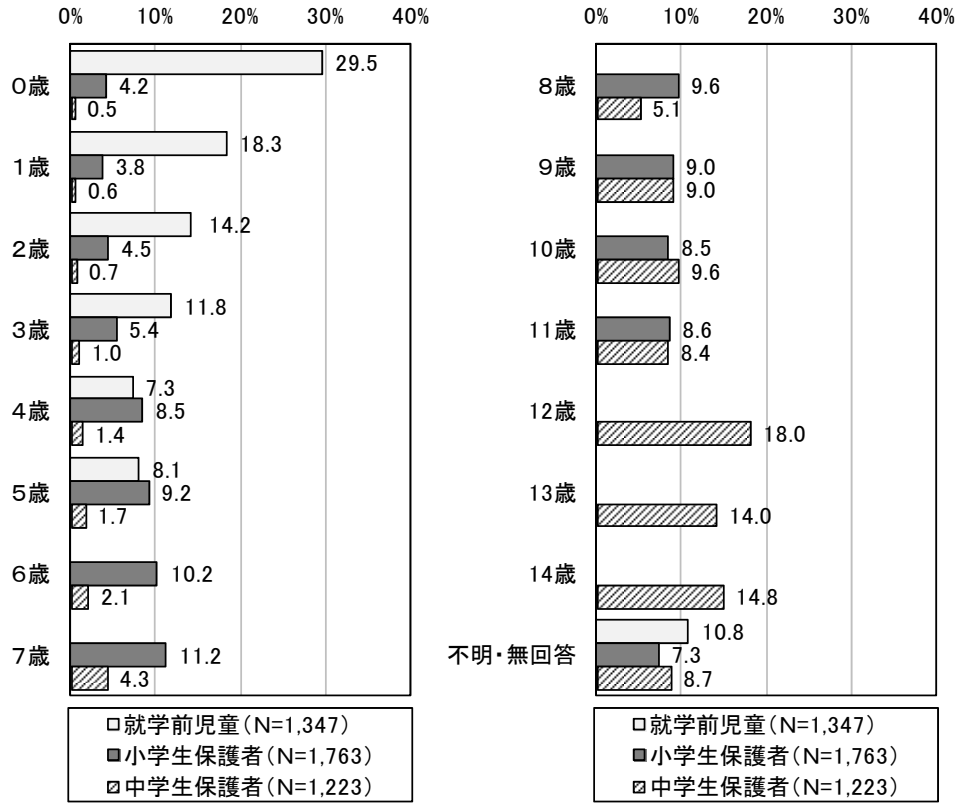
対象の子どものきょうだいの数 〈数量回答〉

就学前児童問3、小学生保護者問3、中学生保護者問3



（2人以上の子どもがいる場合）

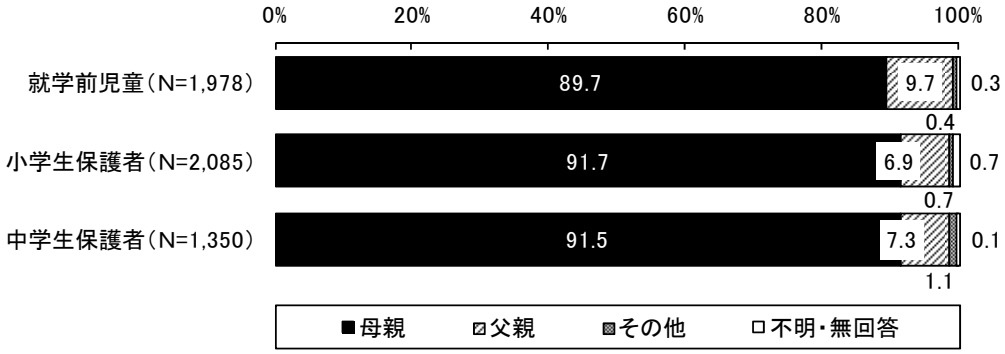
◆末子の年齢 〈数量回答〉



※平成 25 年4月1日現在の年齢（それ以降に生まれた子どもは「0歳」に含む）

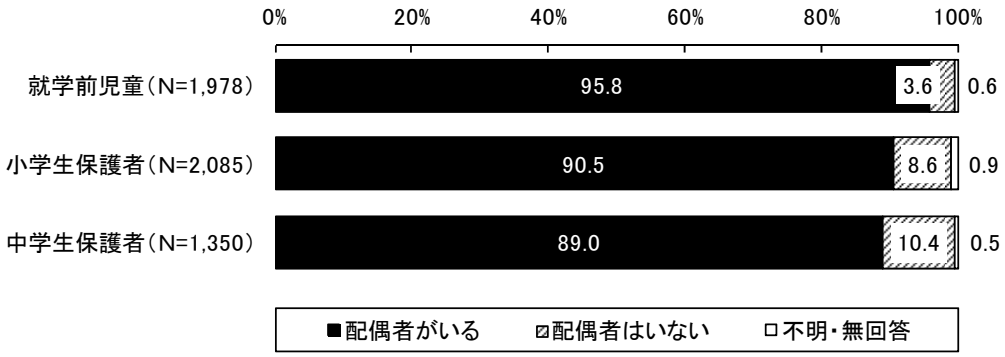
調査票の回答者 〈単数回答〉

就学前児童問4、小学生保護者問4、中学生保護者問4



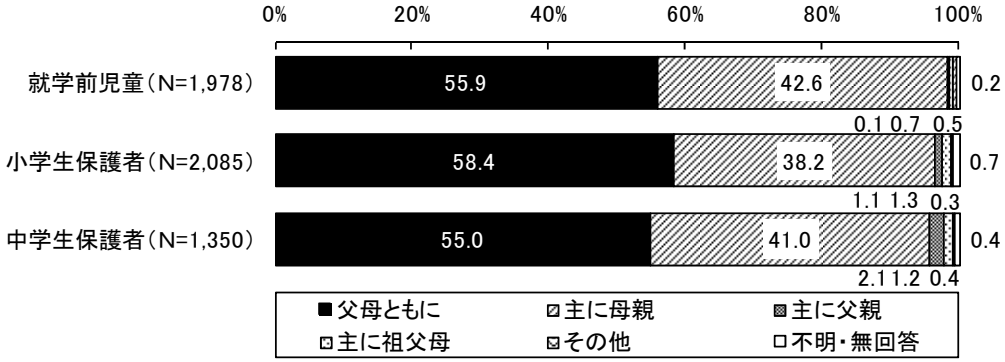
回答者の配偶者の有無 〈単数回答〉

就学前児童問5、小学生保護者問5、中学生保護者問5



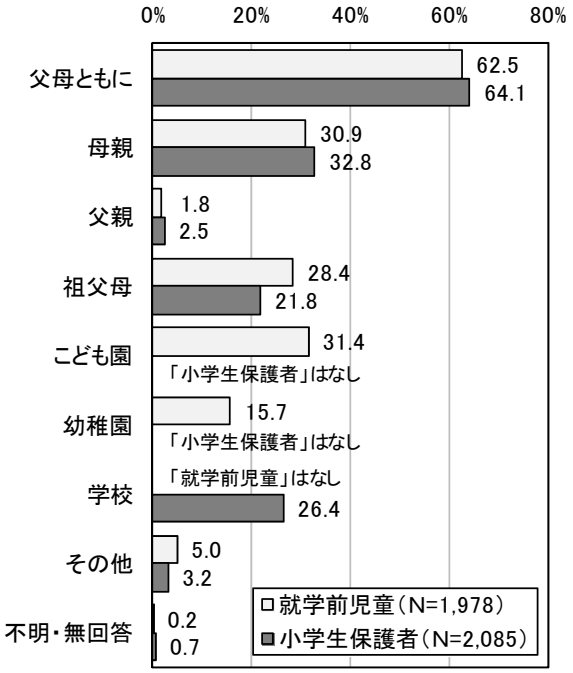
対象の子どもの教育を含む子育てを主に行っている人（施設） 〈単数回答〉

就学前児童問6、小学生保護者問6、中学生保護者問6



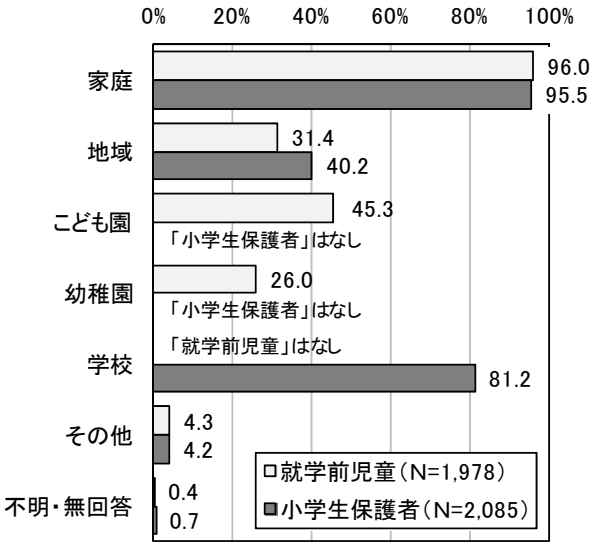
対象の子どもの教育を含む子育てに日常的に関わっている人(施設) 〈複数回答〉

就学前児童問7、小学生保護者問7



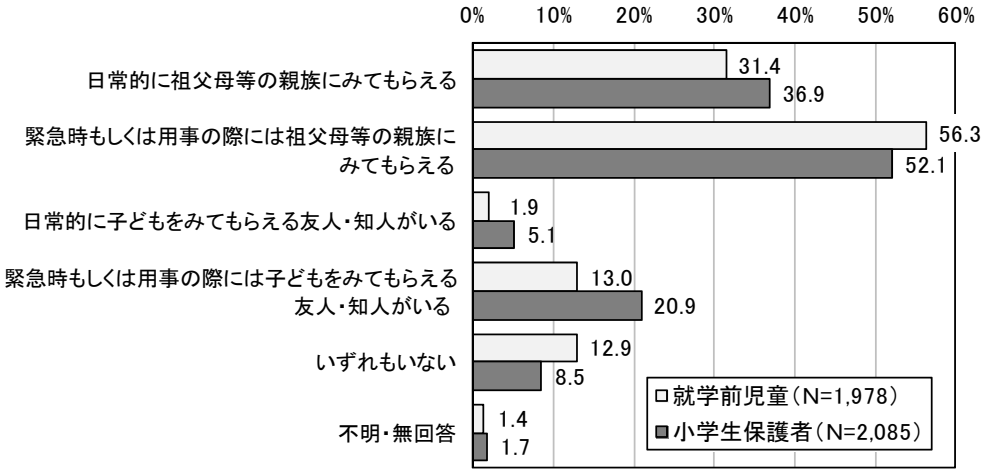
対象の子どもの教育を含む子育てにもっとも影響すると思われる環境 〈複数回答〉

就学前児童問8、小学生保護者問8



日頃、対象の子どもをみてもらえる親族・知人の状況 〈複数回答〉

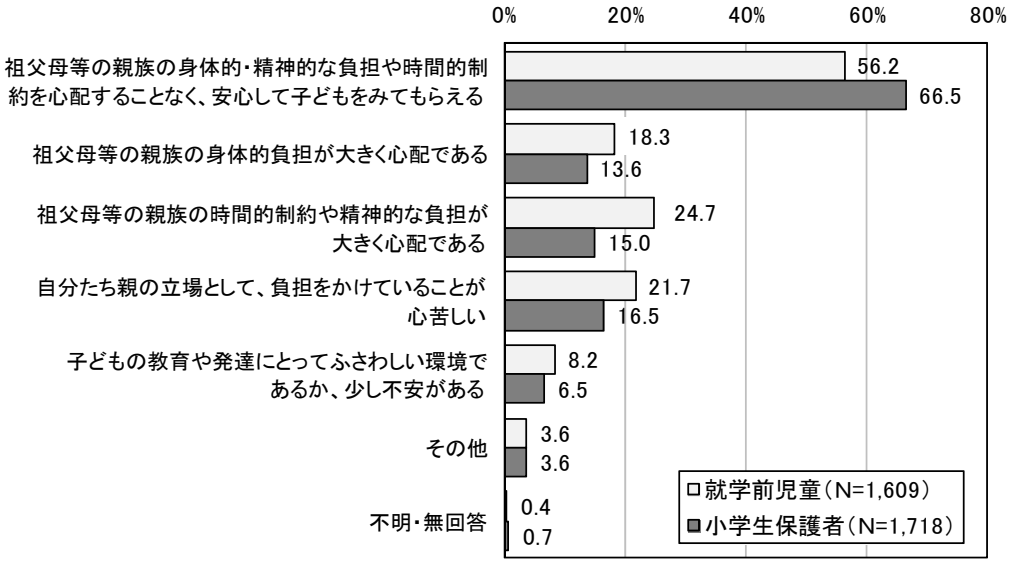
就学前児童問9、小学生保護者問9



「日常的に祖父母等の親族にみてもらっている」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した人のみ

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況 〈複数回答〉

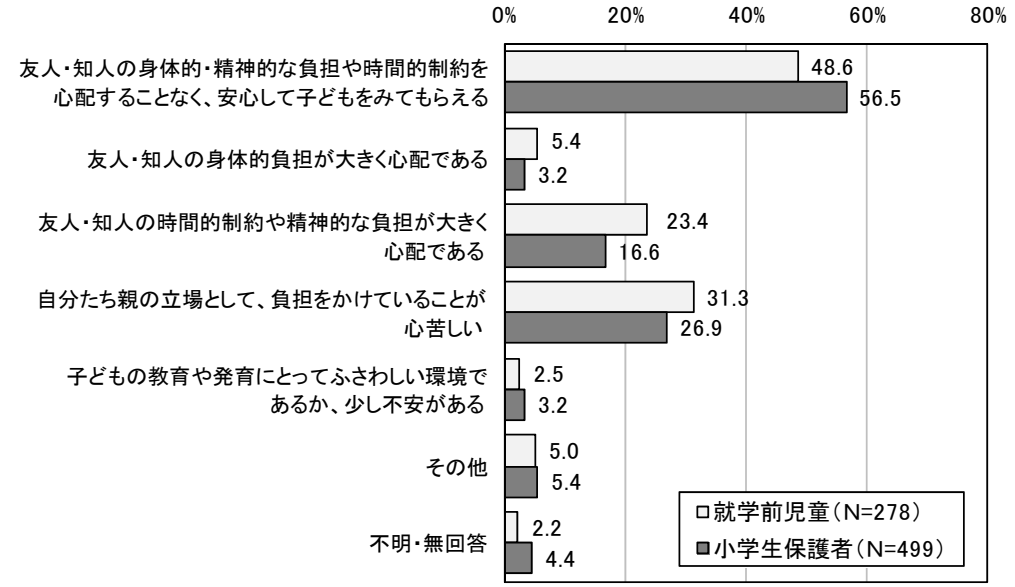
就学前児童問9-1、小学生保護者問9-1



「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した人のみ

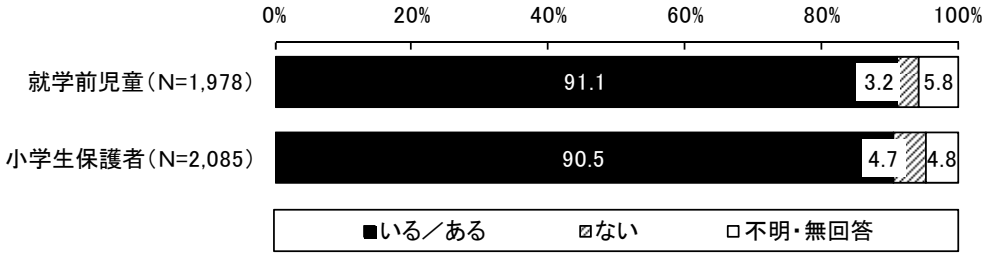
友人・知人に子どもをみてもらっている状況 〈複数回答〉

就学前児童問9-2、小学生保護者問9-2



対象の子どもの教育を含む子育てをする上で気軽に相談できる人（場所）の有無 〈単数回答〉

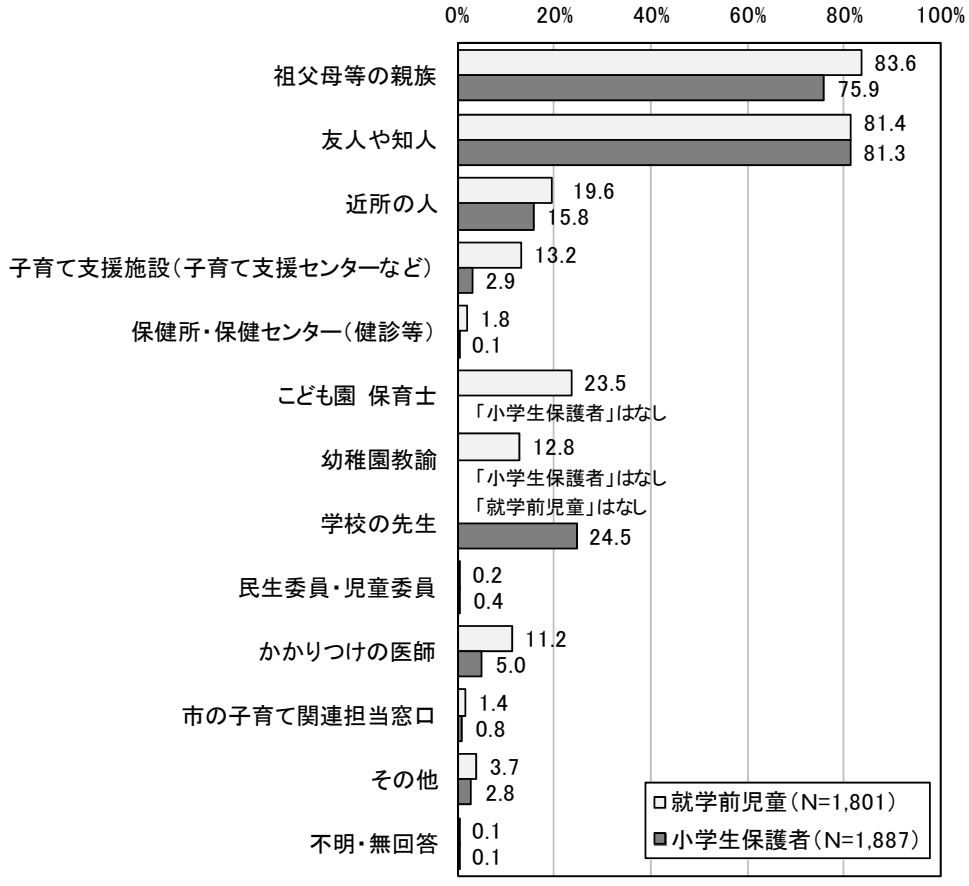
就学前児童問 10、小学生保護者問 10



子育てをする上で気軽に相談できる人／場所が「いる／ある」と回答した人のみ

教育を含む子育てをする上で気軽な相談先 〈複数回答〉

就学前児童問 10−1、小学生保護者問 10−1



2　保護者の就労状況

保護者の現在の就労状況について（自営業、家族従事者含む）

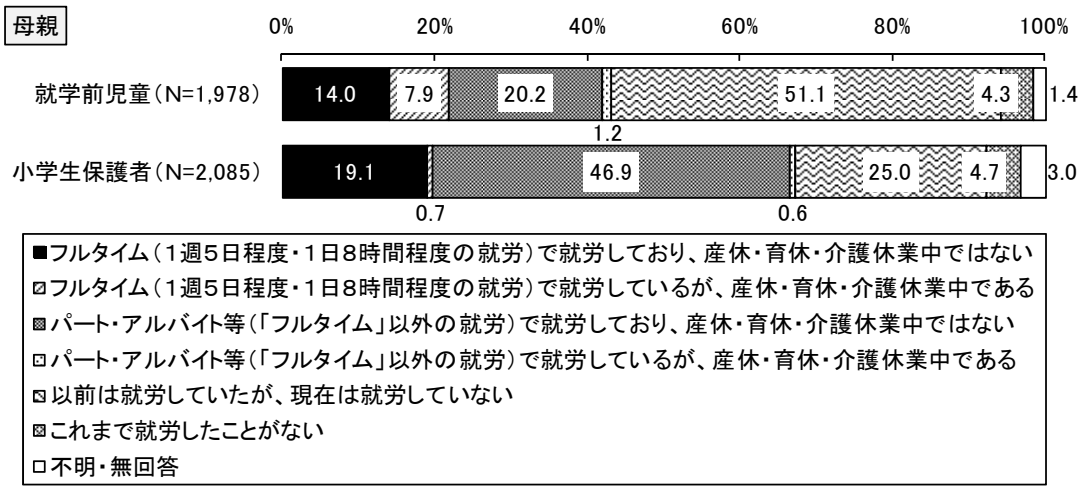
母親の就労状況　〈単数回答〉

就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 51.1％と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 20.2％となっています。

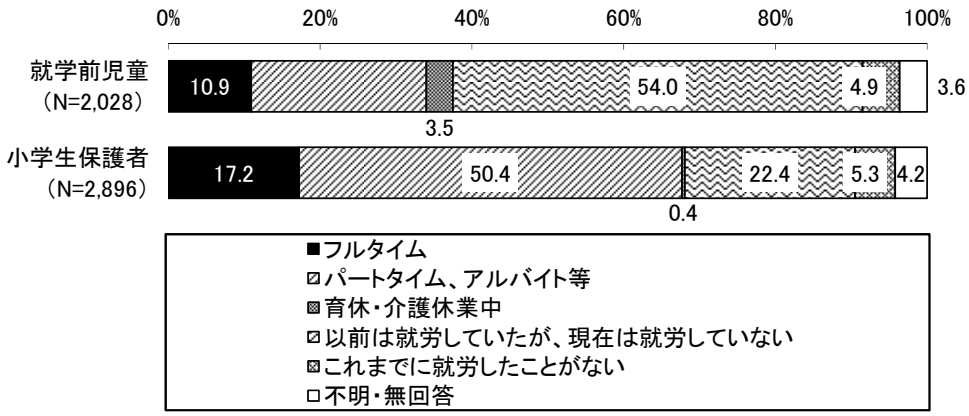
小学生保護者では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 46.9％と最も高く、就学前児童と比べると 26.7 ポイント高くなっています。

H21 年調査と比べると、フルタイムで就労している人の割合は、いずれも増加しています。育休・介護休業中の人の割合も、いずれも増加しています。

就学前児童問 12(1)、小学生保護者問 12(1)



H21 年調査



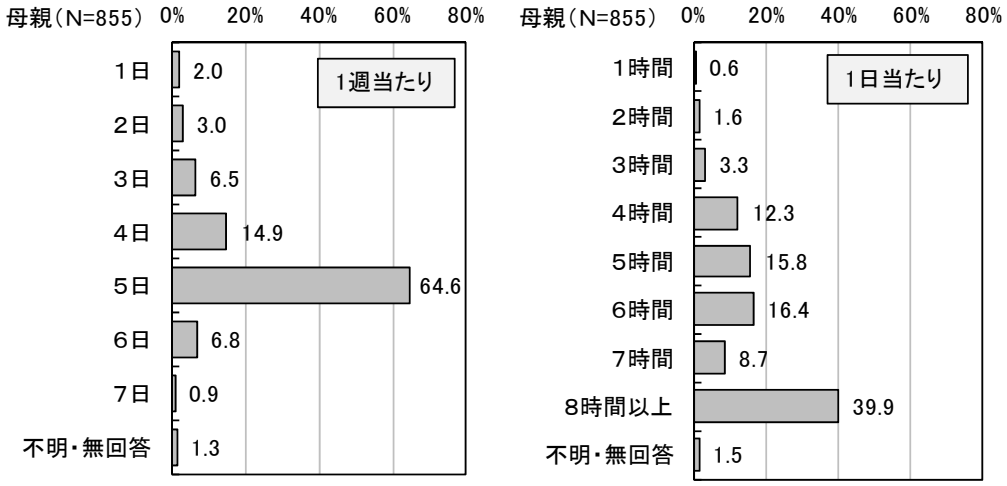
◆就学前児童: 母親の就労状況×年齢別

		【問12(1)】母親の就労状況							
	上段:件数 下段:%	合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	不明・無回答
【問2】子どもの年齢	合計	1,978 100.0	276 14.0	156 7.9	400 20.2	23 1.2	1,010 51.1	86 4.3	27 1.4
	０歳	332 100.0	25 7.5	65 19.6	26 7.8	5 1.5	198 59.6	9 2.7	4 1.2
	１歳	340 100.0	44 12.9	29 8.5	50 14.7	5 1.5	195 57.4	13 3.8	4 1.2
	２歳	321 100.0	46 14.3	24 7.5	46 14.3	3 0.9	189 58.9	9 2.8	4 1.2
	３歳	345 100.0	59 17.1	19 5.5	85 24.6	4 1.2	152 44.1	21 6.1	5 1.4
	４歳	291 100.0	43 14.8	10 3.4	75 25.8	4 1.4	136 46.7	18 6.2	5 1.7
	５歳	333 100.0	55 16.5	7 2.1	115 34.5	2 0.6	133 39.9	16 4.8	5 1.5
	不明・無回答	16 100.0	4 25.0	2 12.5	3 18.8	- -	7 43.8	- -	- -

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した人のみ

母親の1週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間（残業時間を含む） 〈数量回答〉

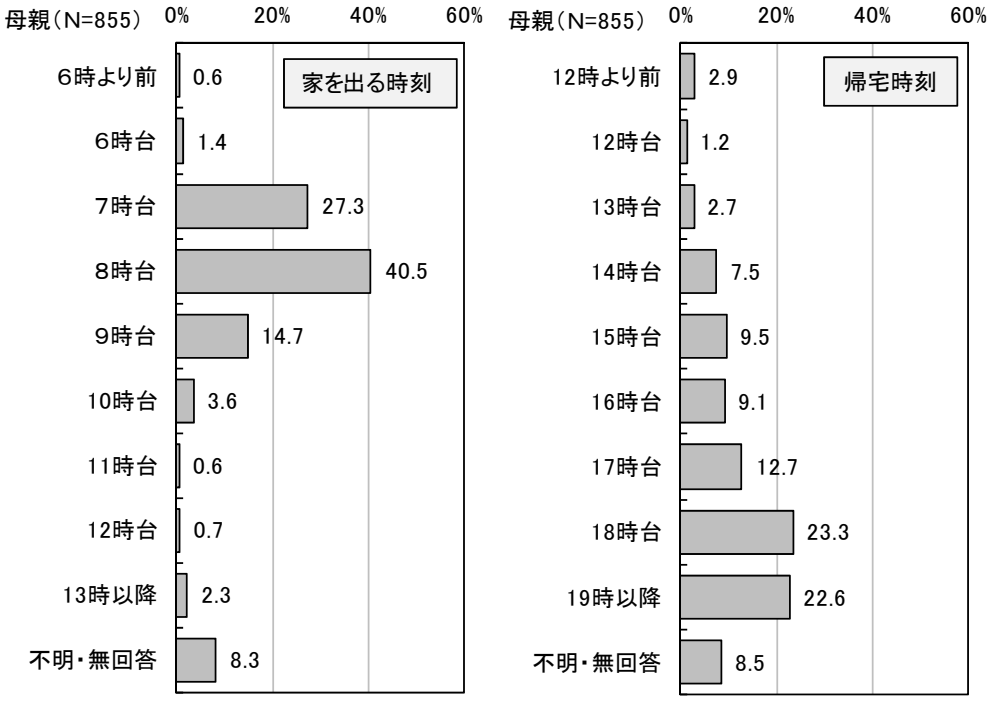
就学前児童問 12(1)-1



「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した人のみ

母親の家を出る時間・帰宅時間（残業時間を含む） 〈数量回答〉

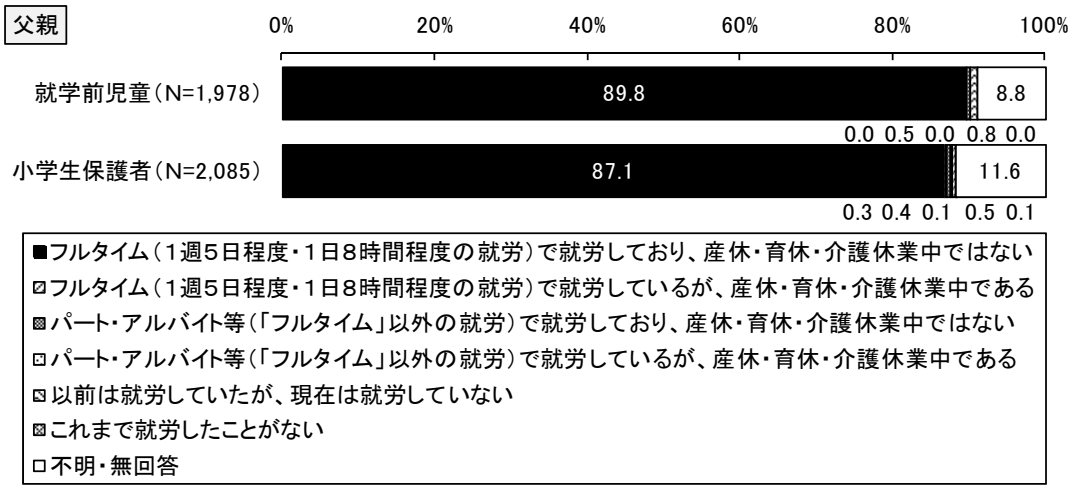
就学前児童問 12(1)-2



父親の就労状況 〈単数回答〉

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中でない」が就学前児童で 89.8%、小学生保護者で 87.1%となっており、母親と比べてそれぞれ高くなっています。

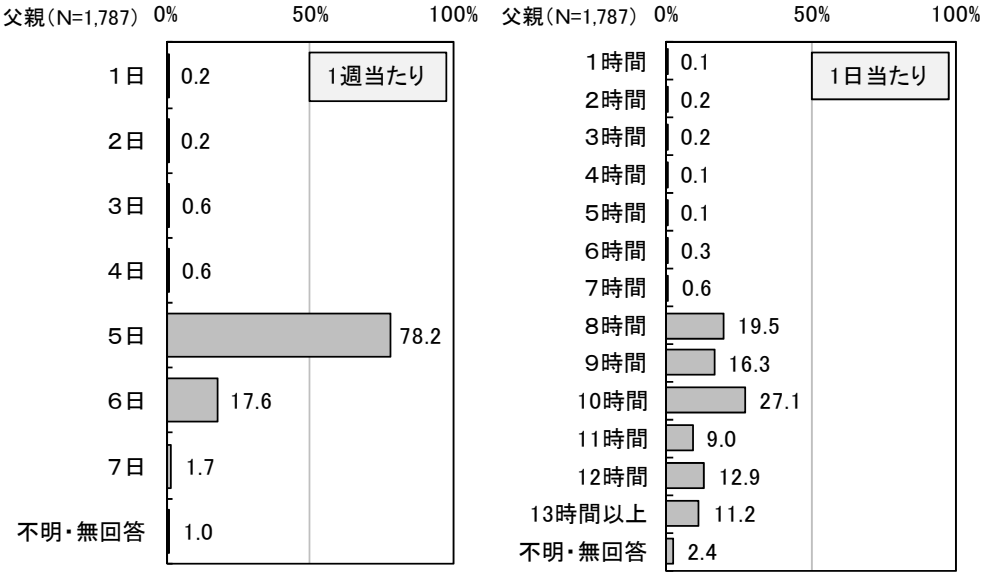
就学前児童問 12(2)、小学生保護者問 12(2)



「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した人のみ

父親の1週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間（残業時間を含む） 〈数量回答〉

就学前児童問 12(2)-1



「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した人のみ

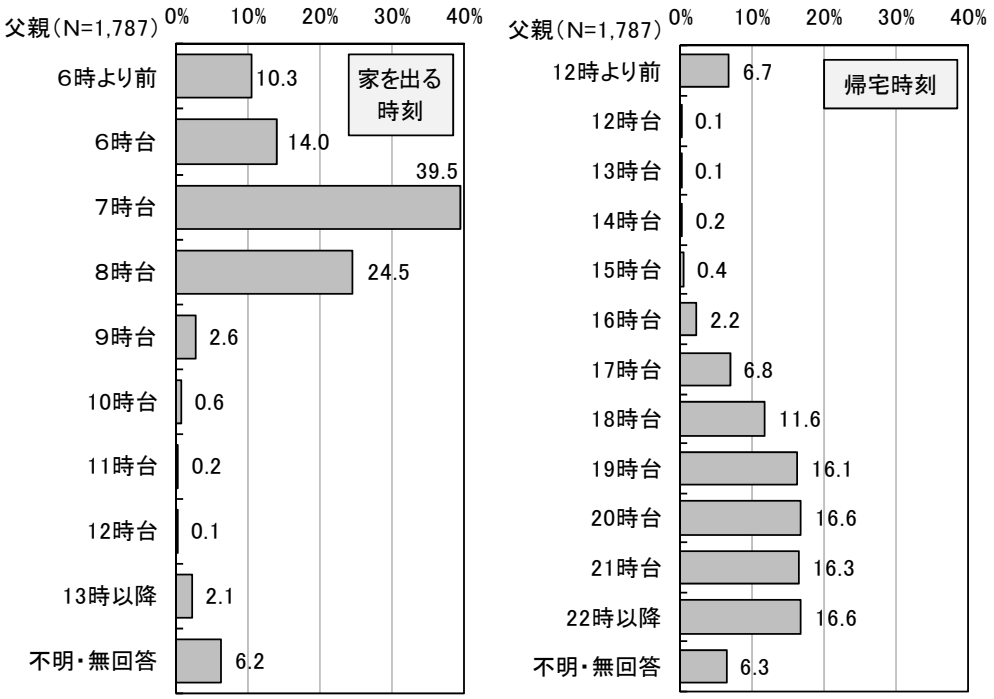
父親の家を出る時間・帰宅時間（残業時間を含む） 〈数量回答〉

家を出る時間は、「7時台」が 39.5%と最も高く、次いで「8時台」が 24.5%となっています。

帰宅時間は、「20 時台」と「22 時以降」がともに 16.6%と最も高く、次いで「21 時台」が 16.3%となっています。

母親と比べて、家を出る時刻は早く、帰宅時刻は遅い傾向がうかがえます。

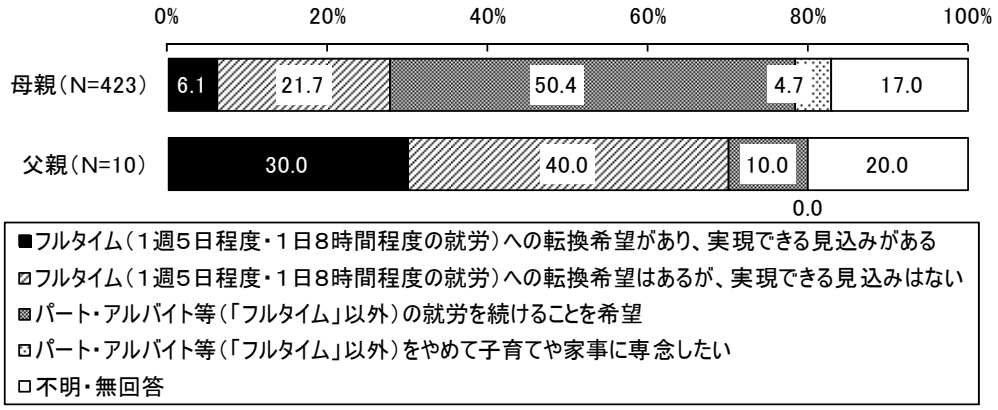
就学前児童問 12(2)-2



母親または父親の就労状況で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した人のみと回答した人のみ

フルタイムへの転換希望 〈単数回答〉

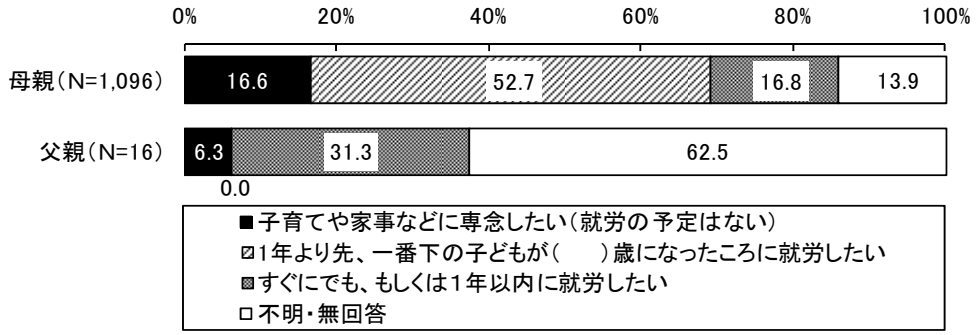
就学前児童問 13



母親または父親の就労状況で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した人のみ

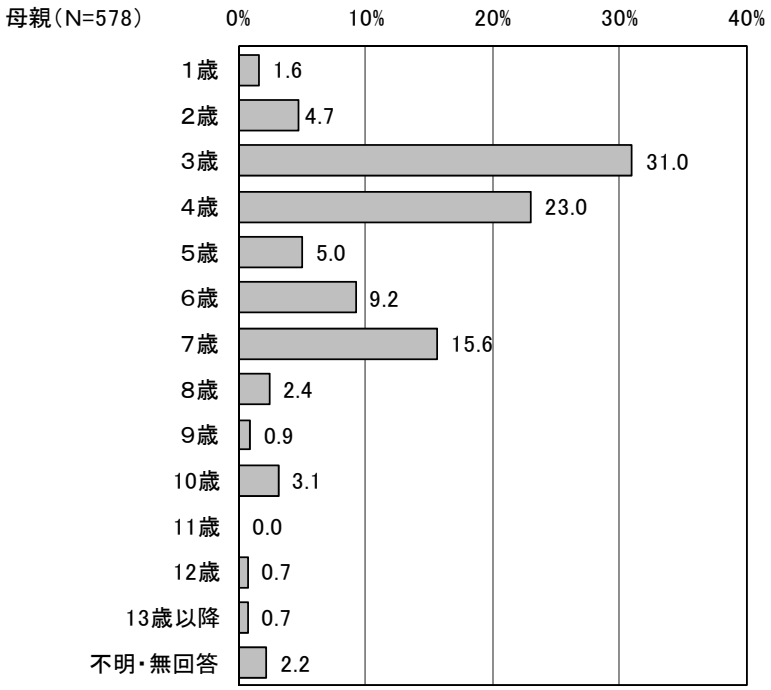
就労希望 〈単数回答〉

就学前児童 問 14



（1年より先、一番下の子どもが（　）歳になったころに就労したい）

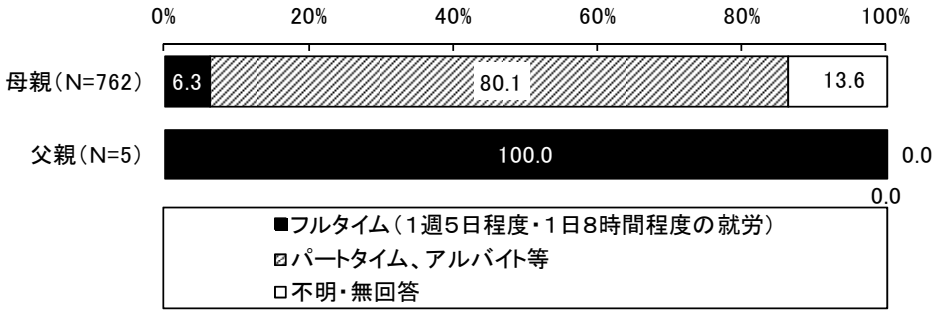
◆子どもが何歳になった頃に就労したいか 〈数量回答〉



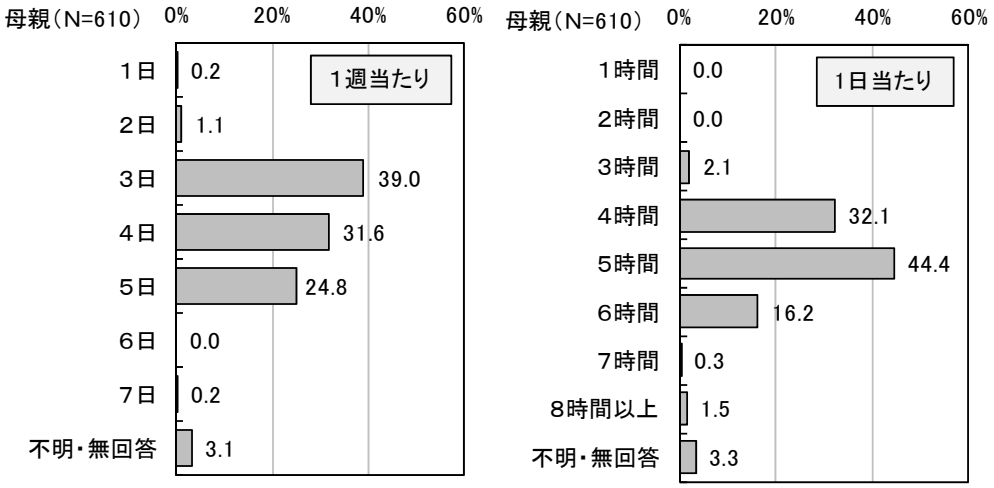
※問 14 で「1年より先、一番下の子どもが（　）歳になったころに就労したい」と回答した父親はいなかった。

母親または父親が「1 年より先、一番下の子どもが(　)歳になったころに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人

◆希望する就労形態 〈単数回答〉



◆パートタイム、アルバイト等の就労希望形態 (1週当たり／1日当たり)〈数量回答〉



※問 14 で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答し、希望する就労形態を「パートタイム、アルバイト等」と回答した父親はいなかった。

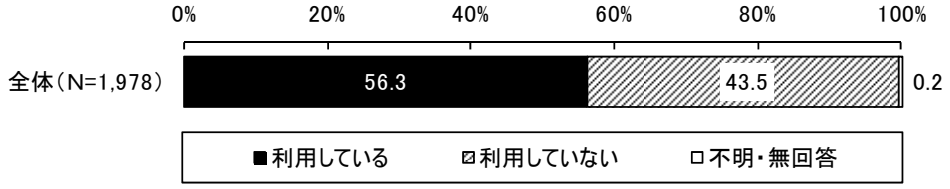
3　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

こども園や幼稚園などの「定期的な教育・保育事業」の利用について 〈単数回答〉

「利用している」は 56.3%、「利用していない」は 43.5%となっています。

年齢が上がるにしたがい、「利用している」の割合が高くなっています。0歳は 10.2%、1歳は 24.1%、2歳は 30.2%、3歳は 78.8%、4歳は 98.3%、5 歳は 99.7%となっています。

就学前児童問 15



◆定期的な教育・保育事業の利用の有無×年齢別

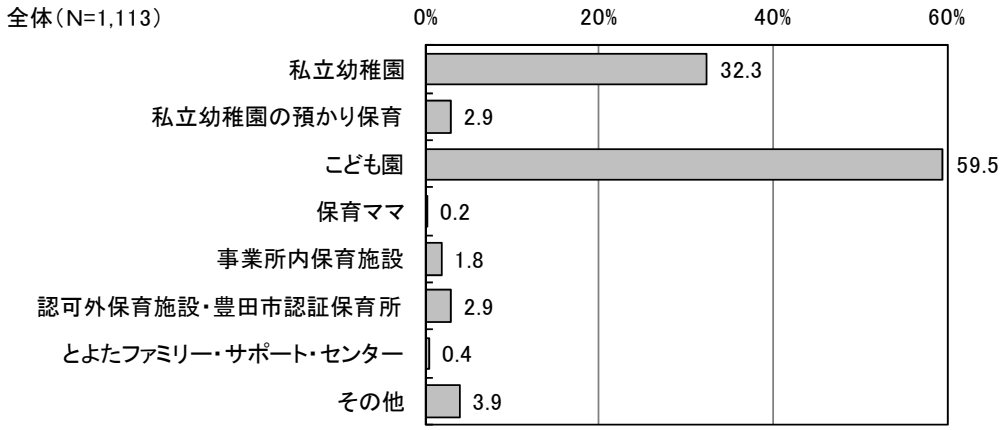
		【問15】宛名のお子さまは現在、こども園や幼稚園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか			
	上段：件数 下段：%	合計	利用している	利用していない	不明・無回答
【問2】子どもの年齢	合計	1,978 100.0	1,113 56.3	861 43.5	4 0.2
	0歳	332 100.0	34 10.2	296 89.2	2 0.6
	1歳	340 100.0	82 24.1	257 75.6	1 0.3
	2歳	321 100.0	97 30.2	224 69.8	- -
	3歳	345 100.0	272 78.8	73 21.2	- -
	4歳	291 100.0	286 98.3	4 1.4	1 0.3
	5歳	333 100.0	332 99.7	1 0.3	- -
	不明・無回答	16 100.0	10 62.5	6 37.5	- -

定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人のみ

平日、定期的に利用している教育・保育事業 〈複数回答〉

「こども園」の利用が 59.5%と最も高く、次いで「私立幼稚園」が 32.3%となっています。年齢別では、1歳、2歳、4歳、5歳で「こども園」の割合が6割を超えています。3歳で「私立幼稚園」は 44.9%となっており、他の年齢に比べて高くなっています。

就学前児童 問 15-1



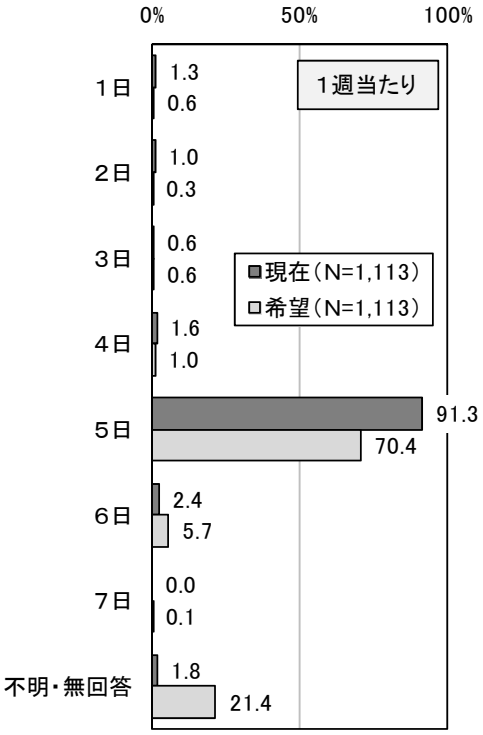
◆定期的な教育・保育事業×年齢別

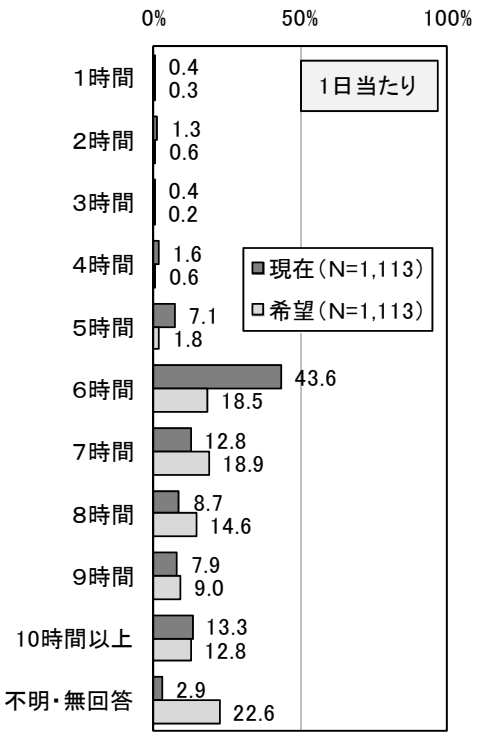
		【問15-1】宛名のお子さまは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください									
	上段：件数 下段：%	合計	私立幼稚園	私立幼稚園の預かり保育	こども園	保育ママ	事業所内保育施設	認可外保育施設・豊田市認証保育所	とよたファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答
【問2】子どもの年齢	合計	1,113	360	32	662	2	20	32	5	43	1
		100.0	32.3	2.9	59.5	0.2	1.8	2.9	0.4	3.9	0.1
	０歳	34	2	-	18	-	8	5	1	-	-
		100.0	5.9	-	52.9	-	23.5	14.7	2.9	-	-
	１歳	82	2	-	53	1	7	11	1	7	-
		100.0	2.4	-	64.6	1.2	8.5	13.4	1.2	8.5	-
	２歳	97	10	-	62	-	3	11	-	13	-
		100.0	10.3	-	63.9	-	3.1	11.3	-	13.4	-
	３歳	272	122	8	136	-	-	2	2	12	-
		100.0	44.9	2.9	50.0	-	-	0.7	0.7	4.4	-
	４歳	286	103	10	177	1	1	3	1	7	-
		100.0	36.0	3.5	61.9	0.3	0.3	1.0	0.3	2.4	-
	５歳	332	118	13	209	-	1	-	-	4	1
		100.0	35.5	3.9	63.0	-	0.3	-	-	1.2	0.3
	不明・無回答	10	3	1	7	-	-	-	-	-	-
		100.0	30.0	10.0	70.0	-	-	-	-	-	-

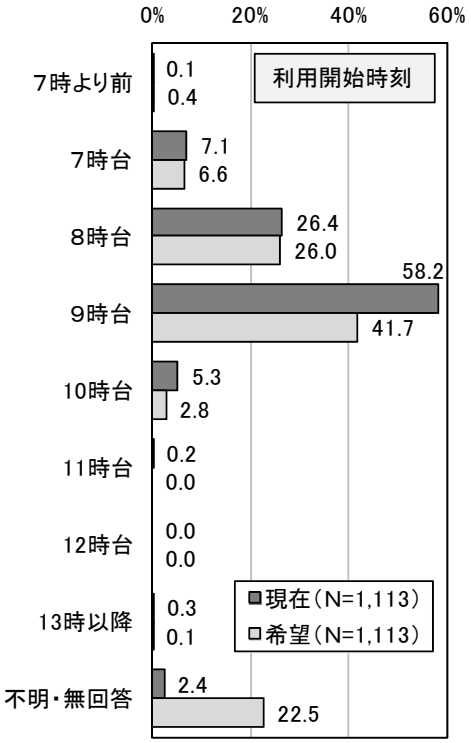
定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人のみ

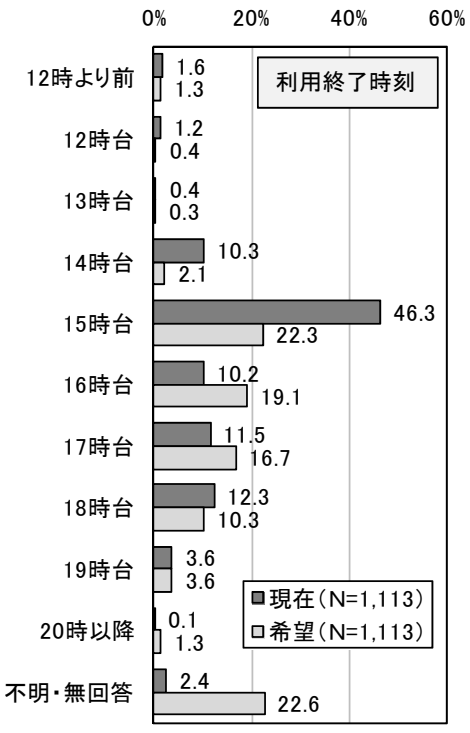
現在及び希望の利用状況 （1週当たり／1日当たり／時間帯）〈数量回答〉

就学前児童 問 15-2





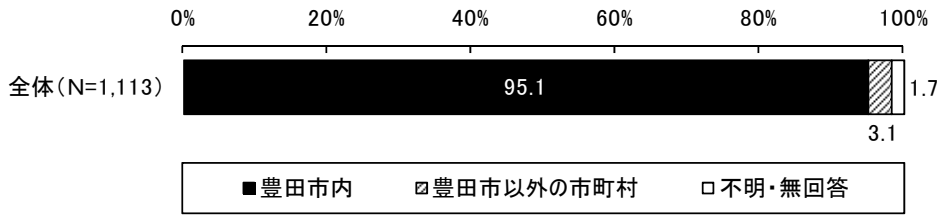




定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人のみ

現在利用している教育・保育事業の実施場所 〈単数回答〉

就学前児童 問 15-3

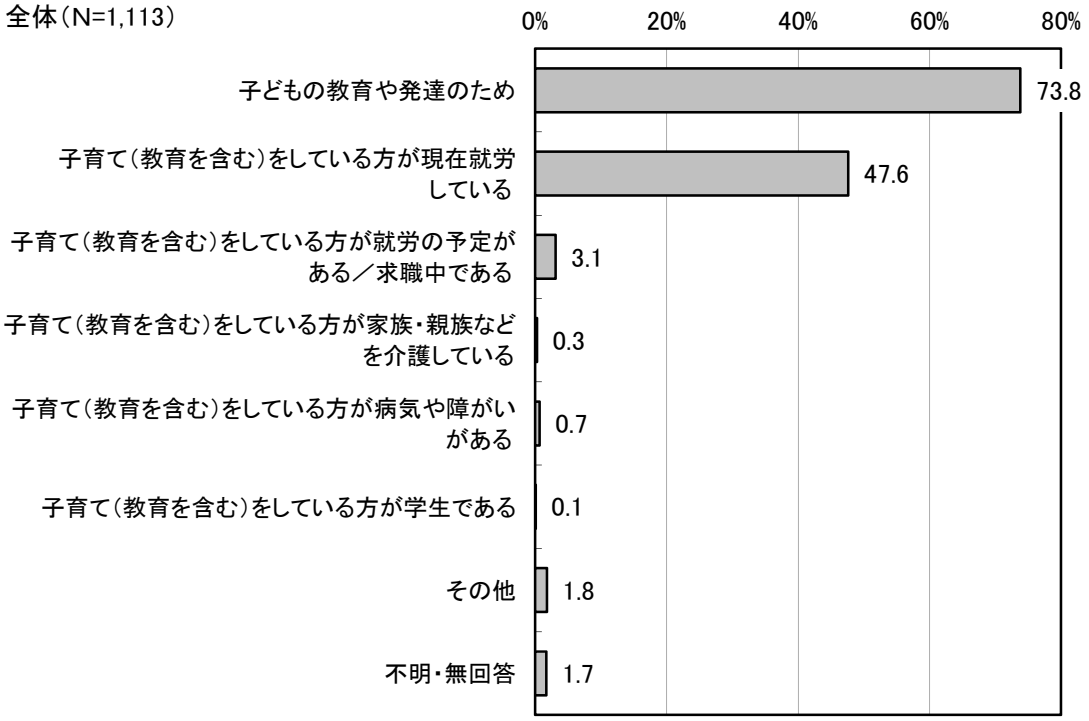


定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人のみ

平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由 〈複数回答〉

「子どもの教育や発達のため」が 73.8%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が 47.6%となっており、この二つの理由で大部分を占めています。

就学前児童 問 15-4

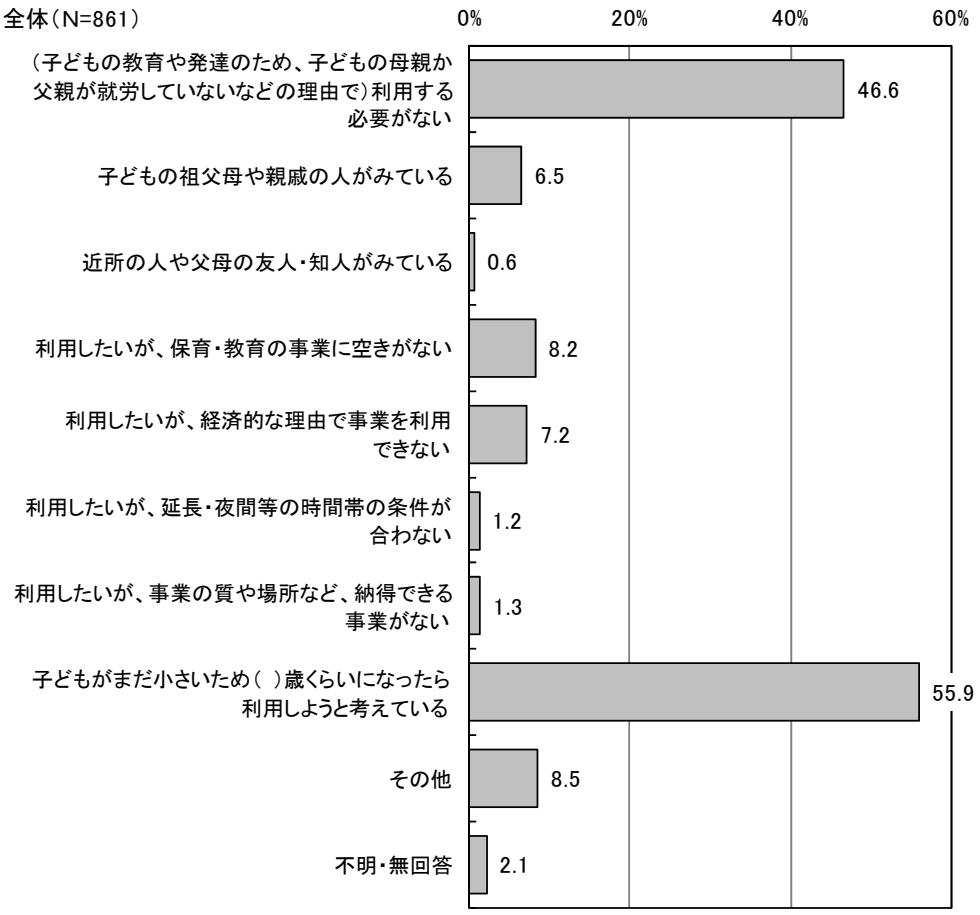


定期的な教育・保育事業を「利用していない」と回答した人のみ

平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由 〈複数回答〉

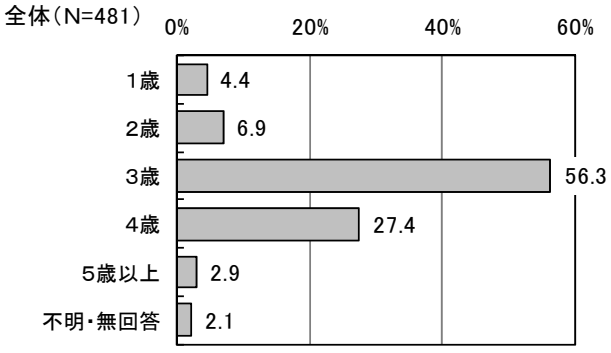
「子どもがまだ小さいため（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている」が 55.9%と最も高く、子どもの年齢は「３歳」が 56.3%、次いで「４歳」が 27.4%となっています。この他の理由としては、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 46.6%となっています。「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」は 8.2%となっています。

就学前児童 問 15-5



（子どもがまだ小さいため）

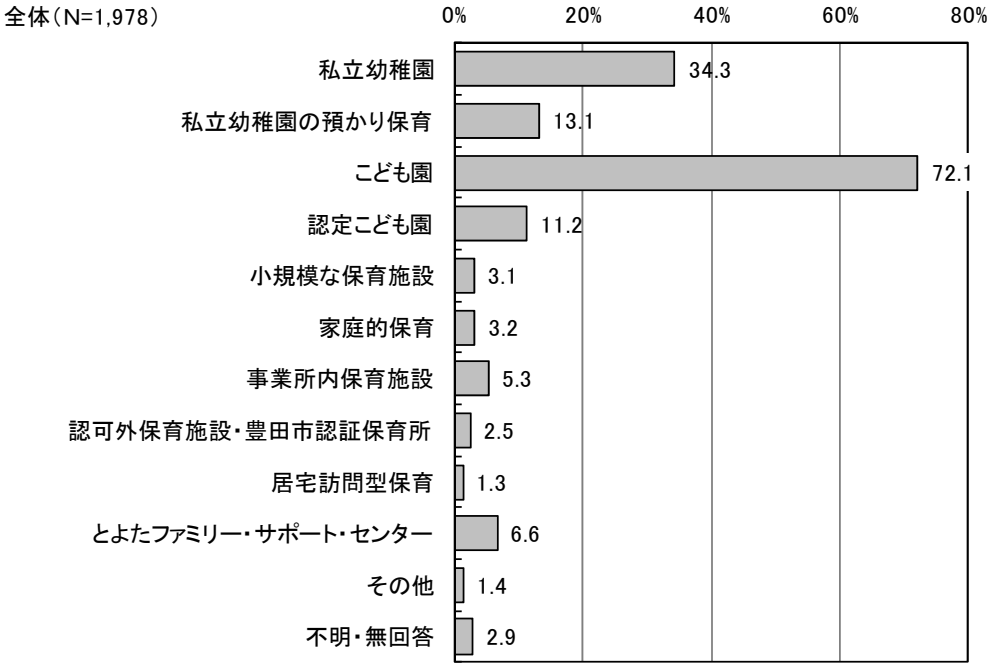
◆子どもが何歳になったら利用しようと考えているか 〈数量回答〉



現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無にかかわらず、すべての人が回答

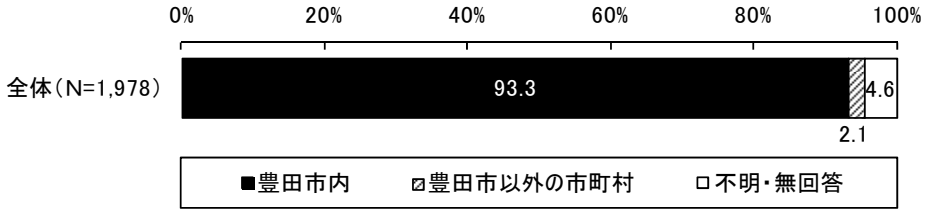
平日の教育・保育事業として定期的に利用したいと考える事業 〈複数回答〉

就学前児童 問 16



教育・保育事業を利用したい場所 〈複数回答〉

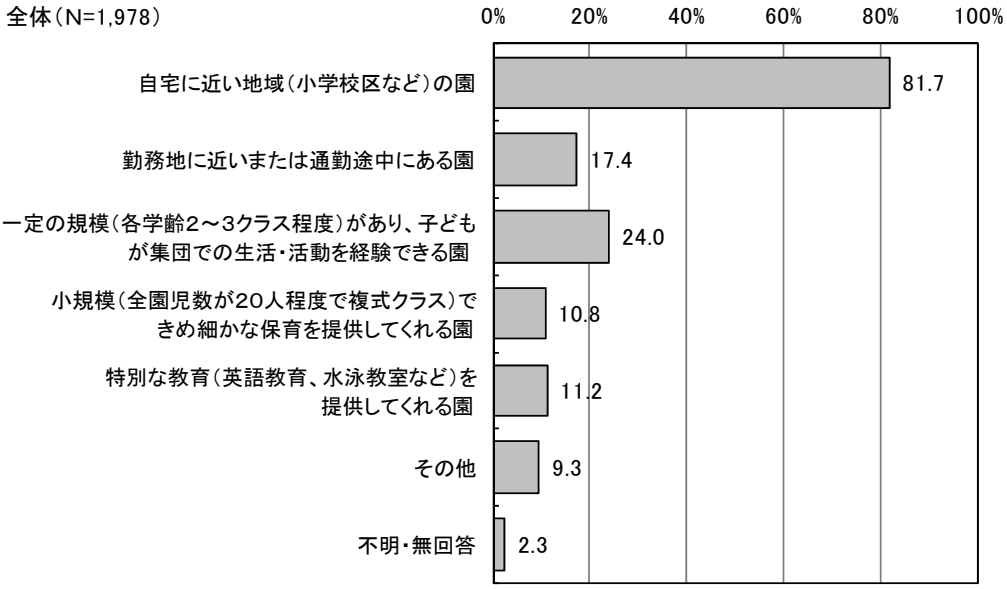
就学前児童 問 16-1



対象の子どもが通うこども園・幼稚園を選ぶときに重視する(した)こと 〈複数回答〉

こども園を利用している人は、「自宅に近い地域(小学校区など)の園」「勤務地に近いまたは通勤途中にある園」などが私立幼稚園に比べて高くなっています。また、私立幼稚園では「一定の規模(各学齢2～3クラス程度)があり、子どもが集団での生活・活動を経験できる園」「特別な教育(英語教育、水泳教室など)を提供してくれる園」がこども園に比べて高くなっています。

就学前児童 問 40



◆こども園・幼稚園を選ぶときに重視する(した)こと×定期的な教育・保育事業別

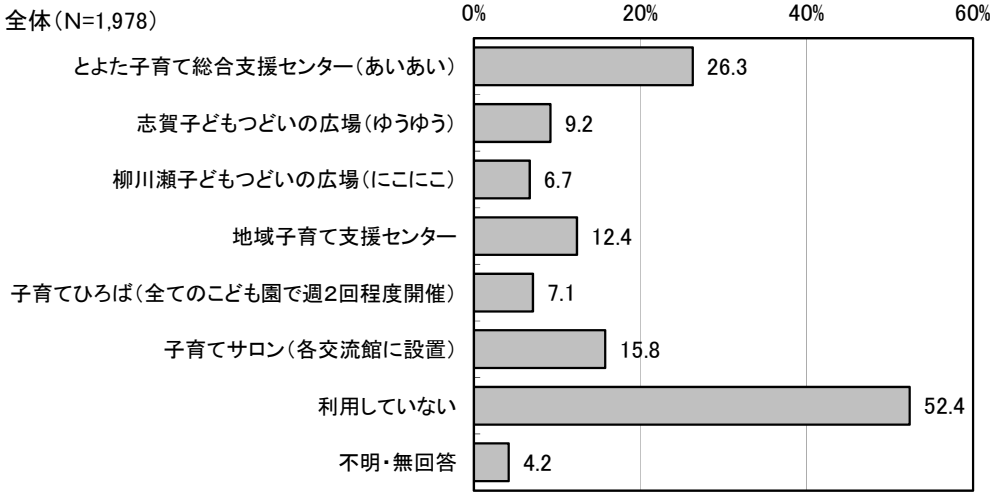
		【問40】宛名のお子さまが通うこども園・幼稚園を選ぶときに重視する(した)こと							
	上段:件数 下段:%	合計	自宅に近い地域(小学校区など)の園	勤務地に近いまたは通勤途中にある園	一定の規模(各学齢2～3クラス程度)があり、子どもが集団での生活・活動を経験できる園	小規模(全園児数が20人程度で複式クラス)できめ細かな保育を提供してくれる園	特別な教育(英語教育、水泳教室など)を提供してくれる園	その他	不明・無回答
【問15-1】平日、定期的に利用している教育・保育事業	合計	1,113	896	199	230	87	110	121	11
		100.0	80.5	17.9	20.7	7.8	9.9	10.9	1.0
	私立幼稚園	360	259	15	132	28	72	59	1
		100.0	71.9	4.2	36.7	7.8	20.0	16.4	0.3
	私立幼稚園の預かり保育	32	18	4	13	5	10	2	-
		100.0	56.3	12.5	40.6	15.6	31.3	6.3	-
	こども園	662	578	160	82	41	23	47	6
		100.0	87.3	24.2	12.4	6.2	3.5	7.1	0.9
	保育ママ	2	2	-	1	1	-	-	-
		100.0	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-
	事業所内保育施設	20	14	13	5	2	2	2	1
		100.0	70.0	65.0	25.0	10.0	10.0	10.0	5.0
	認可外保育施設・豊田市認証保育所	32	24	9	3	10	5	1	-
		100.0	75.0	28.1	9.4	31.3	15.6	3.1	-
	とよたファミリー・サポート・センター	5	3	3	2	-	2	-	-
		100.0	60.0	60.0	40.0	-	40.0	-	-
	その他	43	23	3	7	5	7	14	3
		100.0	53.5	7.0	16.3	11.6	16.3	32.6	7.0
	不明・無回答	1	1	-	1	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-

4　地域の子育て支援事業の利用状況

対象の子どもは現在、地域子育て支援拠点事業を利用しているか　〈複数回答〉

「利用していない」が 52.4%となっており、利用している事業では、「とよた子育て総合支援センター（あいあい）」が 26.3%と最も高くなっています。また、「定期的な教育・保育の事業」を利用していない人が、それぞれの地域子育て支援拠点事業を利用する割合が高くなっています。

就学前児童 問 17



			問17　利用されている地域子育て支援拠点事業								
			合計	とよた子育て総合支援センター（あいあい）	志賀子どもつどいの広場（ゆうゆう）	柳川瀬子どもつどいの広場（にこにこ）	地域子育て支援センター	子育てひろば（全てのこども園で週2回程度開催）	子育てサロン（各交流館に設置）	利用していない	不明・無回答
【問15】宛名のお子さまは現在、こども園や幼稚園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか	合計	件数	1,978	520	182	132	246	141	312	1,037	83
		%	100.0	26.3	9.2	6.7	12.4	7.1	15.8	52.4	4.2
	利用している	件数	1,113	198	59	38	27	24	84	773	59
		%	100.0	17.8	5.3	3.4	2.4	2.2	7.5	69.5	5.3
	利用していない	件数	861	321	123	94	219	117	227	263	22
		%	100.0	37.3	14.3	10.9	25.4	13.6	26.4	30.5	2.6
	不明・無回答	件数	4	1	-	-	-	-	1	1	2
		%	100.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	50.0

◆地域子育て支援拠点事業の利用回数・頻度（1週当たり／1か月当たり）　〈数量回答〉

◇1週当たり／回

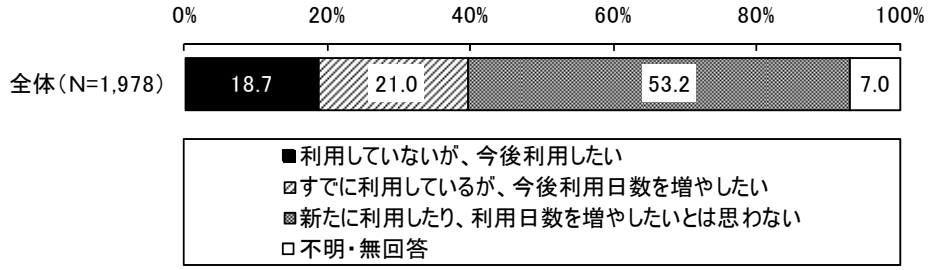
支援拠点	とよた子育て総合支援センター（あいあい）		志賀子どもつどいの広場（ゆうゆう）		柳川瀬子どもつどいの広場（にこにこ）		地域子育て支援センター		子育てひろば（全てのこども園で週2回程度開催）	
1週当たり	件数（N=520）	%	件数（N=182）	%	件数（N=132）	%	件数（N=246）	%	件数（N=141）	%
1回	36	6.9	13	7.1	7	5.3	27	11.0	31	22.0
2回	5	1.0	4	2.2	3	2.3	23	9.3	9	6.4
3回	3	0.6	3	1.6	7	5.3	17	6.9	7	5.0
4回	1	0.2	2	1.1	1	0.8	4	1.6	1	0.7
5回	1	0.2	0	0.0	1	0.8	5	2.0	1	0.7
6回	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	0.4	0	0.0
7回	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	474	91.2	159	87.4	113	85.6	169	68.7	92	65.2

◇1か月当たり／回

支援拠点	とよた子育て総合支援センター（あいあい）		志賀子どもつどいの広場（ゆうゆう）		柳川瀬子どもつどいの広場（にこにこ）		地域子育て支援センター		子育てひろば（全てのこども園で週2回程度開催）	
1か月当たり	件数（N=520）	%	件数（N=182）	%	件数（N=132）	%	件数（N=246）	%	件数（N=141）	%
1回	336	64.6	116	63.7	86	65.2	102	41.5	55	39.0
2回	90	17.3	23	12.6	12	9.1	48	19.5	25	17.7
3回	35	6.7	10	5.5	4	3.0	14	5.7	5	3.5
4回	8	1.5	5	2.7	2	1.5	7	2.8	9	6.4
5回	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	0.4	1	0.7
6回	3	0.6	0	0.0	0	0.0	1	0.4	2	1.4
7回	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.4	2	1.4
8回	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8	0	0.0
9回	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10回以上	0	0.0	2	1.1	1	0.8	2	0.8	1	0.7
不明・無回答	47	9.0	26	14.3	26	19.7	68	27.6	41	29.1

地域子育て支援事業の今後の利用意向 〈単数回答〉

就学前児童 問 18



			【問18】問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか				
			合計	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	不明・無回答
【問15】宛名のお子さまは現在、こども園や幼稚園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか	合計	件数	1,978	370	416	1,053	139
		%	100.0	18.7	21.0	53.2	7.0
	利用している	件数	1,113	198	111	718	86
		%	100.0	17.8	10.0	64.5	7.7
	利用していない	件数	861	171	305	334	51
		%	100.0	19.9	35.4	38.8	5.9
	不明・無回答	件数	4	1	-	1	2
		%	100.0	25.0	-	25.0	50.0

◆地域子育て支援拠点事業の利用回数・頻度（1週当たり／1か月当たり）〈数量回答〉

◇1週当たり／回

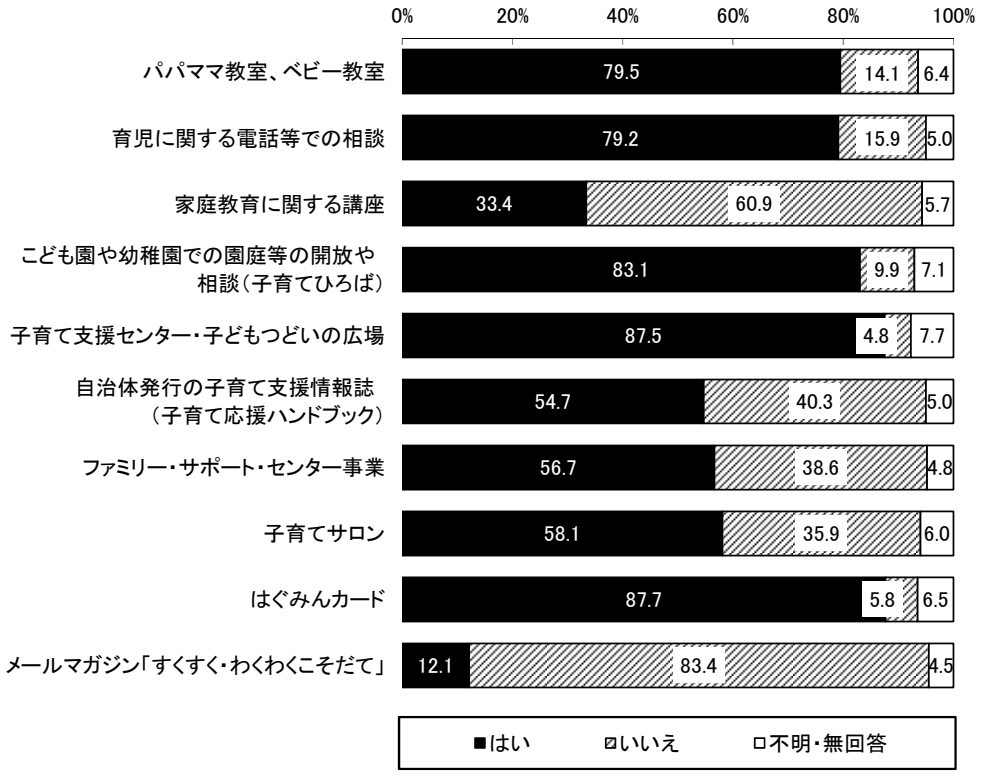
支援拠点	利用していないが、今後利用したい		すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1週当たり	件数（N=370）	%	件数（N=416）	%
1回	116	31.4	103	24.8
2回	18	4.9	41	9.9
3回	11	3.0	19	4.6
4回	0	0.0	6	1.4
5回	2	0.5	4	1.0
6回	0	0.0	0	0.0
7回	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	223	60.3	243	58.4

◇1か月当たり／回

支援拠点	利用していないが、今後利用したい		すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1か月当たり	件数（N=370）	%	件数（N=416）	%
1回	149	40.3	63	15.1
2回	72	19.5	105	25.2
3回	23	6.2	43	10.3
4回	25	6.8	44	10.6
5回	3	0.8	7	1.7
6回	2	0.5	5	1.2
7回	0	0.0	1	0.2
8回	2	0.5	6	1.4
9回	0	0.0	0	0.0
10回以上	7	1.9	6	1.4
不明・無回答	87	23.5	136	32.7

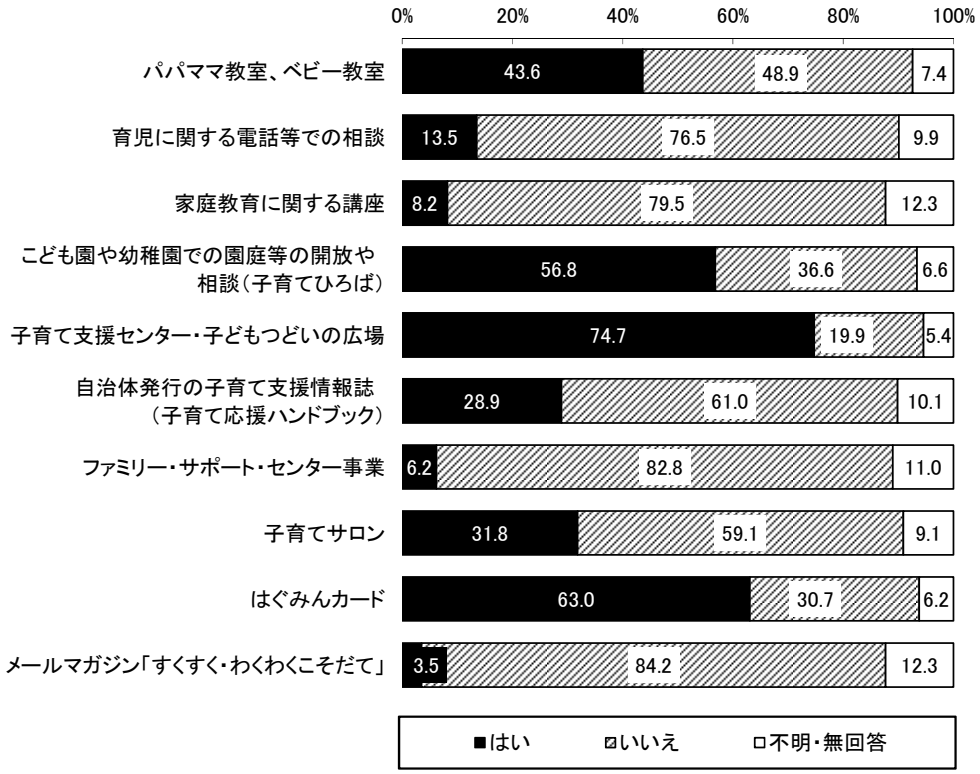
各事業について知っているか 〈単数回答〉

就学前児童 問 19



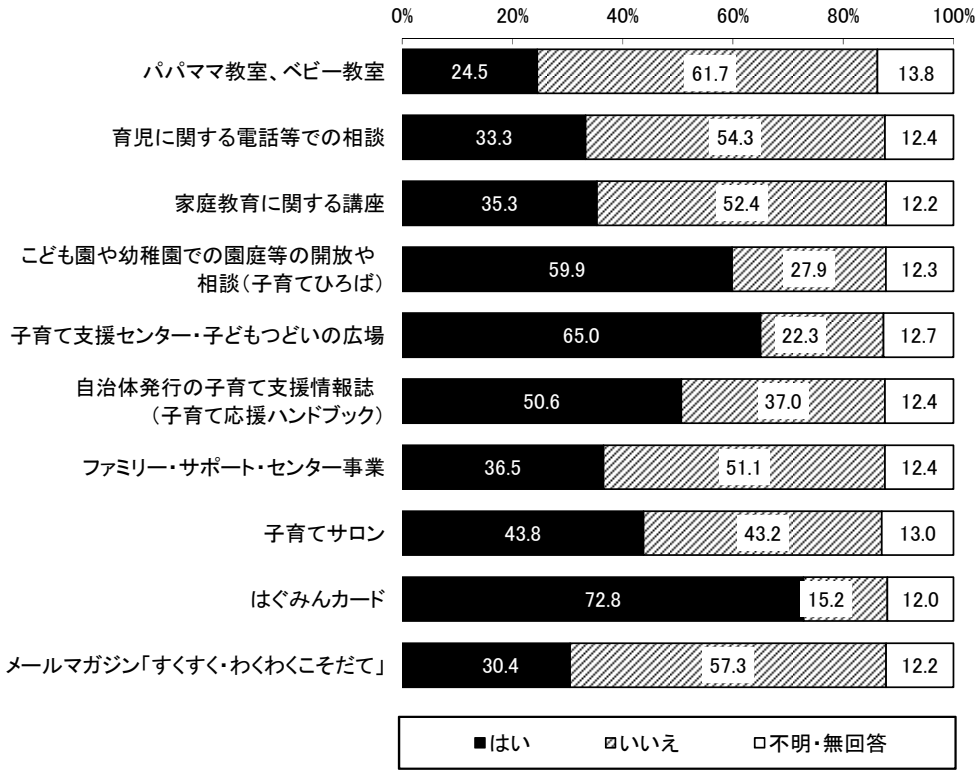
各事業についてこれまでに利用したことがあるか 〈単数回答〉

就学前児童 問 19



各事業について今後利用したいか 〈単数回答〉

就学前児童 問 19



5　土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

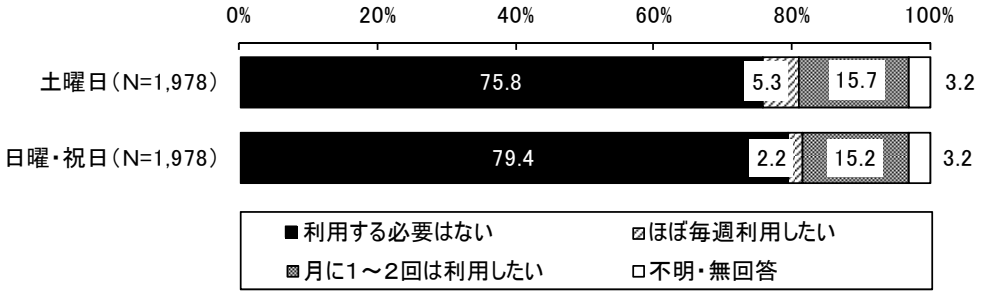
対象の子どもの土曜の定期的な教育・保育事業の利用希望 〈単数回答〉

土曜日は、「月に1～2回は利用したい」が 15.7%、「ほぼ毎週利用したい」が 5.3%となっています。

日曜・祝日は、「月に1～2回は利用したい」が 15.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.2%となっています。

土曜日、日曜・祝日ともに私立幼稚園利用者に比べて、こども園利用者で利用希望が高くなっています。

就学前児童 問 20(1)、(2)



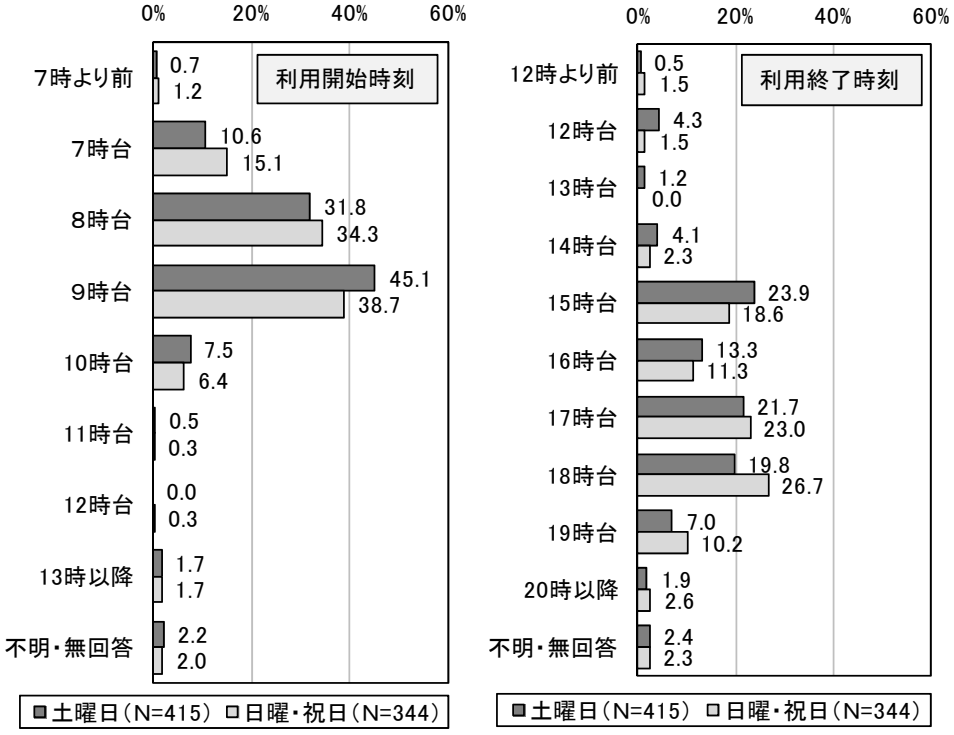
◆土曜日の教育・保育事業の利用希望×定期的な教育・保育事業別

		【問20(1)】土曜日の教育・保育事業の利用希望				
	上段:件数 下段:%	合計	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	不明・無回答
【問15-1】平日、定期的に利用している教育・保育事業	合計	1,113 100.0	790 71.0	71 6.4	221 19.9	31 2.8
	私立幼稚園	360 100.0	275 76.4	17 4.7	61 16.9	7 1.9
	私立幼稚園の預かり保育	32 100.0	22 68.8	2 6.3	7 21.9	1 3.1
	こども園	662 100.0	452 68.3	44 6.6	144 21.8	22 3.3
	保育ママ	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -
	事業所内保育施設	20 100.0	10 50.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0
	認可外保育施設・豊田市認証保育所	32 100.0	19 59.4	4 12.5	7 21.9	2 6.3
	とよたファミリー・サポート・センター	5 100.0	3 60.0	- -	2 40.0	- -
	その他	43 100.0	34 79.1	3 7.0	6 14.0	- -
	不明・無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

◆日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望×定期的な教育・保育事業別

		【問20(2)】日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望				
	上段:件数 下段:%	合計	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	不明・無回答
【問15-1】平日、定期的に利用している教育・保育事業	合計	1,113 100.0	839 75.4	26 2.3	222 19.9	26 2.3
	私立幼稚園	360 100.0	295 81.9	5 1.4	56 15.6	4 1.1
	私立幼稚園の預かり保育	32 100.0	22 68.8	1 3.1	9 28.1	- -
	こども園	662 100.0	477 72.1	16 2.4	147 22.2	22 3.3
	保育ママ	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -
	事業所内保育施設	20 100.0	11 55.0	1 5.0	7 35.0	1 5.0
	認可外保育施設・豊田市認証保育所	32 100.0	17 53.1	2 6.3	13 40.6	- -
	とよたファミリー・サポート・センター	5 100.0	4 80.0	- -	1 20.0	- -
	その他	43 100.0	36 83.7	2 4.7	5 11.6	- -
	不明・無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

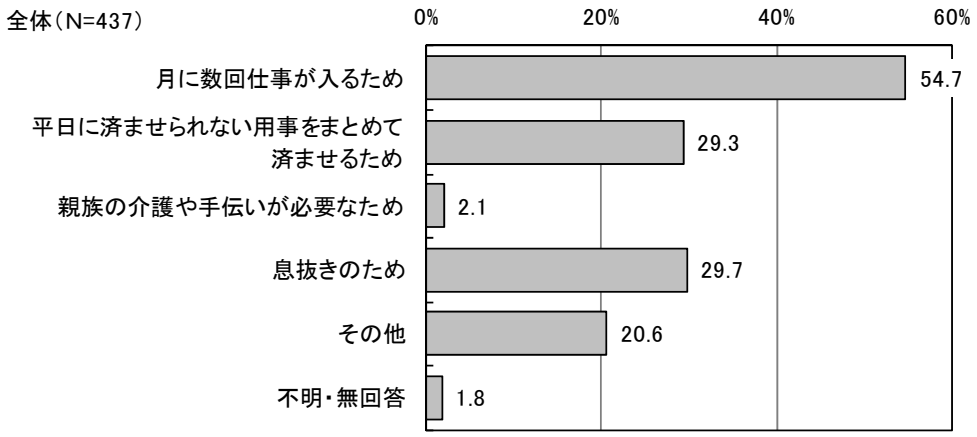
◆利用したい時間帯(土曜日／日曜・祝日) 〈数量回答〉



土曜日または日曜・祝日に「月に1～2回は利用したい」と回答した人のみ

毎週ではなく、たまに利用したい理由 〈複数回答〉

就学前児童問 20-1

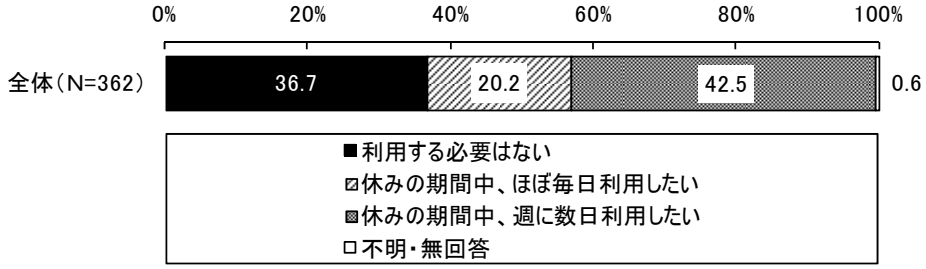


私立幼稚園を利用されている人のみ

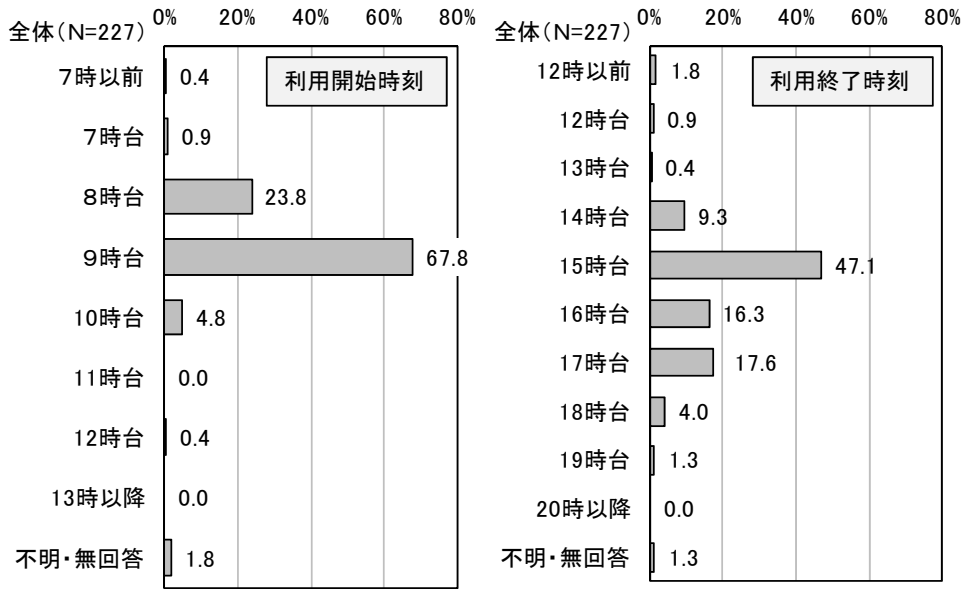
対象の子どもの夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望 〈単数回答〉

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせると62.7%となっており、長期休暇中の利用希望者は6割を超えています。

就学前児童問 21



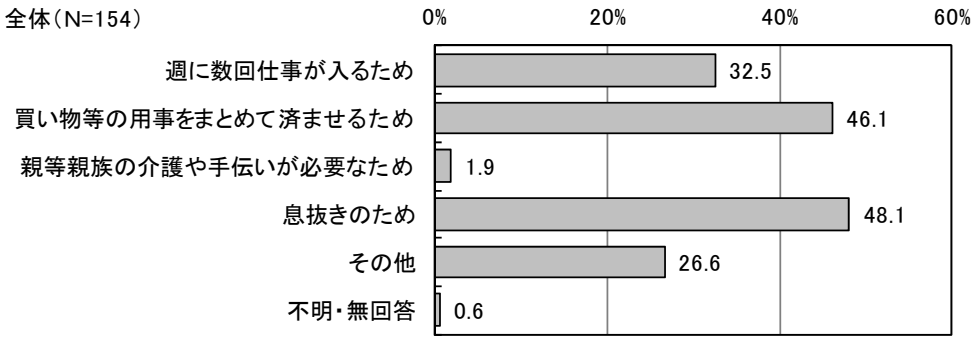
◆利用したい時間帯 〈数量回答〉



「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人のみ

毎日ではなく、たまに利用したい理由 〈複数回答〉

就学前児童問 21-1



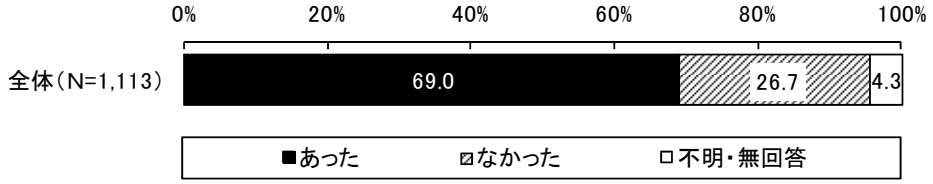
６　病気の際の対応

（平日の教育・保育事業を利用している就学前児童の人のみ）

定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した人のみ

この１年間に、対象の子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無 〈単数回答〉

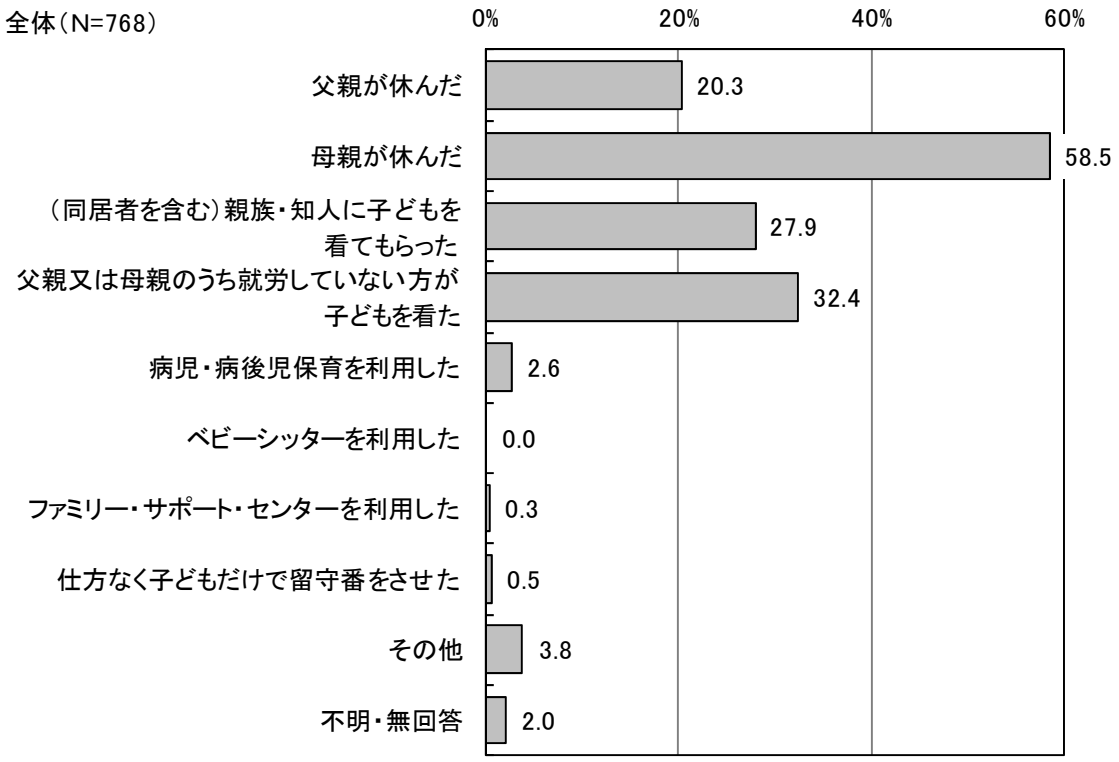
就学前児童 問 22



定期的な教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」と回答した人のみ

普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合のこの１年間の対処方法 〈複数回答〉

就学前児童 問 22-1



◆日数 〈数量回答〉

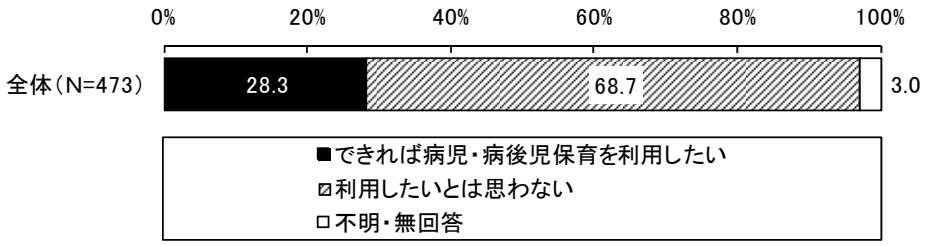
対処方法	父親が休んだ		母親が休んだ		（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった		父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た		病児・病後児保育を利用した		ファミリー・サポート・センターを利用した		仕方なく子どもだけで留守番をさせた		その他	
年間	件数（N=156）	%	件数（N=449）	%	件数（N=214）	%	件数（N=249）	%	件数（N=20）	%	件数（N=2）	%	件数（N=4）	%	件数（N=29）	%
1日	51	32.7	43	9.6	29	13.6	31	12.4	4	20.0	0	0.0	2	50.0	5	17.2
2日	36	23.1	77	17.1	34	15.9	26	10.4	2	10.0	1	50.0	1	25.0	1	3.4
3日	21	13.5	63	14.0	37	17.3	26	10.4	2	10.0	0	0.0	1	25.0	6	20.7
4日	10	6.4	26	5.8	4	1.9	9	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.4
5日	24	15.4	54	12.0	37	17.3	36	14.5	3	15.0	1	50.0	0	0.0	3	10.3
6日	1	0.6	12	2.7	4	1.9	7	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.4
7日	2	1.3	24	5.3	5	2.3	12	4.8	1	5.0	0	0.0	0	0.0	1	3.4
8日	1	0.6	10	2.2	2	0.9	8	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	2	0.4	2	0.9	3	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	7	4.5	123	27.4	49	22.9	74	29.7	8	40.0	0	0.0	0	0.0	7	24.1
不明・無回答	3	1.9	15	3.3	11	5.1	17	6.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	13.8

※問 22-1 で「ベビーシッターを利用した」と回答した人はいなかった。

過去1年間の対処方法として「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した人のみ

「できれば病児・病後児保育を利用したい」と思ったか 〈単数回答〉

就学前児童問 22-2



（できれば病児・病後児保育を利用したい）

◆日数 〈数量回答〉

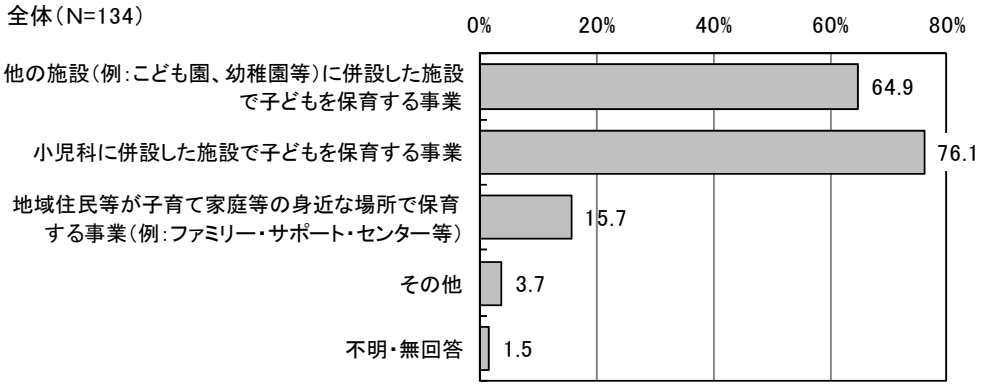
年間	件数（N=134）	%
1日	12	9.0
2日	20	14.9
3日	18	13.4
4日	8	6.0
5日	30	22.4
6日	1	0.7
7日	8	6.0
8日	0	0.0
9日	1	0.7
10日以上	29	21.6
不明・無回答	7	5.2

「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答した人のみ

病児・病後児保育を利用する場合に望ましい事業形態 〈複数回答〉

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 76.1%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 64.9%となっています。

就学前児童問 22-3

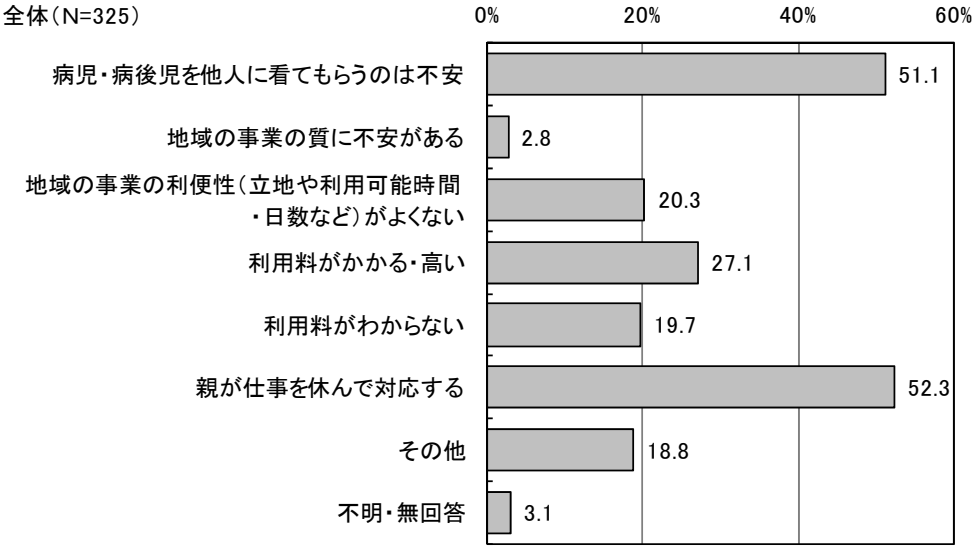


病児・病後児保育を「利用したいとは思わない」と回答した人のみ

利用したいとは思わない理由 〈複数回答〉

「親が仕事を休んで対応する」が 52.3%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 51.1%となっています。

就学前児童問 22-4

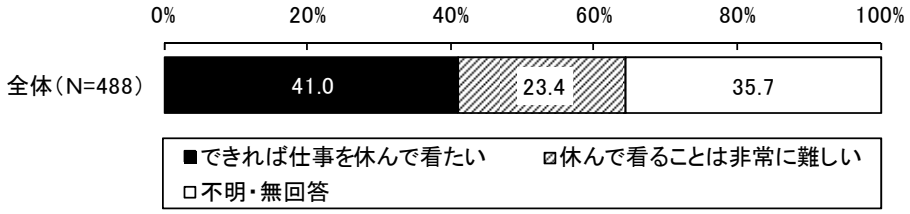


「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」「病児・病後児保育を利用した」「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」のいずれかに回答した人のみ

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか 〈単数回答〉

「できれば仕事を休んで看たい」が 41.0%、「休んで看ることは非常に難しい」が 23.4%となっています。

就学前児童問 22-5



（できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい）

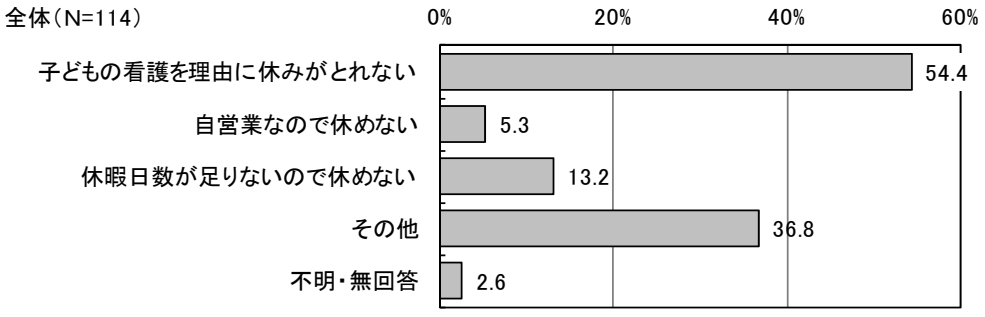
◆日数 〈数量回答〉

年間	件数（N=200）	%
1日	32	16.0
2日	37	18.5
3日	32	16.0
4日	7	3.5
5日	25	12.5
6日	3	1.5
7日	6	3.0
8日	2	1.0
9日	1	0.5
10日以上	40	20.0
不明・無回答	15	7.5

父母のいずれかが仕事を「休んで看ることは非常に難しい」と回答した人のみ

休んで看ることは非常に難しい理由 〈複数回答〉

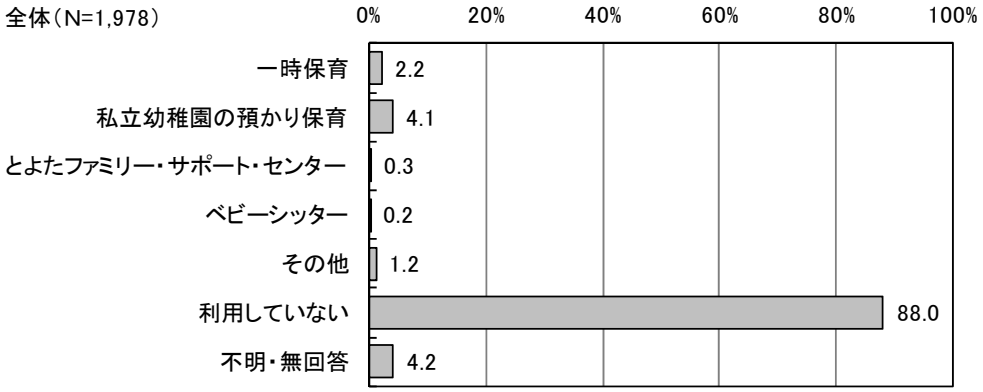
就学前児童問 22-6



7　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業があるか 〈複数回答〉

就学前児童問 23



◆利用している日数（年間） 〈数量回答〉

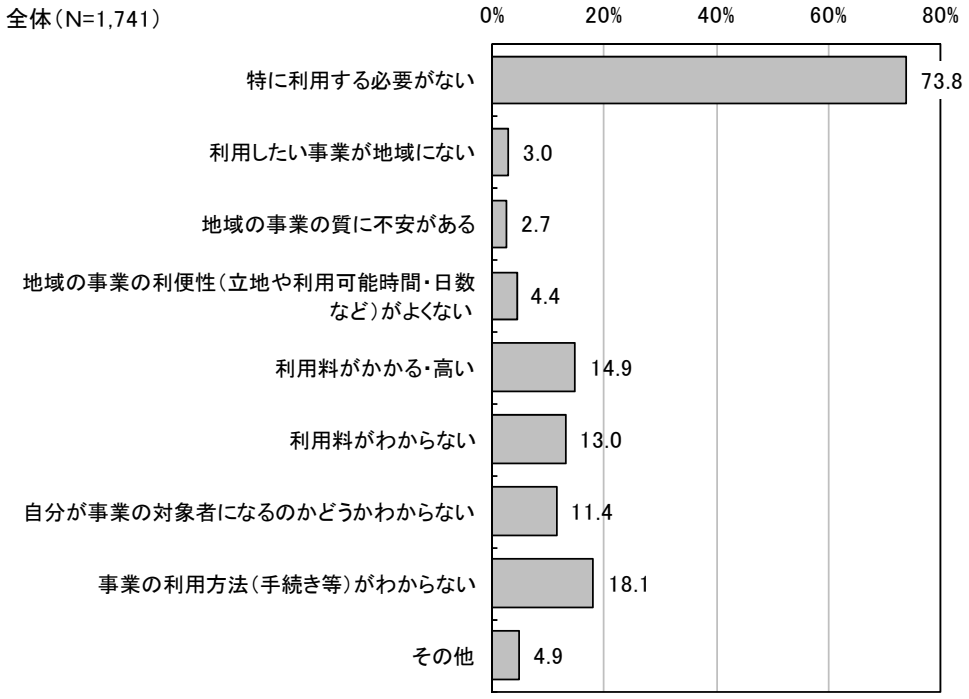
対処方法	一時保育		私立幼稚園の預かり保育		とよたファミリー・サポート・センター		ベビーシッター		その他	
年間	件数（N=44）	%	件数（N=82）	%	件数（N=6）	%	件数（N=3）	%	件数（N=23）	%
1日	12	27.3	8	9.8	0	0.0	1	33.3	5	21.7
2日	6	13.6	12	14.6	2	33.3	0	0.0	4	17.4
3日	2	4.5	11	13.4	1	16.7	0	0.0	2	8.7
4日	4	9.1	4	4.9	0	0.0	0	0.0	1	4.3
5日	4	9.1	8	9.8	1	16.7	0	0.0	1	4.3
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	4	9.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.3
8日	1	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0
10日以上	8	18.2	37	45.1	1	16.7	1	33.3	6	26.1
不明・無回答	3	6.8	2	2.4	1	16.7	0	0.0	3	13.0

不定期の教育・保育事業を「利用していない」と回答した人のみ

利用していない理由 〈複数回答〉

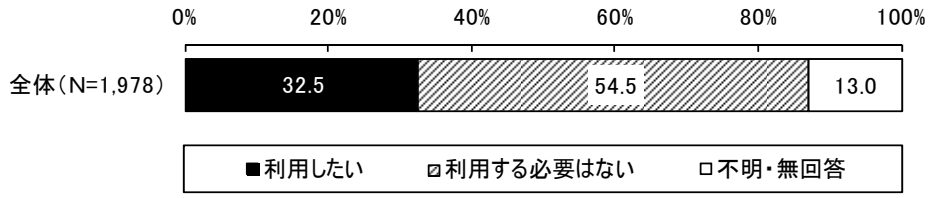
「特に利用する必要がない」が 73.8%と最も高くなっている一方、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 18.1%、「利用料がかかる・高い」が 14.9%となっています。

就学前児童問 23-1



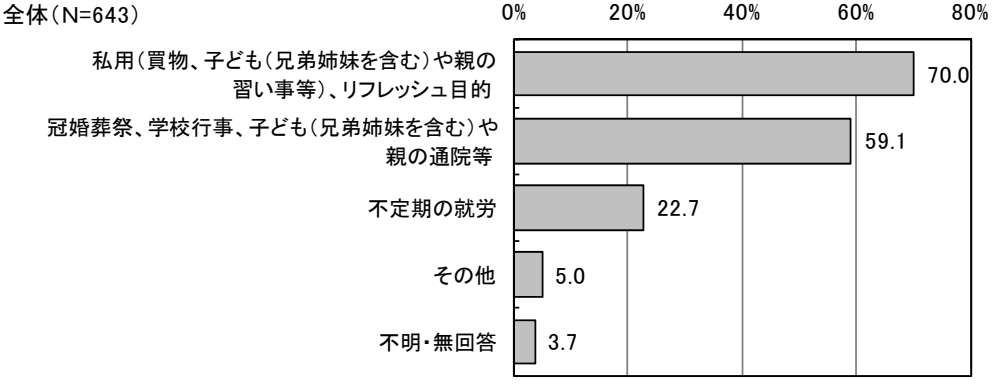
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望の有無〈単数回答〉

就学前児童問 24



(利用したい)

◆目的別利用希望内容(年間) 〈複数回答〉



（利用したい）

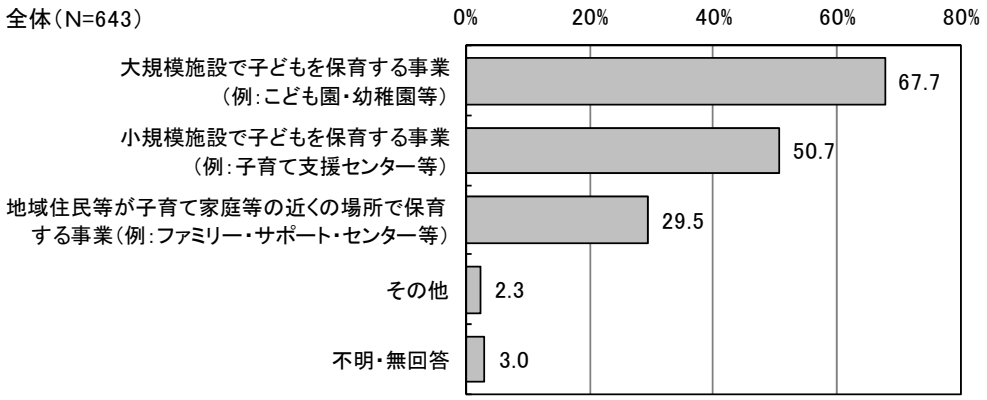
◆目的別利用希望日数（年間）〈数量回答〉

対処方法	利用したい		私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		不定期の就労		その他	
年間	件数（N=643）	%	件数（N=450）	%	件数（N=380）	%	件数（N=146）	%	件数（N=32）	%
1日	16	2.5	23	5.1	22	5.8	3	2.1	2	6.3
2日	22	3.4	28	6.2	49	12.9	6	4.1	3	9.4
3日	35	5.4	38	8.4	51	13.4	10	6.8	2	6.3
4日	21	3.3	17	3.8	11	2.9	7	4.8	2	6.3
5日	52	8.1	68	15.1	69	18.2	19	13.0	5	15.6
6日	19	3.0	26	5.8	26	6.8	3	2.1	1	3.1
7日	17	2.6	4	0.9	12	3.2	1	0.7	1	3.1
8日	14	2.2	4	0.9	6	1.6	2	1.4	1	3.1
9日	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	379	58.9	231	51.3	125	32.9	88	60.3	12	37.5
不明・無回答	67	10.4	11	2.4	9	2.4	7	4.8	3	9.4

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を「利用したい」と回答した人のみ

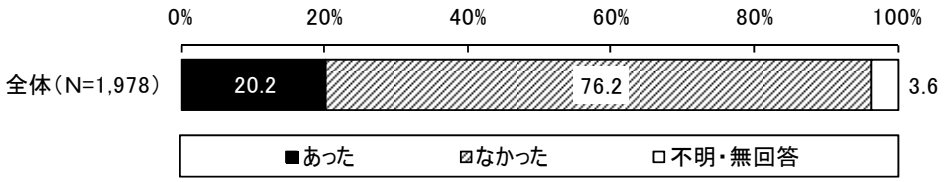
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する場合に望ましい事業形態 〈複数回答〉

就学前児童 問 24-1



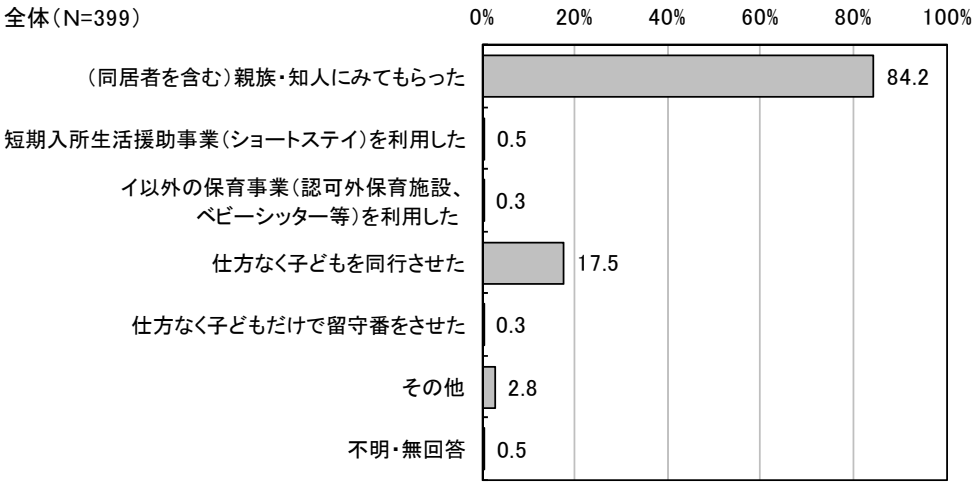
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象の子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない状況の有無 〈単数回答〉

就学前児童 問 25



（あった）

◆対処方法（年間） 〈複数回答〉



（あった）

◆対処方法別宿泊数（年間） 〈数量回答〉

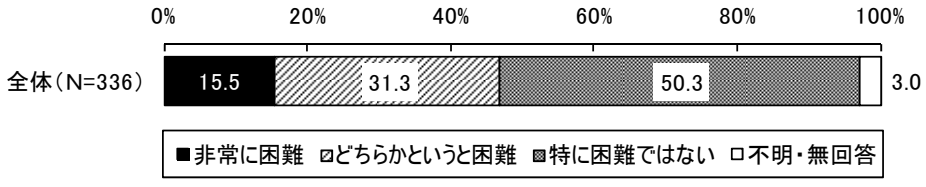
対処方法	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった		短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した		仕方なく子どもを同行させた		その他	
年間	件数（N=336）	%	件数（N=2）	%	件数（N=70）	%	件数（N=11）	%
1日	83	24.7	0	0.0	21	30.0	2	18.2
2日	48	14.3	0	0.0	19	27.1	2	18.2
3日	36	10.7	1	50.0	10	14.3	1	9.1
4日	20	6.0	0	0.0	3	4.3	0	0.0
5日	49	14.6	0	0.0	4	5.7	0	0.0
6日	12	3.6	0	0.0	1	1.4	0	0.0
7日	16	4.8	0	0.0	3	4.3	1	9.1
8日	3	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	2	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	62	18.5	0	0.0	4	5.7	2	18.2
不明・無回答	5	1.5	1	50.0	5	7.1	3	27.3

※問 25 で「イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した人は各 N=1 で「不明・無回答」であった

泊まりがけで家族以外に看てもらわなければならない状態が「あった」「（同居者を含む）親族・知人に看てもらった」と回答した人のみ

子どもを親族・知人に泊まりがけで預けた際の困難度 〈単数回答〉

就学前児童 問 25-1

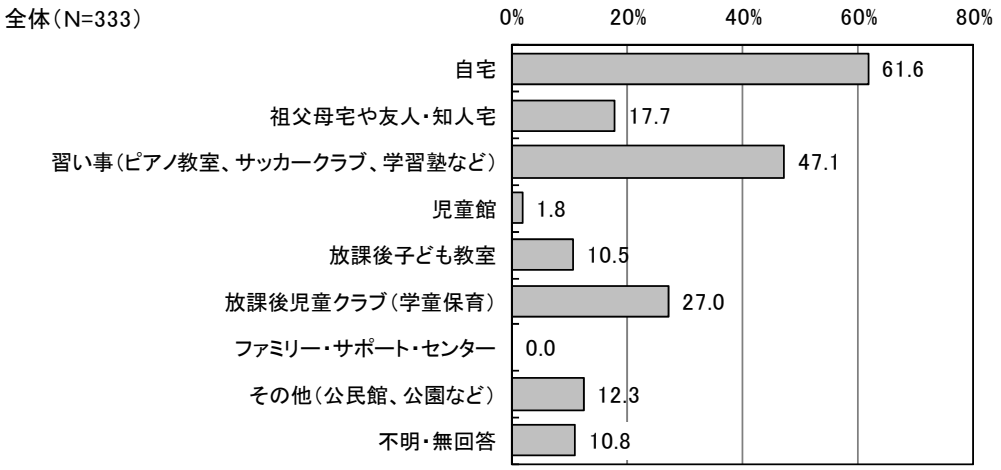


8　小学校就学後の放課後の過ごし方

（５歳の就学前児童の人のみ）

対象の子どもについて、小学校低学年（1～3年生）の放課後（平日の小学校終了後）の時間は、どのような場所で過ごさせたいか 〈複数回答〉

就学前児童 問 26



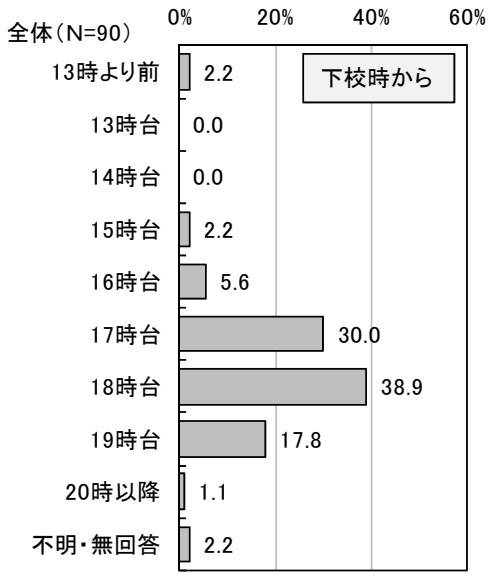
◆希望日数（週当たり） 〈数量回答〉

過させたい場所	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）		児童館		放課後子ども教室		放課後児童クラブ（学童保育）		その他（公民館、公園など）	
週当たり	件数（N=205）	%	件数（N=59）	%	件数（N=157）	%	件数（N=6）	%	件数（N=35）	%	件数（N=90）	%	件数（N=41）	%
1日	16	7.8	25	42.4	58	36.9	1	16.7	15	42.9	3	3.3	11	26.8
2日	40	19.5	22	37.3	69	43.9	1	16.7	6	17.1	10	11.1	14	34.1
3日	48	23.4	1	1.7	25	15.9	0	0.0	6	17.1	8	8.9	8	19.5
4日	30	14.6	0	0.0	5	3.2	1	16.7	0	0.0	13	14.4	4	9.8
5日	53	25.9	7	11.9	0	0.0	2	33.3	4	11.4	53	58.9	1	2.4
6日	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0
7日	5	2.4	1	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	12	5.9	3	5.1	0	0.0	1	16.7	4	11.4	2	2.2	3	7.3

※問 26 で「ファミリー・サポート・センター」と回答した人はいなかった

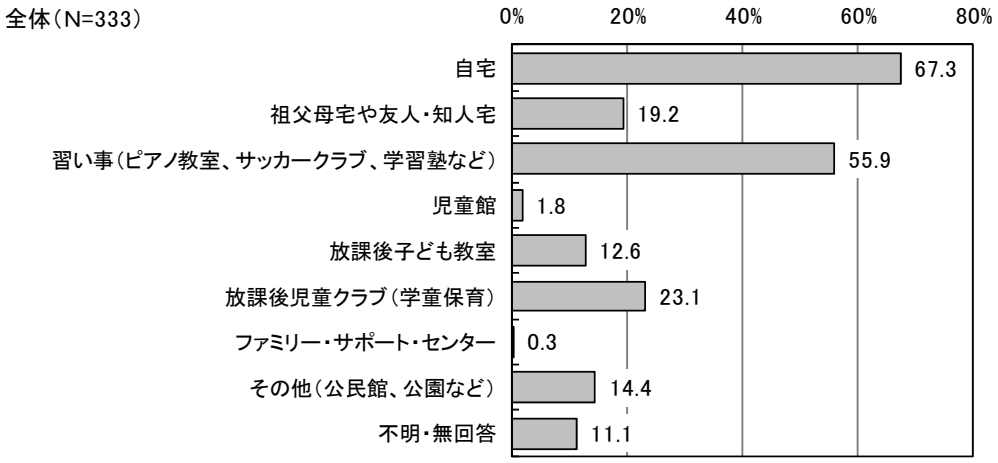
（放課後児童クラブ（学童保育））

◆過ごさせたい時間（下校時から）<数量回答>



小学校高学年（4～6年生）の放課後（平日の小学校終了後）の時間は、どのような場所で過ごさせたいか
<複数回答>

就学前児童問 27

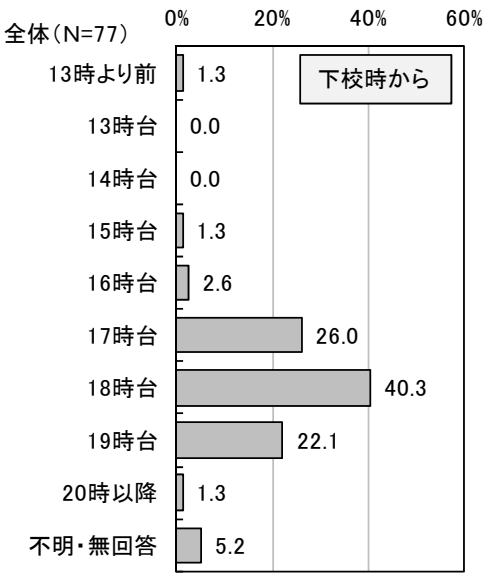


◆希望日数（週当たり） <数量回答>

過ごさせたい場所	自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）		児童館		放課後子ども教室		放課後児童クラブ（学童保育）		ファミリー・サポート・センター		その他（公民館、公園など）	
週当たり	件数（N=224）	%	件数（N=64）	%	件数（N=186）	%	件数（N=6）	%	件数（N=42）	%	件数（N=77）	%	件数（N=1）	%	件数（N=48）	%
1日	28	12.5	28	43.8	43	23.1	2	33.3	21	50.0	6	7.8	0	0.0	12	25.0
2日	55	24.6	20	31.3	84	45.2	1	16.7	6	14.3	10	13.0	0	0.0	14	29.2
3日	47	21.0	2	3.1	39	21.0	0	0.0	9	21.4	12	15.6	0	0.0	8	16.7
4日	19	8.5	2	3.1	11	5.9	1	16.7	0	0.0	6	7.8	0	0.0	4	8.3
5日	51	22.8	6	9.4	2	1.1	1	16.7	5	11.9	40	51.9	1	100.0	4	8.3
6日	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	7	3.1	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.6	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	17	7.6	5	7.8	6	3.2	1	16.7	1	2.4	1	1.3	0	0.0	6	12.5

（放課後児童クラブ（学童保育））

◆過ごさせたい時間（下校時から）<数量回答>



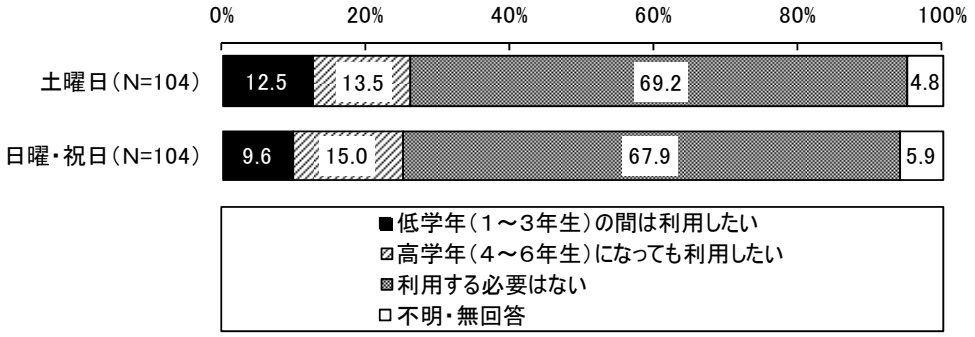
小学校低学年・高学年の放課後の過ごし方として「放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した人のみ

土曜日、日曜・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 〈単数回答〉

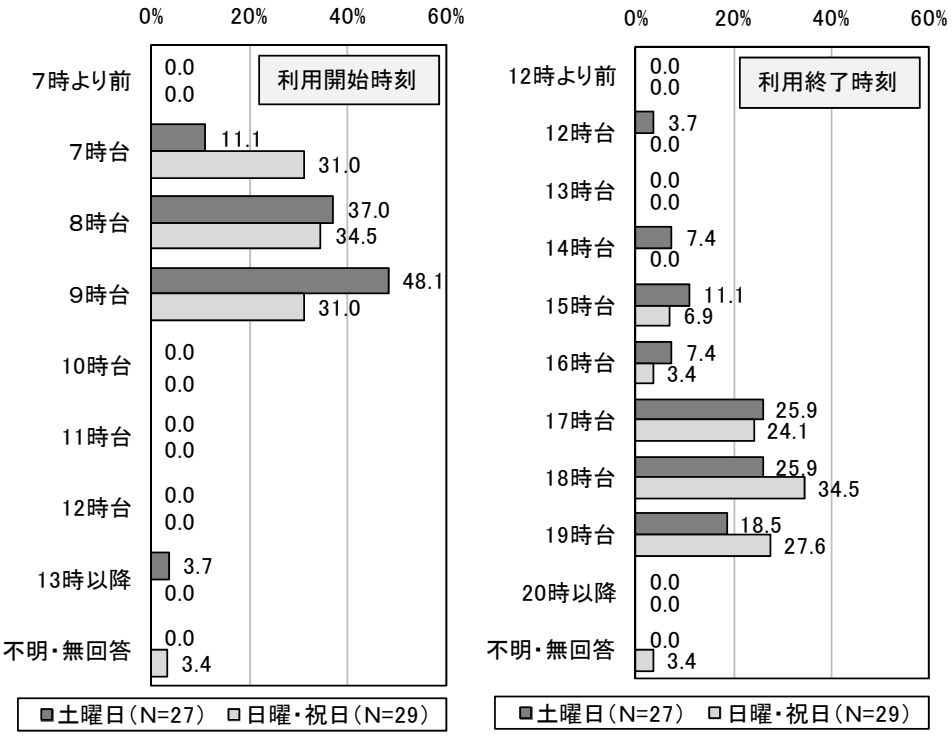
土曜日は、「低学年の間は利用したい」が 12.5%、「高学年になっても利用したい」が 13.5%となっており、合わせて 26.0%となっています。

日曜・祝日は、「低学年の間は利用したい」が 9.6%、「高学年になっても利用したい」が 15.0%となっており、合わせて 24.6%となっています。

就学前児童 問 28(1)



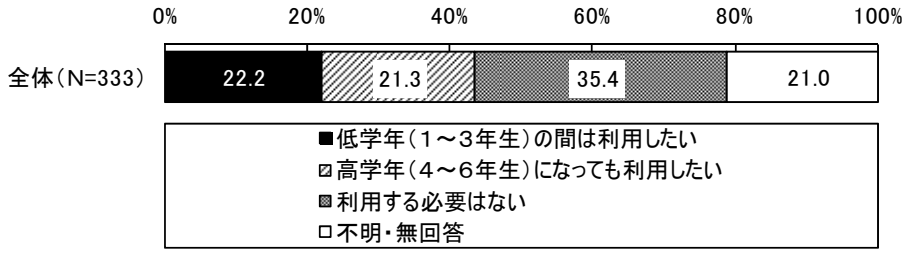
◆利用したい時間帯 〈数量回答〉



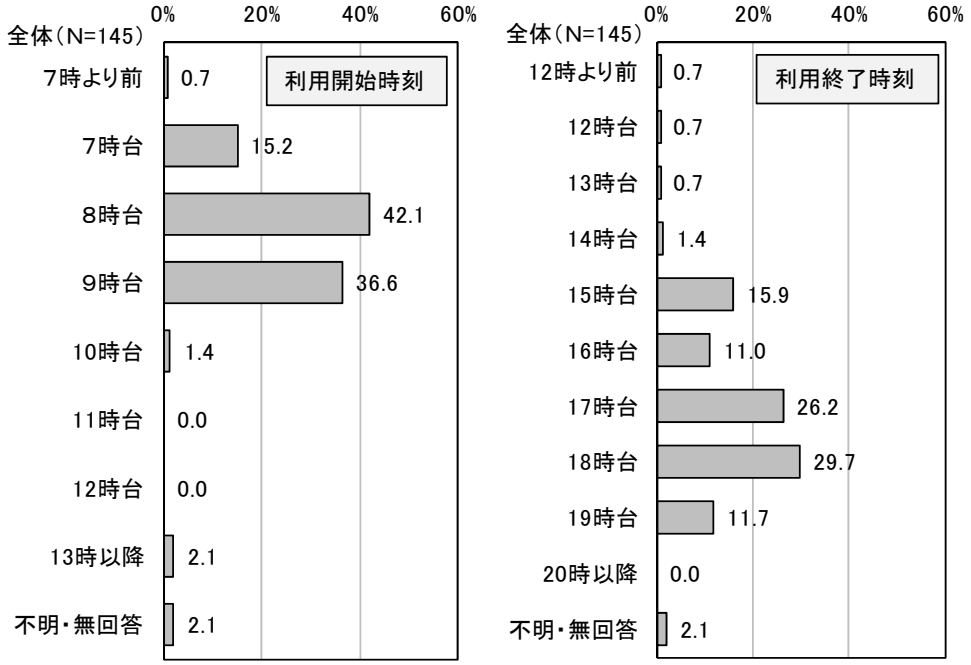
夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 〈単数回答〉

「低学年の間は利用したい」が 22.2%、「高学年になっても利用したい」が 21.3%となっており、合わせて 43.5%となっています。

就学前児童 問 29



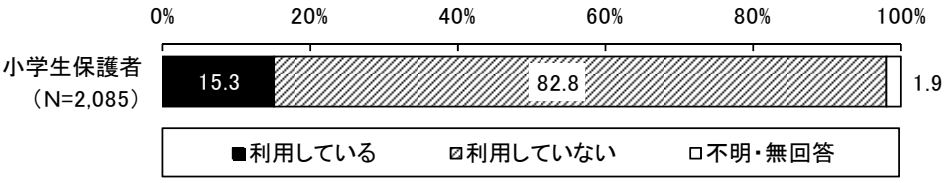
◆利用したい時間帯 〈数量回答〉



９　放課後児童クラブの利用

現在の放課後児童クラブの利用の有無 〈単数回答〉

小学生保護者問 13



放課後児童クラブを「利用している」と回答した人のみ

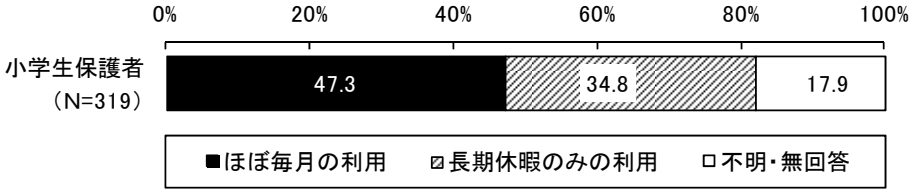
利用状況及び利用している理由 〈単数回答〉

利用状況は、「ほぼ毎月の利用」が 47.3%と最も高く、次いで「長期休暇のみの利用」が 34.8%となっています。

日数は、「ほぼ毎月の利用」「長期休暇のみの利用」ともに「５日」が最も高くなっています。

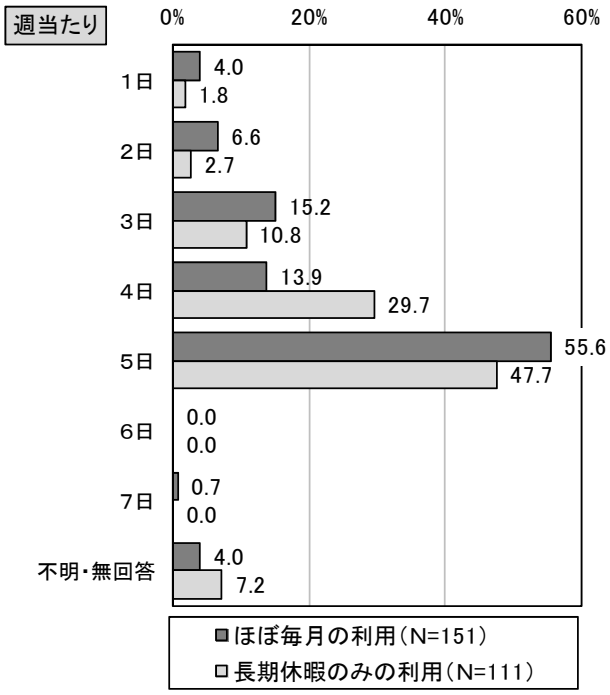
利用している理由は、主に子どもの身の回りの世話をしている人が、「現在就労している」が 92.2%と最も高くなっています。

小学生保護者問 13-1

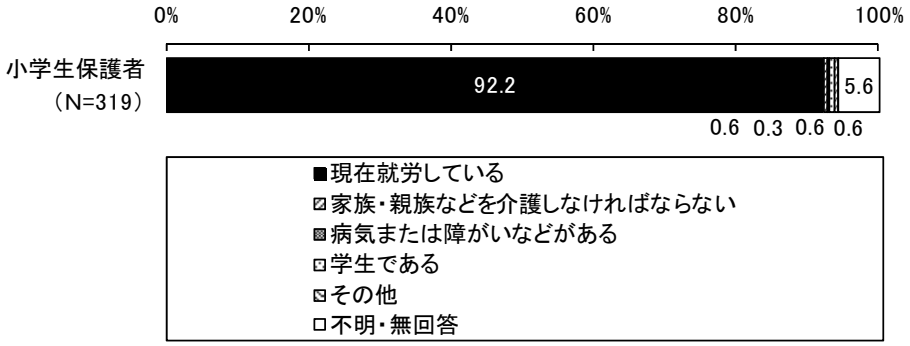


（ほぼ毎月の利用）または（長期休暇のみの利用）

◆日数 〈数量回答〉



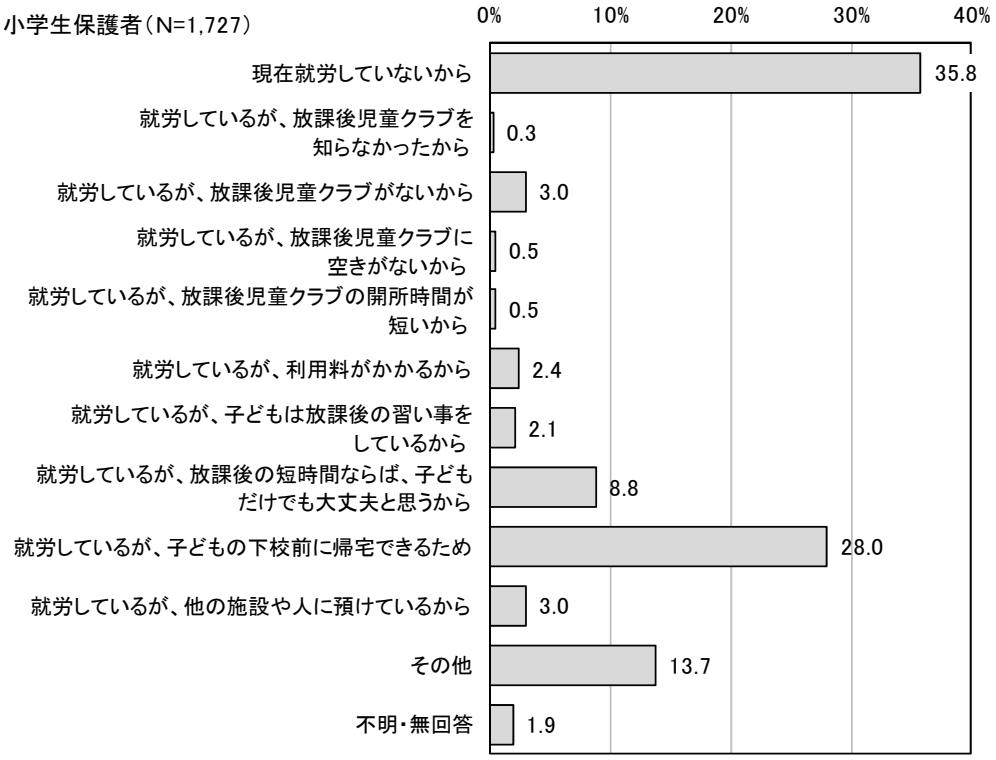
◆利用している理由 （主に子どもの身の回りの世話をしているの状況）〈数量回答〉



放課後児童クラブを「利用していない」と回答した人のみ

利用していない理由（主に子どもの身の回りの世話をしているの状況） 〈単数回答〉

小学生保護者問 13-2

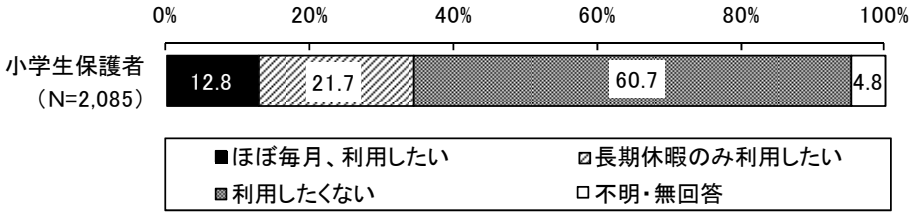


今後の放課後児童クラブの利用の有無 〈単数回答〉

「利用したくない」が 60.7%と最も高く、次いで「長期休暇のみ利用したい」が 21.7%、「ほぼ毎月、利用したい」が 12.8%となっています。「長期休暇のみ利用したい」「ほぼ毎月、利用したい」ともに、週当たり「5日」が5割強と高くなっています。

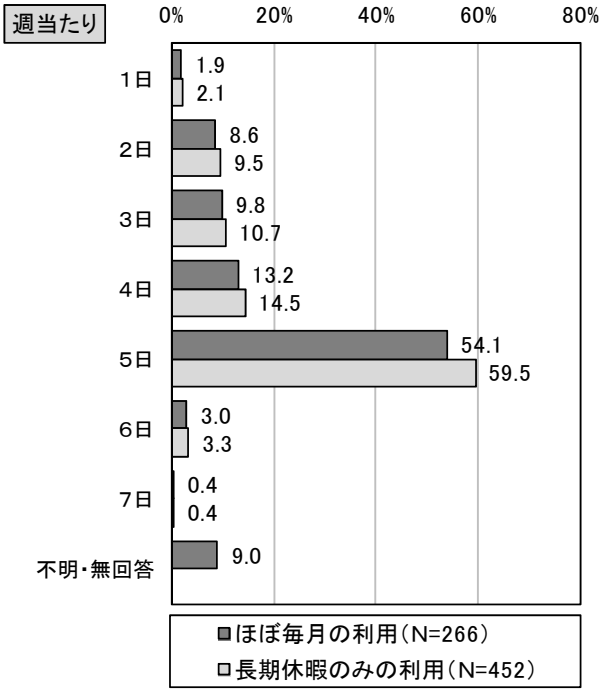
土日の利用希望は、「ほぼ毎月、利用したい」人で 24.4%、「長期休暇のみ利用したい」人で 15.3%となっています。

小学生保護者問 14



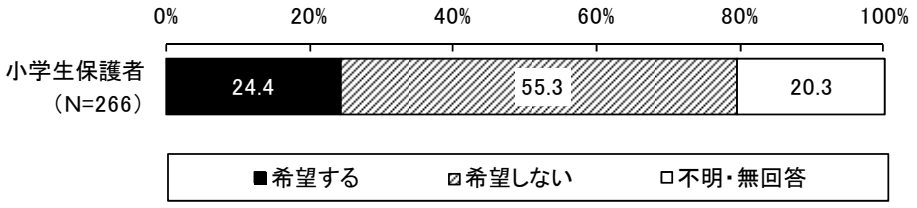
（ほぼ毎月、利用したい）（長期休暇のみ利用したい）

◆日数 〈数量回答〉



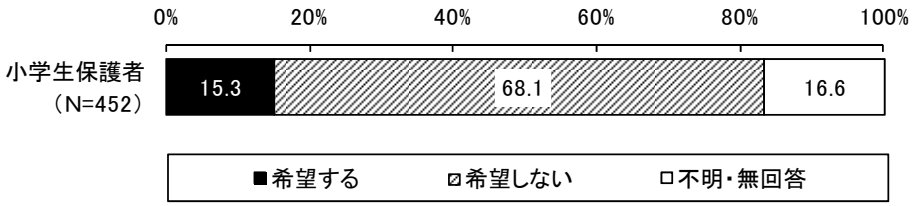
（ほぼ毎月、利用したい）

◆土日の利用希望 〈単数回答〉



（長期休暇のみ利用したい）

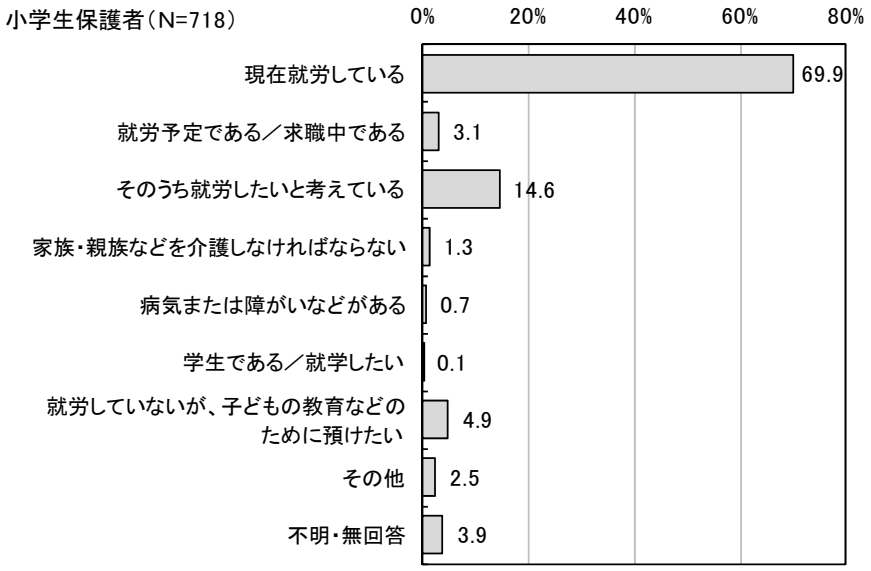
◆土日の利用希望 〈単数回答〉



「ほぼ毎月、利用したい」「長期休暇のみ利用したい」と回答した人のみ

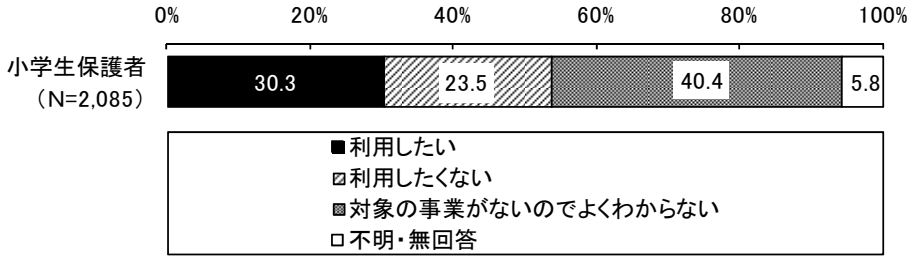
利用したい理由（主に子どもの身の回りの世話をしている人の状況） 〈単数回答〉

小学生保護者問 14-1



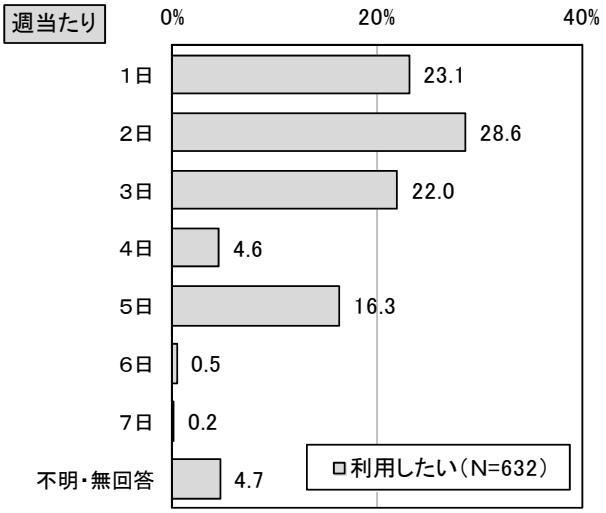
放課後子ども教室の利用希望 〈単数回答〉

小学生保護者問 15



（利用したい）

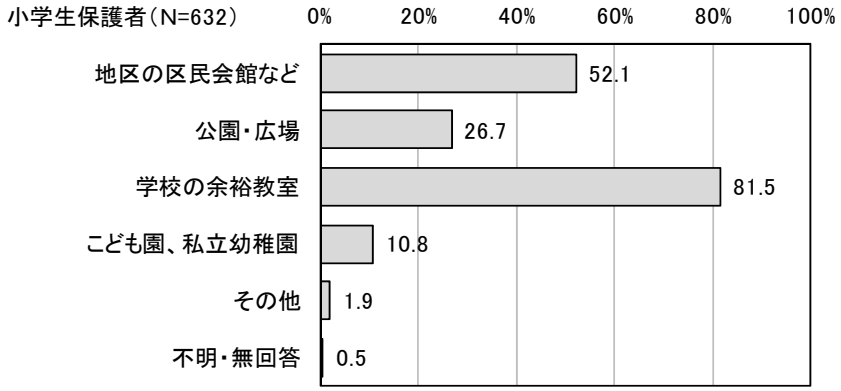
◆日数 〈数量回答〉



放課後子ども教室を「利用したい」と回答した人のみ

希望する利用場所 〈複数回答〉

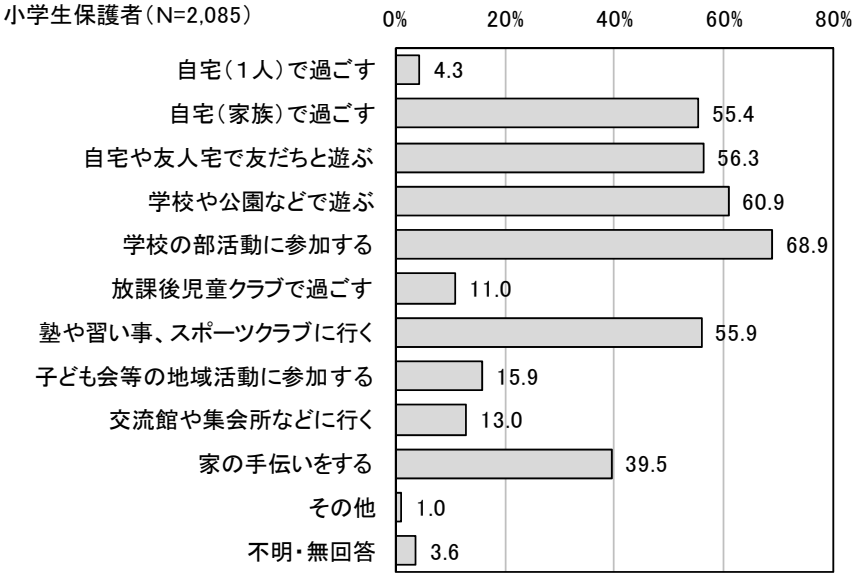
小学生保護者問 15-1



小学4年生以降の望ましい放課後の過ごし方 〈複数回答〉

「学校の部活動に参加する」が 68.9%と最も高く、次いで「学校や公園などで遊ぶ」が 60.9%となっています。「自宅（家族）で過ごす」「自宅や友人宅で友だちと遊ぶ」「塾や習い事、スポーツクラブに行く」についても、5割を超えて高くなっています。

小学生保護者問 16

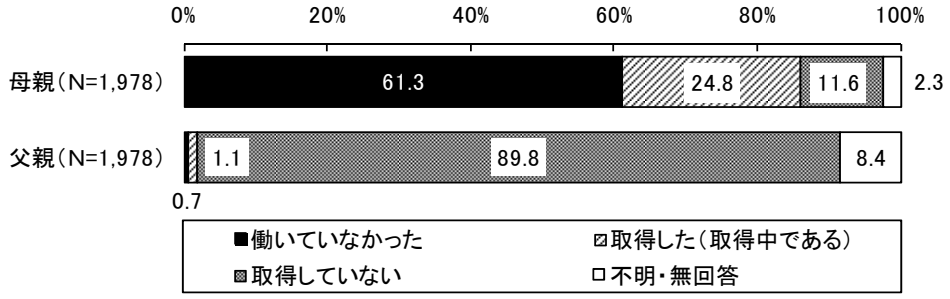


10　育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

対象の子どもの出産時における育児休業の取得状況 〈単数回答〉

母親は、「働いていなかった」が 61.3%と最も高く、父親は、「取得していない」が 89.8%と最も高くなっています。

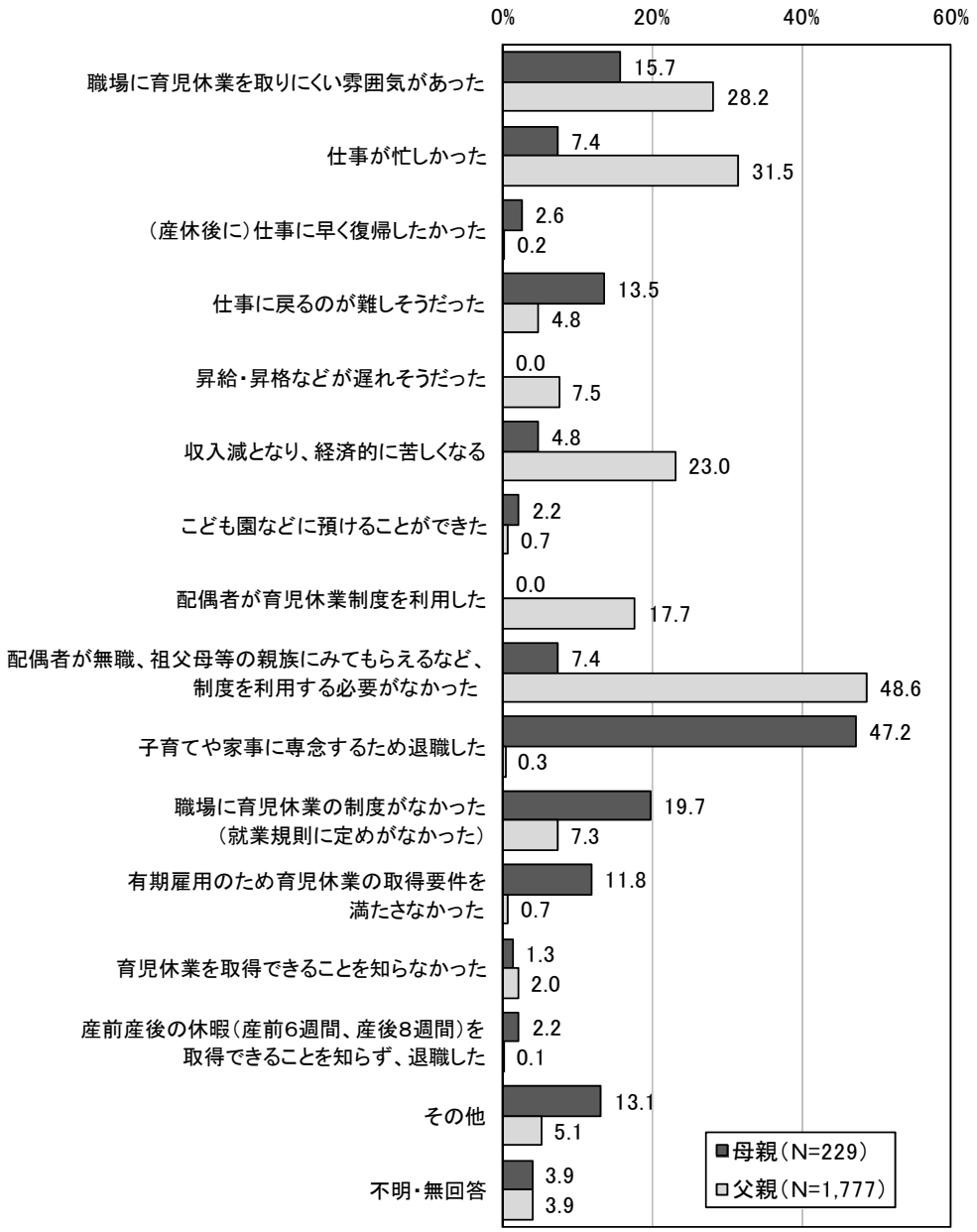
就学前児童 問 30



（取得していない）

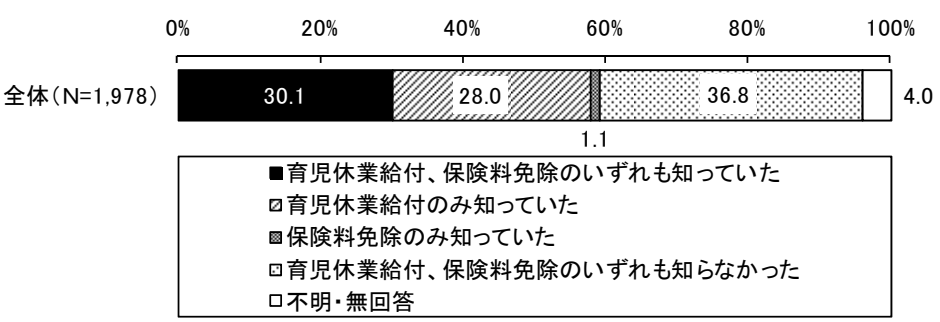
◆取得していない理由 〈複数回答〉

母親は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 47.2%と最も高く、父親は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 48.6%と最も高くなっています。



育児休業給付及び保険料免除の認知度 〈単数回答〉

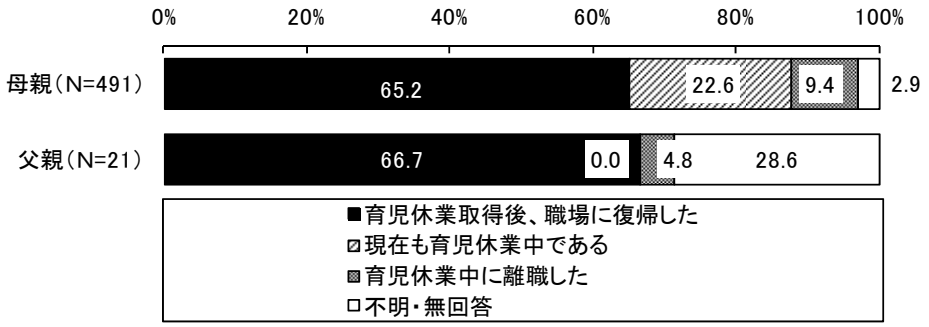
就学前児童 問 30-1



育児休業を「取得した（取得中である）」と回答した人のみ

育児休業取得後の職場復帰状況 〈単数回答〉

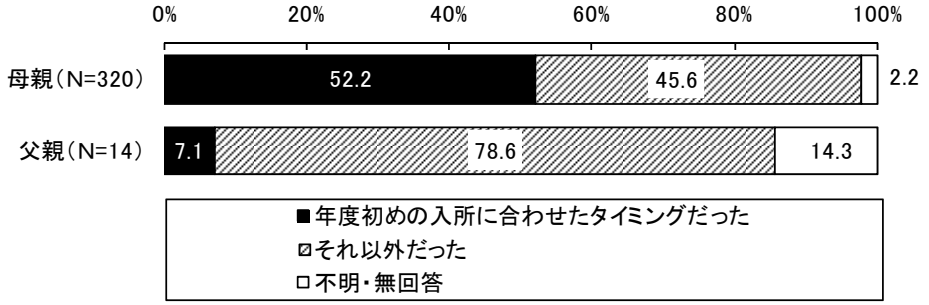
就学前児童 問 30-2



育児休業を取得後に「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

職場復帰は年度初めのこども園入園に合わせたタイミングだったか 〈単数回答〉

就学前児童 問 30-3

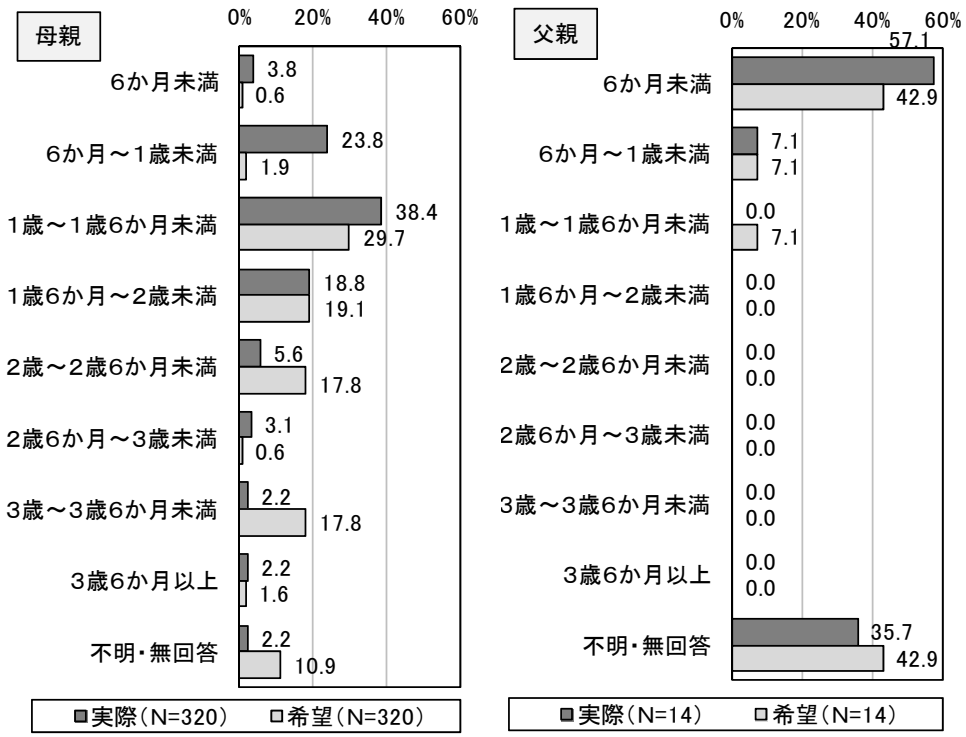


◆母親が育児休業から復帰したタイミング × 定期的な教育・保育事業別

		【問30-3(1)】母親が育児休業から復帰したタイミング			
	上段：件数 下段：%	合計	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	それ以外だった	不明・無回答
【問15-1】平日、定期的に利用している教育・保育事業	合計	271 100.0	148 54.6	120 44.3	3 1.1
	私立幼稚園	26 100.0	9 34.6	17 65.4	- -
	私立幼稚園の預かり保育	9 100.0	3 33.3	6 66.7	- -
	こども園	217 100.0	136 62.7	78 35.9	3 1.4
	保育ママ	1 100.0	- -	1 100.0	- -
	事業所内保育施設	10 100.0	- -	10 100.0	- -
	認可外保育施設・豊田市認証保育所	15 100.0	3 20.0	12 80.0	- -
	とよたファミリー・サポート・センター	1 100.0	- -	1 100.0	- -
	その他	4 100.0	- -	4 100.0	- -
	不明・無回答	- -	- -	- -	- -

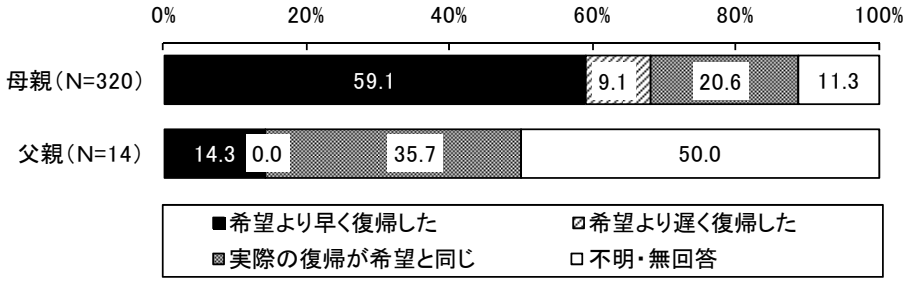
職場復帰時の子どもの年齢／育児休業をとりたかった子どもの年齢 〈数量回答〉

就学前児童 問 30-4



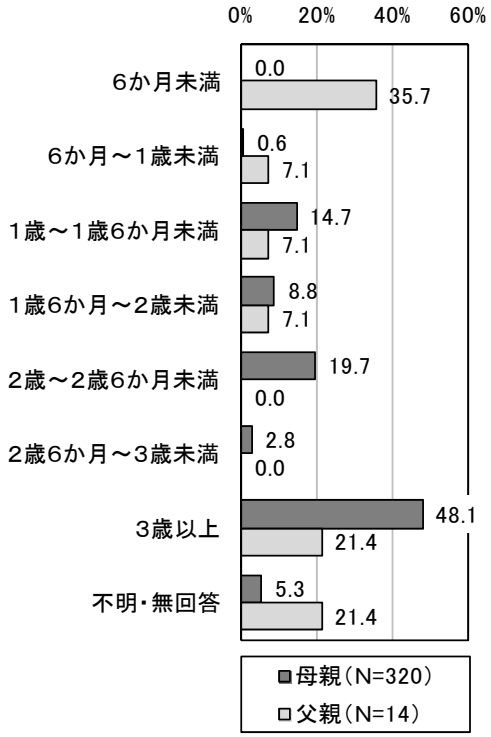
◆職場復帰は希望どおりのタイミングであったか 〈問 30-4 職場復帰の実際と希望の差〉

母親の 59.1%が「希望より早く復帰した」と回答しており、「希望より遅く復帰した」と「実際の復帰が希望と同じ」を合わせた 29.7%を大きく上回っています。



職場に3歳まで育児休業取得が可能な制度があった場合、希望として子どもが何歳の時までとりたかったか
〈数量回答〉

就学前児童問 30-5

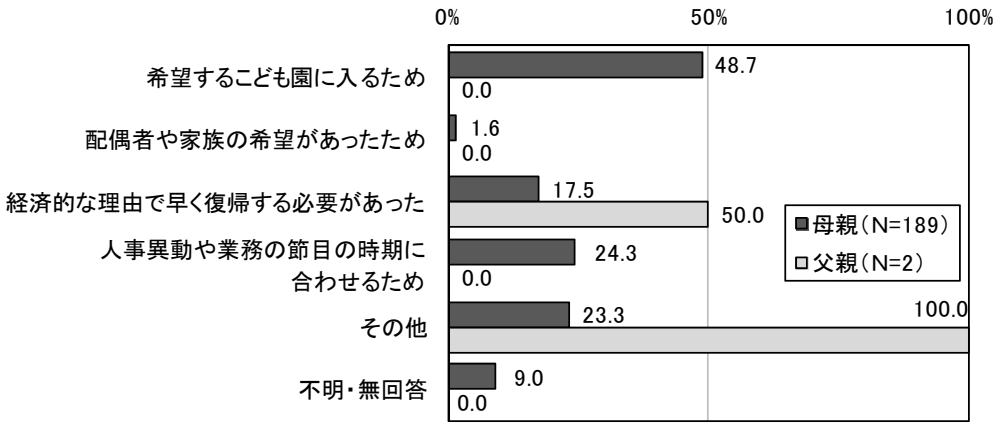


実際の職場復帰と希望が異なる人のみ

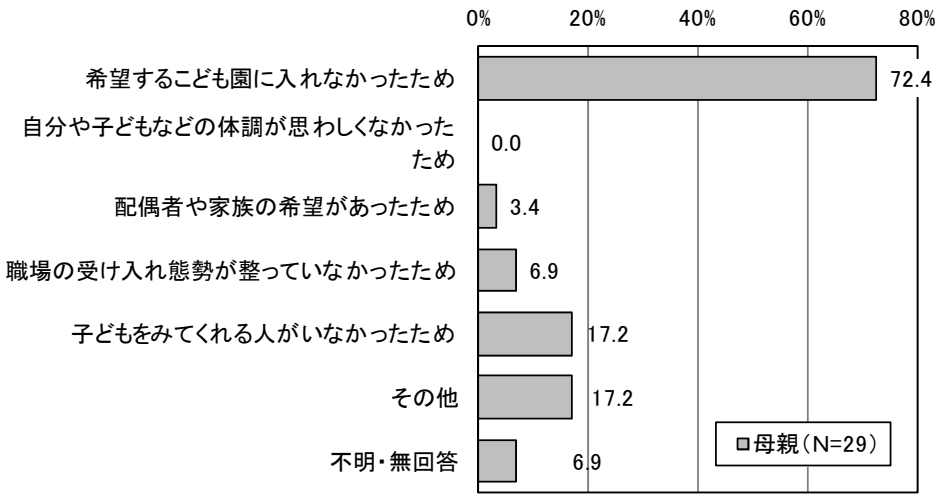
希望の時期に職場復帰しなかった理由

「希望」より早く復帰した親 〈複数回答〉

就学前児童問 30-6



「希望」より遅く復帰した親 〈複数回答〉

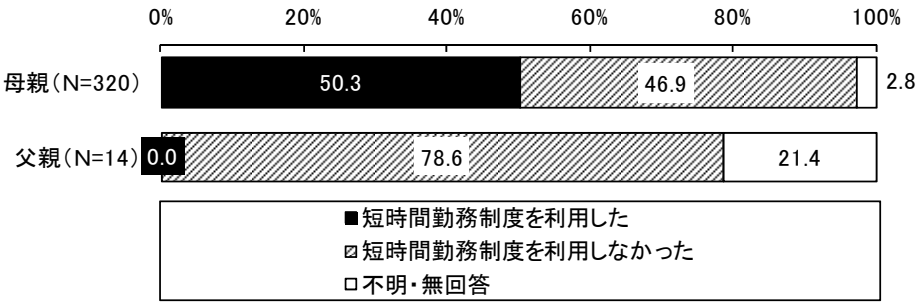


※問 30-4 で「職場復帰の実際が、希望より遅くなった」と回答した父親はいなかった。

育児休業を取得後に「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人のみ

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度利用の有無 〈単数回答〉

就学前児童 問 30-7

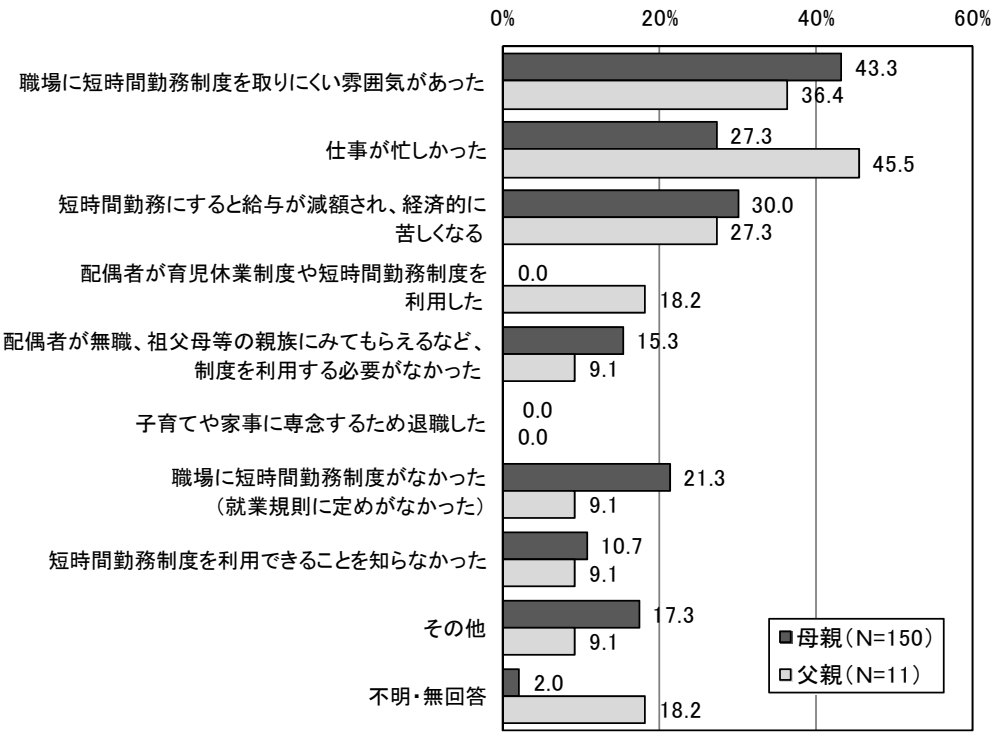


育児休業から職場復帰後に「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した人のみ

短時間勤務制度を利用しなかった理由 〈複数回答〉

母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 43.3%と最も高くなっています。短時間勤務制度を利用しやすい環境を整えていくことが求められています。

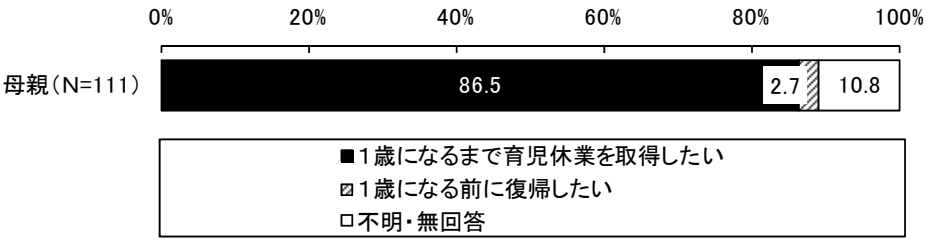
就学前児童問 30-8



育児休業の取得状況で「現在も育児休業中である」と回答した人のみ

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰するか。〈単数回答〉

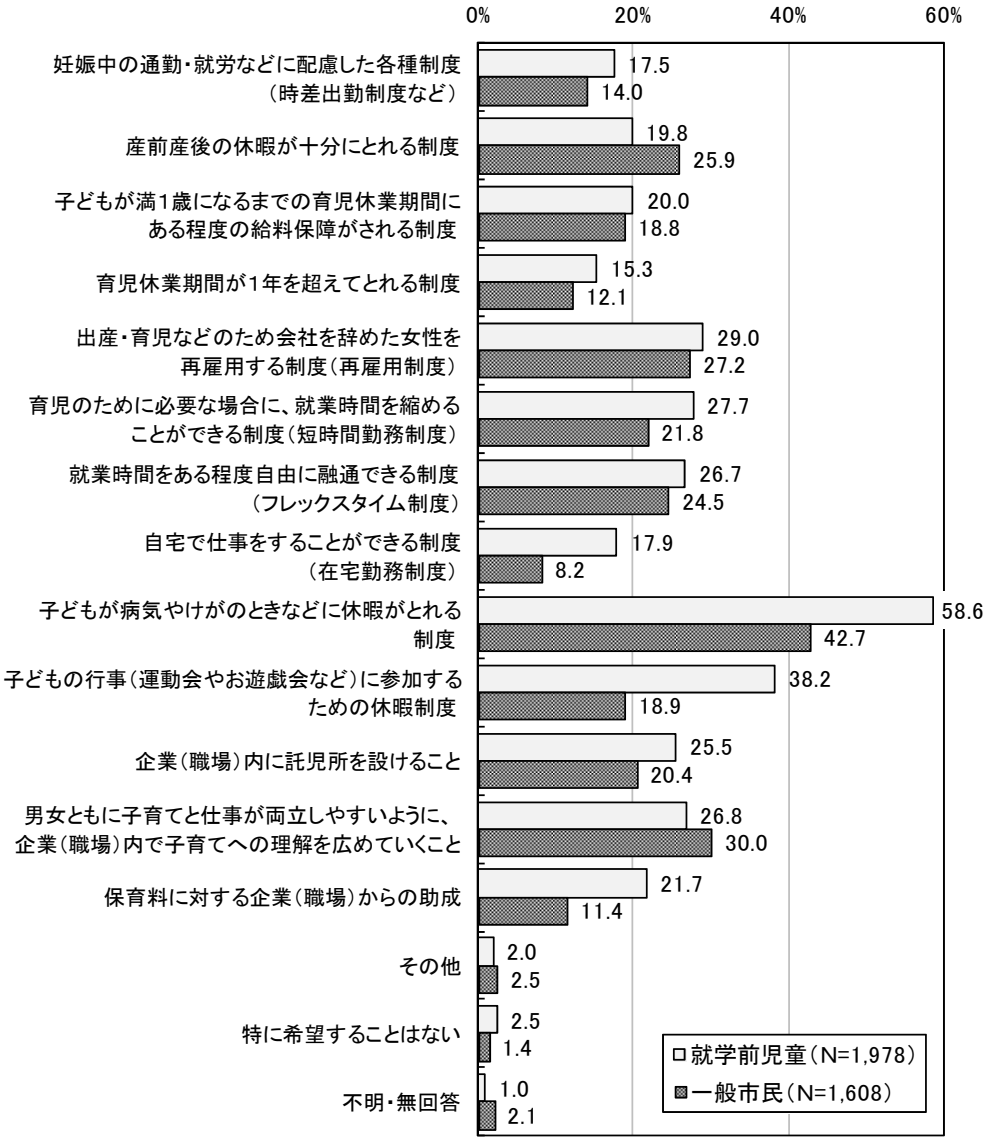
就学前児童問 30-9



※問 30-2で「現在も育児休業中である」と回答した父親はいなかった。

男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備として望むこと
〈複数回答〉

就学前児童問 36、市民問 6

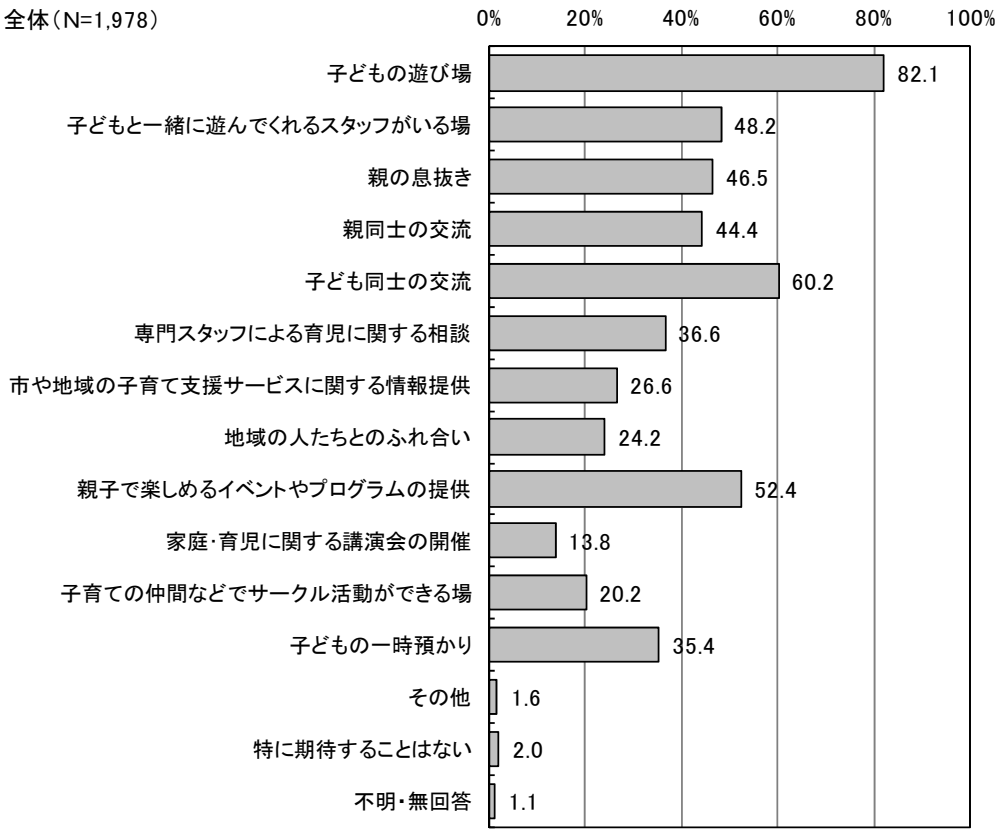


Ⅲ　子ども・子育てに関する意識（就学前児童保護者、小中学生保護者）

1　子ども・子育てに関する意識

「親子で集える場」に期待する施設機能 〈複数回答〉

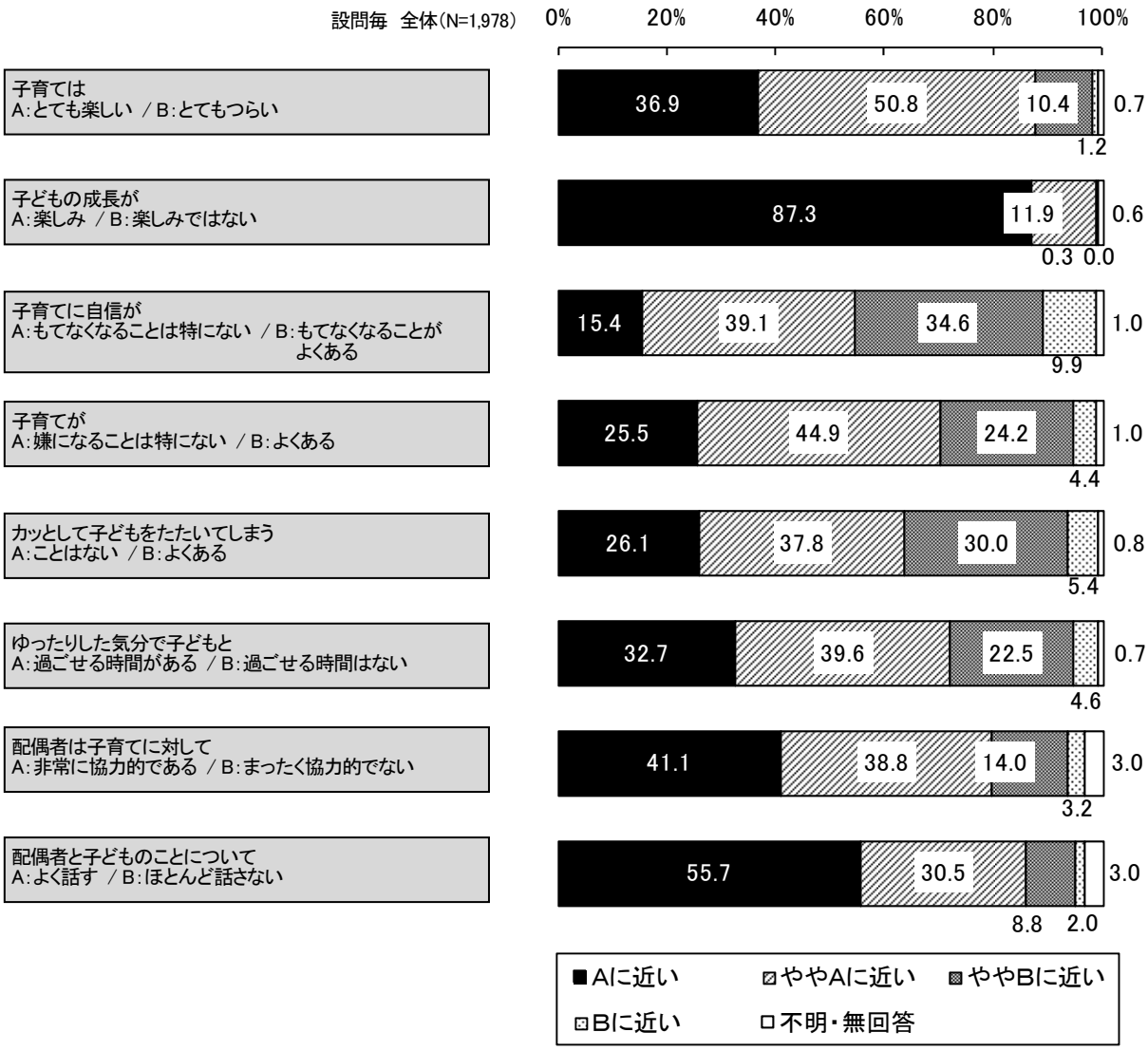
就学前児童問 32



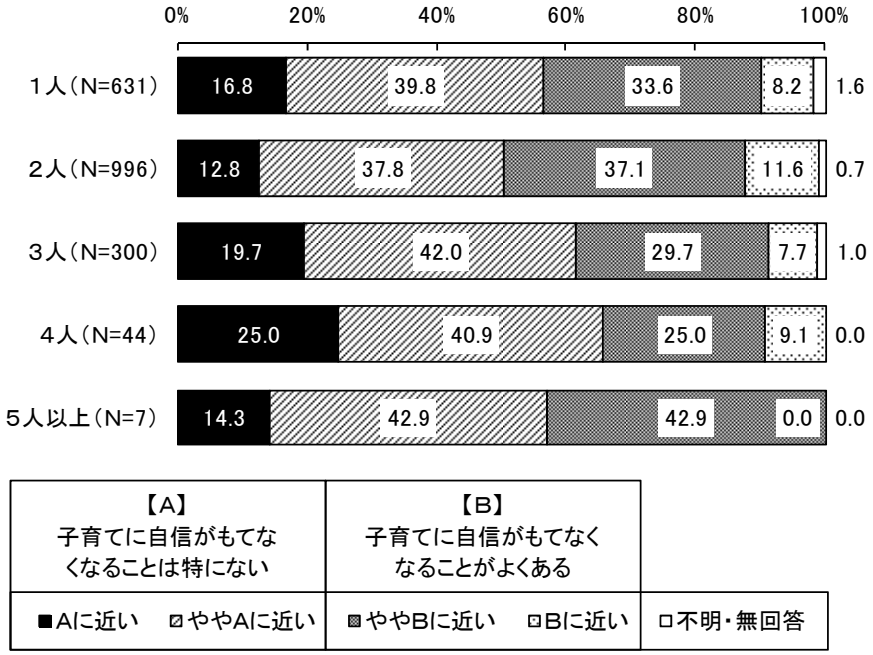
日頃の子育てについて感じていること 〈単数回答〉

子育ては楽しいと感じている割合が高い一方で、子育てに自信がもてなくなると感じる割合も高くなっています。
子どもの数が多くなるにしたがい、「カッとして子どもをたたいてしまうことがよくある」割合が高くなっています。

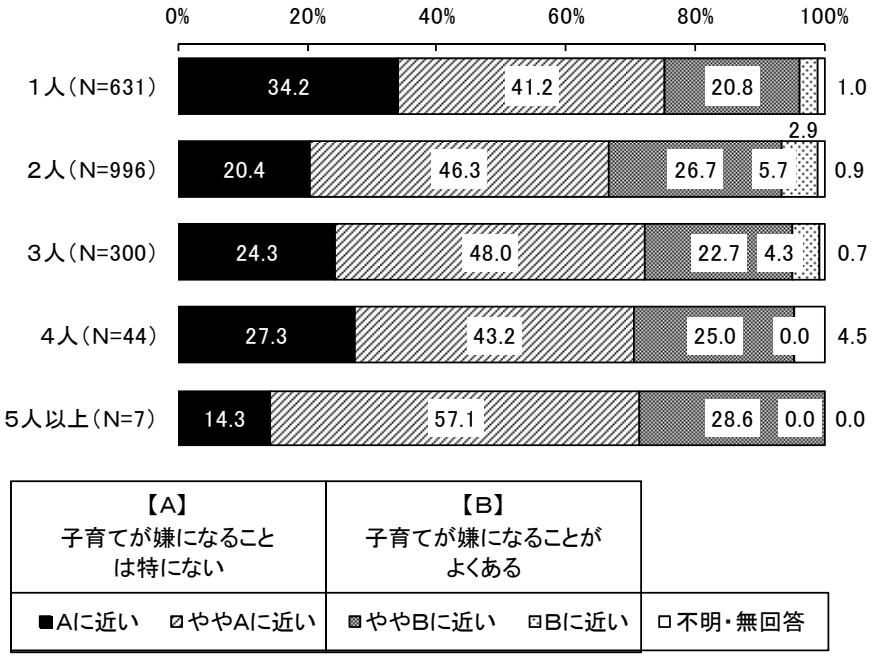
就学前児童 問 33



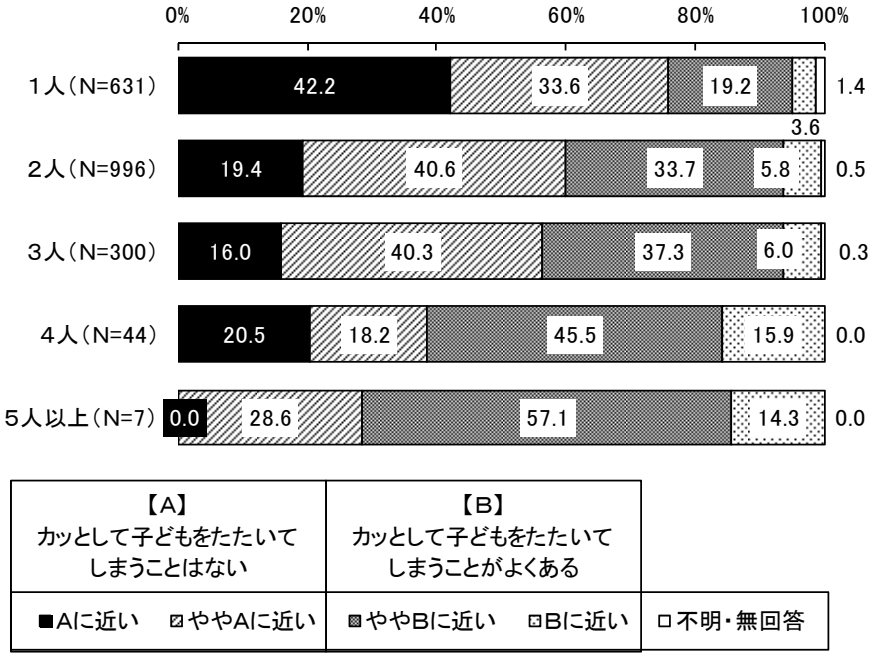
◆子育てに自信がもてなくなること×子どもの数



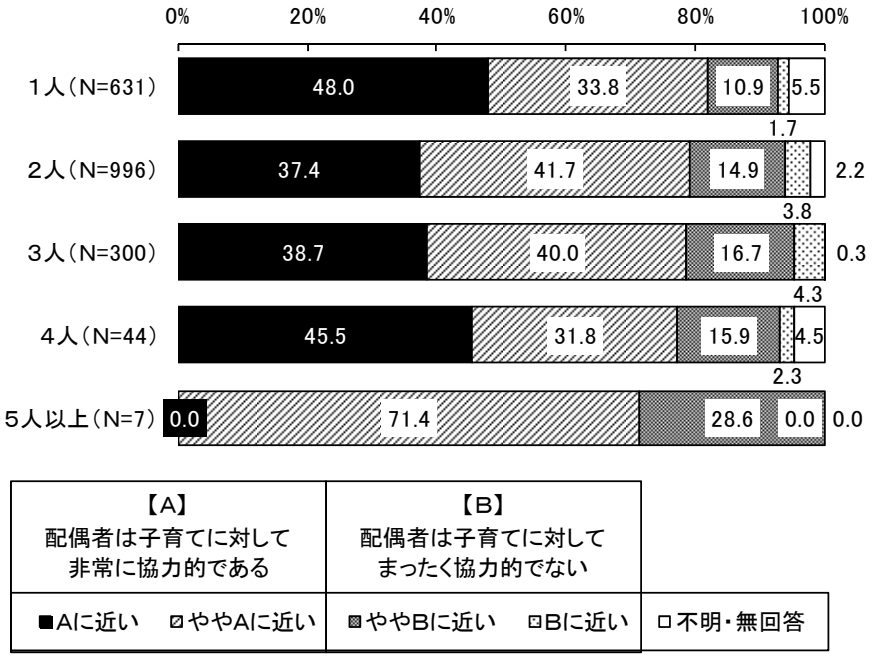
◆子育てが嫌になること×子どもの数



◆カッとして子どもをたたいてしまうこと×子どもの数



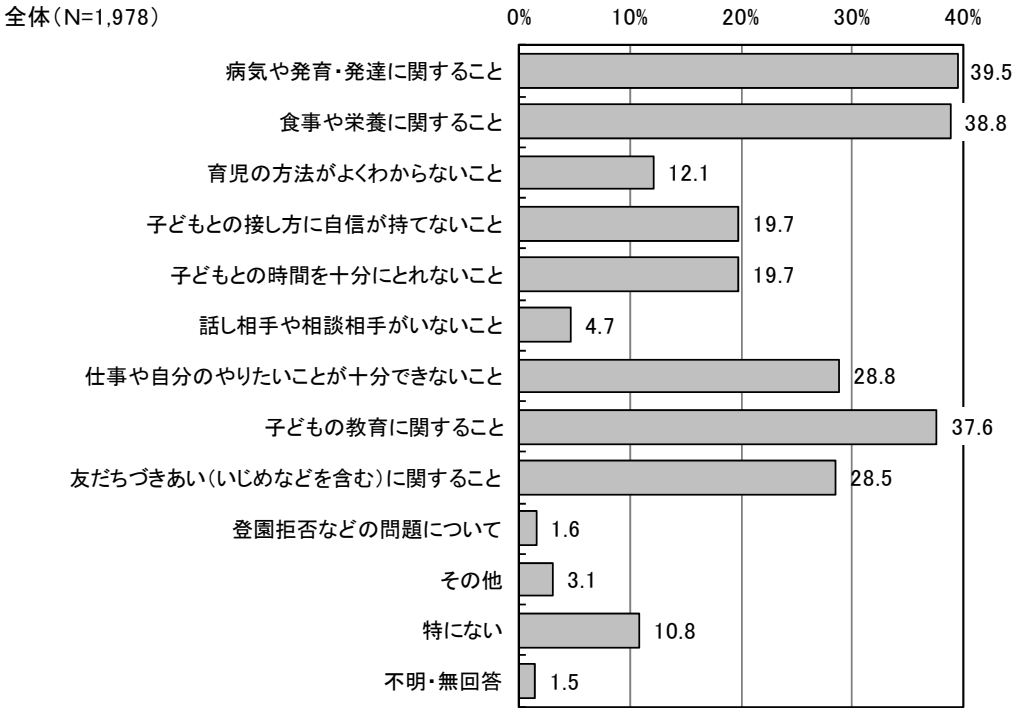
◆配偶者は子育てに対して協力的か×子どもの数



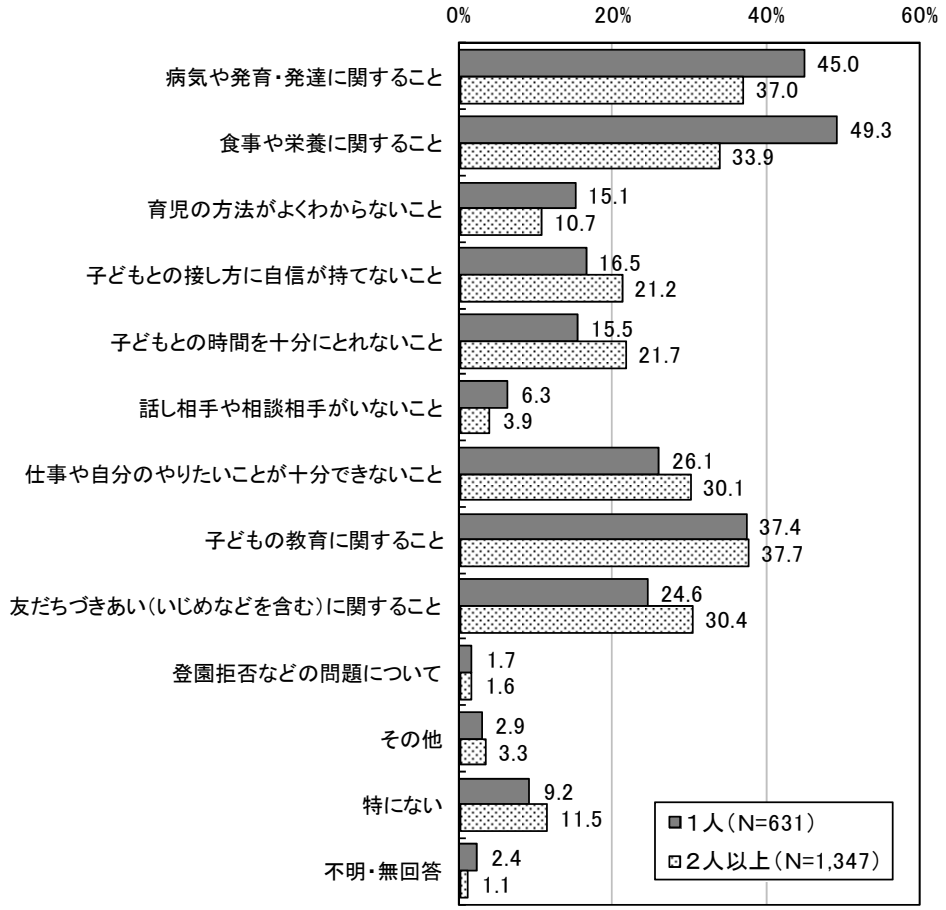
子育てについて日常悩んでいること、気になること 〈複数回答〉

「病気や発育・発達に関すること」「食事や栄養に関すること」「育児の方法がよくわからないこと」では、子どもの数が「1人」の方が「2人以上」に比べて割合が高くなっており、初めての育児でわからない項目が悩みにつながっていることがうかがえます。

就学前児童 問 34



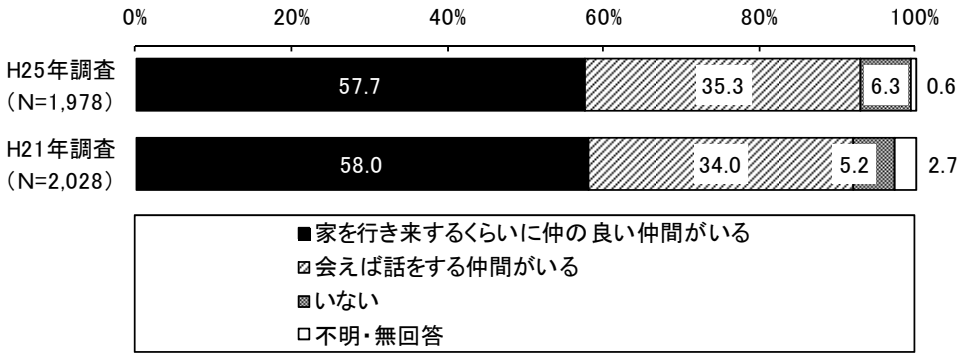
◆子育てについて日常悩んでいること、または気になること×子どもの数



子育て仲間の有無 〈単数回答〉

「子育て仲間がいない」人の割合は 6.3%で、H21 年調査と比べて 1.1 ポイント増加しています。

就学前児童 問 35

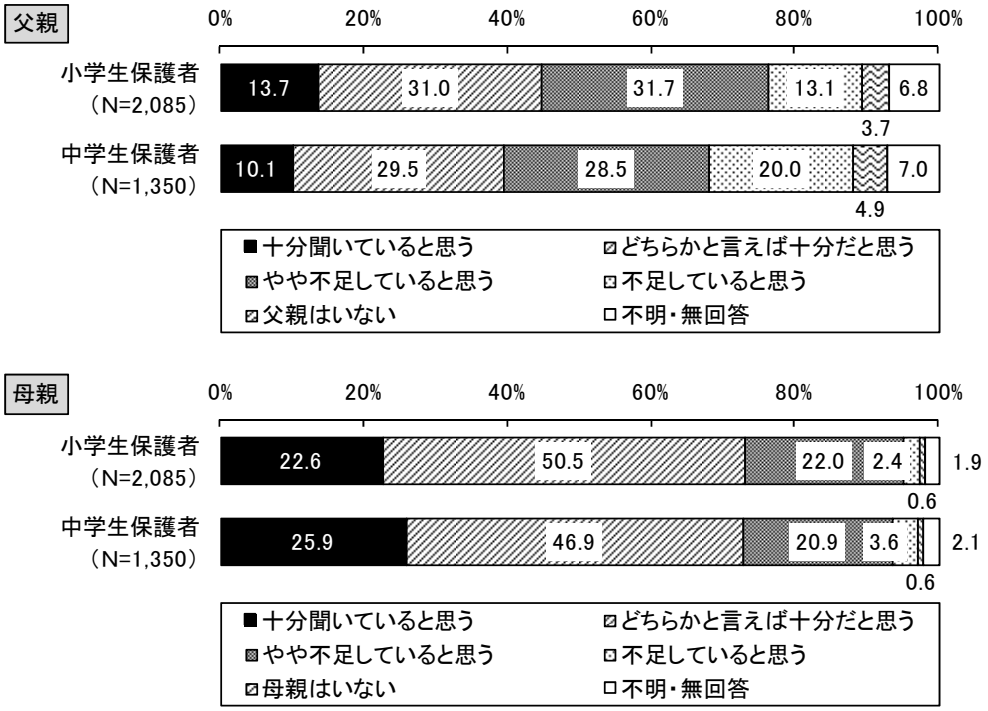


日ごろ、子どもの話や気持ちを聞いているか 〈単数回答〉

『十分聞いていると思う』(＝「十分聞いていると思う」＋「どちらかと言えば十分だと思う」)が、小学生の父親は44.7%、中学生の父親は39.6%、小学生の母親は73.1%、中学生の母親は72.8%となっています。

なお、「不足していると思う」小学生の父親は13.1%、中学生の父親は20.0%と、母親よりも高い割合となっています。

小学生保護者問17、中学生保護者問7

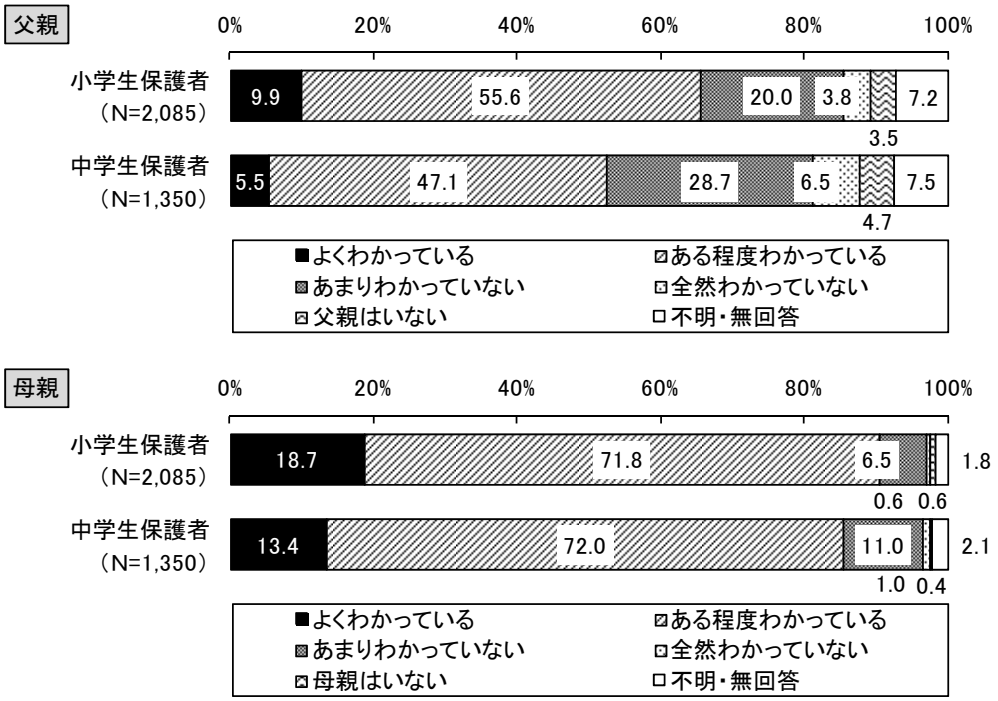


子どもの気持ちや考えをわかっていると思うか 〈単数回答〉

『わかっている』(＝「よくわかっている」＋「ある程度わかっている」)が、小学生の父親は 65.5%、中学生の父親は 52.6%、小学生の母親は 90.5%、中学生の母親は 85.4%となっています。

なお、「全然わかっていない」小学生の父親は 3.8%、中学生の父親が 6.5%と、母親よりも高い割合となっています。

小学生保護者問 17、中学生保護者問7

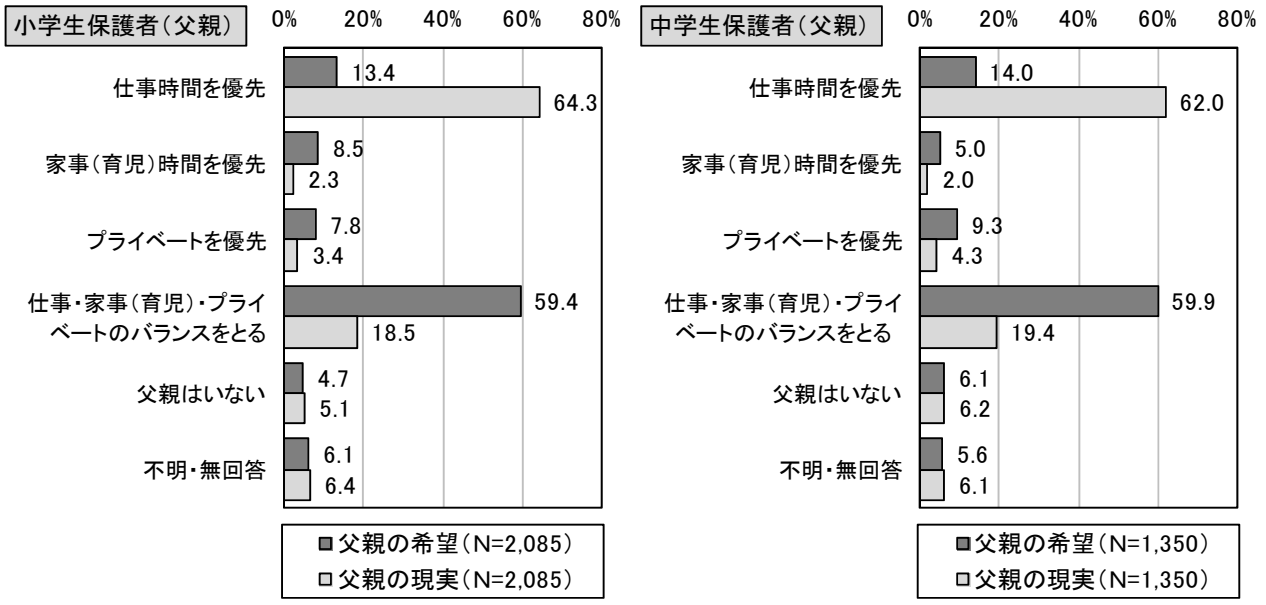


「仕事時間」「家事（育児）」及び「プライベートの生活時間」の優先度について

父親の希望と現実 〈単数回答〉

父親の希望と現実の優先度の割合は、小学生保護者と中学生保護者に大きな差はみられません。いずれの父親も希望は「仕事・家事（育児）・プライベートのバランスをとる」が6割弱であるものの、現実は「仕事時間を優先」が6割強となっています。

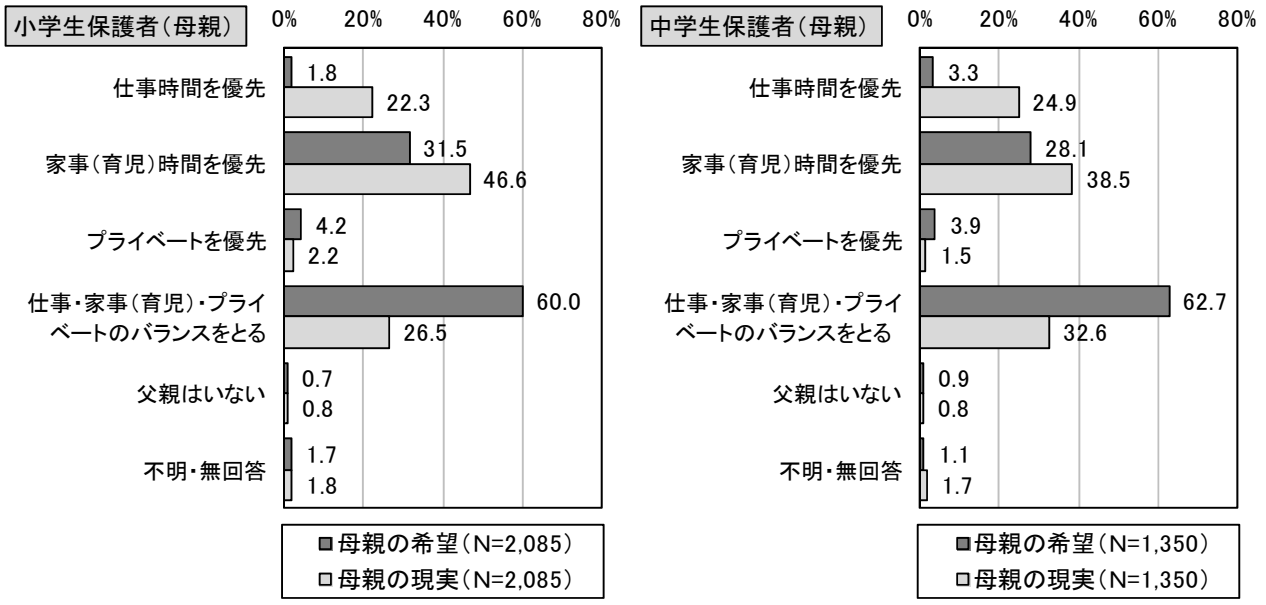
小学生保護者問 18、中学生保護者問8



母親の希望と現実 〈単数回答〉

母親の希望と現実の優先度の割合は、小学生保護者と中学生保護者に大きな差はみられません。いずれの母親も希望は「仕事・家事（育児）・プライベートのバランスをとる」ことが6割以上であるものの、現実は「家事（育児）時間を優先」が4割弱～5割弱となっています。

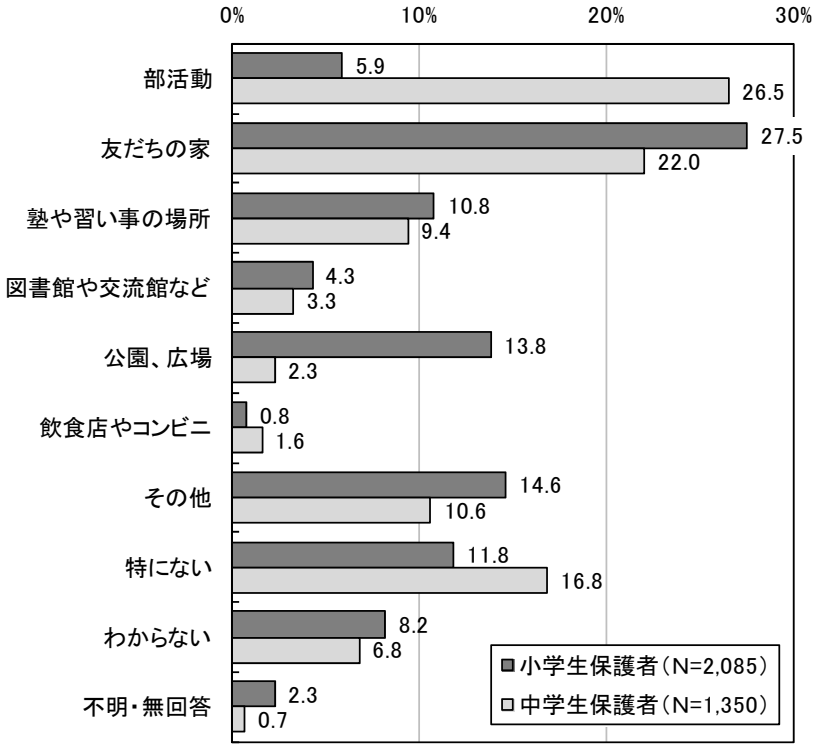
小学生保護者問 18、中学生保護者問8



子どもが家や学校のほかでほっとできると思う場所 〈単数回答〉

小学生保護者では「友だちの家」が 27.5%、中学生保護者では「部活動」が 26.5%とそれぞれ最も高くなっています。「特にない」は小学生保護者で 11.8%、中学生保護者で 16.8%と比較的高くなっています。

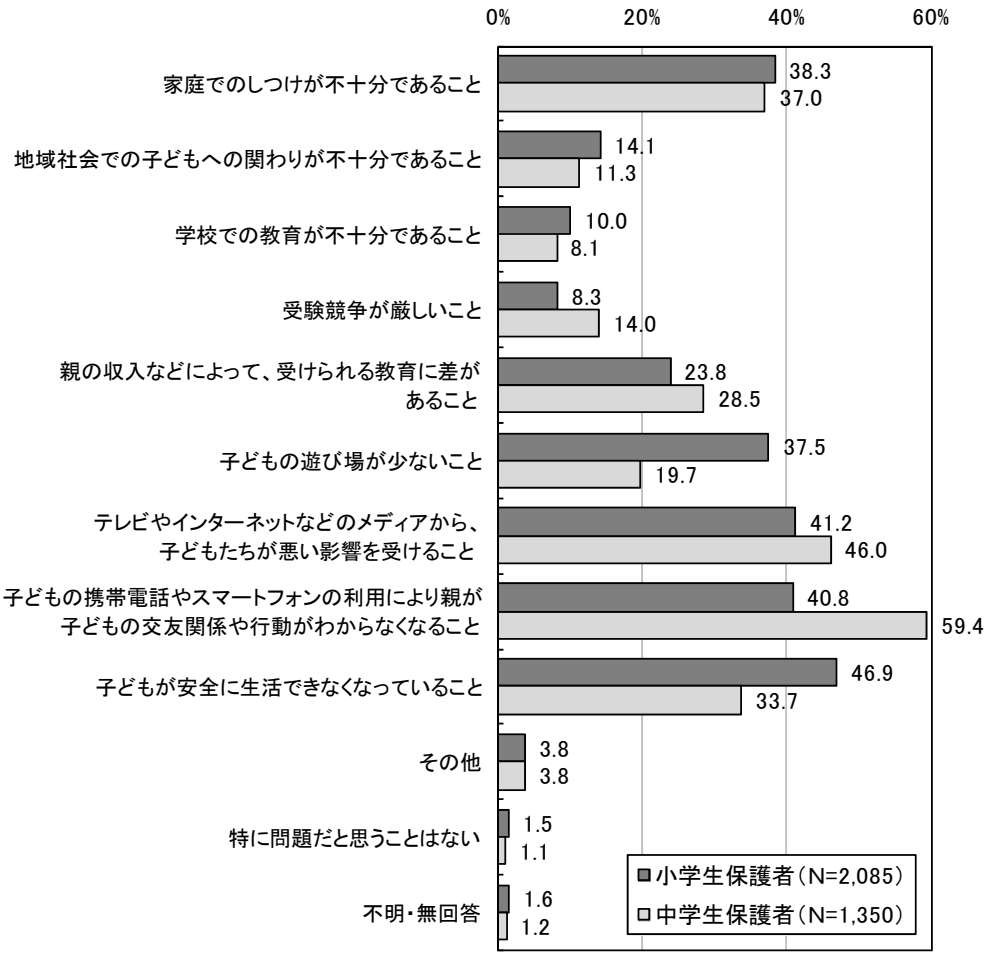
小学生保護者問 19、中学生保護者問9



最近の子育てや教育の現状について考えたときに問題だと思うこと 〈複数回答〉

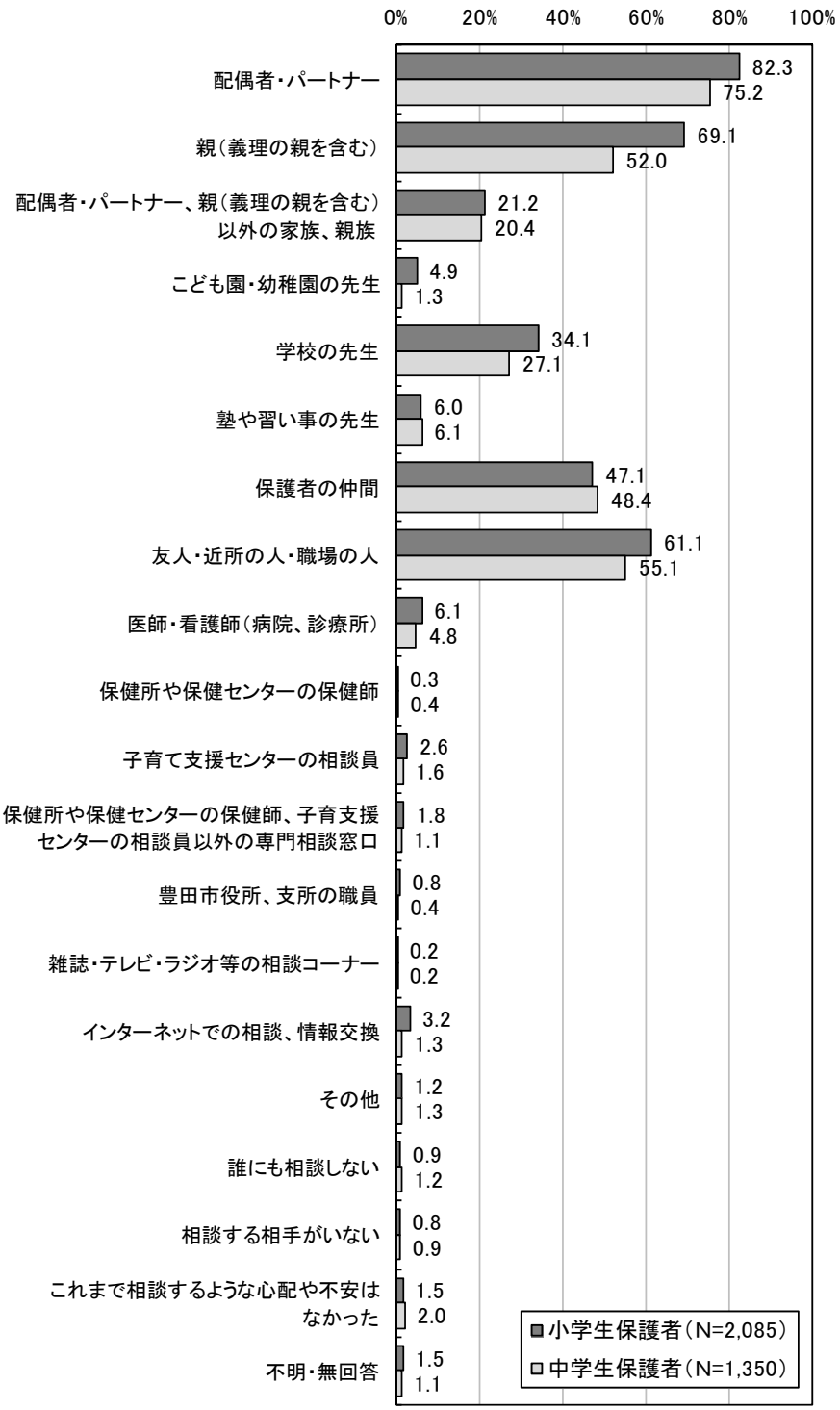
中学生保護者では「子どもの携帯電話やスマートフォンの利用により親が子どもの交友関係や行動がわからなくなること」が 59.4%と最も高くなっており、小学生保護者でも 40.8%となっています。

小学生保護者問 20、中学生保護者問 10



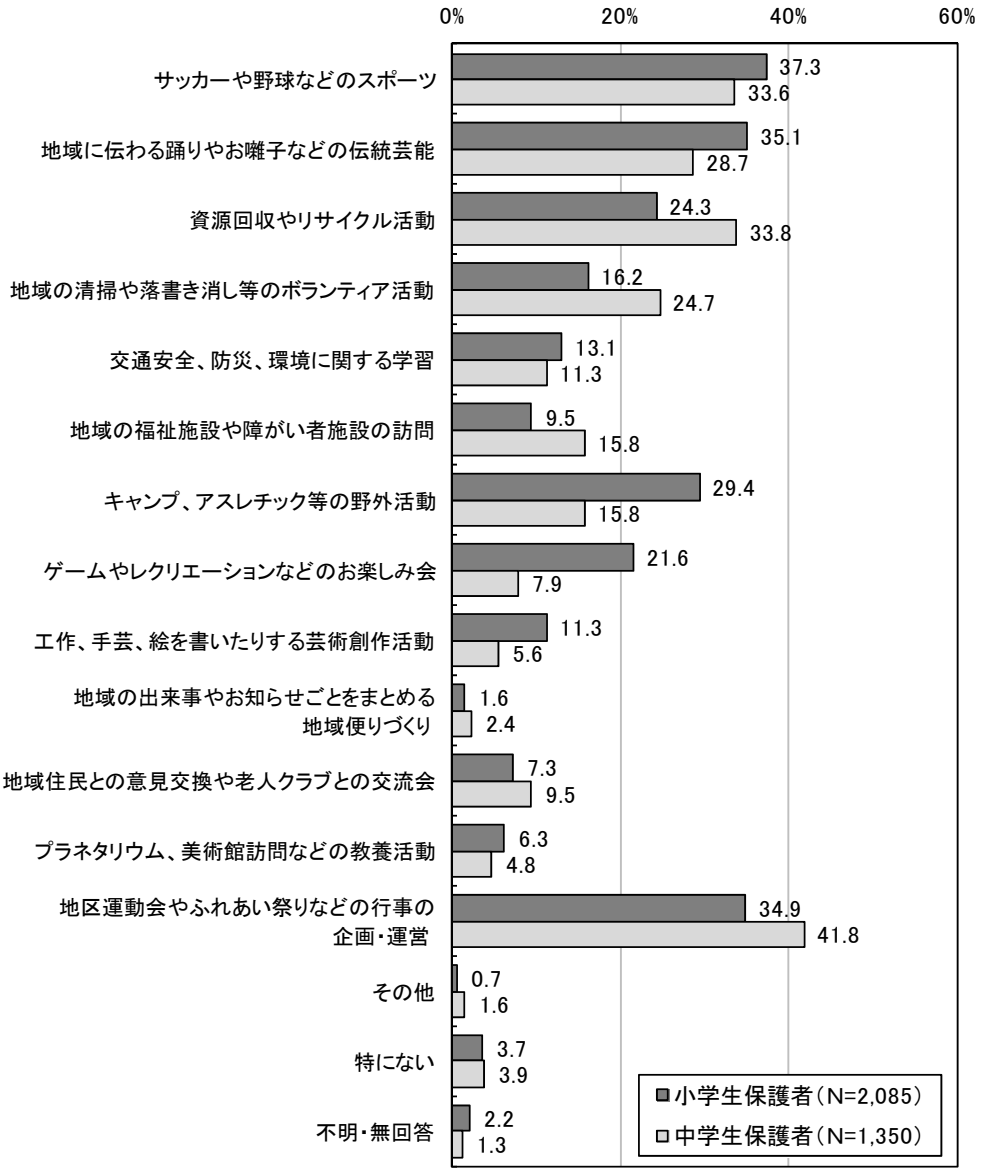
子育てをする上で心配ごとや不安に思うことがある場合の相談先 〈複数回答〉

小学生保護者問 21、中学生保護者問 11



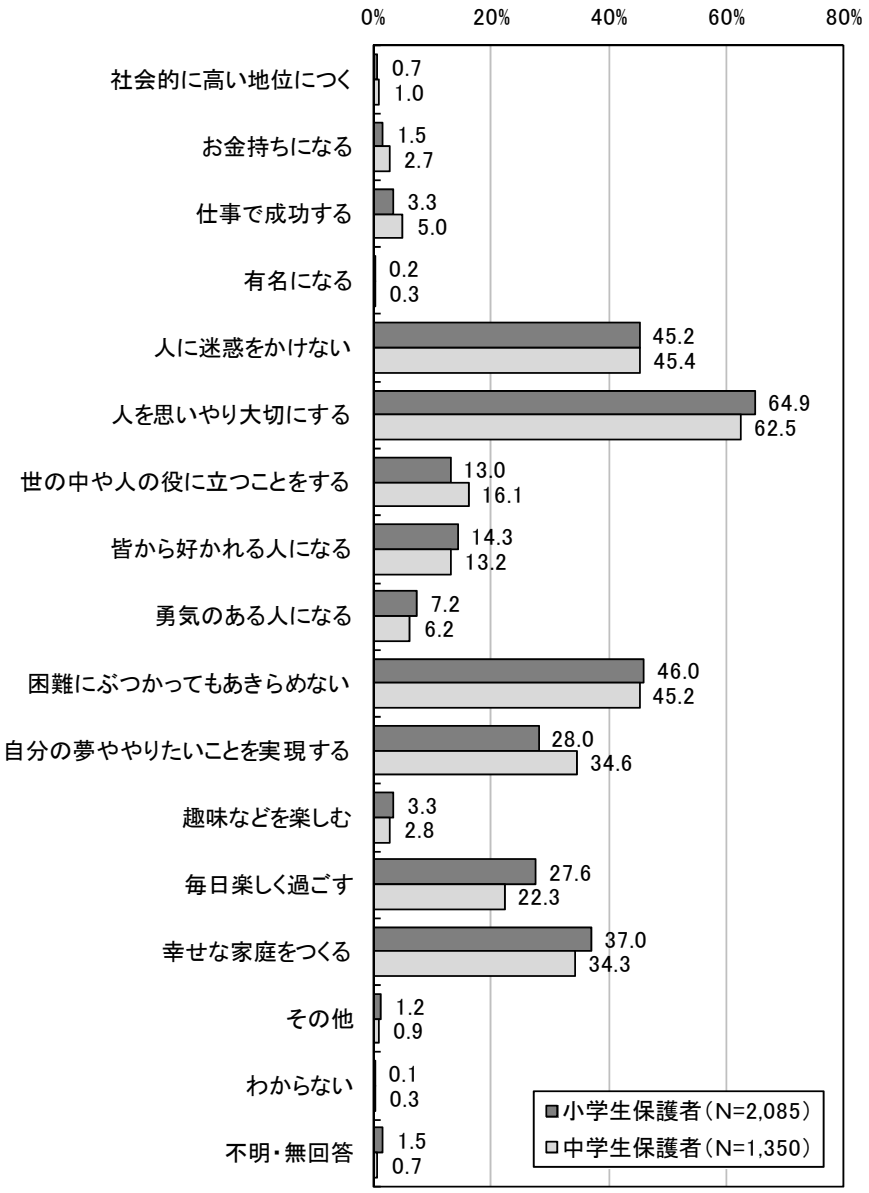
対象の子どもが地域の一員として、年齢の異なる子どもや大人たちと一緒に取り組むと良いと思う行事
〈複数回答〉

小学生保護者問 22、中学生保護者問 12



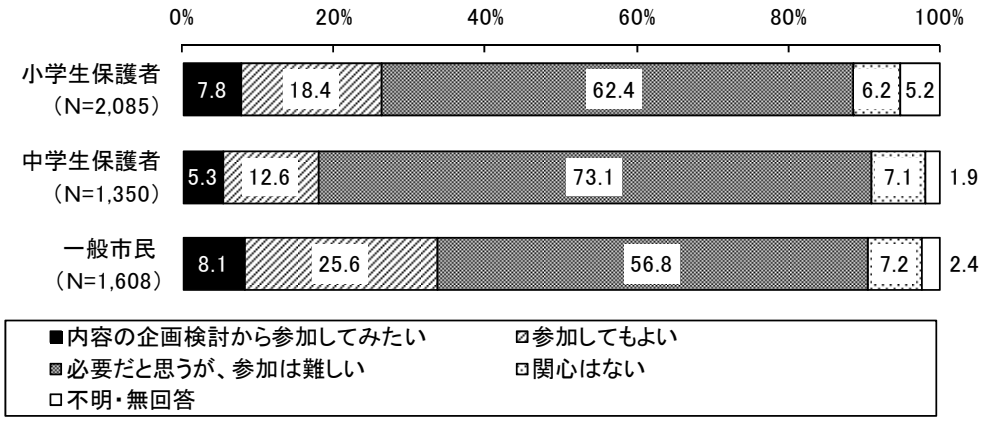
対象の子どもについて、将来どのような生き方をしてほしいと思うか 〈複数回答〉

小学生保護者問 23、中学生保護者問 13



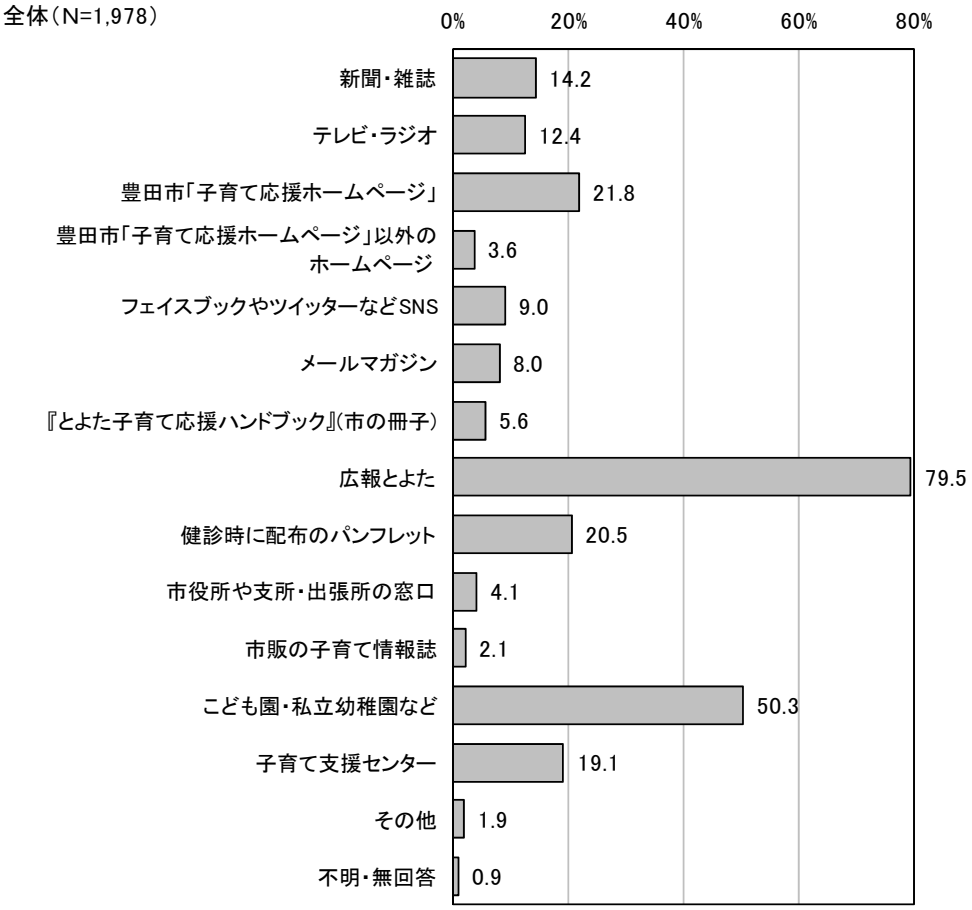
放課後の子どもの（一般市民：地域の子どもたちの遊び場や）居場所づくり（子どもの活動や見守りなど）で、地域の住民として参画することについての考え 〈単数回答〉

小学生保護者問 30、中学生保護者問 20、一般市民問 11



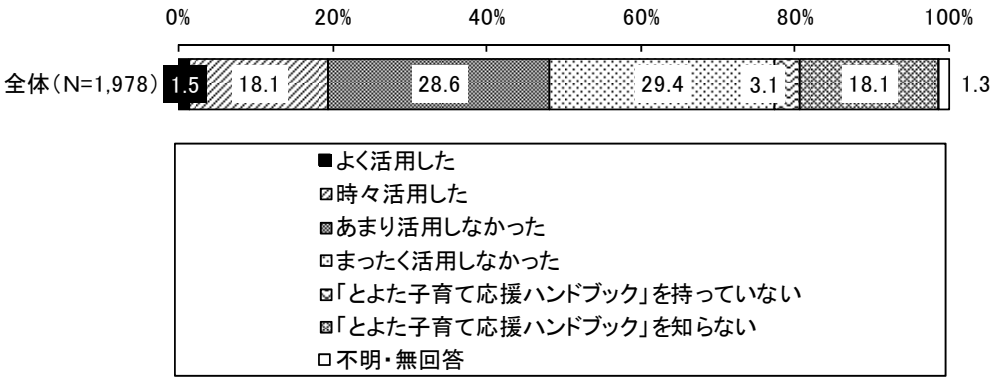
子育てや子育て支援サービスに関する情報の入手方法 〈複数回答〉

就学前児童問 37



「とよた子育て応援ハンドブック」活用の有無 〈単数回答〉

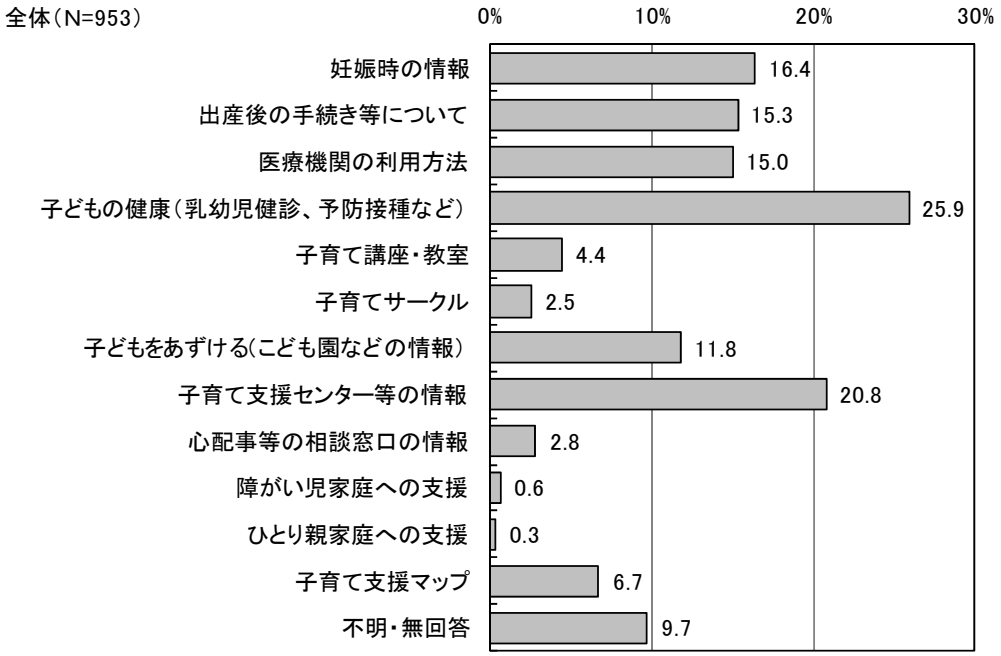
就学前児童問 38



「よく活用した」「時々活用した」「あまり活用しなかった」と回答した人のみ

「とよた子育て応援ハンドブック」中でよく活用した項目 〈複数回答〉

就学前児童問 38-1



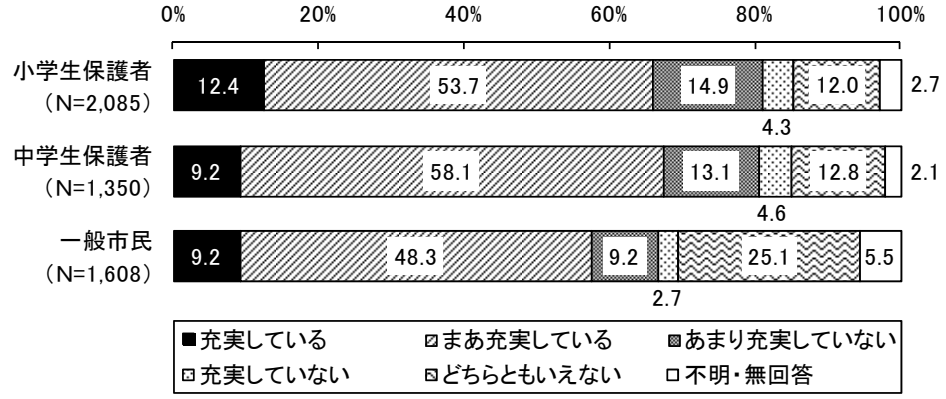
2　豊田市に対する印象

豊田市は、子どもが暮らしやすく健全に育っていけるまちだと思うか　〈単数回答〉

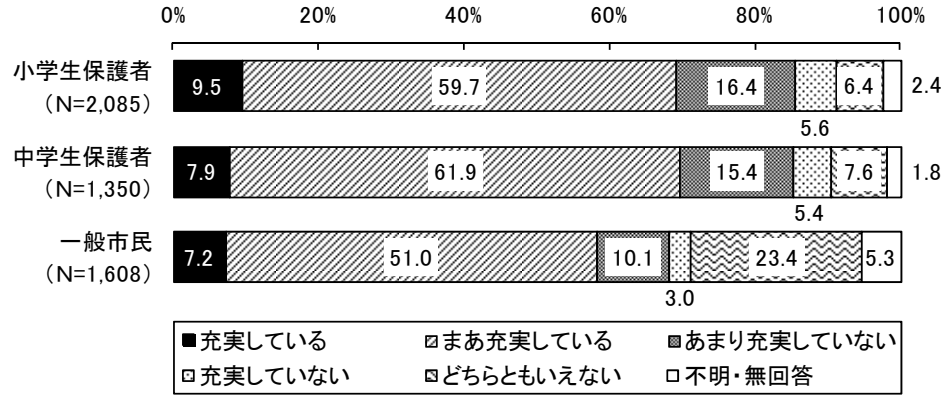
小学生保護者と中学生保護者では、「①行政の子育て支援サービス」「②学校教育」「④子ども会やPTAの活動」「⑦自然環境」について、6割以上が『充実している』(＝「充実している」＋「まあ充実している」)と感じています。

小学生保護者問 24、中学生保護者問 14、一般市民問 19

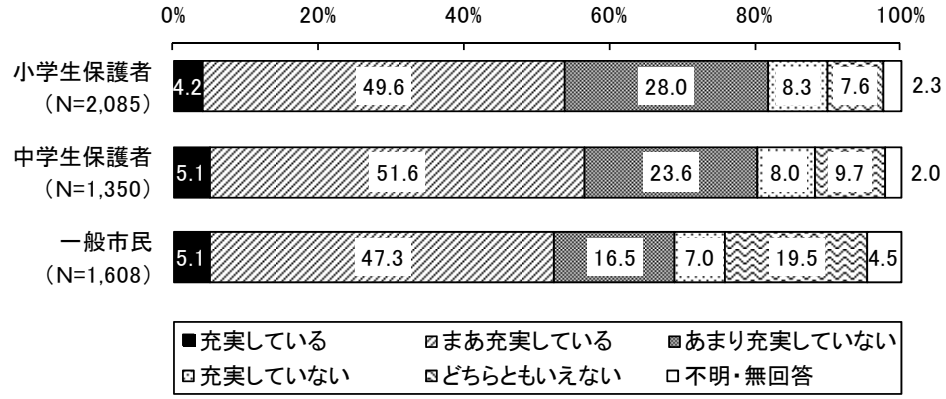
①行政の子育て支援サービス



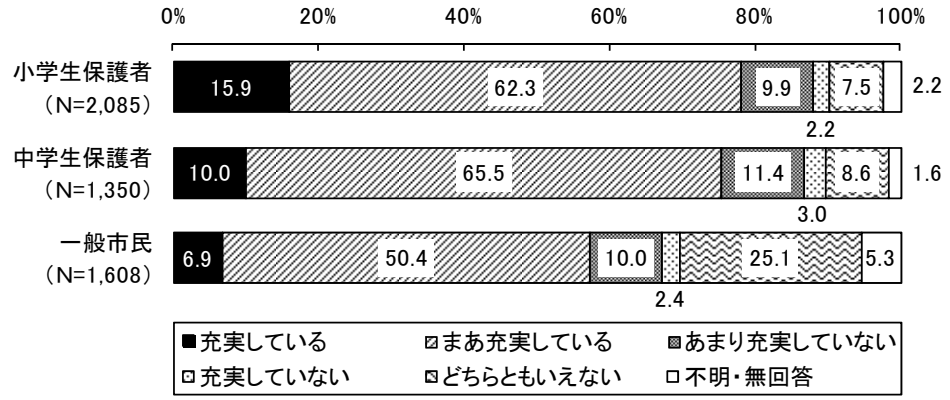
②学校教育



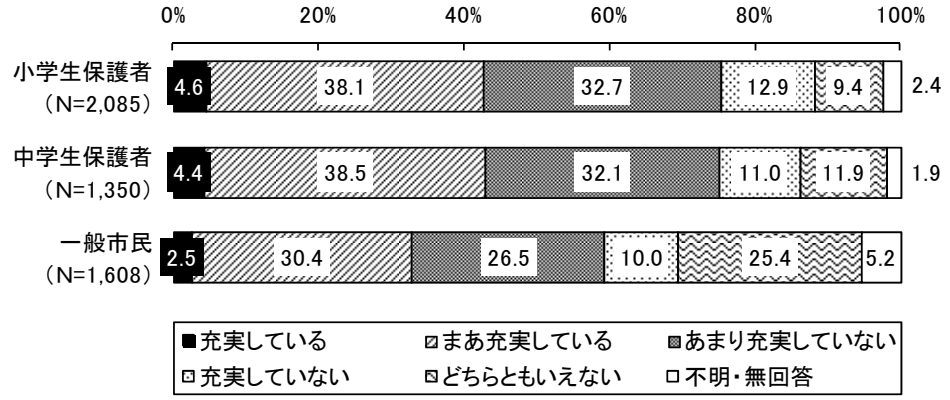
③治安や安全対策



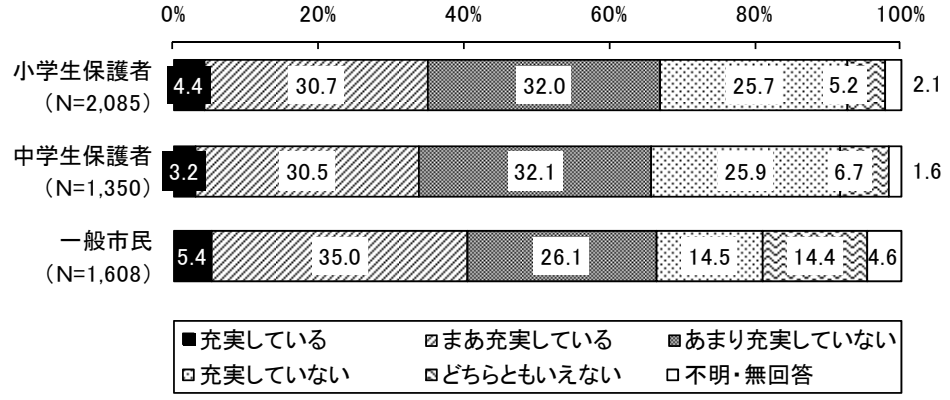
④子ども会やPTAの活動



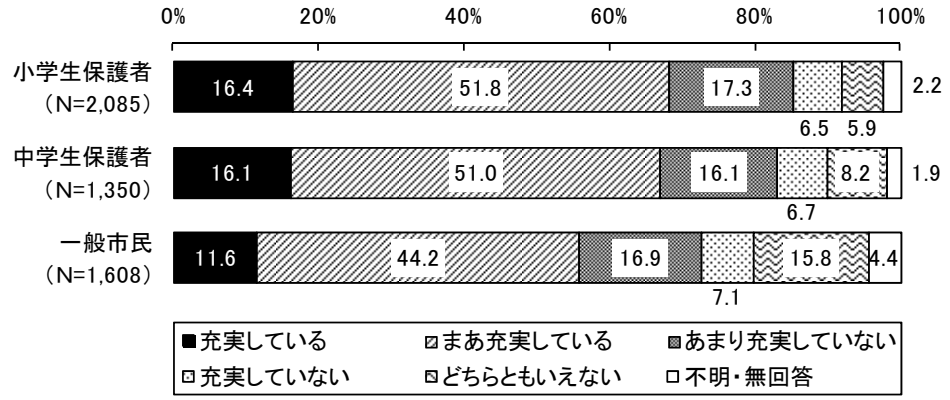
⑤地域や隣近所の子育ての助け合い



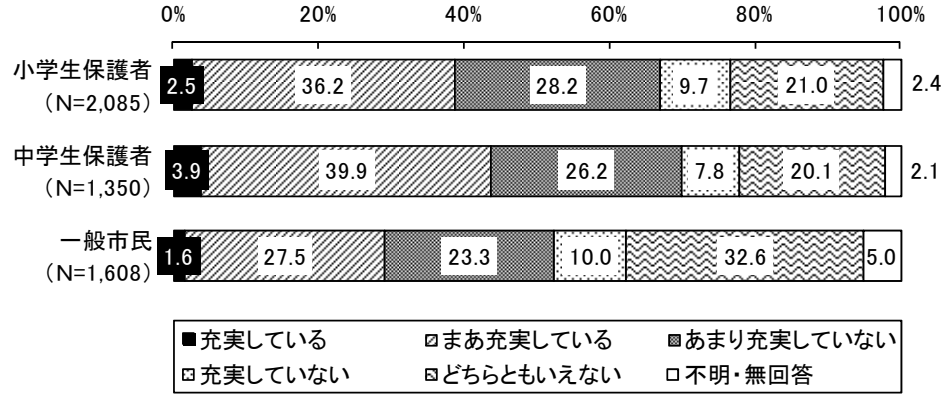
⑥公園や児童館などの遊び場



⑦自然環境



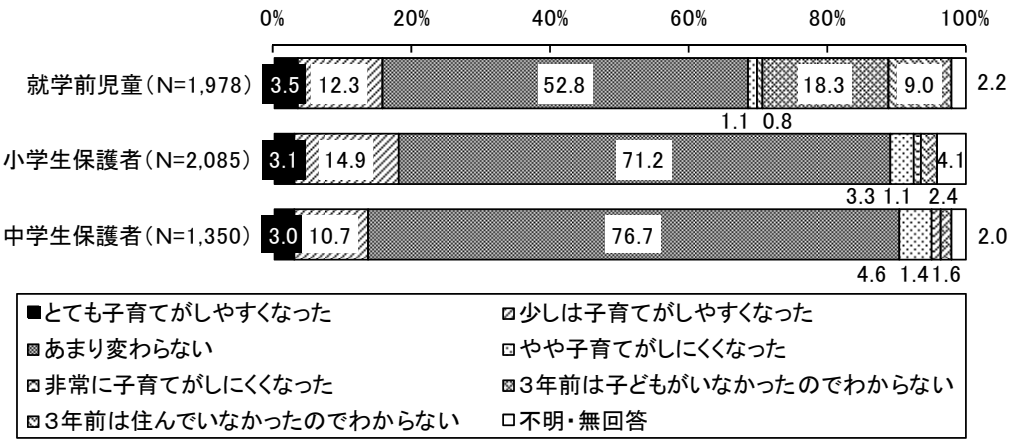
⑧非行防止



豊田市は、およそ3年前と比べて子育てのしやすいまちになったと思うか 〈単数回答〉

『子育てがしやすくなった』(＝「とても子育てがしやすくなった」＋「少しは子育てがしやすくなった」)と感じている割合は、就学前児童で 15.8%、小学生保護者で 18.0%、中学生保護者で 13.7%となっています。小学生保護者、中学生保護者ともに7割強が「あまり変わらない」と感じています。

就学前児童問 39、小学生保護者問 25、中学生保護者問 15

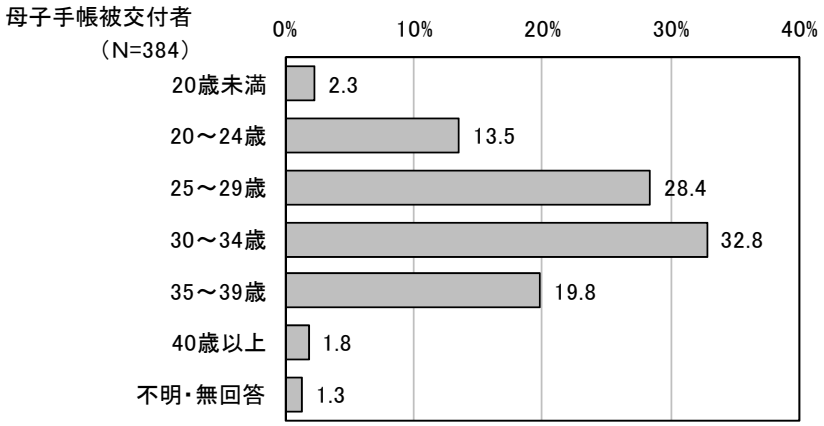


Ⅳ　妊娠期の状況や意識（母子手帳被交付者）

1　家族の状況

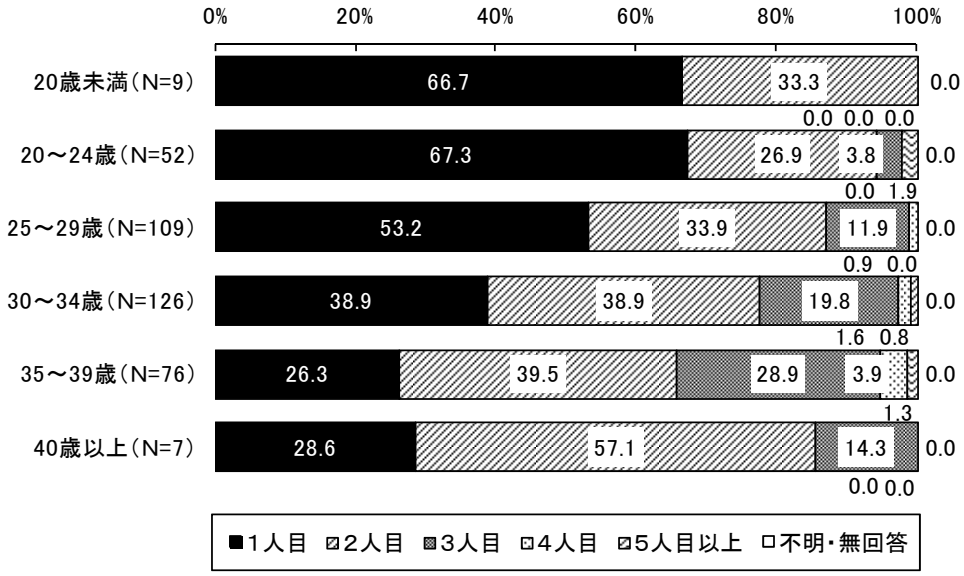
母子手帳被交付者の生年月 〈数量回答〉 ※平成 25 年9月1日現在

母子手帳被交付者問1



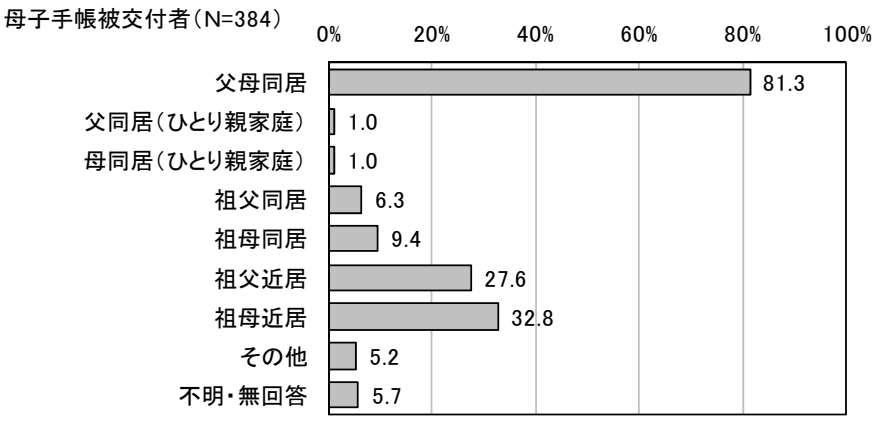
今回、母子手帳の交付を受けたのは何人目の子どもか 〈数量回答〉

母子手帳被交付者問2



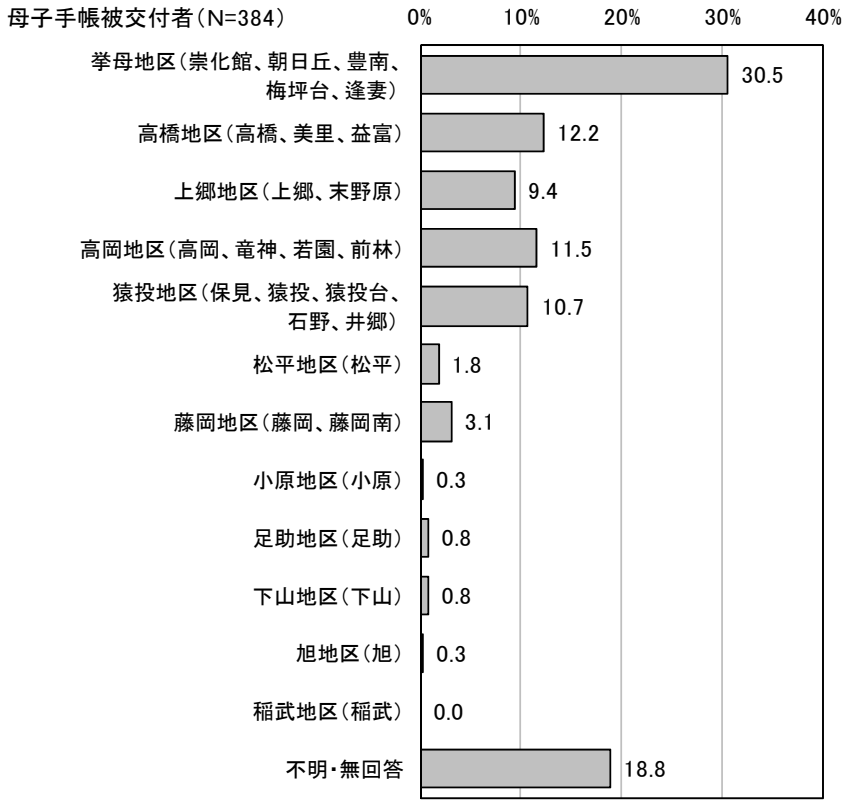
母子手帳を交付された子どもからみた、父母や祖父母との同居・近居（30 分以内）の状況 〈複数回答〉

母子手帳被交付者問3



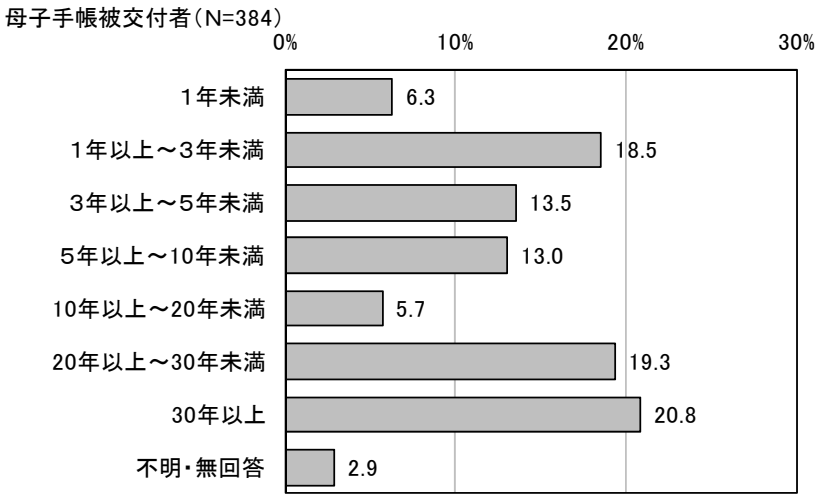
居住地区 〈単数回答〉

母子手帳被交付者問4



豊田市での居住年数 〈数量回答〉

母子手帳被交付者問5



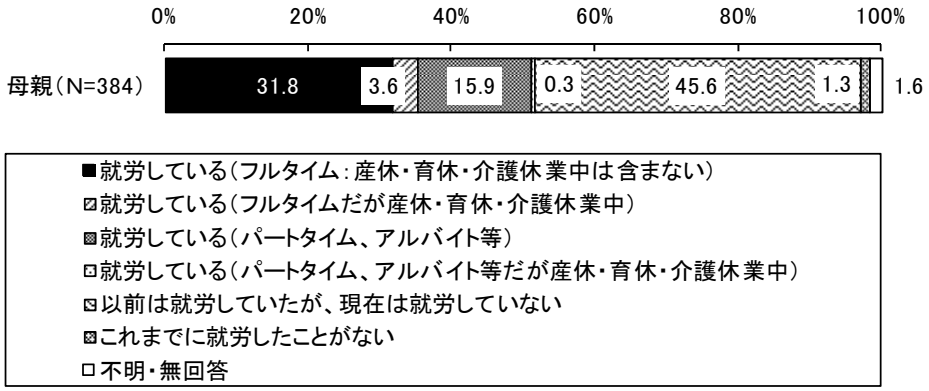
母親及び父親(夫・パートナー)の現在の就労状況について(自営業、家族従事者含む)

母親の就労状況　<単数回答>

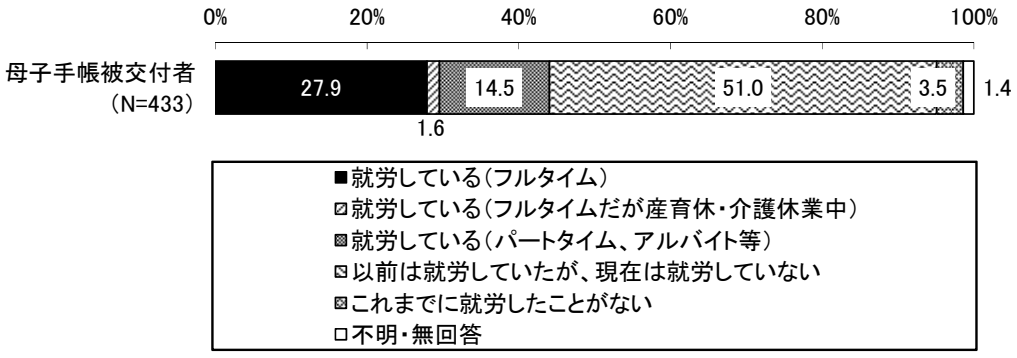
母子手帳被交付者では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 45.6%と最も高く、次いで「就労している(フルタイム)」が 31.8%となっています。

H21 年調査と比べると、フルタイムで就労している人の割合は、いずれも増加しています。育休・介護休業中の人の割合も、いずれも増加しています。

母子手帳被交付者問6(1)



H21 年調査

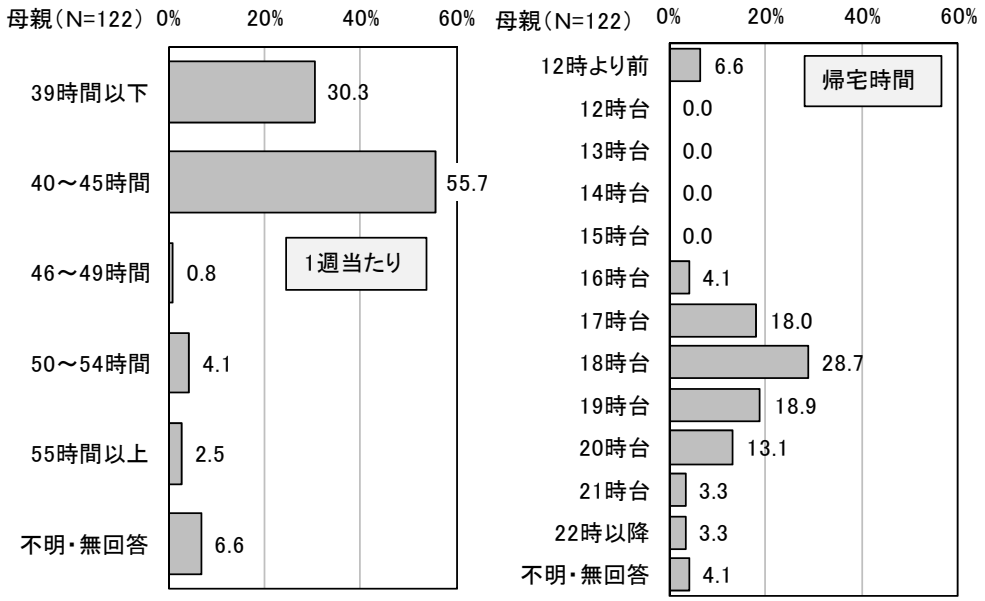


◆母親の就労状況×年齢別

上段:度数 下段:%		【問6】(1)母親の現在の就労状況（自営業、家族従業を含む）							
		合計	就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）	就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）	就労している（パートタイム、アルバイト等）	就労している（パートタイム、アルバイト等だが産休・育休・介護休業中）	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	不明・無回答
【問1【年齢	合計	384 100.0	122 31.8	14 3.6	61 15.9	1 0.3	175 45.6	5 1.3	6 1.6
	20歳未満	9 100.0	1 11.1	- -	- -	- -	8 88.9	- -	- -
	20～24歳	52 100.0	19 36.5	2 3.8	8 15.4	- -	21 40.4	- -	2 3.8
	25～29歳	109 100.0	41 37.6	5 4.6	21 19.3	1 0.9	39 35.8	2 1.8	- -
	30～34歳	126 100.0	32 25.4	4 3.2	19 15.1	- -	68 54.0	3 2.4	- -
	35～39歳	76 100.0	26 34.2	3 3.9	11 14.5	- -	36 47.4	- -	- -
	40歳以上	7 100.0	2 28.6	- -	2 28.6	- -	3 42.9	- -	- -
	不明・無回答	5 100.0	1 20.0	- -	- -	- -	- -	- -	4 80.0

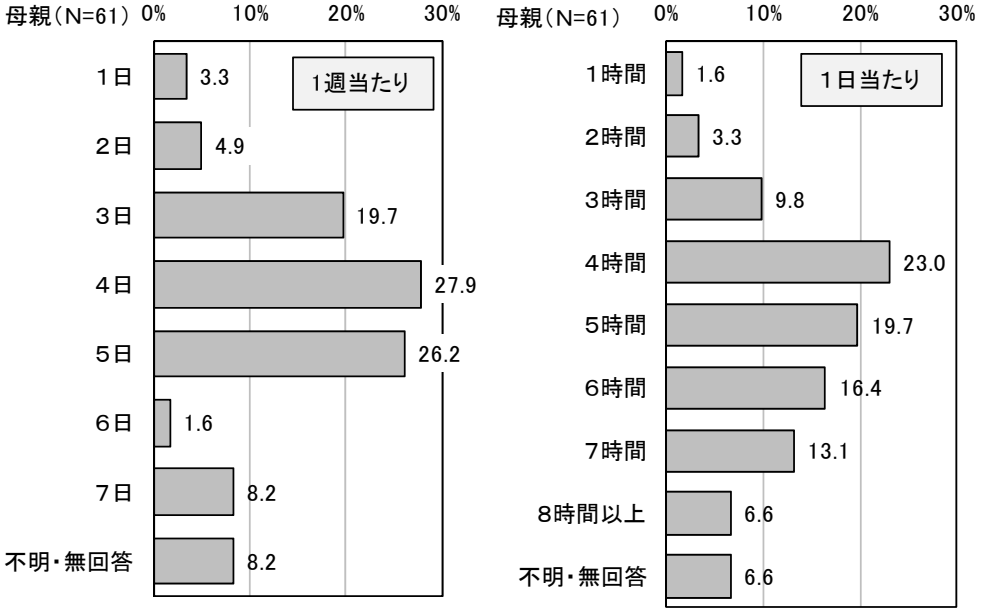
母親が「就労している（フルタイム：育休・介護休業は含まない）」と回答した人のみ

母親の１週当たりの就労時間・帰宅時刻 〈数量回答〉

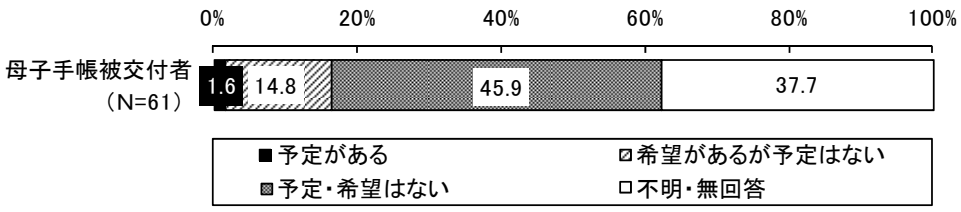


母親が「就労している（パートタイム・アルバイト等）」と回答した人のみ

母親の１週当たりの就労日数・１日当たりの就労時間 〈数量回答〉

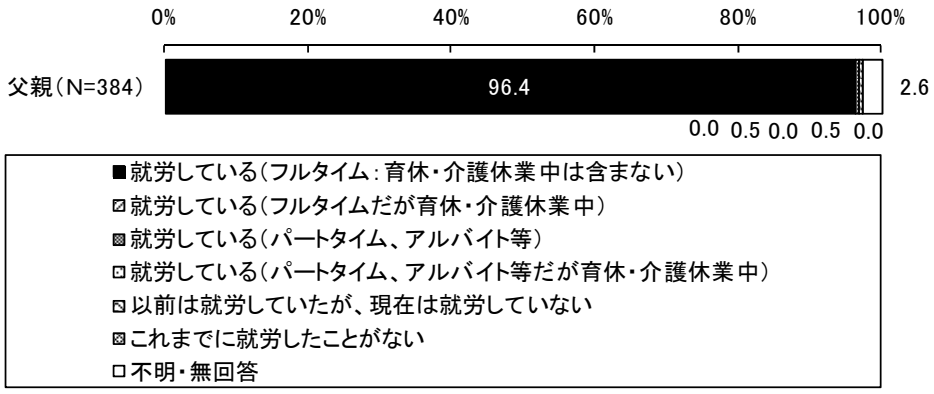


◆フルタイムへの転換予定や希望 〈単数回答〉



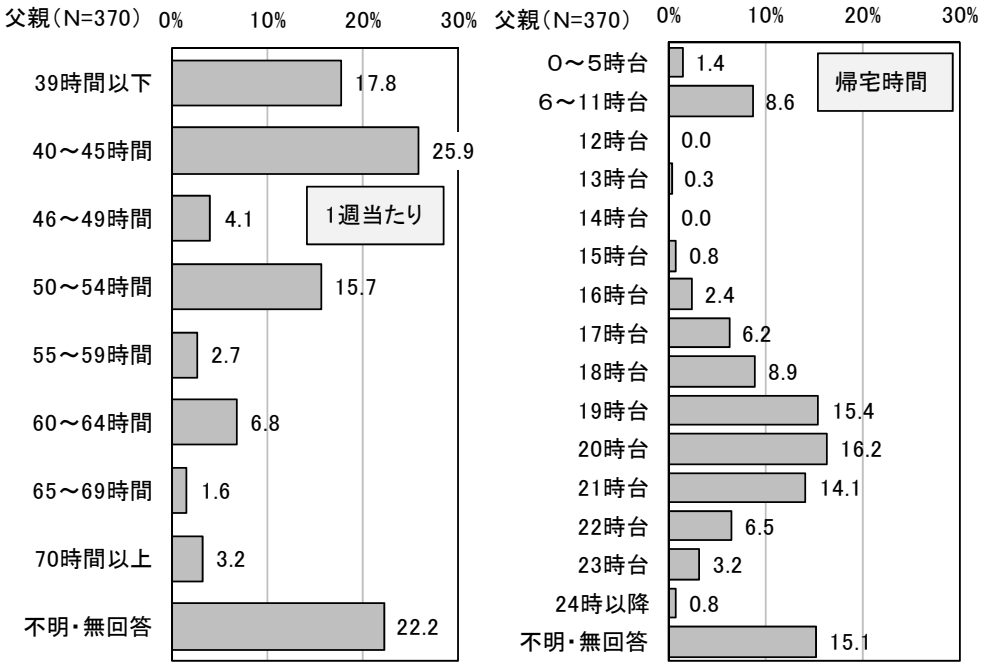
父親（夫・パートナー）の就労状況 〈単数回答〉

母子手帳被交付者問6（2）



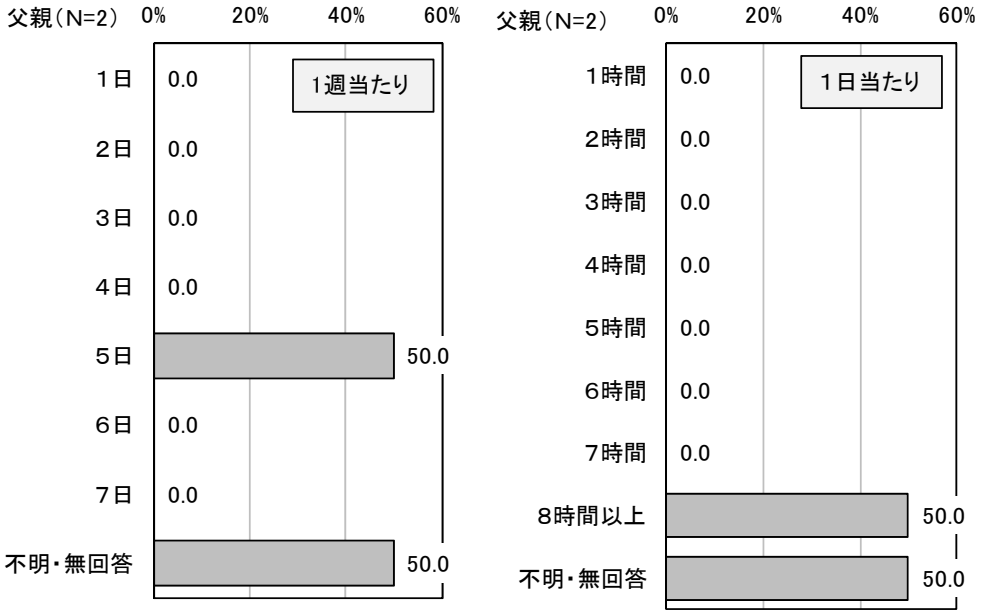
父親が「就労している（フルタイム：育休・介護休業は含まない）」と回答した人のみ

父親の1週当たりの就労時間・帰宅時刻 〈数量回答〉



父親が「就労している（パートタイム・アルバイト等）」と回答した人のみ

父親の１週当たりの就労日数・１日当たりの就労時間 〈数量回答〉



※父親（N=2）のフルタイムへの転換予定や希望への回答はなかった。

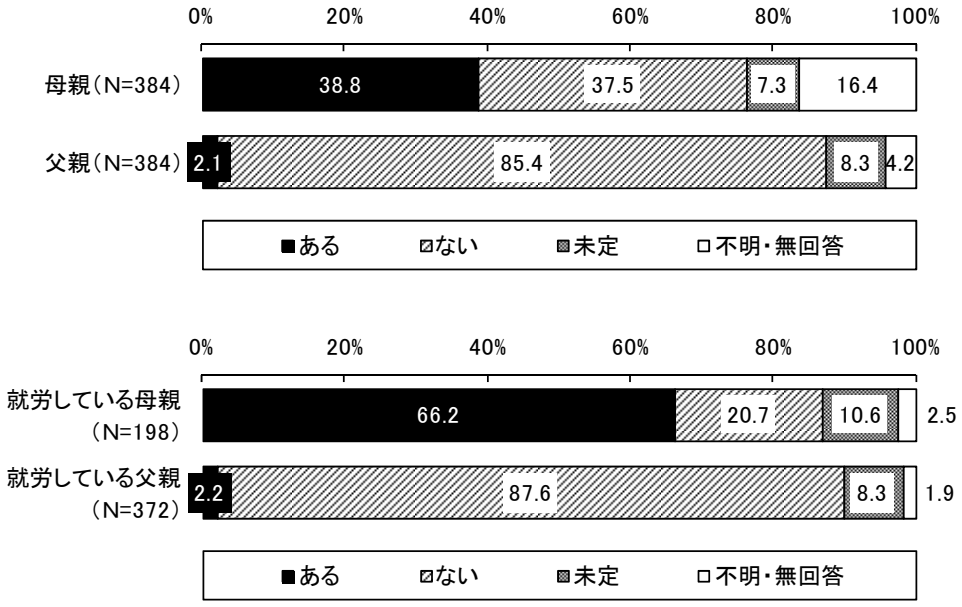
育児休業の取得予定と取得予定期間

取得予定 〈単数回答〉

育児休業の取得予定が「ある」は、就労している母親が 66.2%、就労している父親が 2.2%となっています。

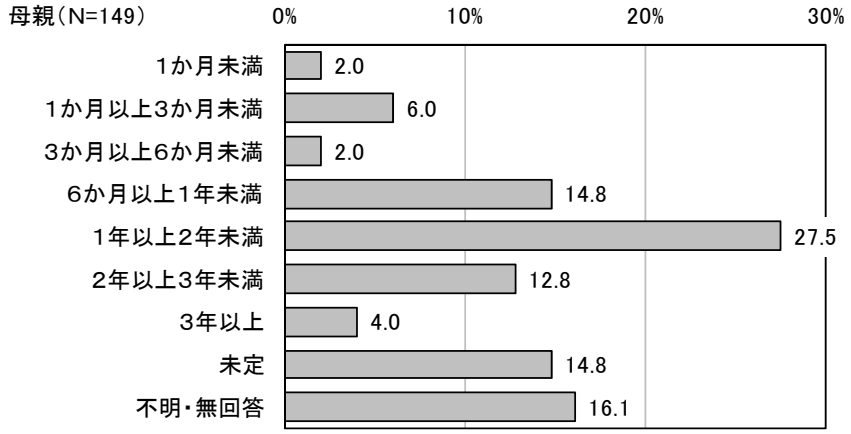
取得予定期間は、母親は「1年以上2年未満」が 27.5%と最も高く、次いで「6か月以上1年未満」「未定」がそれぞれ 14.8%、「2年以上3年未満」が 12.8%となっています。父親はすべて「1か月未満」となっています。

母子手帳被交付者 問7



育児休業を取得する予定が「ある」と回答した人のみ

◆育児休業取得予定期間 〈単数回答〉

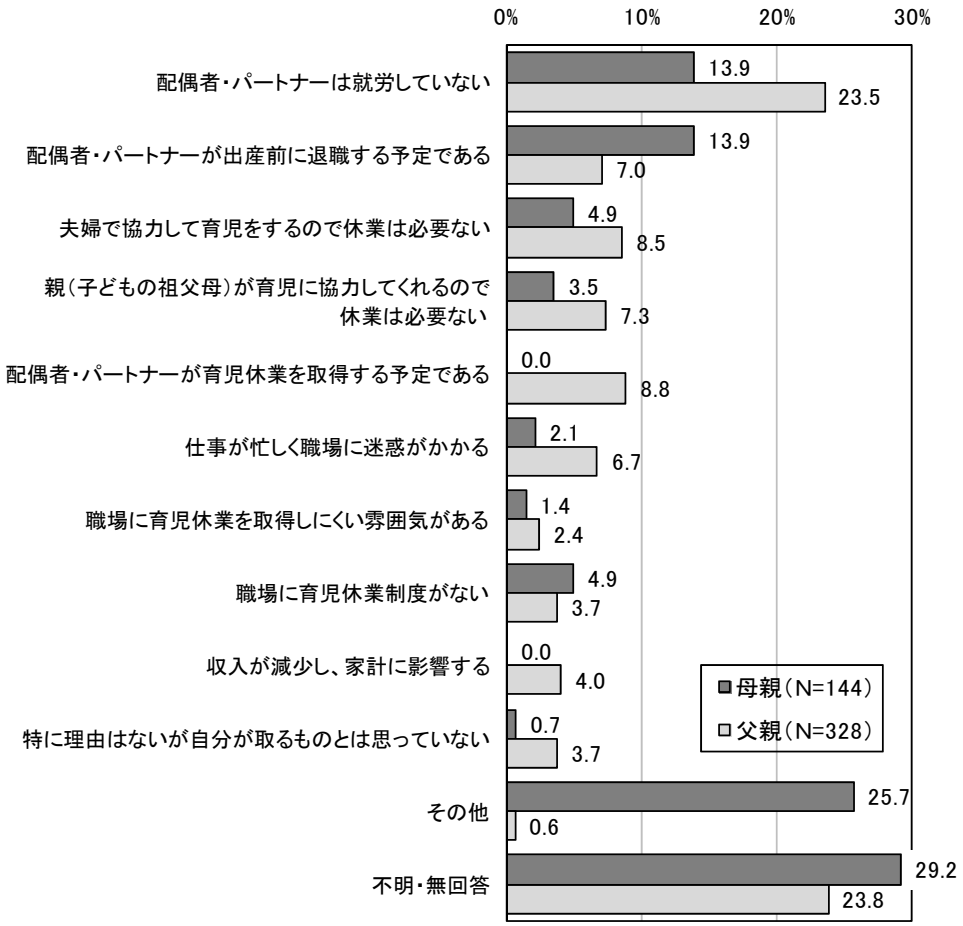


※父親の取得予定者（N=8）の取得予定期間は、すべて「1か月未満」。

育児休業を取得する予定は「ない」と回答した人のみ

育児休業を取得する予定がない最大の理由 〈単数回答〉

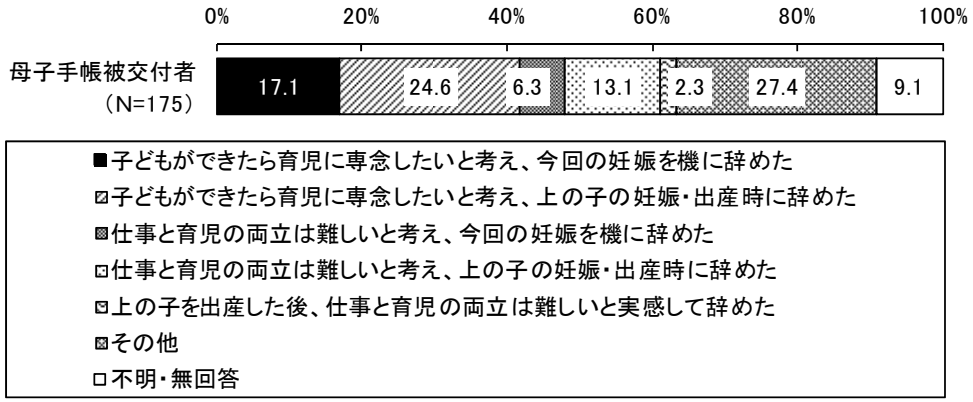
母子手帳被交付者 問7-1



「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した母親のみ

仕事をやめた理由・きっかけ 〈単数回答〉

母子手帳被交付者問8

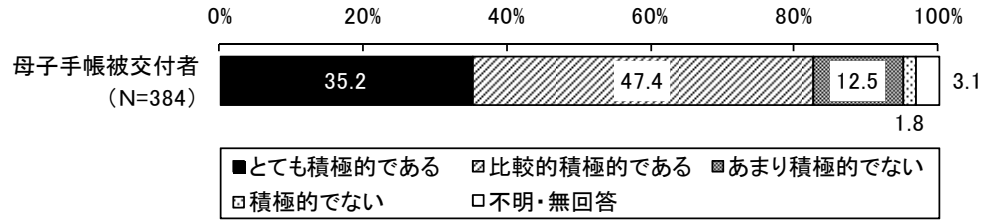


夫・パートナーがいる母親のみ

夫・パートナーは家事の分担に関して積極的か 〈単数回答〉

『積極的である』(＝「とても積極的である」＋「比較的積極的である」)が 82.6%となっています。

母子手帳被交付者問9

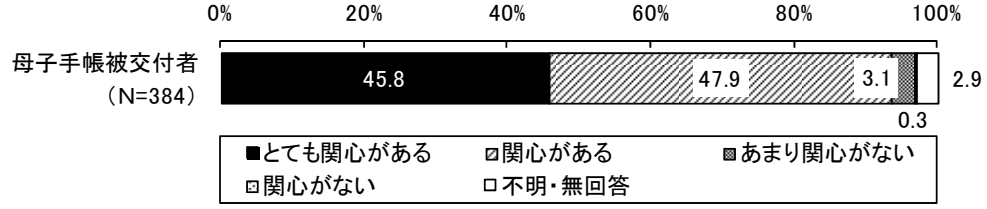


夫・パートナーがいる母親のみ

夫・パートナーはおなかの子どものことや子育てに関心があるか 〈単数回答〉

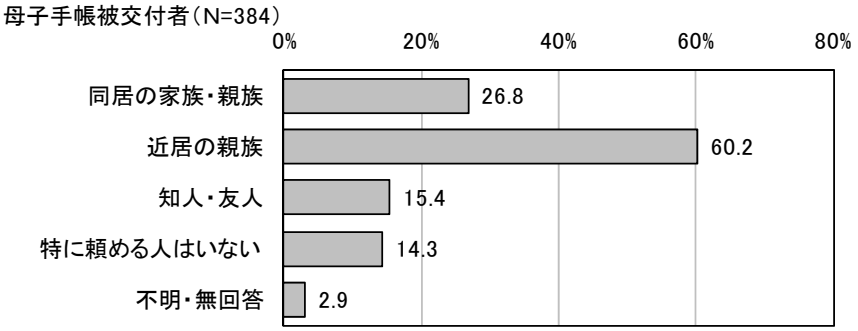
『関心がある』(＝「とても積極的で関心がある」＋「関心がある」)が 93.7%となっています。

母子手帳被交付者問 10



子どもの世話を頼めそうな人が身近にいるか 〈複数回答〉

母子手帳被交付者 問 11

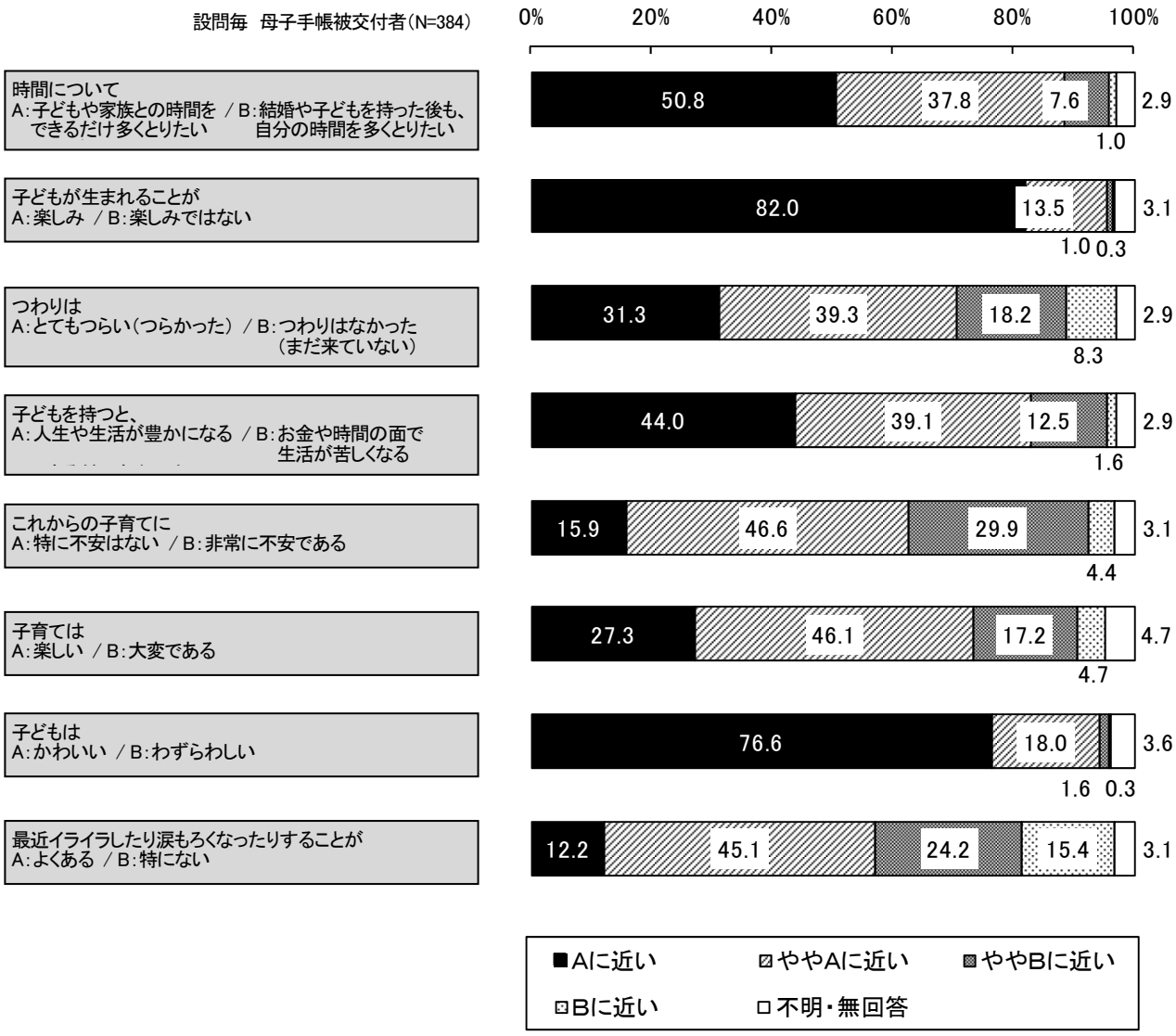


2　出産や子育ての状況や意識

現在、思ったり感じたりしていること 〈単数回答〉

「これからの子育てに不安がある」や「最近イライラしたり涙もろくなったりすることがある」の割合が比較的高くなっています。

母子手帳被交付者 問 12



◆現在、思ったり感じたりしていること×今回の母子手帳交付は何人目の子どもか別

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A 子どもや家族との時間をできるだけ多くとりたい		B 結婚や子どもを持った後も、自分の時間を多くとりたい		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
【問2】今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384 100.0	195 50.8	145 37.8	29 7.6	4 1.0	11 2.9
	1人目	170 100.0	95 55.9	61 35.9	10 5.9	- -	4 2.4
	2人目以上	207 100.0	97 46.9	83 40.1	19 9.2	4 1.9	4 1.9
	不明・無回答	4 100.0	- -	1 25.0	- -	- -	3 75.0

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A 子どもが生まれることが楽しみ		B 子どもが生まれることが楽しみではない		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2　今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384 100.0	315 82.0	52 13.5	4 1.0	1 0.3	12 3.1
	1人目	170 100.0	136 80.0	27 15.9	2 1.2	- -	5 2.9
	2人目以上	207 100.0	176 85.0	24 11.6	2 1.0	1 0.5	4 1.9
	不明・無回答	4 100.0	- -	1 25.0	- -	- -	3 75.0

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A つわりはとてもつらい（つらかった）		B つわりはなかった（まだ来ていない）		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2　今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384 100.0	120 31.3	151 39.3	70 18.2	32 8.3	11 2.9
	1人目	170 100.0	50 29.4	64 37.6	34 20.0	18 10.6	4 2.4
	2人目以上	207 100.0	67 32.4	86 41.5	36 17.4	14 6.8	4 1.9
	不明・無回答	4 100.0	1 25.0	- -	- -	- -	3 75.0

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A 子どもを持つと、人生や生活が豊かになる		B 子どもを持つと、お金や時間の面で生活が苦しくなる		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2　今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384 100.0	169 44.0	150 39.1	48 12.5	6 1.6	11 2.9
	1人目	170 100.0	61 35.9	79 46.5	24 14.1	2 1.2	4 2.4
	2人目以上	207 100.0	107 51.7	71 34.3	22 10.6	3 1.4	4 1.9
	不明・無回答	4 100.0	- -	- -	1 25.0	- -	3 75.0

◆現在、思ったり感じたりしていること×今回の母子手帳交付は何人目の子どもか別

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A これからの子育てに特に不安はない		B これからの子育てが非常に不安である		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2 今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384	61	179	115	17	12
		100.0	15.9	46.6	29.9	4.4	3.1
	1人目	170	12	78	63	13	4
		100.0	7.1	45.9	37.1	7.6	2.4
	2人目以上	207	48	100	51	4	4
		100.0	23.2	48.3	24.6	1.9	1.9
	不明・無回答	4	-	-	-	-	4
		100.0	-	-	-	-	100.0

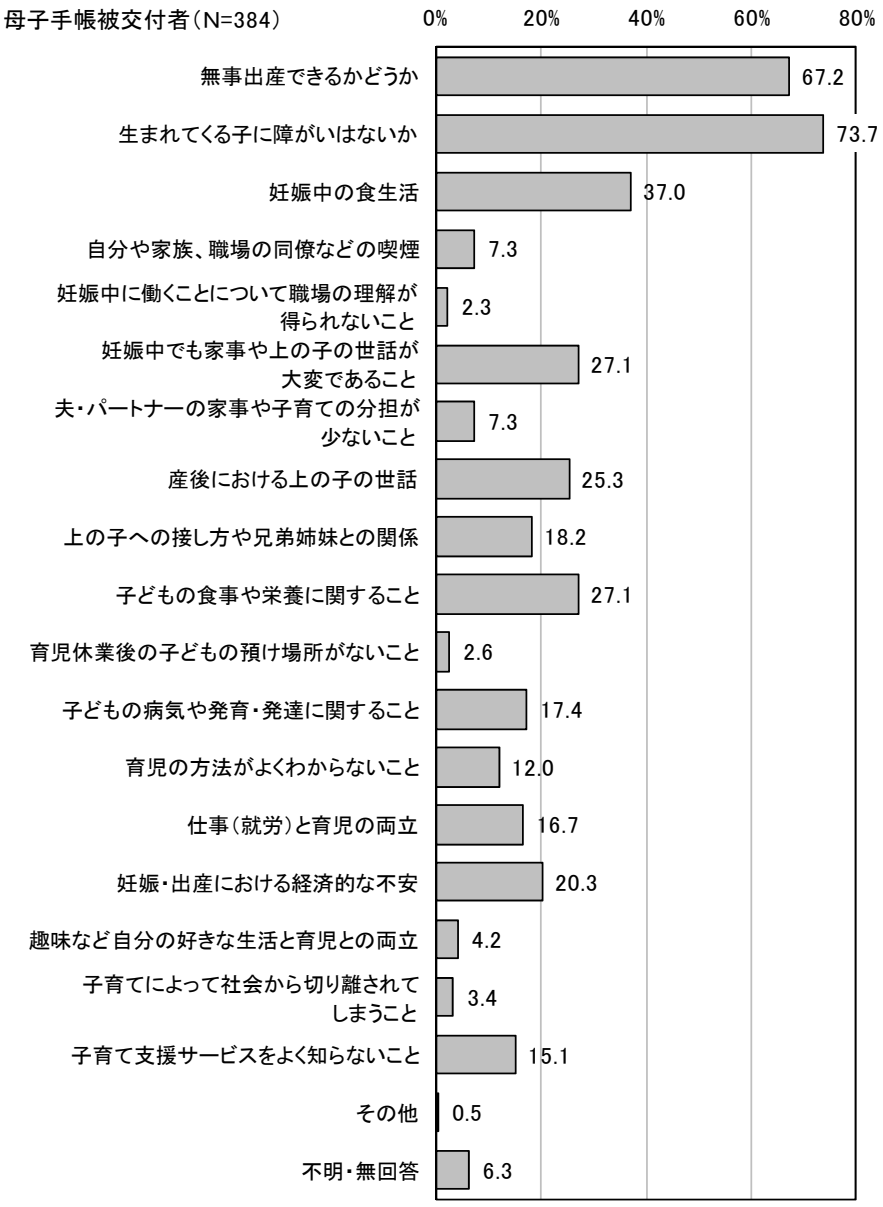
上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A 子育ては楽しい		B 子育ては大変である		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2 今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384	105	177	66	18	18
		100.0	27.3	46.1	17.2	4.7	4.7
	1人目	170	22	85	41	12	10
		100.0	12.9	50.0	24.1	7.1	5.9
	2人目以上	207	82	91	23	6	5
		100.0	39.6	44.0	11.1	2.9	2.4
	不明・無回答	4	-	-	1	-	3
		100.0	-	-	25.0	-	75.0

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A 子どもはかわいい		B 子どもはわずらわしい		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2 今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384	294	69	6	1	14
		100.0	76.6	18.0	1.6	0.3	3.6
	1人目	170	123	36	4	1	6
		100.0	72.4	21.2	2.4	0.6	3.5
	2人目以上	207	168	32	2	0	5
		100.0	81.2	15.5	1.0	0.0	2.4
	不明・無回答	4	-	1	-	-	3
		100.0	-	25.0	-	-	75.0

上段:件数 下段:%		【問12】 思ったり感じていること	A 最近イライラしたり涙もろくなったりすることがよくある		B 最近イライラしたり涙もろくなったりすることは特にない		
		合計	Aに近い	ややAに近い	ややBに近い	Bに近い	不明・無回答
問2 今回、母子手帳の交付を受けたのは、何人目のお子さんですか	合計	384	47	173	93	59	12
		100.0	12.2	45.1	24.2	15.4	3.1
	1人目	170	29	70	33	33	5
		100.0	17.1	41.2	19.4	19.4	2.9
	2人目以上	207	17	101	59	26	4
		100.0	8.2	48.8	28.5	12.6	1.9
	不明・無回答	4	-	-	1	-	3
		100.0	-	-	25.0	-	75.0

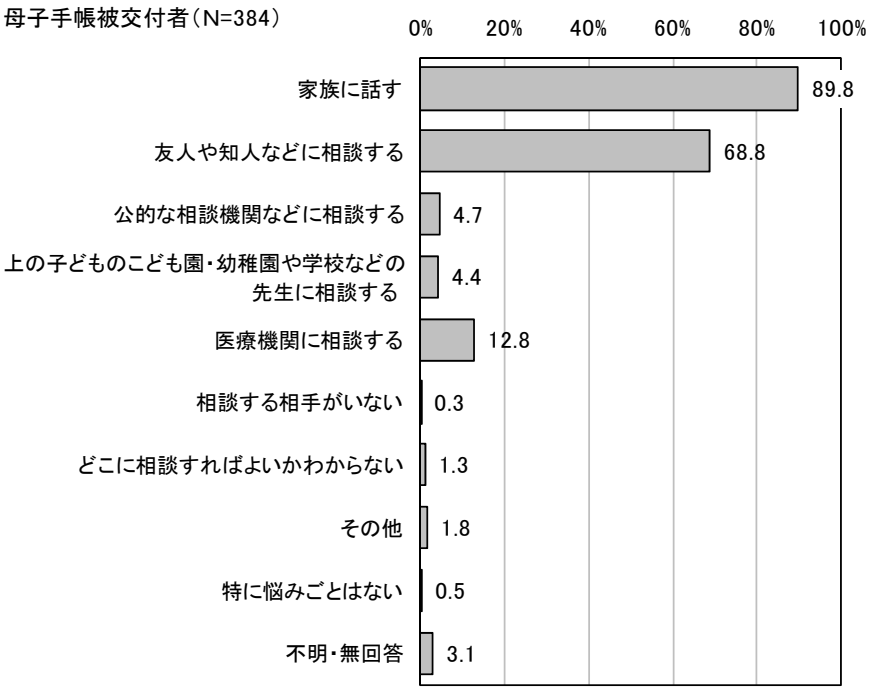
妊娠中の生活、出産、その後の子育てや生活について気になることや悩んでいること〈複数回答〉

母子手帳被交付者 問13



妊娠期や出産・子育てについて悩んだ時の相談先など 〈複数回答〉

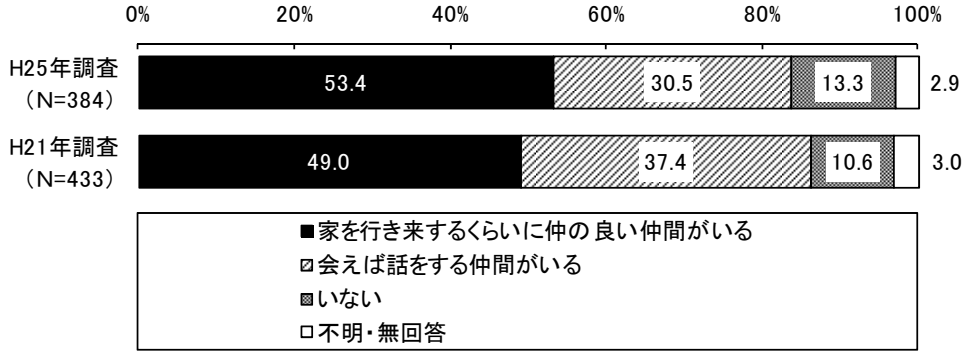
母子手帳被交付者問 14



妊婦仲間や子育て仲間の有無 〈単数回答〉

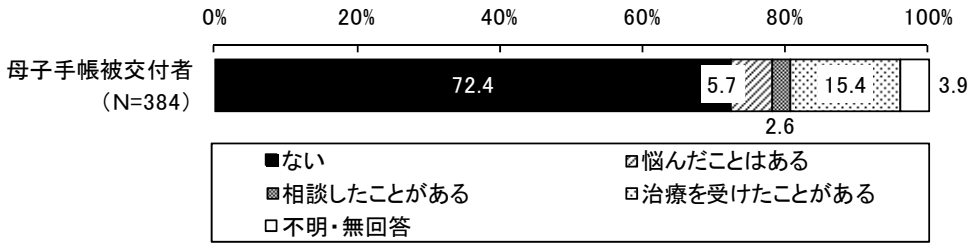
「家を行き来するくらいに仲の良い仲間がいる」が 53.4%と H21 年調査に比べて増加している一方、「いない」が 13.3%となっており、H21 年調査に比べて 2.7 ポイント増加しています。

母子手帳被交付者問 15



これまでに不妊について悩んだり治療を受けたりしたことの状況 〈複数回答〉

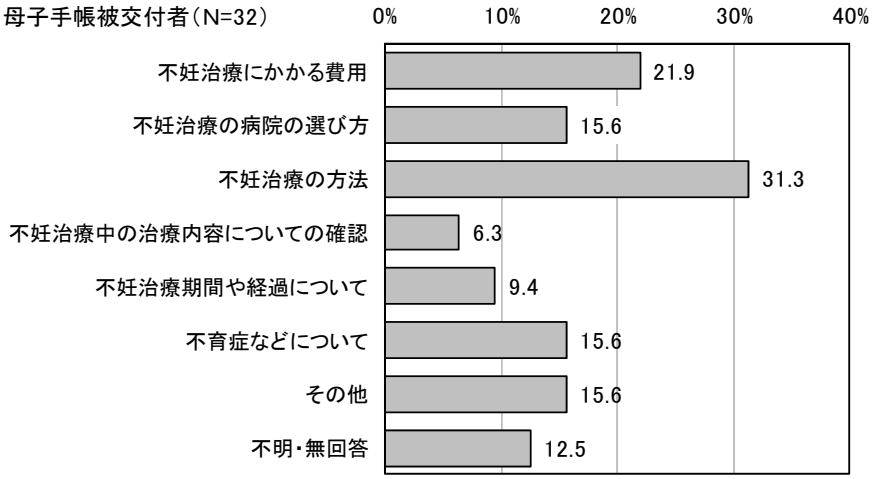
母子手帳被交付者問 16



不妊について「悩んだことはある」「相談したことがある」と回答した人のみ

悩みや相談の内容 〈複数回答〉

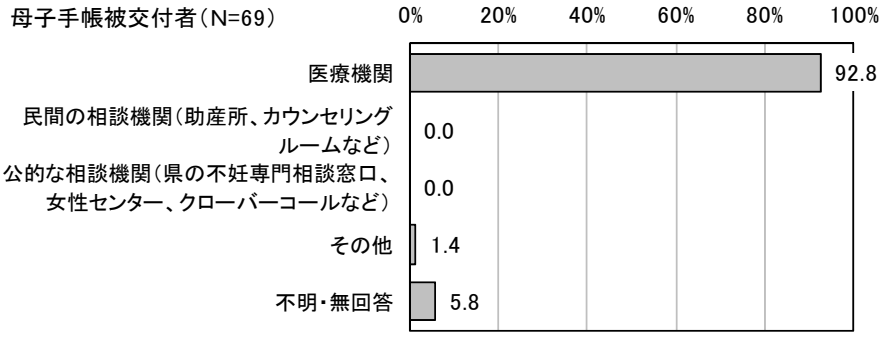
母子手帳被交付者問 16-1



不妊について「相談したことがある」「治療を受けたことがある」と回答した人のみ

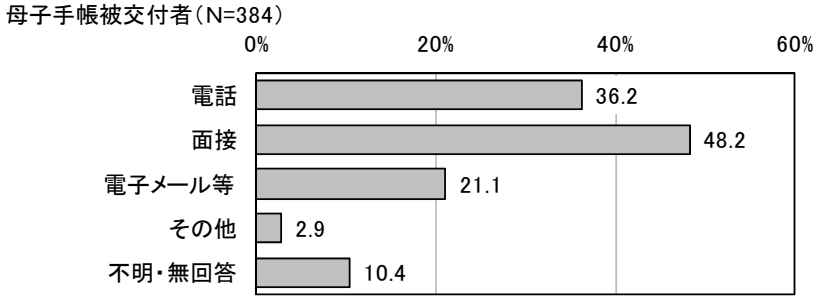
相談先や治療先 〈複数回答〉

母子手帳被交付者問 16-2



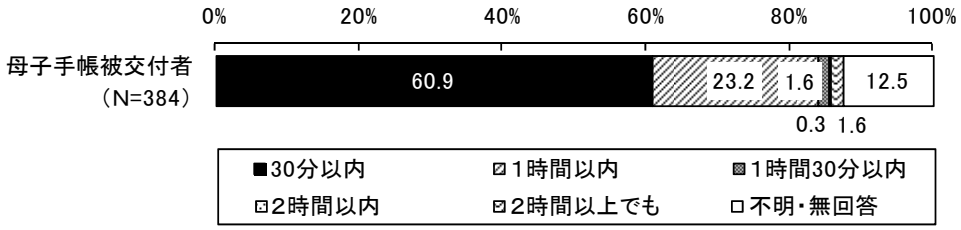
今後不妊について相談する場合、希望する相談方法 〈複数回答〉

母子手帳被交付者問 17



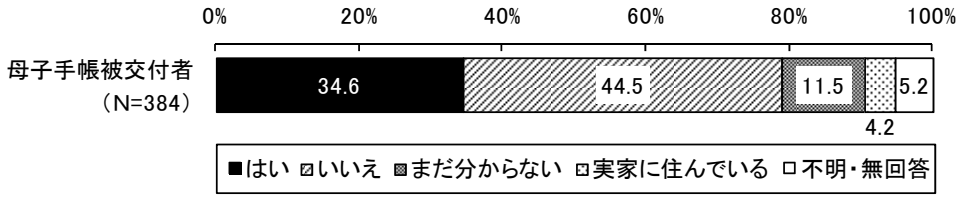
今後不妊について面接相談等を受ける場合、面接場所への移動時間はどのくらいであったら利用するか
〈単数回答〉

母子手帳被交付者問 18



里帰り出産の予定の有無 〈単数回答〉

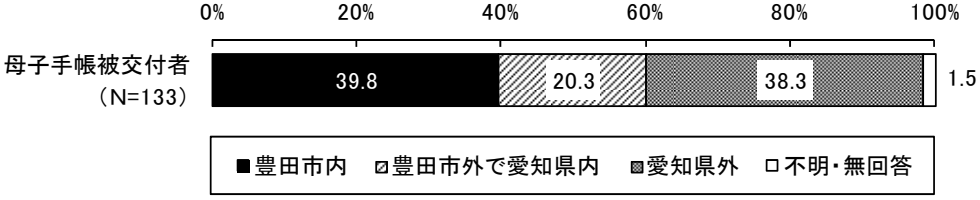
母子手帳被交付者問 19



里帰り出産する予定がある（選択肢「はい」）と回答した人のみ

実家の場所 〈単数回答〉

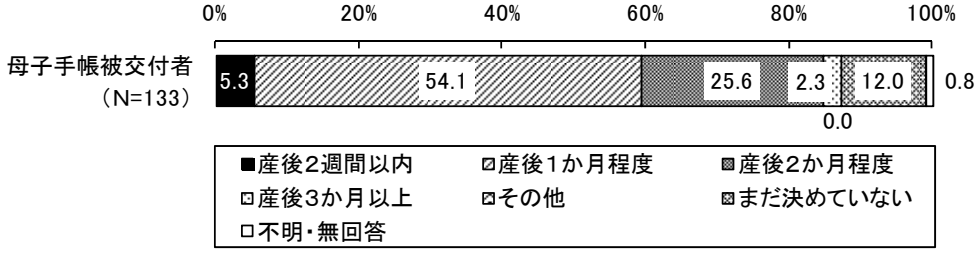
母子手帳被交付者問 19-1



里帰り出産する予定がある（選択肢「はい」）と回答した人のみ

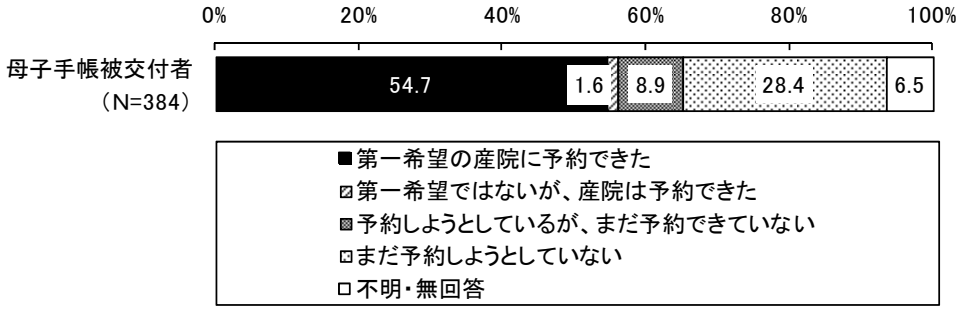
産後、実家への滞在予定期間 〈単数回答〉

母子手帳被交付者問 19-2



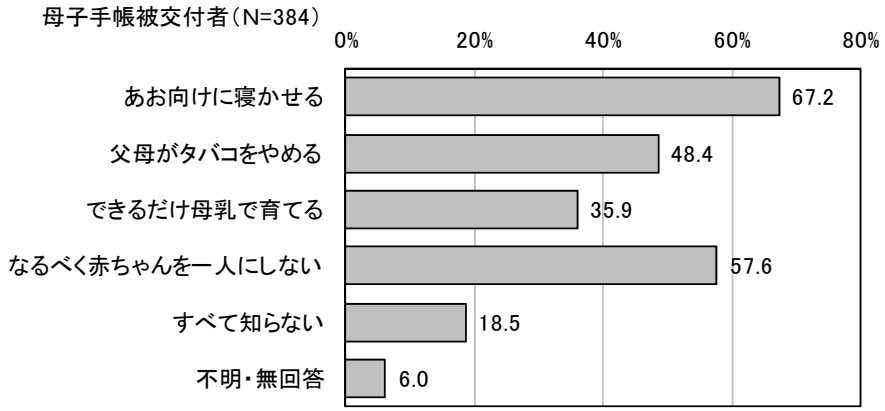
産院の予約はスムーズにできたか 〈単数回答〉

母子手帳被交付者問 20



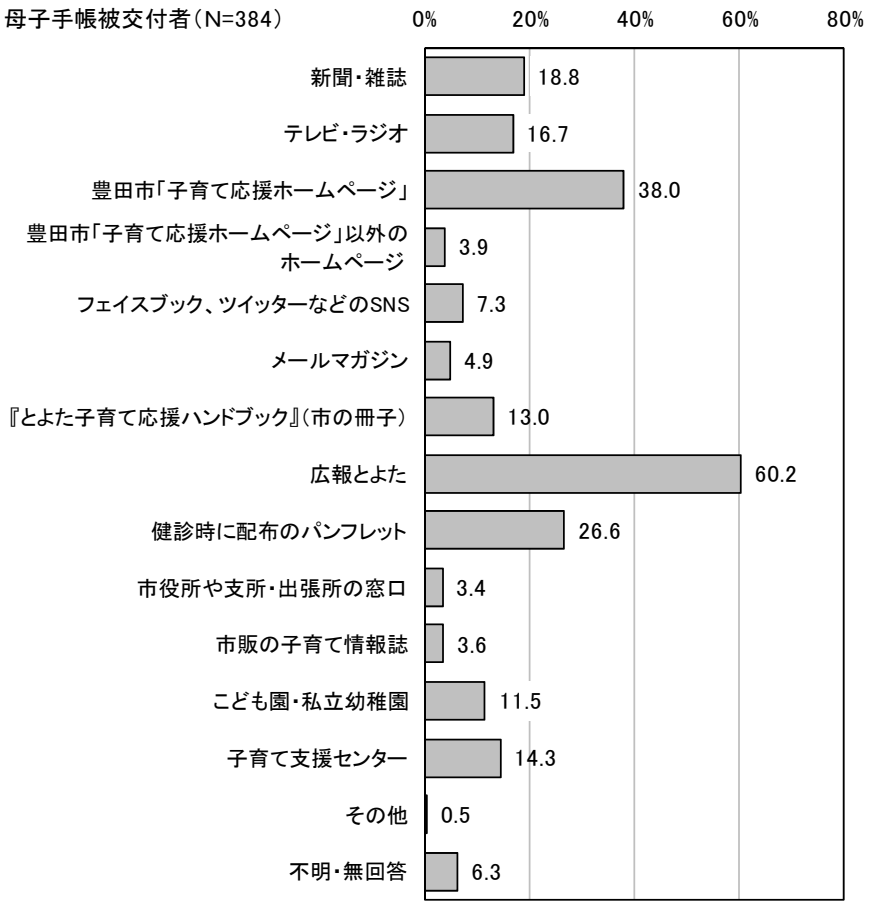
乳幼児突然死症候群の予防方法について知っていること 〈複数回答〉

母子手帳被交付者問 21



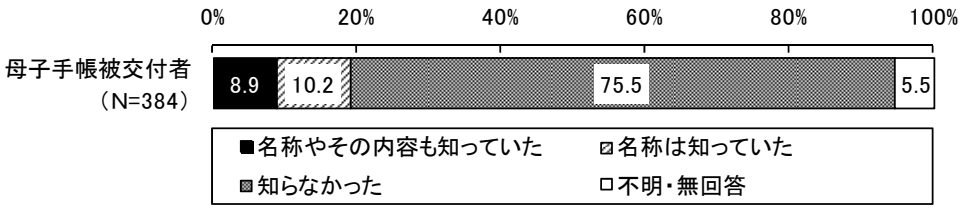
子育てや子育て支援サービスに関する情報の入手方法 〈複数回答〉

母子手帳被交付者 問 22



「母性健康管理指導事項連絡カード」の認知度 〈単数回答〉

母子手帳被交付者 問 23



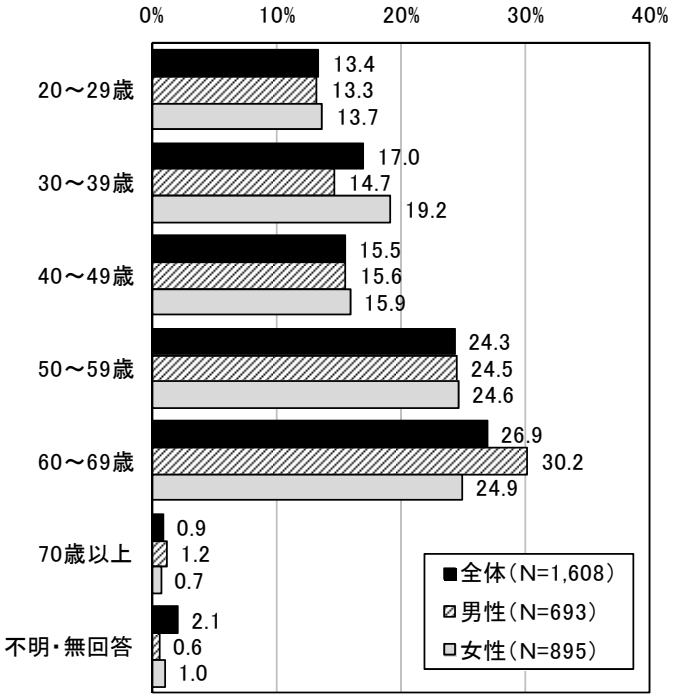
※「母性健康管理指導事項連絡カード」とは、医療機関が妊娠中及び出産後の女性労働者に必要な健康管理について記載したもので、事業主が必要な措置を知り、実施できるようにするためのものです。

Ⅴ　子ども・子育てに関する意識（一般市民）

1　家族の状況

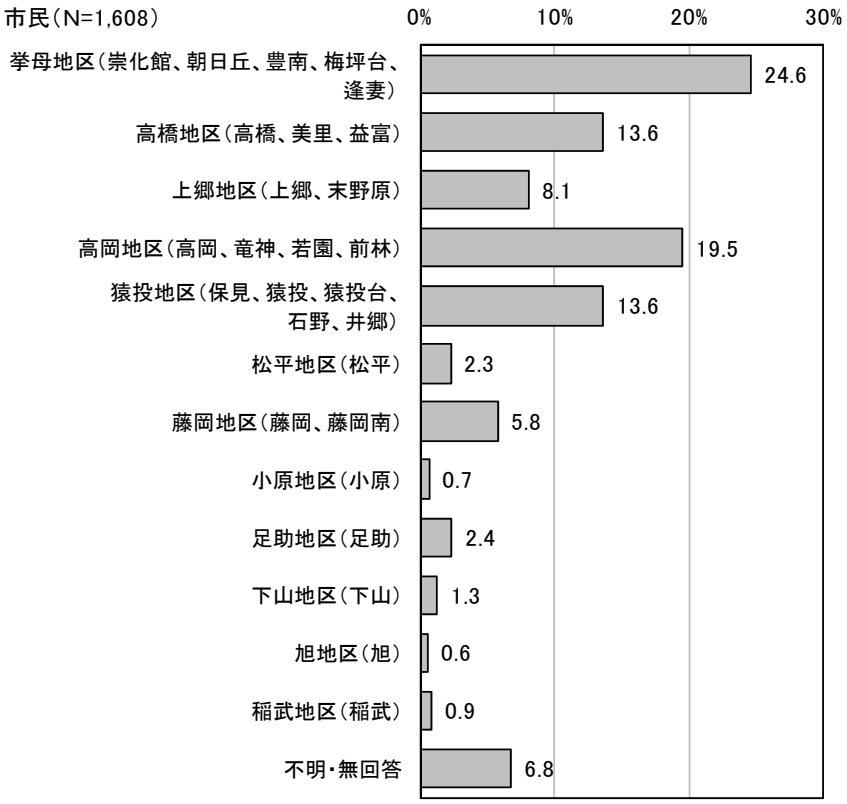
性別・年齢〈単数回答〉　※平成 25 年9月1日現在

一般市民問1



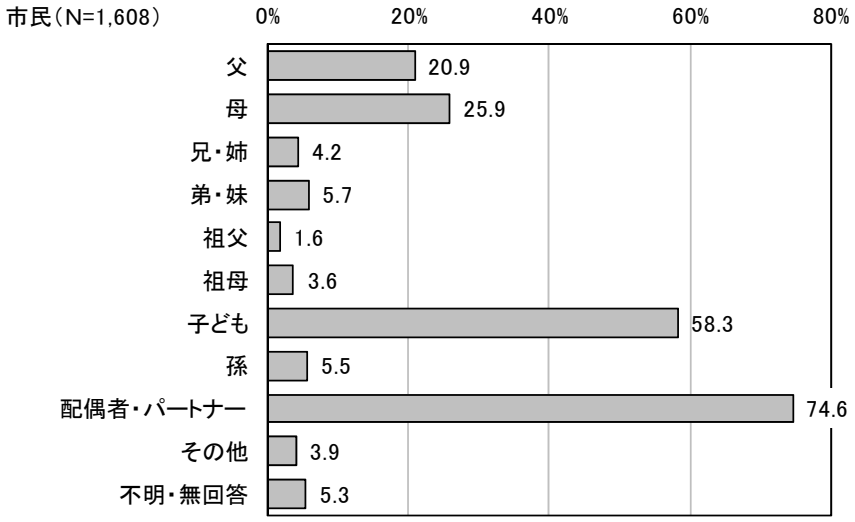
居住地区 〈単数回答〉

一般市民問2



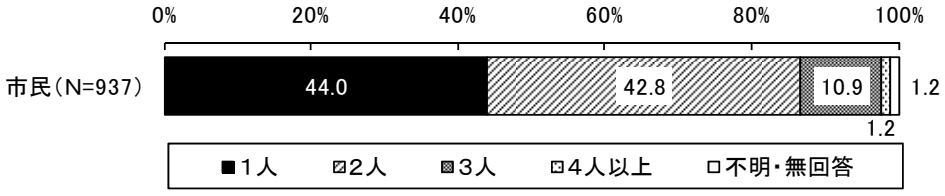
同居している家族 〈数量回答〉

一般市民問3

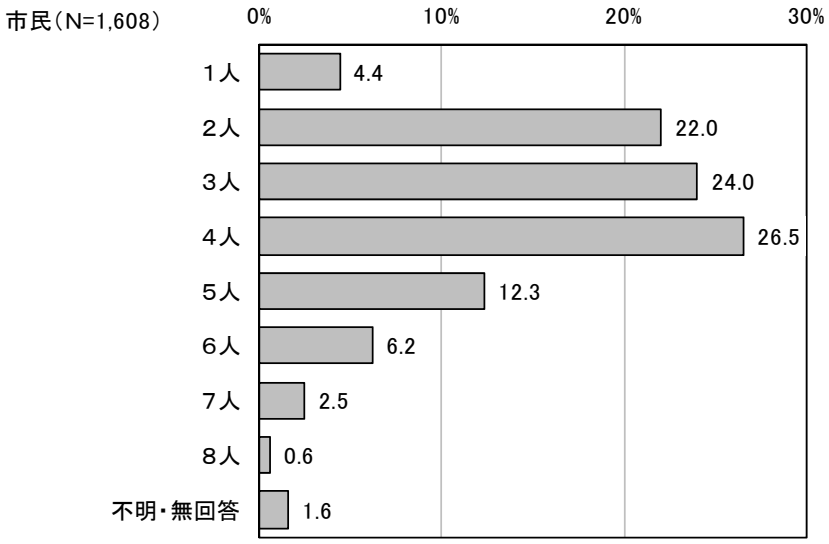


（子どもがいる場合）

◆子どもの人数 〈数量回答〉



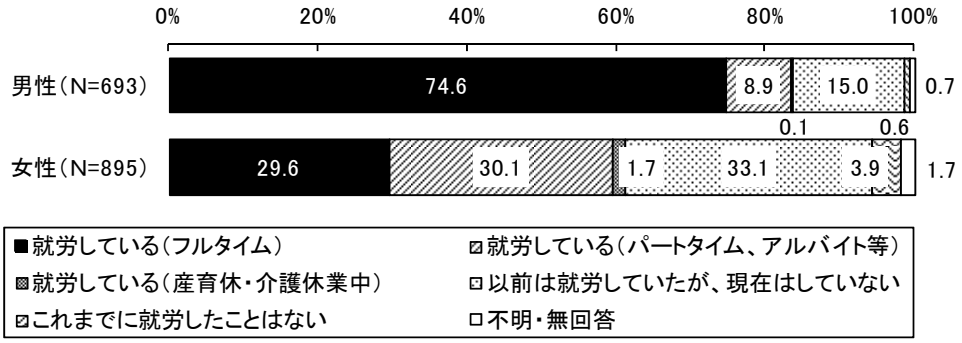
◆家族の人数 〈数量回答〉



現在の就労状況

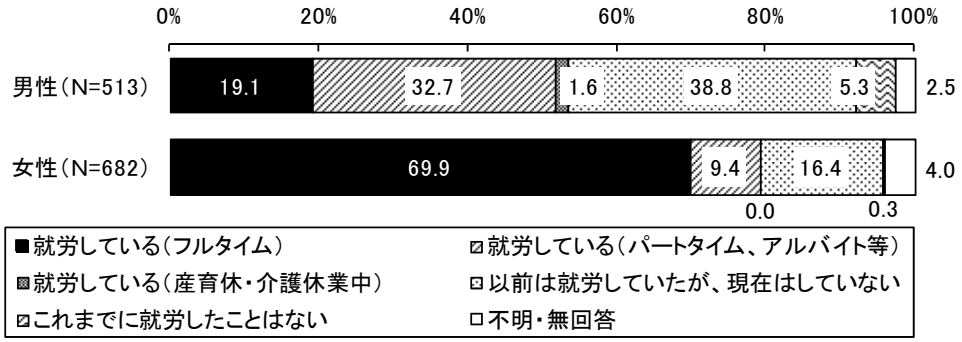
回答者 〈単数回答〉

一般市民問4



配偶者・パートナーの就労状況 〈単数回答〉

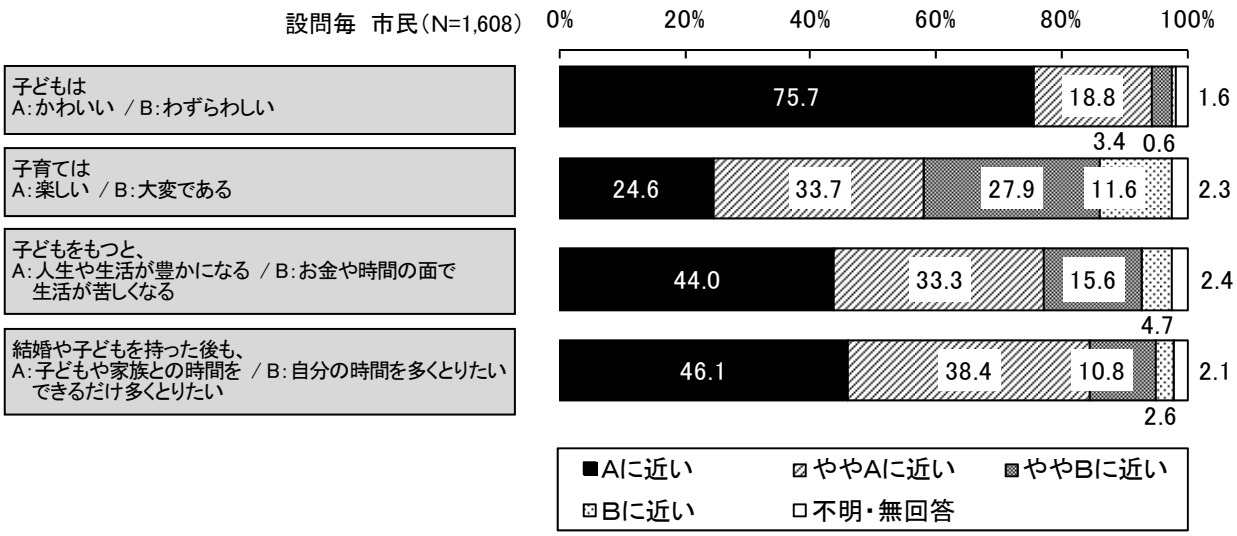
一般市民問4



2　子ども・子育て・教育に関する意識

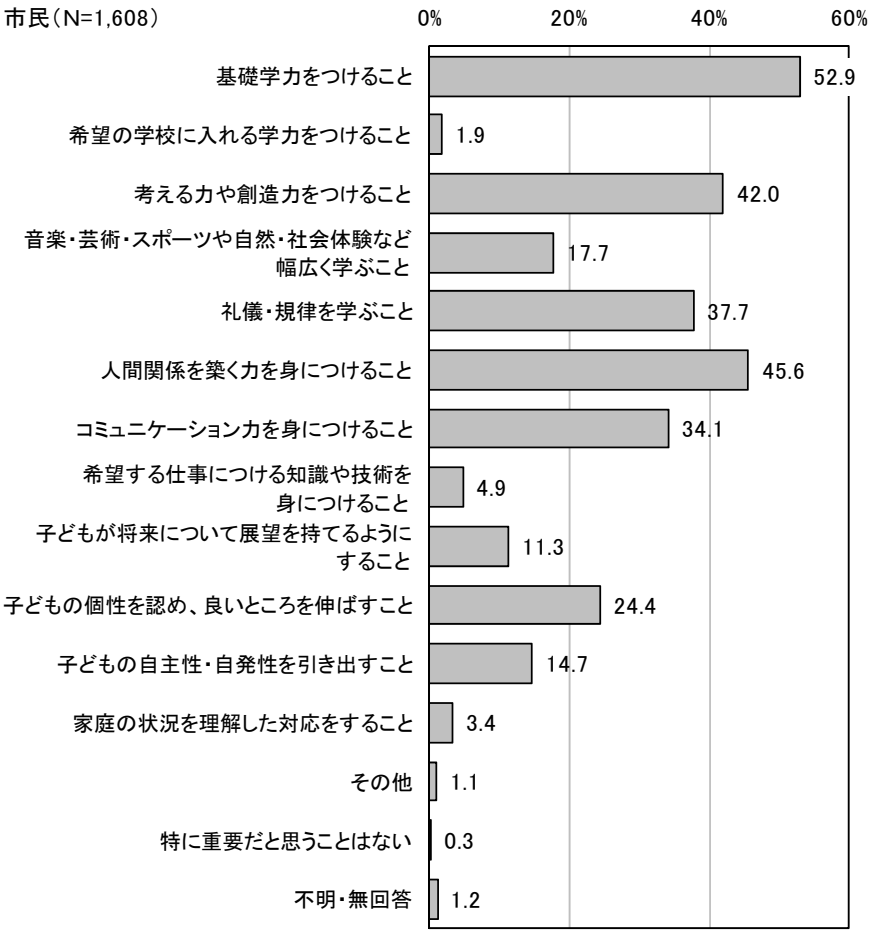
「子育て」についてどのように感じているか 〈単数回答〉

一般市民問5



学校教育で重要だと思うこと 〈単数回答〉

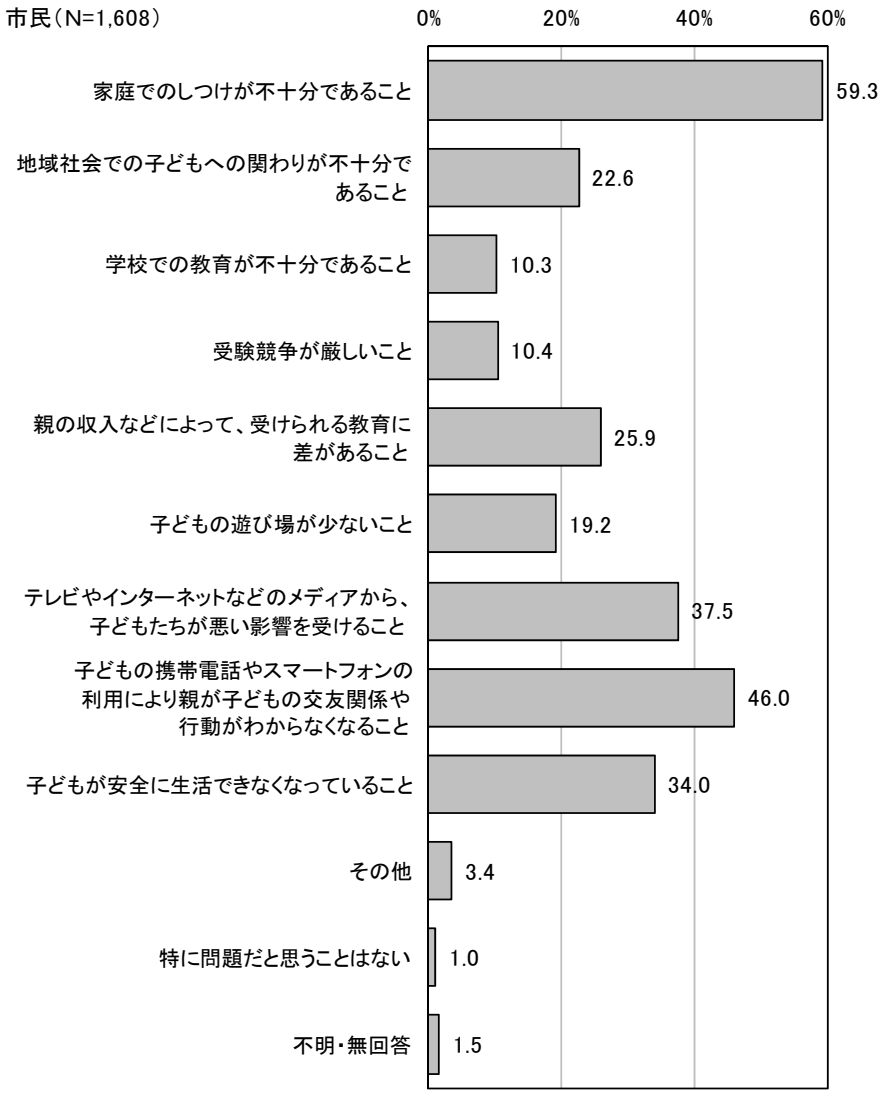
一般市民問7



最近の子育てや教育の現状について考えたとき、問題だと思うこと 〈単数回答〉

「家庭でのしつけが不十分であること」が 59.3%と最も高く、次いで「子どもの携帯電話やスマートフォンの利用により親が子どもの交友関係や行動がわからなくなること」が 46.0%、「テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること」が 37.5%となっています。

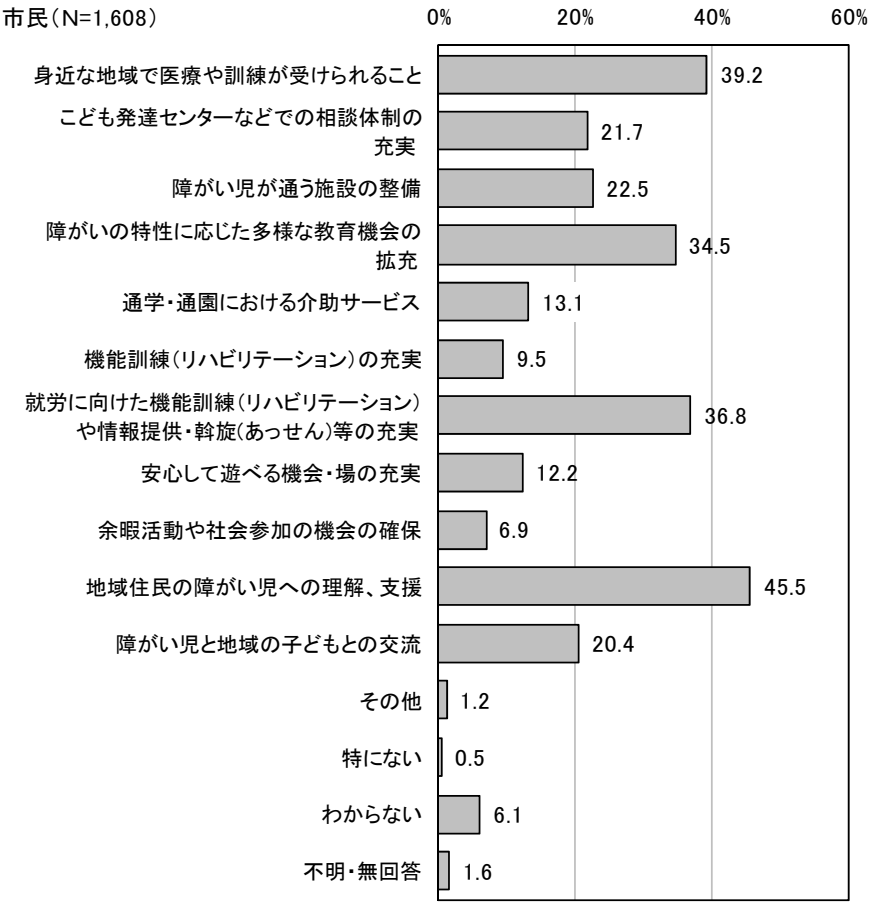
一般市民問8



障害のある子どもが地域で育っていくために、特に必要と思うこと 〈複数回答〉

「地域住民の障がい児への理解、支援」が 45.5%と最も高くなっています。地域における見守りや支援が円滑に行われるよう、理解促進に向けた取り組みが求められています。

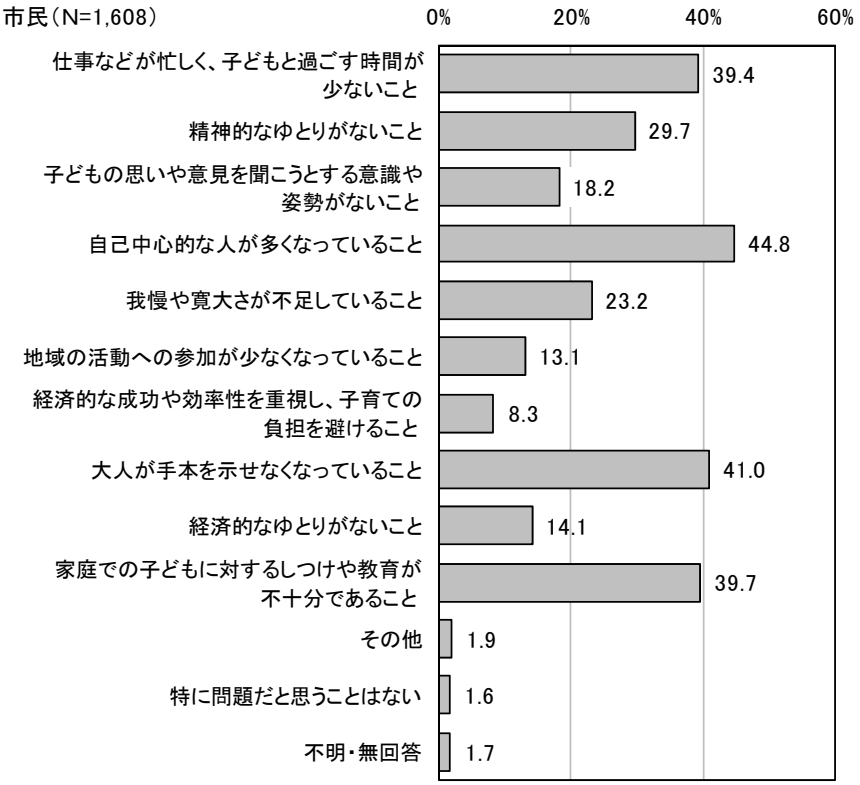
一般市民問 20



子どもを健全に育てていくために、現在の大人に足りないことや問題だと思うこと　〈複数回答〉

「自己中心的な人が多くなっていること」が 44.8%と最も高く、次いで「大人が手本を示せなくなっていること」が 41.0%、「家庭での子どもに対するしつけや教育が不十分であること」が 39.7%、「仕事などが忙しく、子どもと過ごす時間が少ないこと」が 39.4%となっています。

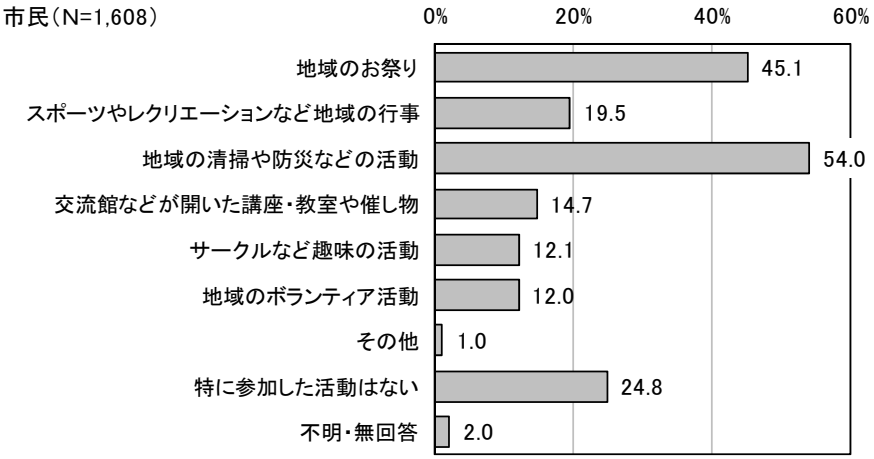
一般市民問 21



3　地域や地域活動

最近1年間に参加した地域活動の内容 〈複数回答〉

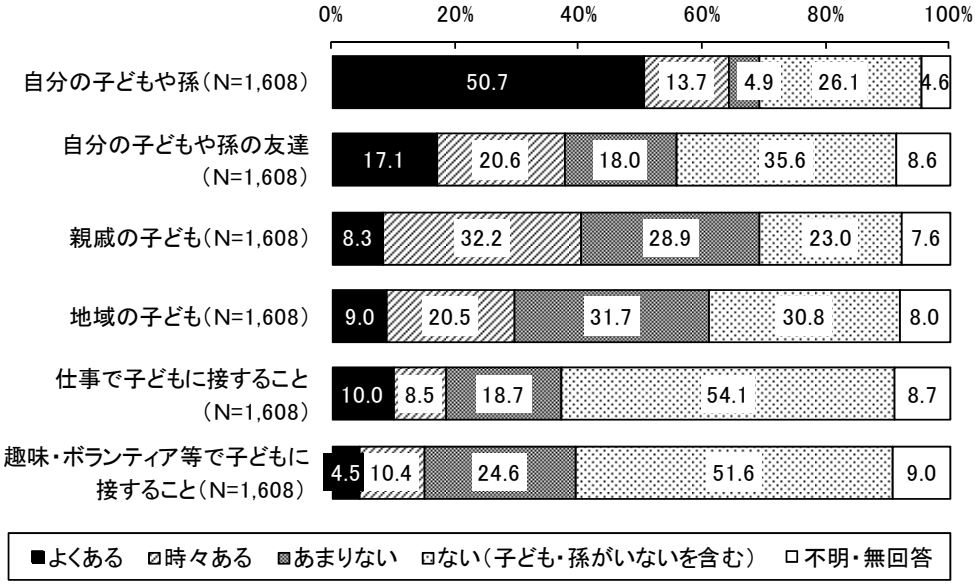
一般市民問9



普段、20 歳未満の子どもと接する機会があるか 〈単数回答〉

『ある』(＝「よくある」＋「時々ある」)は「自分の子どもや孫」が 64.4%と他の機会と比べて高く、次いで「親戚の子ども」が 40.5%、「自分の子どもや孫の友達」が 37.7%となっています。

一般市民問 10



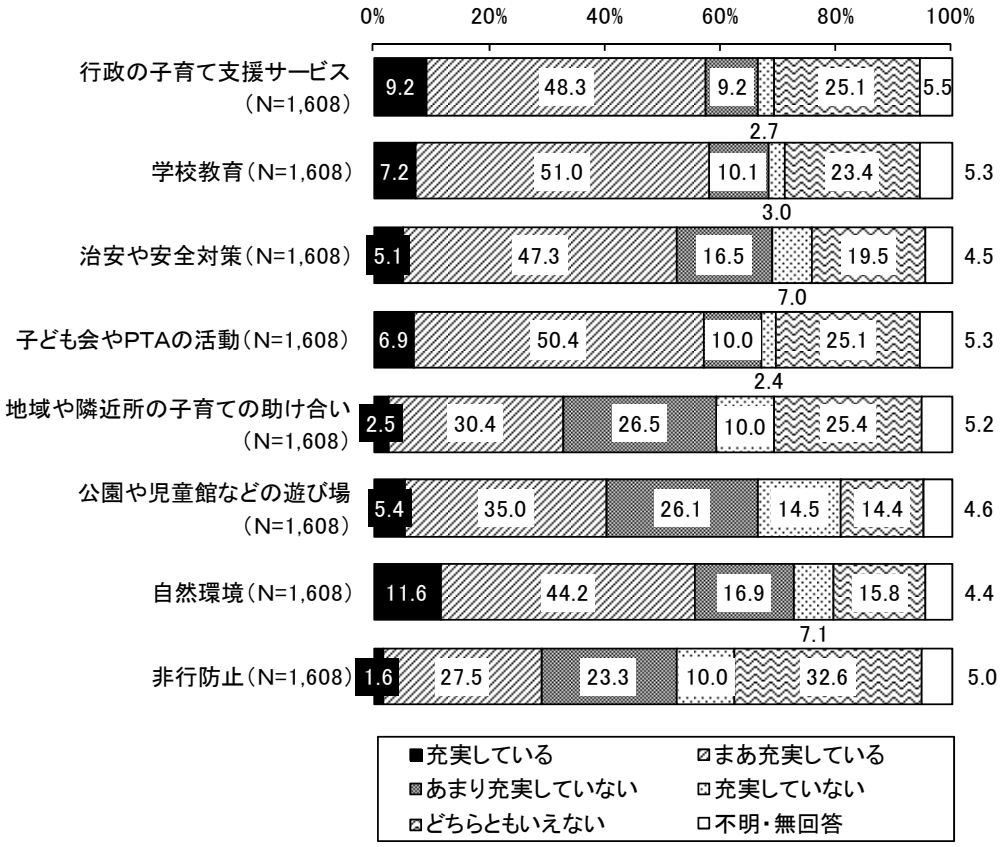
4　豊田市に対する印象

豊田市は、子どもが暮らしやすく健全に育っていけるまちだと思うか　〈単数回答〉

『充実している』(＝「充実している」＋「まあ充実している」)は、「行政の子育て支援サービス」「学校教育」「治安や安全対策」「子ども会やPTAの活動」「自然環境」で5割を超えています。

『充実していない』(＝「あまり充実していない」＋「充実していない」)は、「地域や隣近所の子育ての助け合い」「公園や児童館などの遊び場」「非行防止」で3割を超えています。

一般市民 問19

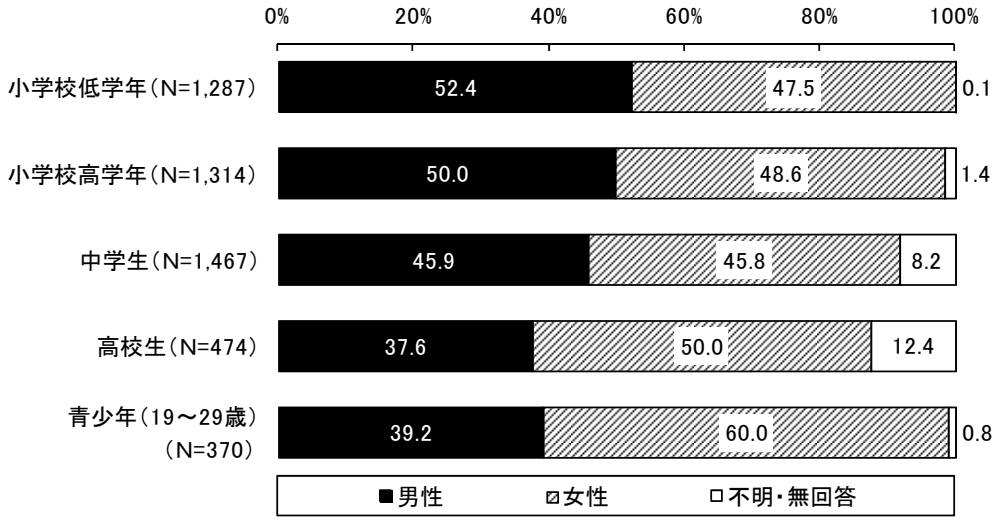


Ⅵ　子ども・青少年の生活や気持ち（小中学生、高校生、青少年(19～29 歳)）

1　家族の状況

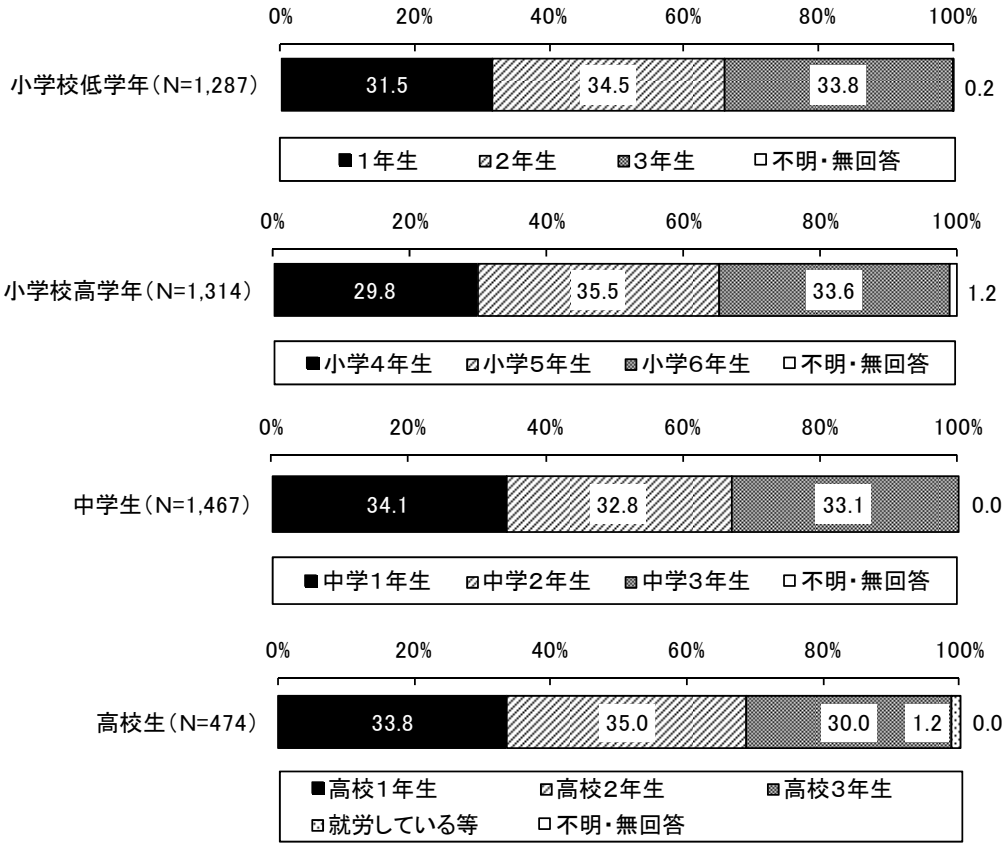
性別 〈単数回答〉

小学校低学年問1、小学校高学年問1、中学生以上問1(1)、青少年(19～29 歳)問1



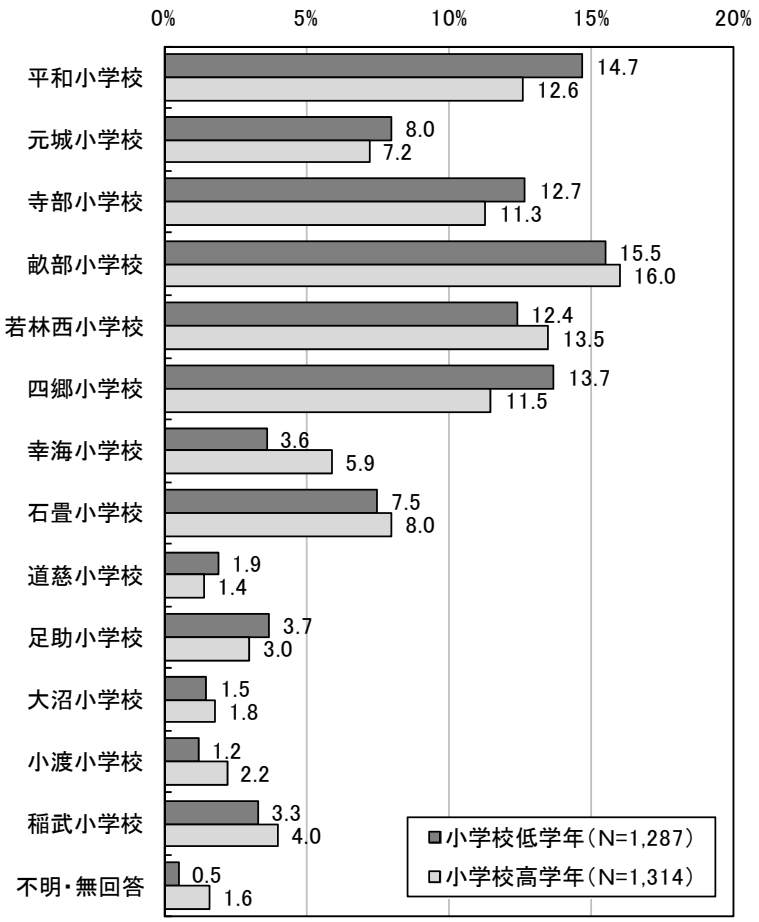
学年 〈単数回答〉

小学校低学年問2、小学校高学年問2、中学生以上問1(2)



通っている小学校 〈記述回答〉

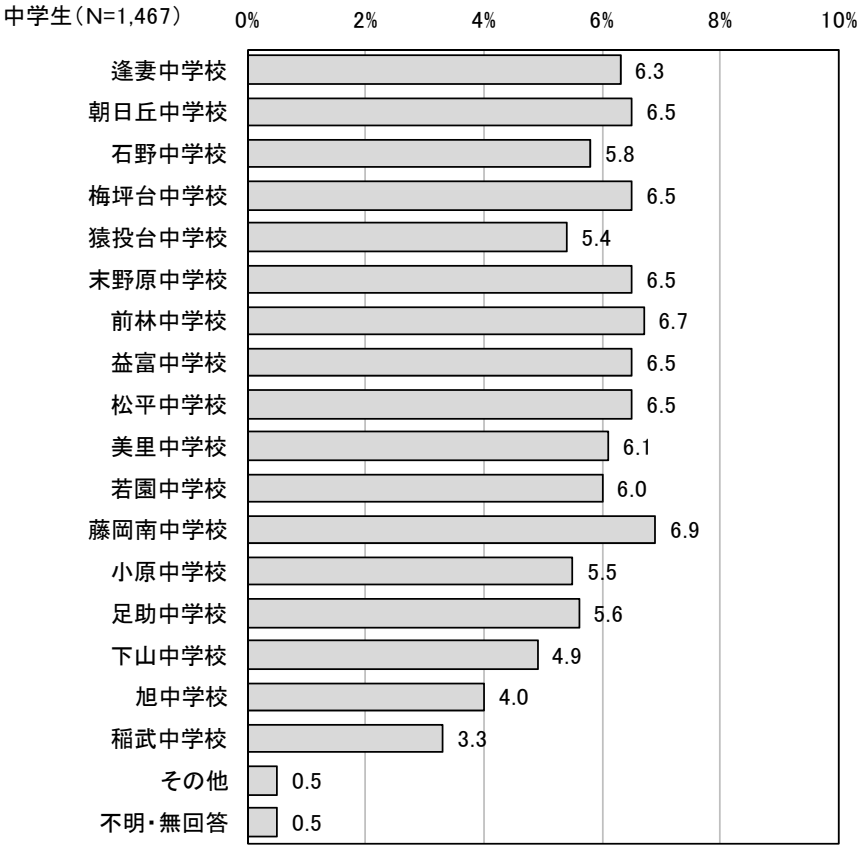
小学校低学年問3、小学校高学年問3



「中学１年生」「中学2年生」「中学3年生」と回答した人のみ

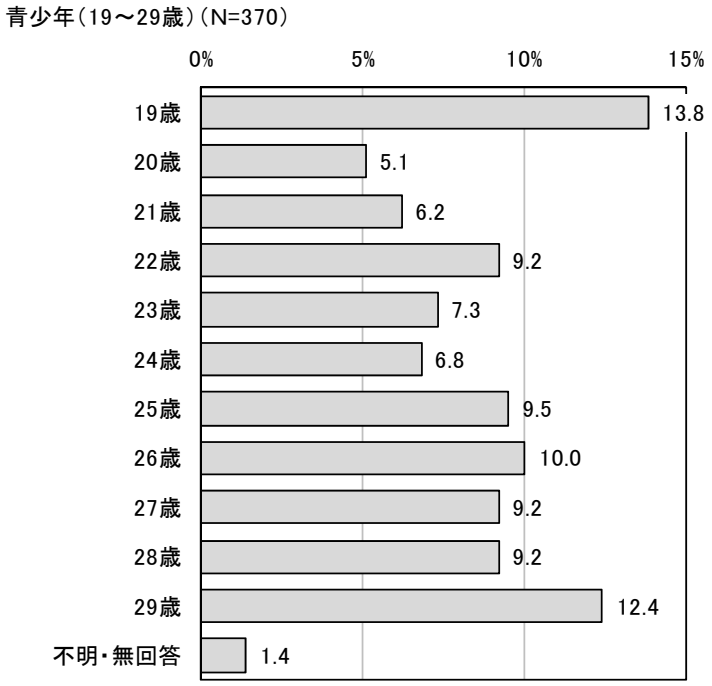
通っている中学校 〈単数回答〉

中学生以上 問2



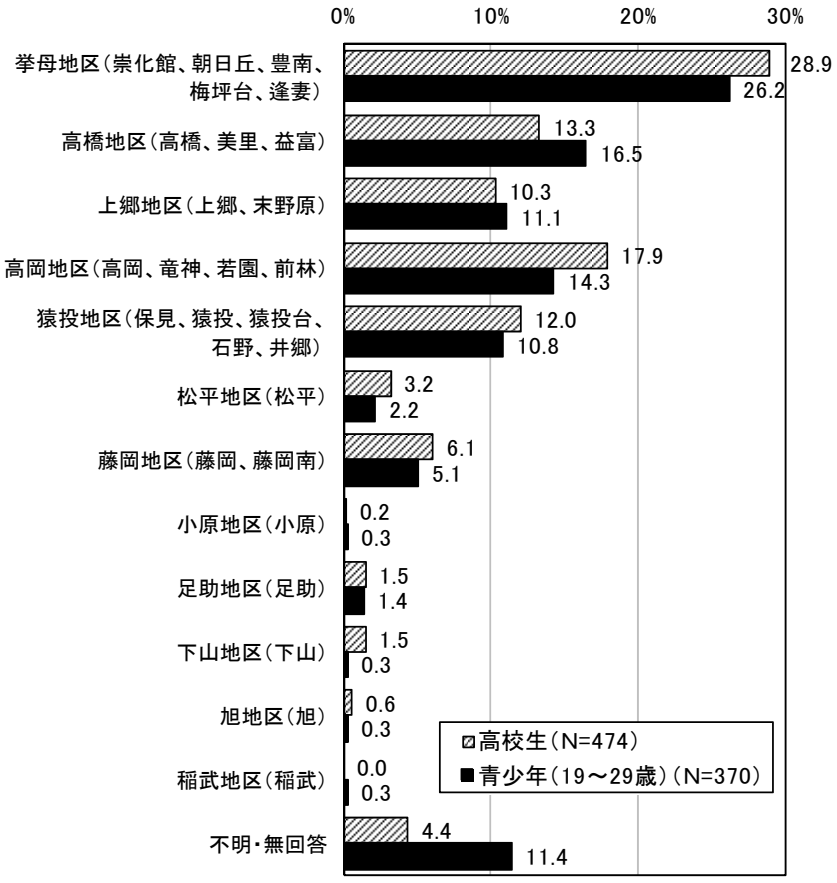
年齢 〈数量回答〉　※平成 25 年9月1日現在

青少年(19～29 歳)問1



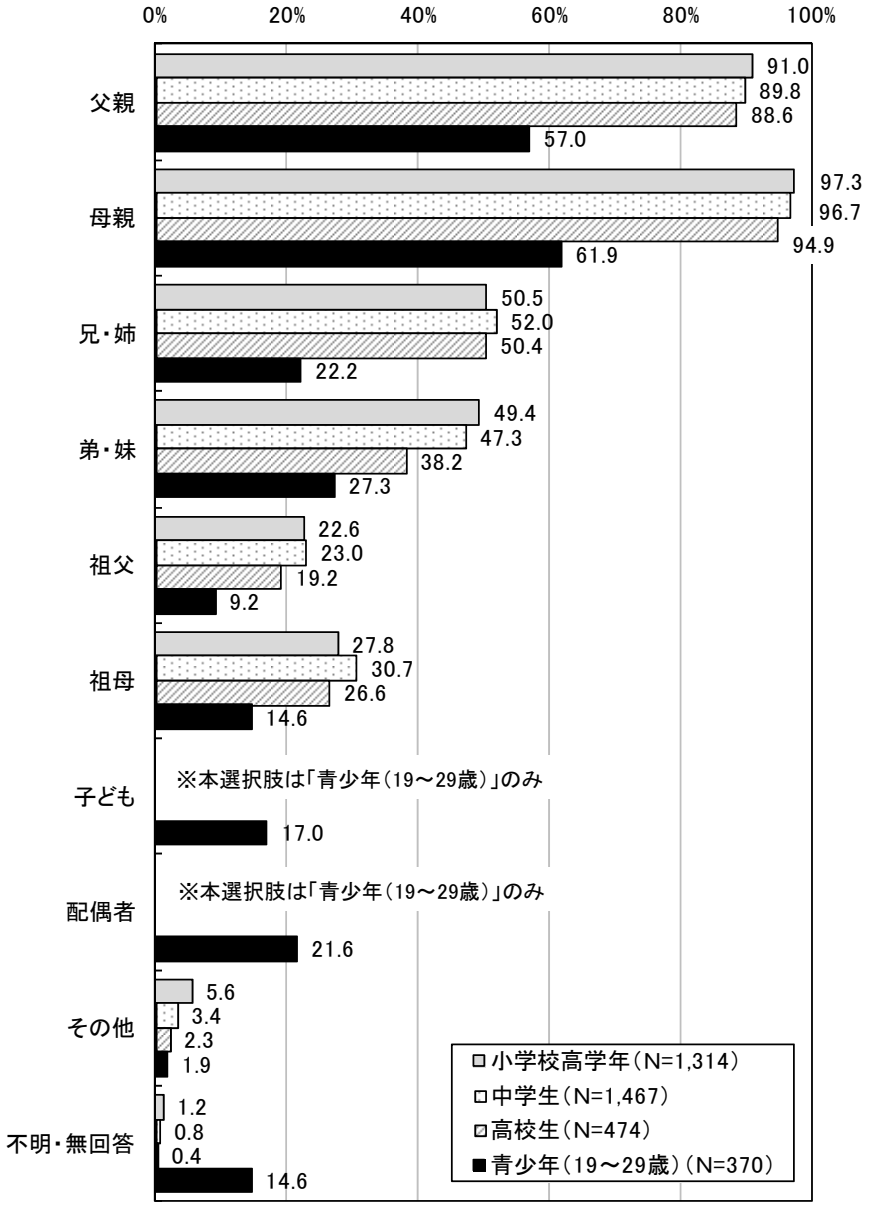
居住地区 〈単数回答〉

中学生以上問3、青少年(19～29 歳)問2



同居している家族 〈数量回答〉

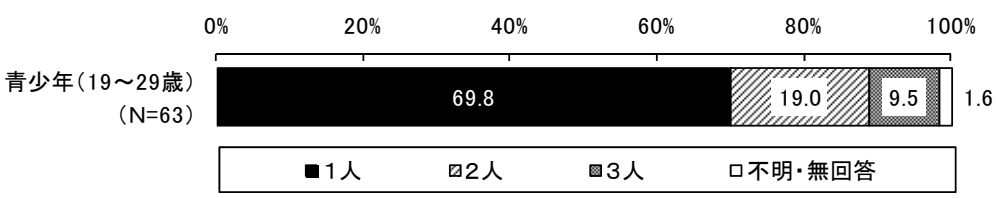
小学校高学年問4、中学生以上問4、青少年（19～29 歳）問3



（子どもがいる場合）

◆子どもの人数 〈数量回答〉

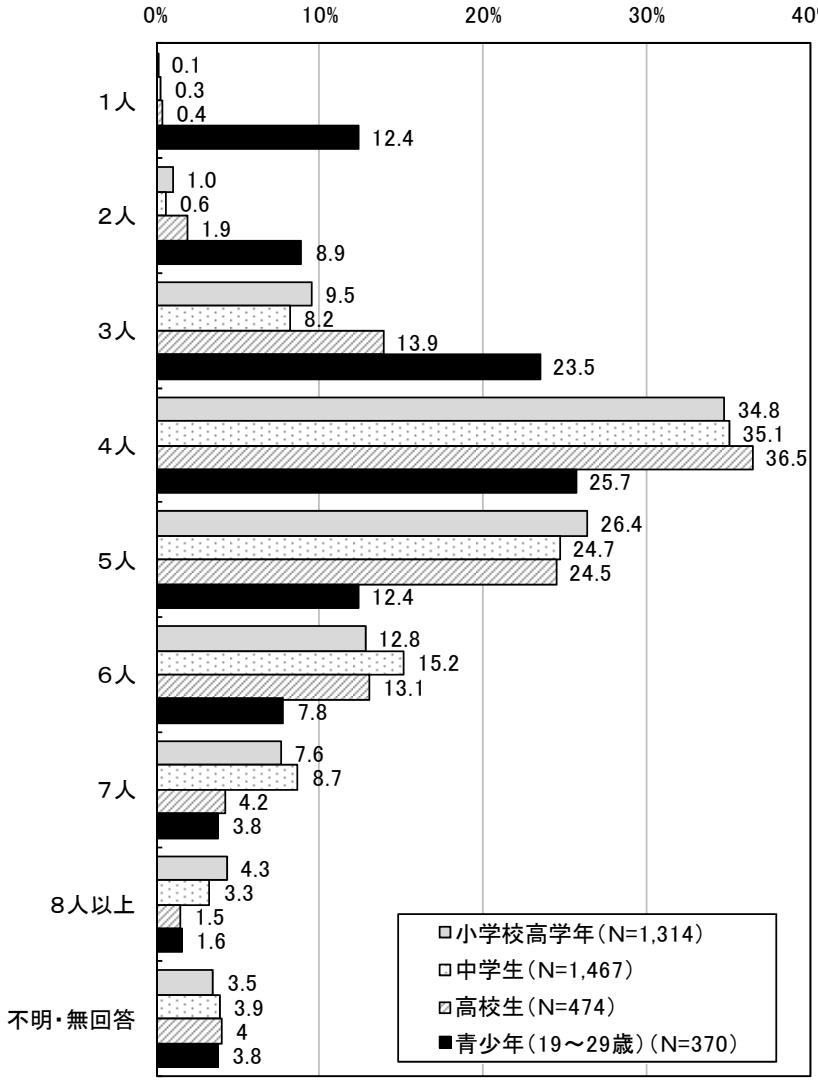
青少年（19～29 歳）問3



◆家族の人数 〈数量回答〉

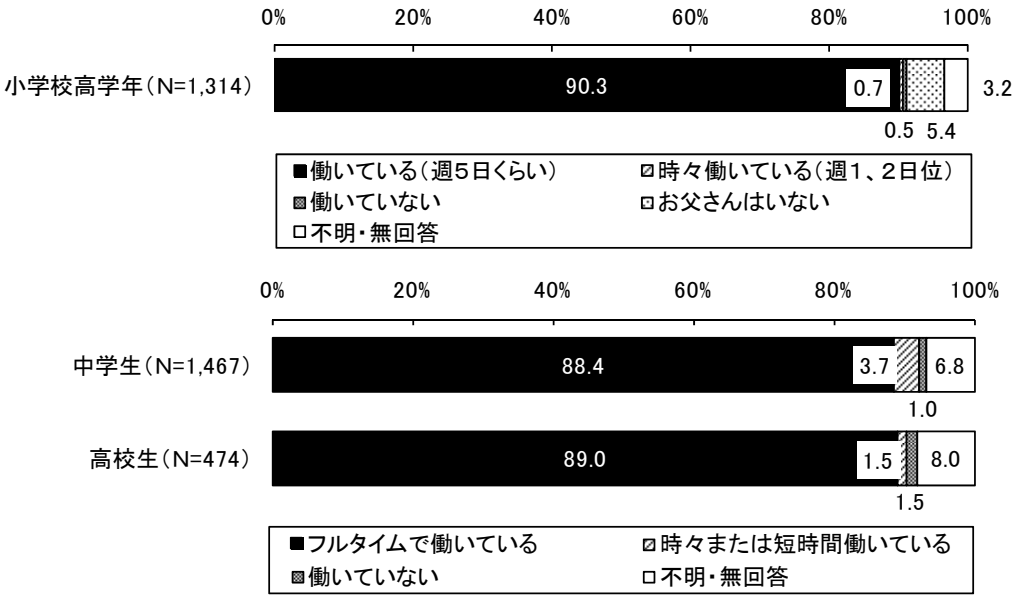
青少年以外では、「4人」「5人」の割合が高くなっています。また、青少年（19～29 歳）では、他の年代と比べて「1人」「2人」「3人」の割合が高くなっています。

小学校高学年問4、中学生以上問4、青少年（19～29 歳）問3



父親の就労状況 〈単数回答〉

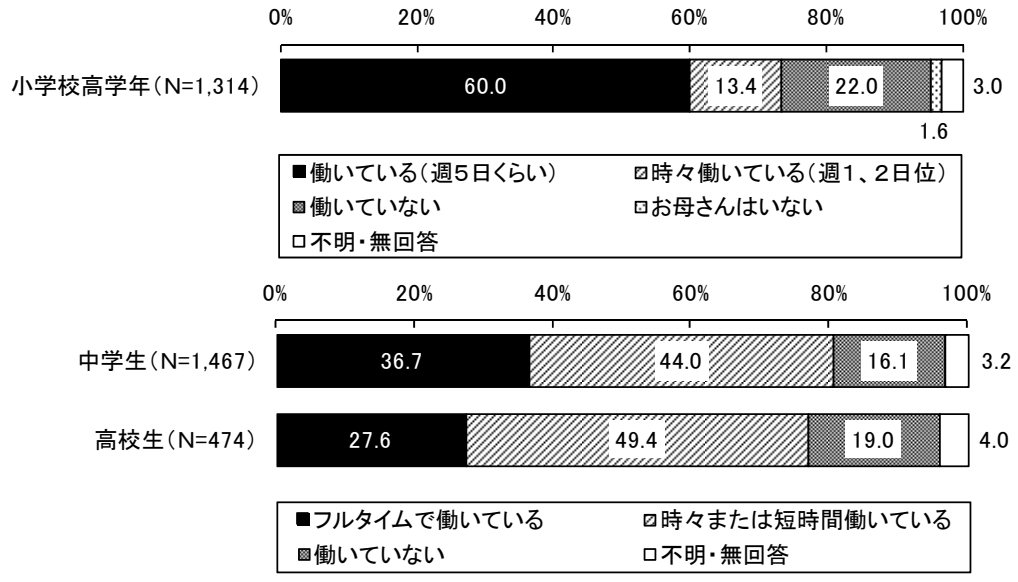
小学校高学年問5、中学生以上問5



母親の就労状況 〈単数回答〉

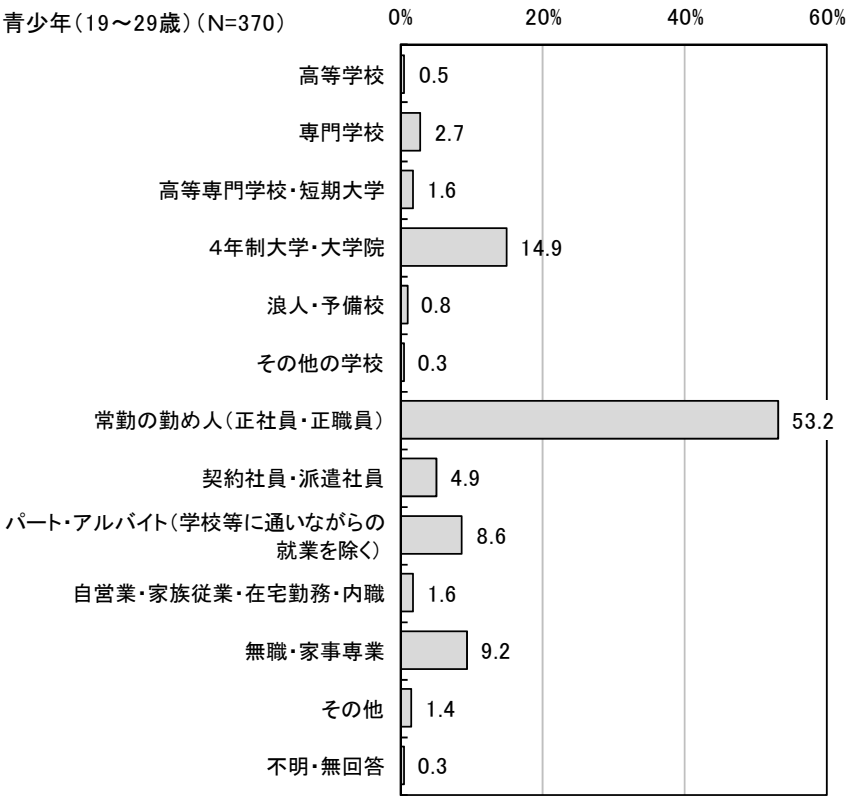
小学校高学年では「働いている（週5日くらい）」が 60.0%、中学生以上では「時々または短時間働いている」が5割弱と、それぞれ最も高くなっています。

小学校高学年問5、中学生以上問5



青少年(19～29 歳)の就学・就労の状況 〈単数回答〉

青少年(19～29 歳)問4

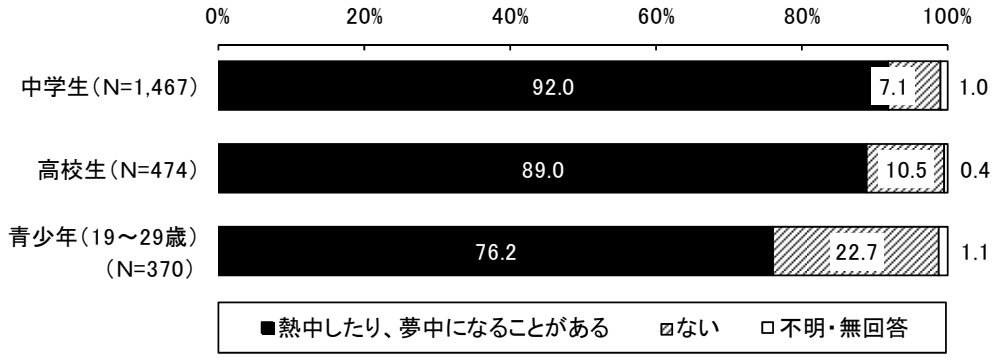


2　ふだんの生活や家での過ごし方

熱中したり夢中になったりすることの有無 〈単数回答〉

「熱中したり、夢中になることがある」の割合は、年代が上がるにしたがい低くなっています。

中学生以上問6、青少年（19～29 歳）問5

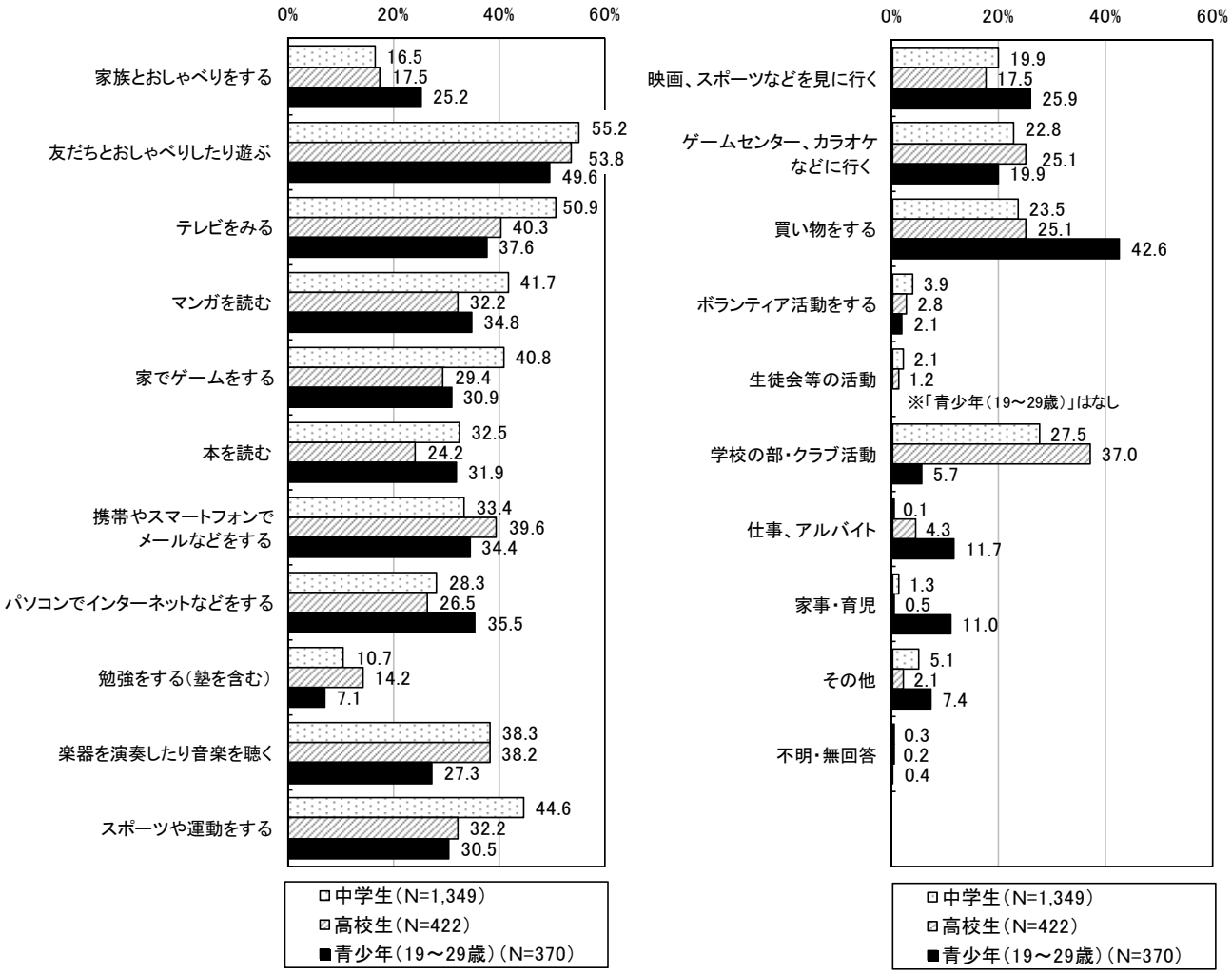


ふだん「熱中したり、夢中になることがある」と回答した人のみ

熱中したり夢中になったりすることの内容 〈複数回答〉

いずれの年代も「友だちとおしゃべりしたり遊ぶ」が5割前後と最も高く、青少年（19～29 歳）で「買い物をする」が42.6%と、他の年代に比べて高くなっています。

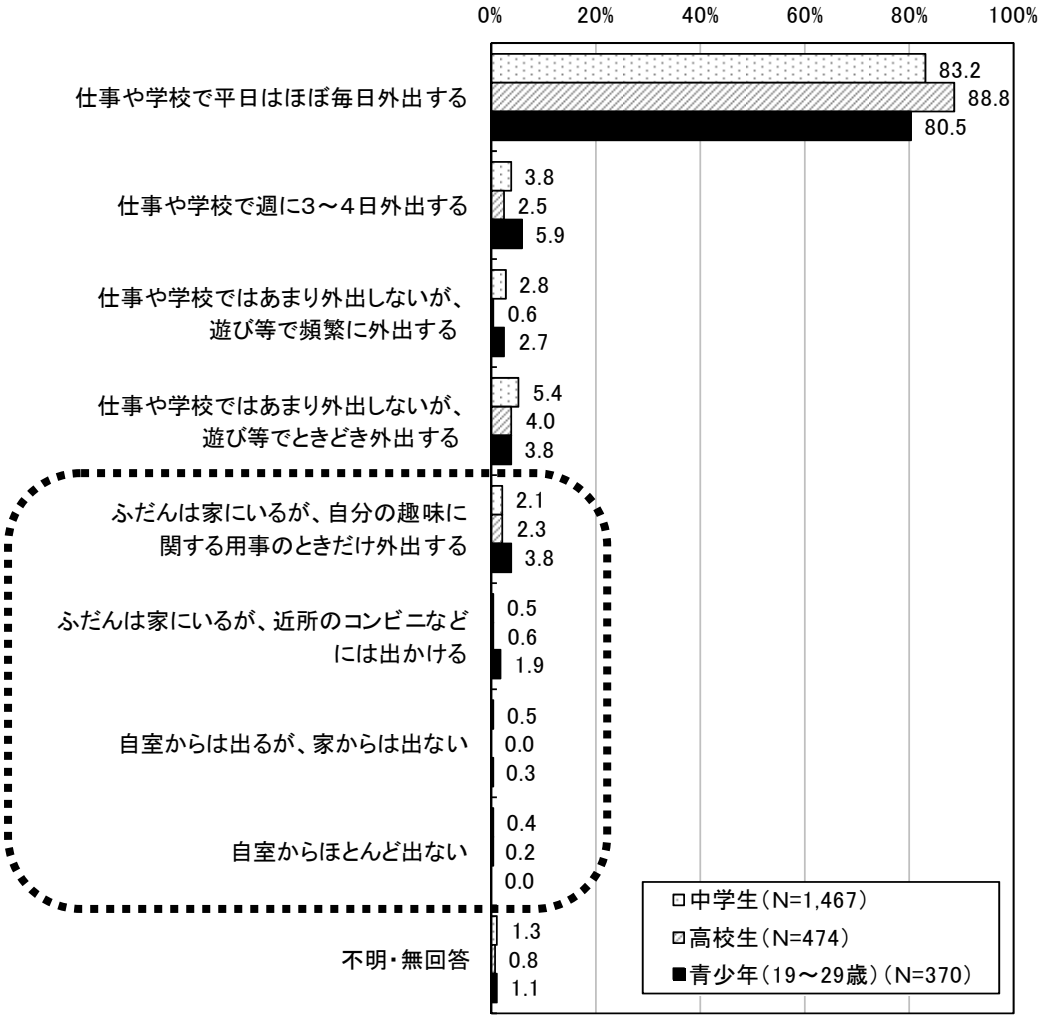
中学生以上問6-1、青少年（19～29 歳）問5-1



外出の頻度 〈単数回答〉

『ふだんは家にいる』（＝「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」＋「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」＋「自室からは出るが、家からは出ない」＋「自室からほとんど出ない」）は、高校生が 3.1%、青少年（19～29 歳）が 6.0%となっています。このうち、その状態になってから６か月以上に及ぶ人の割合は、それぞれ 1.9%、4.6%となっています。

中学生以上問7、青少年（19～29 歳）問6



※平成 22 年内閣府調査の全国結果（15 歳～39 歳対象）で、『広義のひきこもり』（＝「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」＋「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」＋「自室からは出るが、家からは出ない」＋「自室からほとんど出ない」で、その状態になってから6か月以上経過し、妊婦、自宅で仕事をしている人、主に家事・育児をする人などは除く）は 1.79%となっています。

◆外出の頻度×ひきこもりの期間

①中学生

	上段:件数 下段:%	【問7-1】現在の状況になってからの期間							
		全体	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～7年未満	7年以上	不明・無回答
【問7】外出の状況	中学生全体	1,417	21	5	11	6	4	2	1,368
		100.0	1.5	0.4	0.8	0.4	0.3	0.1	96.5
	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	31	10	5	6	4	2	1	3
		100.0	32.3	16.1	19.4	12.9	6.5	3.2	9.7
	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	7	3	-	4	-	-	-	-
		100.0	42.9	-	57.1	-	-	-	-
	自室からは出るが、家からは出ない	8	4	-	1	2	1	-	-
		100.0	50.0	-	12.5	25.0	12.5	-	-
	自室からほとんど出ない	6	4	-	-	-	1	1	-
		100.0	66.7	-	-	-	16.7	16.7	-

②高校生

	上段:件数 下段:%	【問7-1】現在の状況になってからの期間							
		全体	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～7年未満	7年以上	不明・無回答
【問7】外出の状況	高校生全体	474	6	-	3	3	2	1	459
		100.0	1.3	-	0.6	0.6	0.4	0.2	96.8
	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	11	4	-	2	2	2	1	-
		100.0	36.4	-	18.2	18.2	18.2	9.1	-
	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	3	2	-	1	-	-	-	-
		100.0	66.7	-	33.3	-	-	-	-
	自室からは出るが、家からは出ない	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	自室からほとんど出ない	1	-	-	-	1	-	-	-
		100.0	-	-	-	100.0	-	-	-

③青少年(19～29 歳)

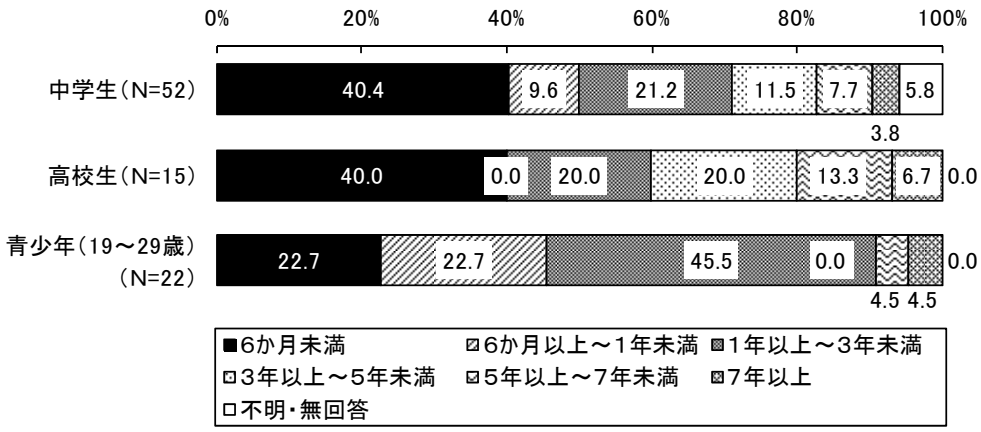
	上段:件数 下段:%	【問6-1】現在の状況になってからの期間							
		合計	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～7年未満	7年以上	不明・無回答
【問6】外出の状況	青少年(19～29歳)全体	370	5	5	10	-	1	1	348
		100.0	1.4	1.4	2.7	-	0.3	0.3	94.1
	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	14	3	4	5	-	1	1	-
		100.0	21.4	28.6	35.7	-	7.1	7.1	-
	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	7	1	1	5	-	-	-	-
		100.0	14.3	14.3	71.4	-	-	-	-
	自室からは出るが、家からは出ない	1	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	自室からほとんど出ない	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-

「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した人のみ

現在の状況になってからの期間 〈単数回答〉

中学生・高校生で「6か月未満」が4割程度、青少年（19～29 歳）では「1年以上～3年未満」が 45.5%と最も高く、引きこもり状態の長期化がうかがえます。

中学生以上問7-1、青少年（19～29 歳）問6-1

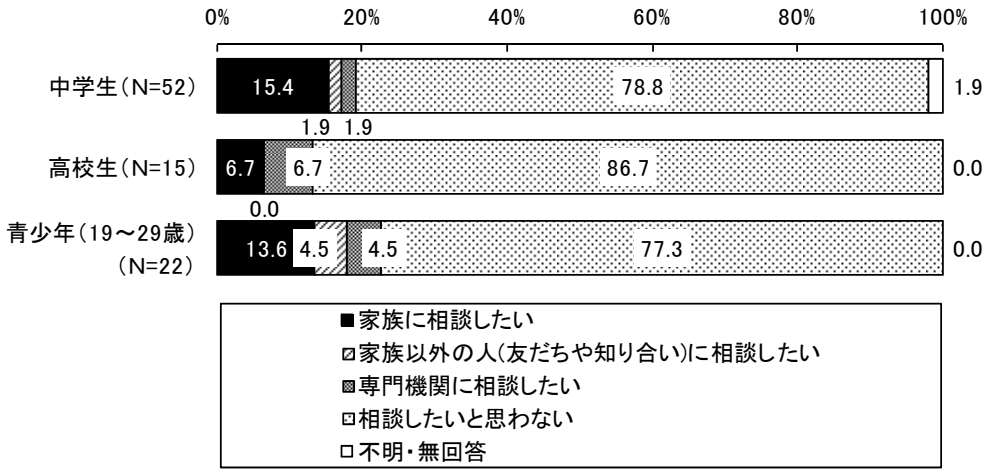


「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した人のみ

現在の状況について、だれかに相談したいか 〈単数回答〉

いずれの年代も「相談したいとは思わない」が8割前後と最も高くなっています。なお、高校生で「家族に相談したい」が他の年代に比べて低くなっています。

中学生以上問7-1、青少年(19～29 歳)問6-2

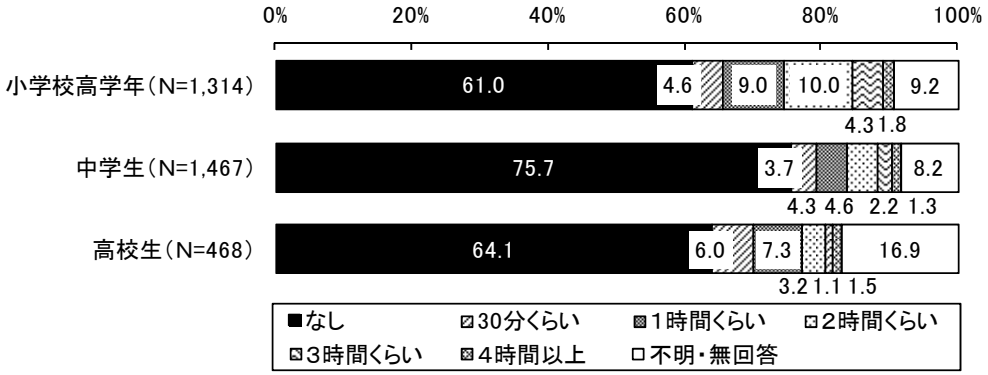


この前の火曜日、学校が終わった後にしたことの時間 〈単数回答〉

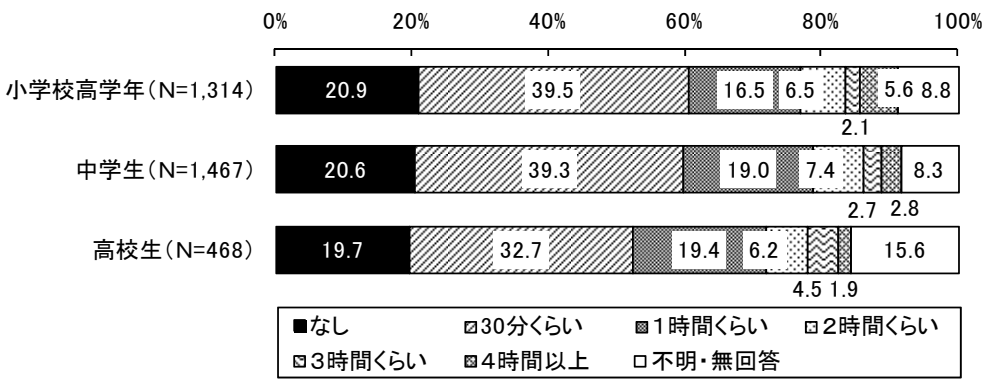
いずれの年代も「友達と遊んだ」「塾で勉強した」「塾以外の習い事をした(家での練習時間も含む)」「スポーツや運動をした」について「なし」の割合が高い一方で、小学校高学年、中学生では、「家で勉強した(宿題も含む)」割合が高くなっています。なお、年代が上がるにしたがい、「携帯電話・スマートフォンを使った」割合が高くなって、高校生では「4時間以上」使った人の割合が 9.6%にも及んでいます。

小学校高学年問6、中学生以上問8
※「高校生」については、就労者を除いた値

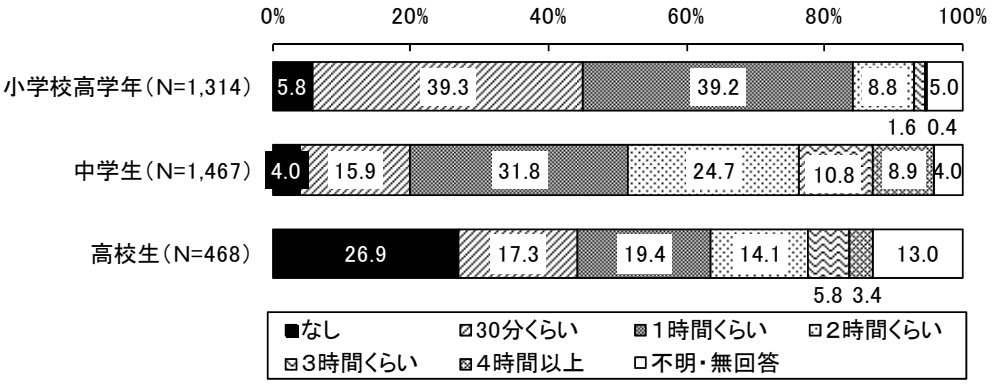
①友達と遊んだ



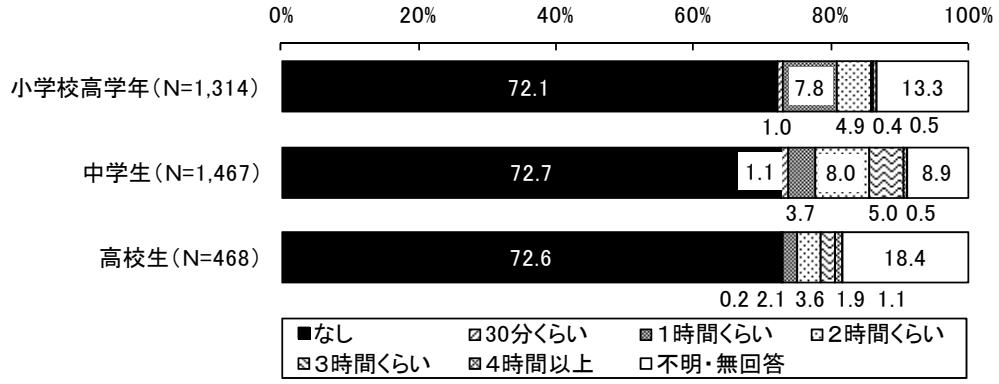
②家族と遊んだり、話をした



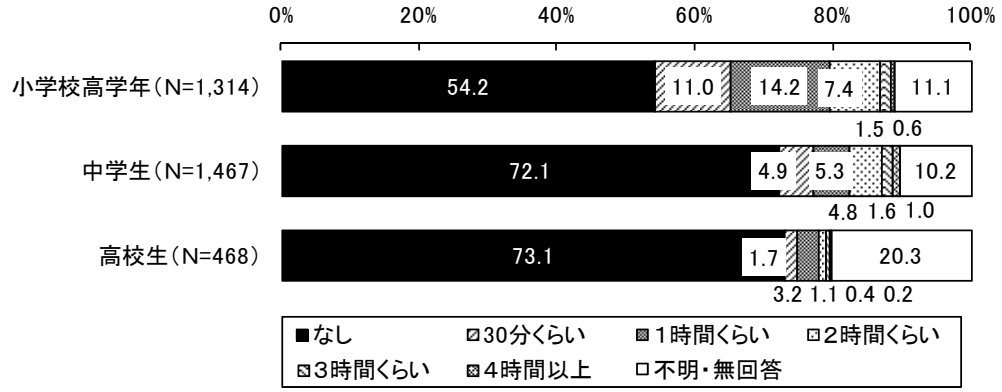
③家で勉強した（宿題も含む）



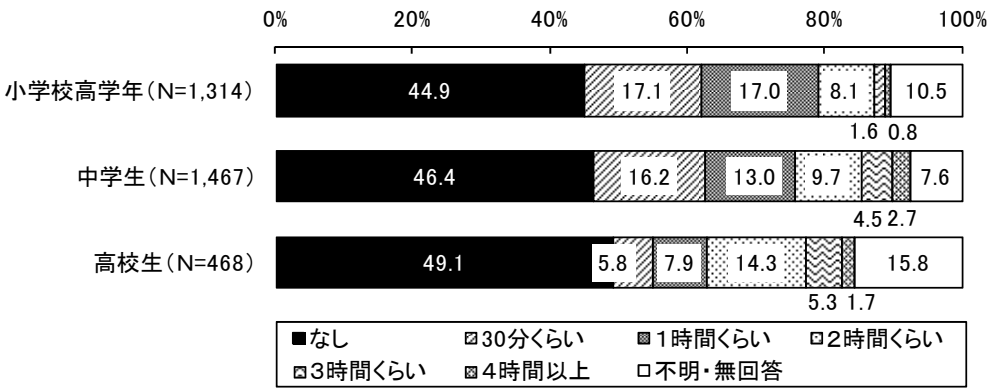
④塾で勉強した



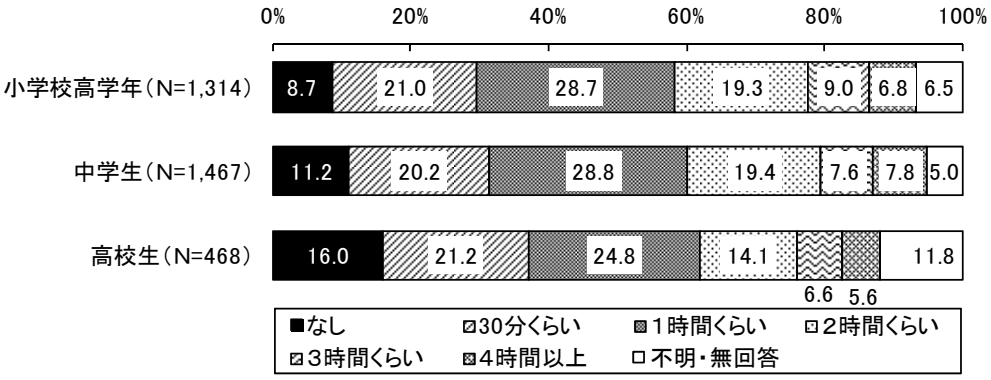
⑤塾以外の習い事をした（家での練習時間も含む）



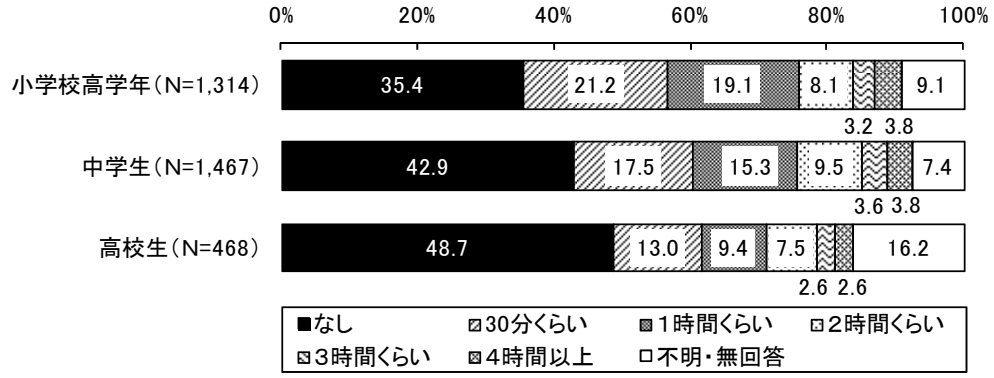
⑥スポーツや運動をした



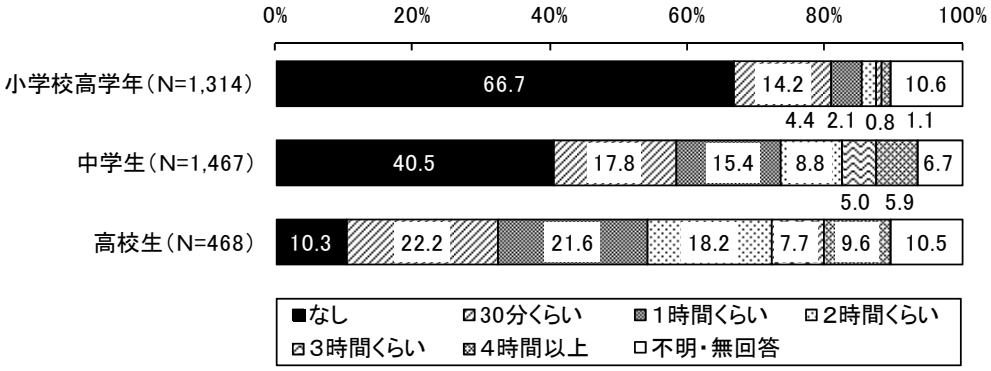
⑦テレビを見た



⑧ゲーム・パソコンをした



⑨携帯電話・スマートフォンを使った

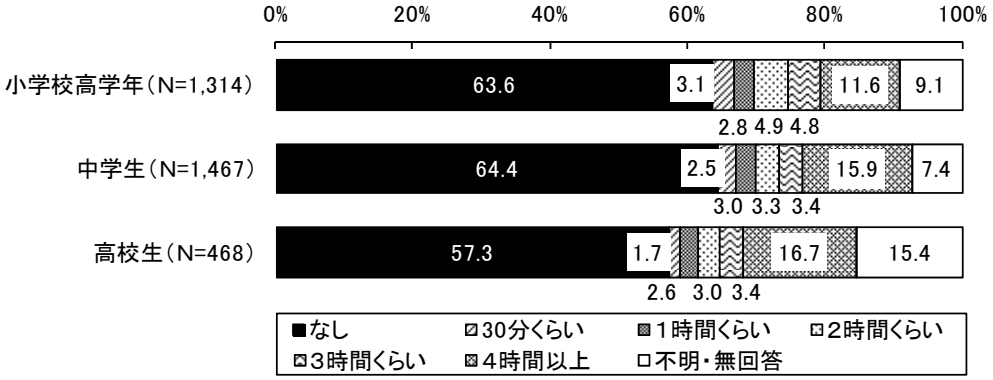


この前の日曜日、したことの時間 〈単数回答〉

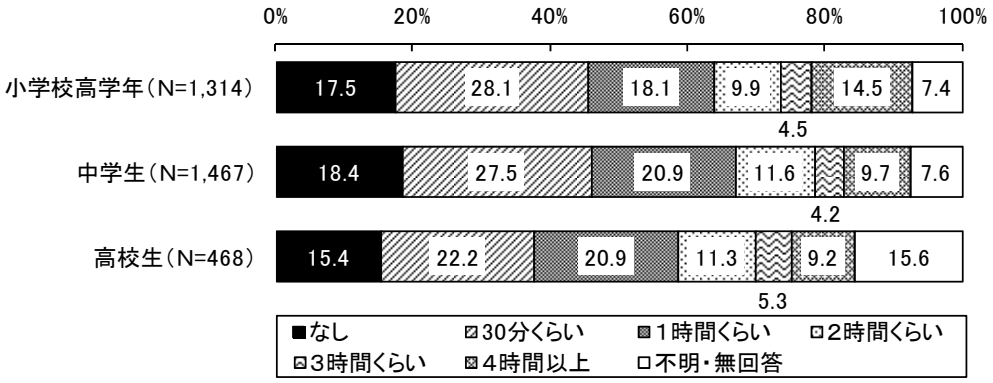
いずれの年代も「友達と遊んだ」「塾で勉強した」「塾以外の習い事をした（家での練習時間も含む）」「スポーツや運動をした」について「なし」の割合が高くなっています。なお、年代が上がるにしたがい、「携帯電話・スマートフォンを使った」割合が高くなっており、平日と比べて休日の利用時間が長くなっています。

小学校高学年問7、中学生以上問9
※「高校生」については、就労者を除いた値

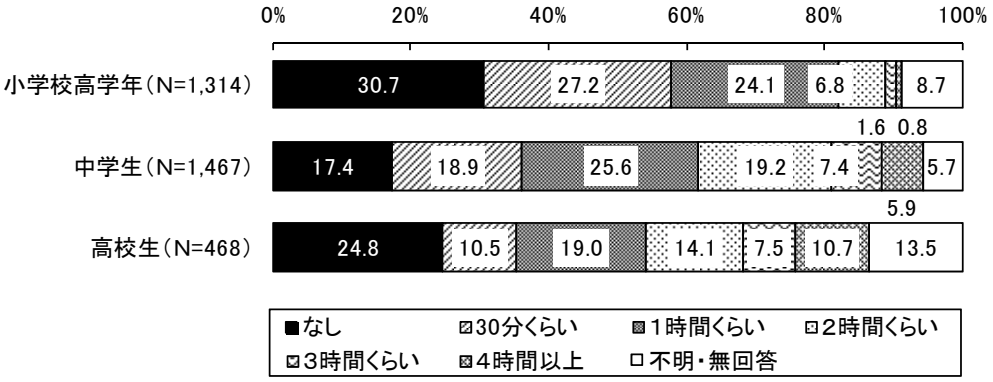
①友達と遊んだ



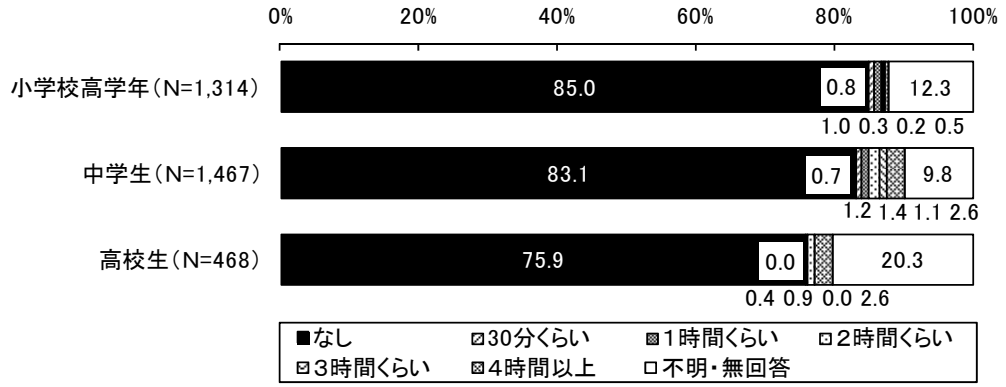
②家族と遊んだり、話をした



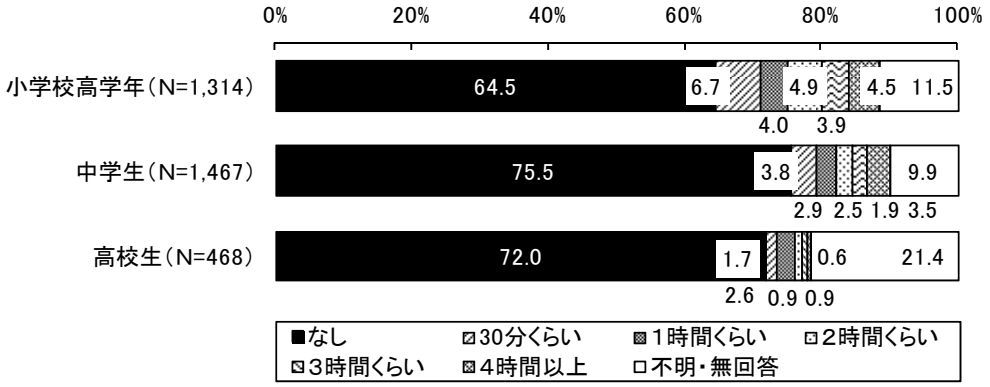
③家で勉強した（宿題も含む）



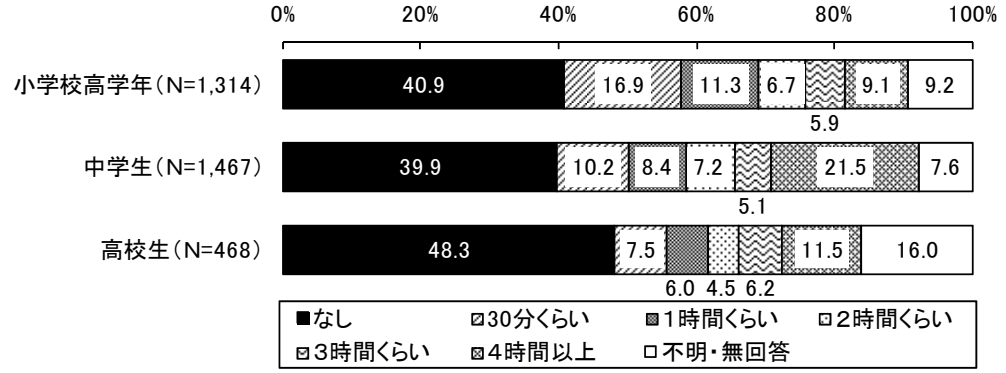
④塾で勉強した



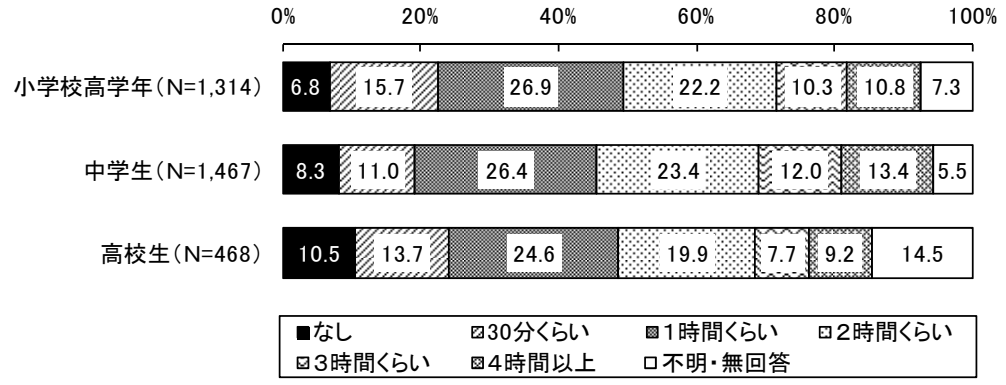
⑤塾以外の習い事をした（家での練習時間も含む）



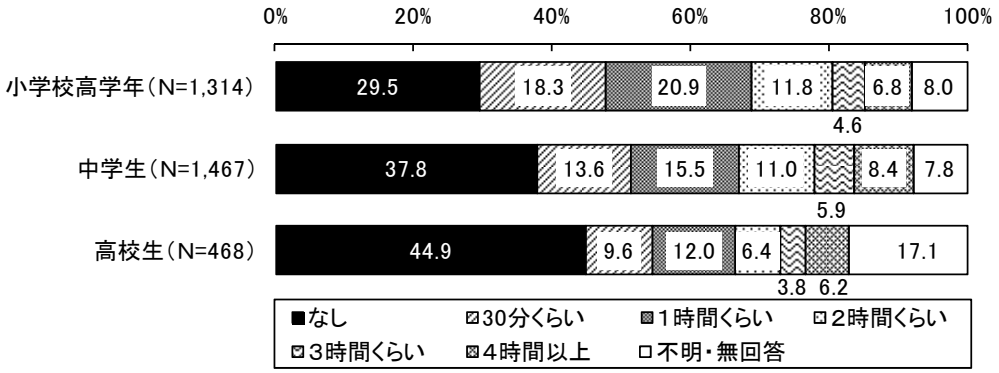
⑥スポーツや運動をした



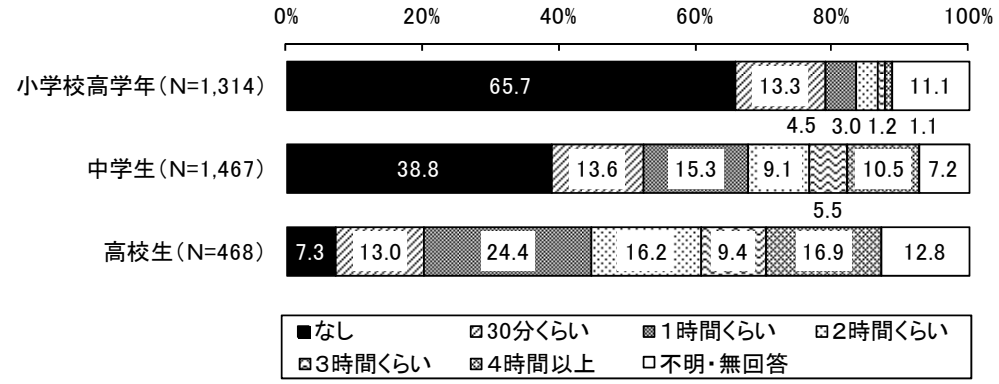
⑦テレビを見た



⑧ゲーム・パソコンをした



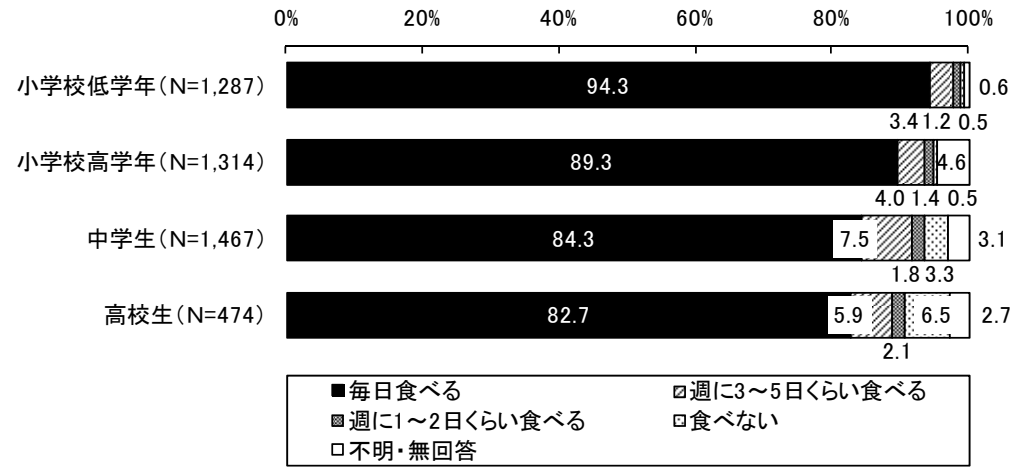
⑨携帯電話・スマートフォンを使った



ふだん朝食を食べているか 〈単数回答〉

いずれの年代も「毎日食べる」が8割を超えて最も高いものの、年代が上がるにしたがい割合は低くなっています。「食べない」は、小学校低学年・高学年がそれぞれ 0.5%、中学生が 3.3%、高校生が 6.5%となっています。

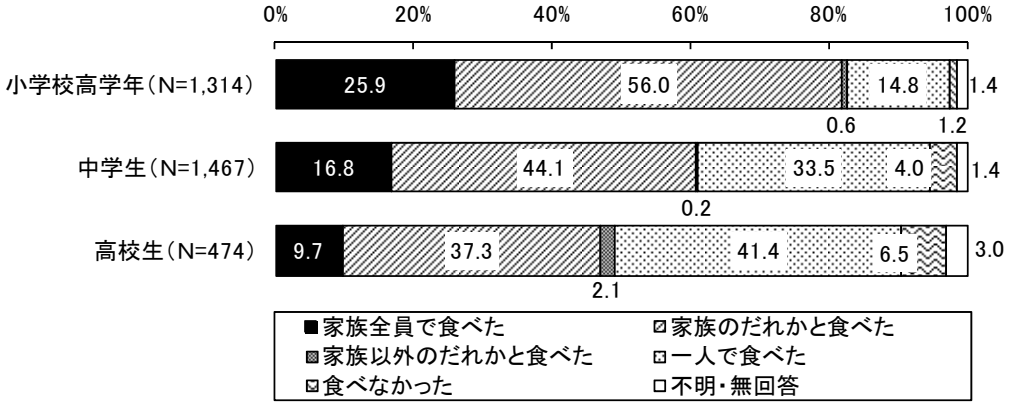
小学校低学年問4、小学校高学年問8、中学生以上問 10



この前の火曜日、家族と一緒に朝食をとったか 〈単数回答〉

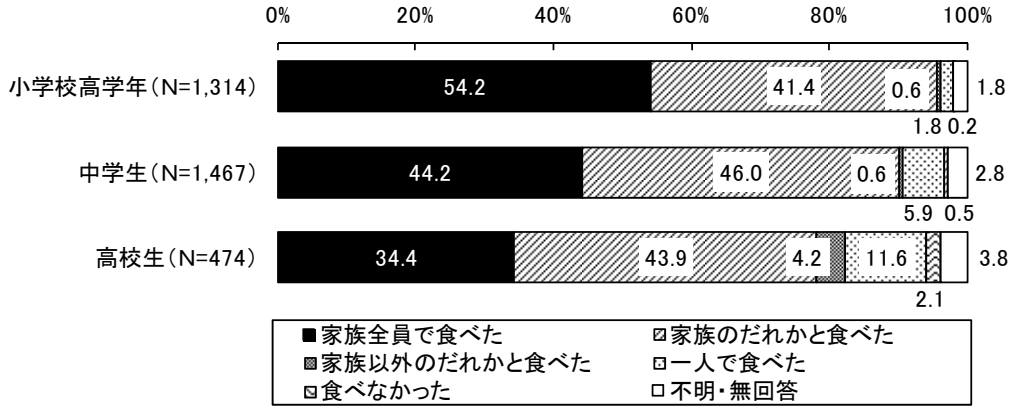
朝食、夕食ともに学年が上がるにしたがい、「家族全員で食べた」の割合が低くなっています。

小学校高学年問9、中学生以上問 11



この前の火曜日、家族と一緒に夕食をとったか 〈単数回答〉

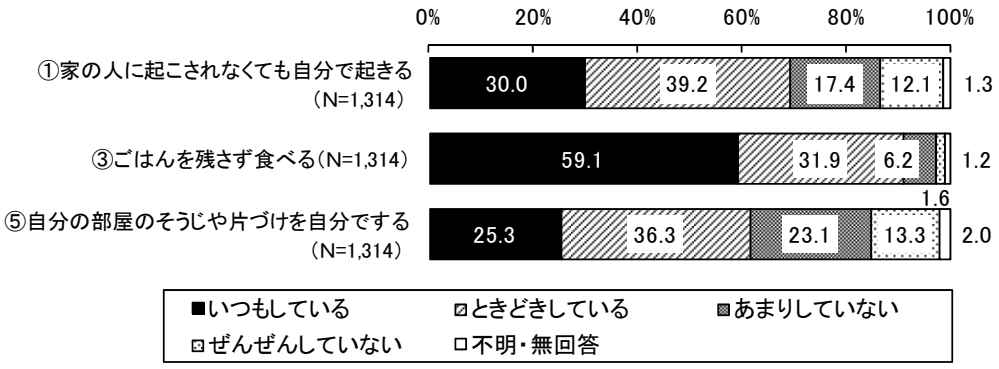
小学校高学年問9、中学生以上問 11



家でしていること（小学校高学年） 〈単数回答〉

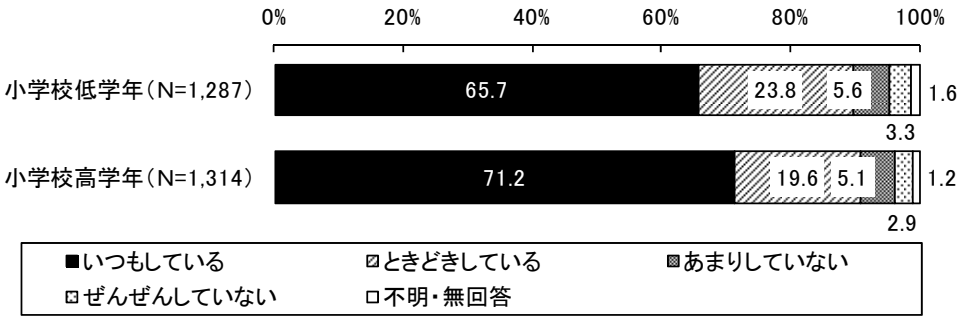
「いつもしている」は、「家の人に起こされなくても自分で起きる」が 30.0%、「ごはんを残さず食べる」が 59.1%、「自分の部屋のそうじや片づけを自分でする」が 25.3%となっています。

小学校高学年問 10①、③、⑤



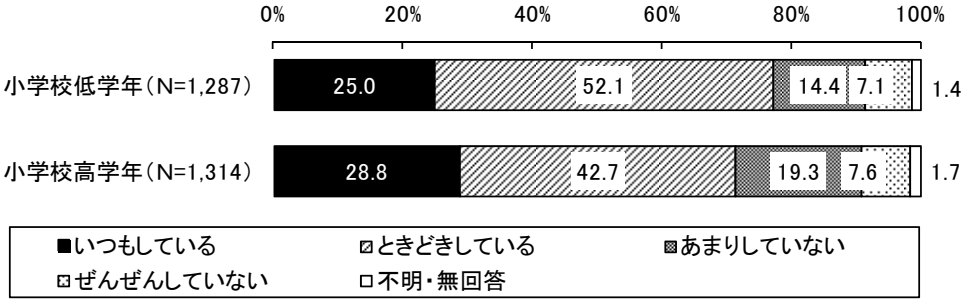
家族に「おはよう」「おやすみ」のあいさつをしているか 〈単数回答〉

小学校低学年問7、小学校高学年問 10②



家で掃除、ご飯の準備や片付けなど手伝っているか 〈単数回答〉

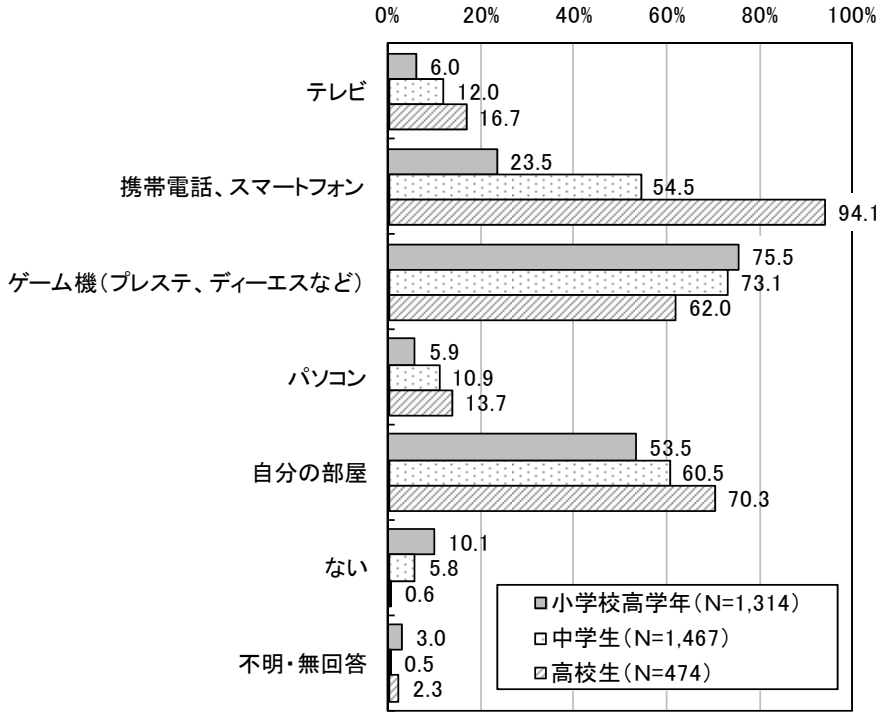
小学校低学年問8、小学校高学年問 10④



自分専用として持っているもの 〈複数回答〉

年齢が上がるにしたがい、「携帯電話、スマートフォン」の所有率が高くなっており、高校生では 94.1%となっています。

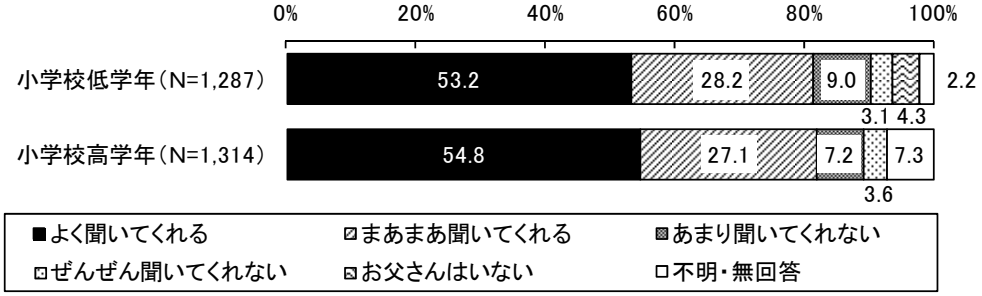
小学校高学年問 11、中学生以上問 12



父親は話を聞いてくれるか 〈単数回答〉

父親が話を『聞いてくれる』(＝「よく聞いてくれる」＋「まあまあ聞いてくれる」)は、小学校低学年が 81.4%、小学校高学年が 81.9%となっています。

小学校低学年問5、小学校高学年問 12

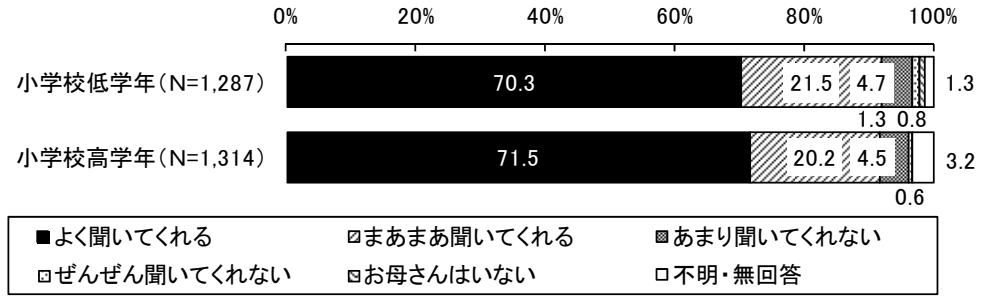


※小学校高学年には選択肢「お父さんはいない」はない

母親は話を聞いてくれるか 〈単数回答〉

母親が話を『聞いてくれる』(＝「よく聞いてくれる」＋「まあまあ聞いてくれる」)は、小学校低学年が 91.8%、小学校高学年が 91.7%となっており、父親と比べて『聞いてくれる』がいずれも約 10 ポイント高くなっています。

小学校低学年問6、小学校高学年問 12

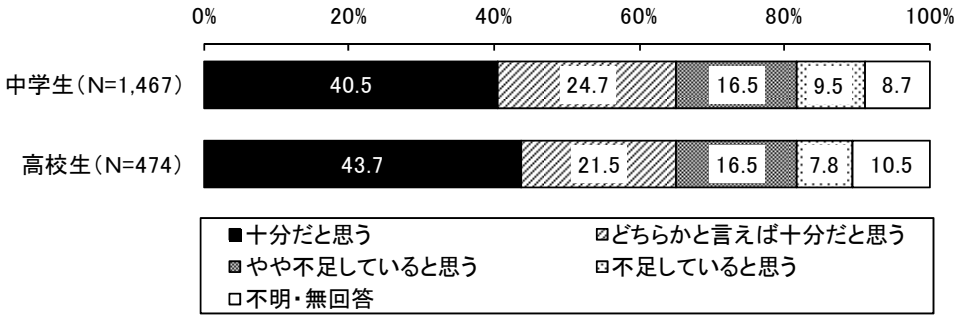


※小学校高学年には選択肢「お母さんはいない」はない

父親と話す時間は十分だと思うか 〈単数回答〉

父親と話す時間は『十分だと思う』(＝「十分だと思う」＋「どちらかと言えば十分だと思う」)は、中学生が 65.2%、高校生が 65.2%となっています。

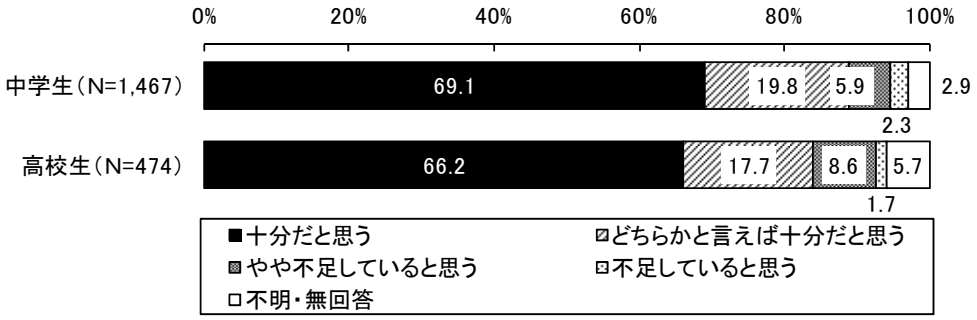
中学生以上 問 13(1)



母親と話す時間は十分だと思うか 〈単数回答〉

母親と話す時間は『十分だと思う』(＝「十分だと思う」＋「どちらかと言えば十分だと思う」)は、中学生が 88.9%、高校生が 83.9%となっており、父親と比べて『十分だと思う』がいずれも約 20 ポイント高くなっています。中学生、高校生のいずれも、父親と話す時間は母親と比べて不十分だと認識している状況があります。

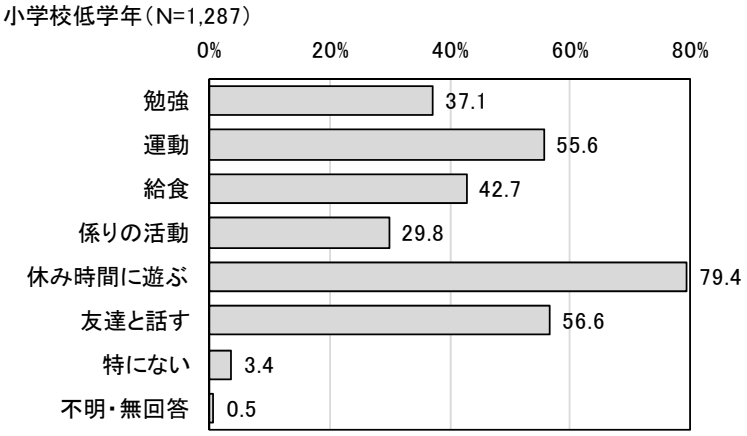
中学生以上 問 13(2)



3　学校生活や友だち

学校で楽しいこと 〈複数回答〉

小学校低学年問9

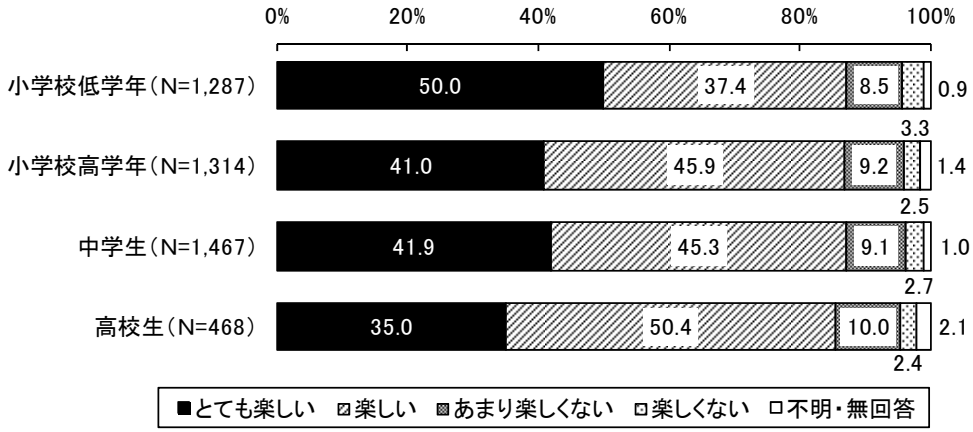


今の学校での生活は楽しいか 〈単数回答〉

学校での生活は『楽しい』(＝「とても楽しい」＋「楽しい」)は、いずれの年代も8割を超えています。

小学校低学年問 10、小学校高学年問 13、中学生以上問 14

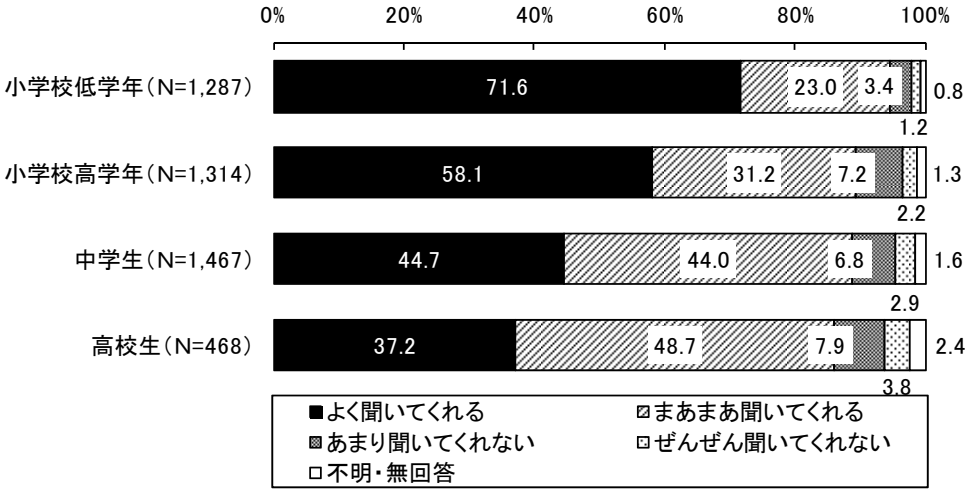
※「高校生」については、就労者を除いた値



学校の先生は、あなたの話を聞いてくれると思うか 〈単数回答〉

学校の先生は話を『聞いてくれる』(＝「よく聞いてくれる」＋「まあまあ聞いてくれる」)は、いずれの年代も8割を超えているものの、「よく聞いてくれる」の割合は、年代が上がるにしたがいは低くなっています。

小学校低学年問 11、小学校高学年問 14、中学生以上問 15
※「高校生」については、就労者を除いた値



今の学校生活で、何か困っていることや嫌なこと 〈単数回答〉

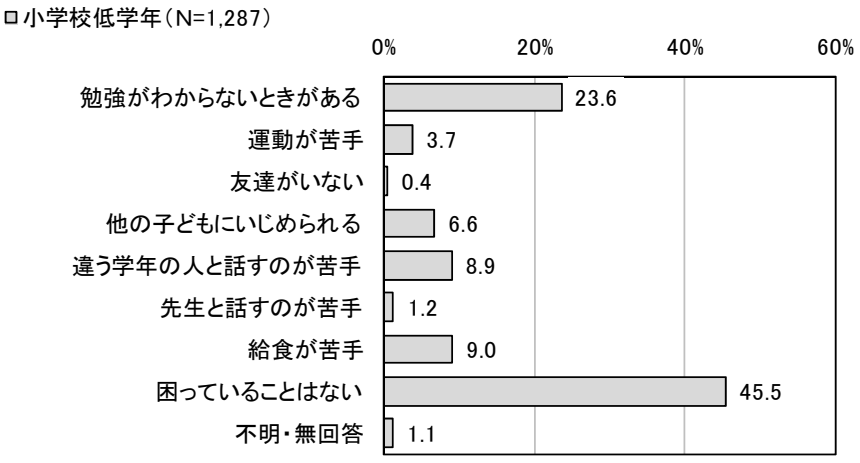
小学校低学年では「困っていることはない」が 45.5%と最も高くなっています。次いで「勉強がわからないときがある」が 23.6%となっています。

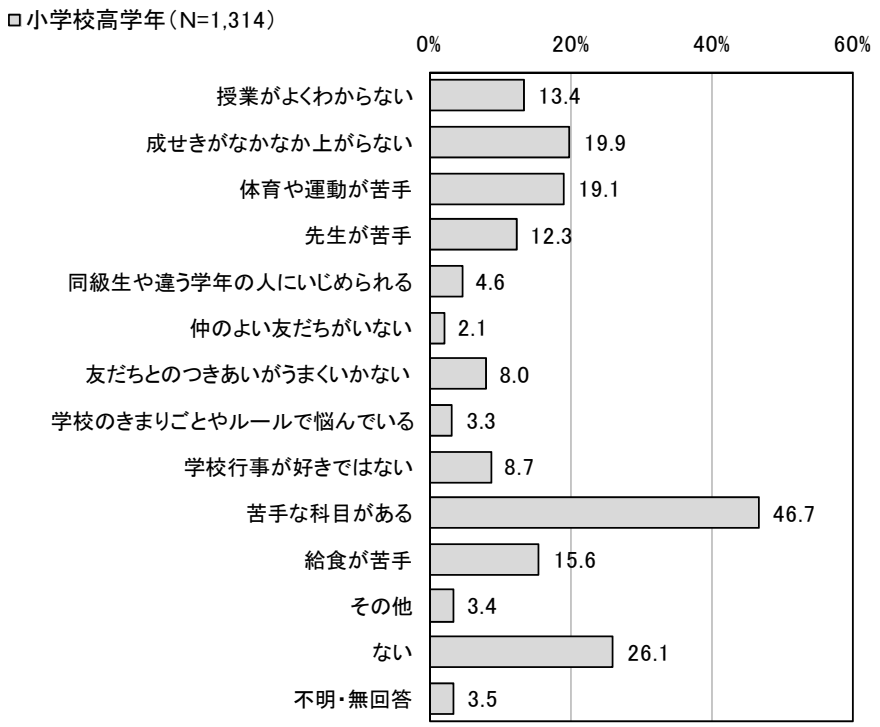
小学校高学年では「苦手な科目がある」が 46.7%と最も高く、次いで「ない」が 26.1%、「成績がなかなか上がらない」が 19.9%となっています。

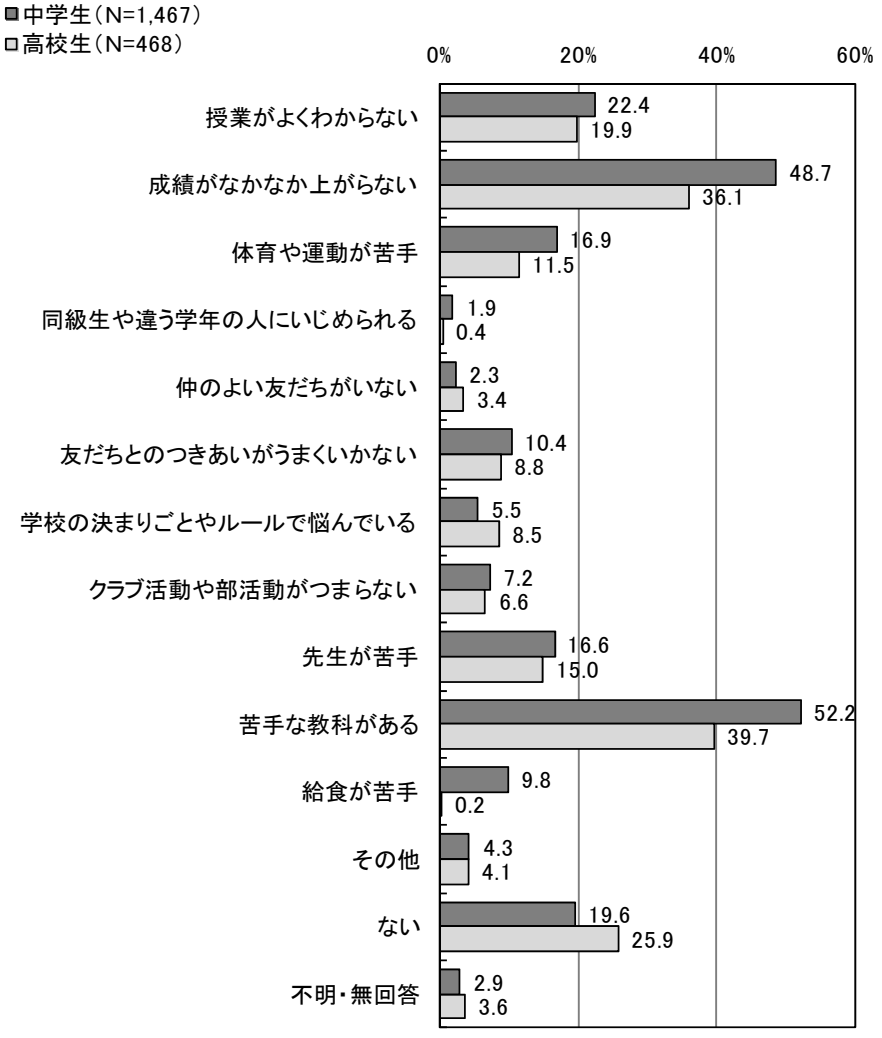
中学生、高校生では「苦手な教科がある」がそれぞれ 52.2%、39.7%と最も高く、次いで「成績がなかなか上がらない」が 48.7%、36.1%となっています。

いずれの年代も学習に関する項目が上位を占めていますが、いじめや友だちとの関係についての項目も数パーセントから1割程度となっています。

小学校低学年問 12、小学校高学年問 15、中学生以上問 16
※「高校生」については、就労者を除いた値



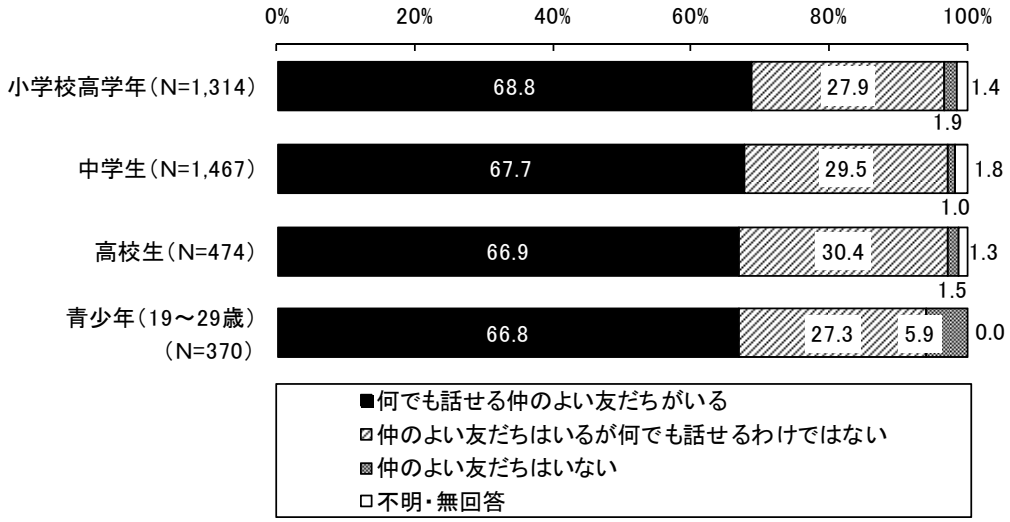

□小学校高学年（N=1,314）
0%
20%
40%
60%
授業がよくわからない 13.4
成せきがなかなか上がらない 19.9
体育や運動が苦手 19.1
先生が苦手 12.3
同級生や違う学年の人にいじめられる 4.6
仲のよい友だちがいない 2.1
友だちとのつきあいがうまくいかない 8.0
学校のきまりごとやルールで悩んでいる 3.3
学校行事が好きではない 8.7
苦手な科目がある 46.7
給食が苦手 15.6
その他 3.4
ない 26.1
不明・無回答 3.5


■中学生（N=1,467）
□高校生（N=468）
0%
20%
40%
60%
授業がよくわからない 22.4 19.9
成績がなかなか上がらない 48.7 36.1
体育や運動が苦手 16.9 11.5
同級生や違う学年の人にいじめられる 1.9 0.4
仲のよい友だちがいない 2.3 3.4
友だちとのつきあいがうまくいかない 10.4 8.8
学校の決まりごとやルールで悩んでいる 5.5 8.5
クラブ活動や部活動がつまらない 7.2 6.6
先生が苦手 16.6 15.0
苦手な教科がある 52.2 39.7
給食が苦手 9.8 0.2
その他 4.3 4.1
ない 19.6 25.9
不明・無回答 2.9 3.6

何でも話せる仲のよい友だちの有無 〈単数回答〉

いずれの年代も「何でも話せる仲のよい友だちがいる」が約7割と最も高く、次いで「仲のよい友だちはいるが何でも話せるわけではない」が3割前後となっています。なお、青少年(19～29 歳)では「仲のよい友だちはいない」が5.9%と、他の年代と比べて割合が高くなっています。

小学校高学年問 16、中学生以上問 17、青少年(19～29 歳)問7

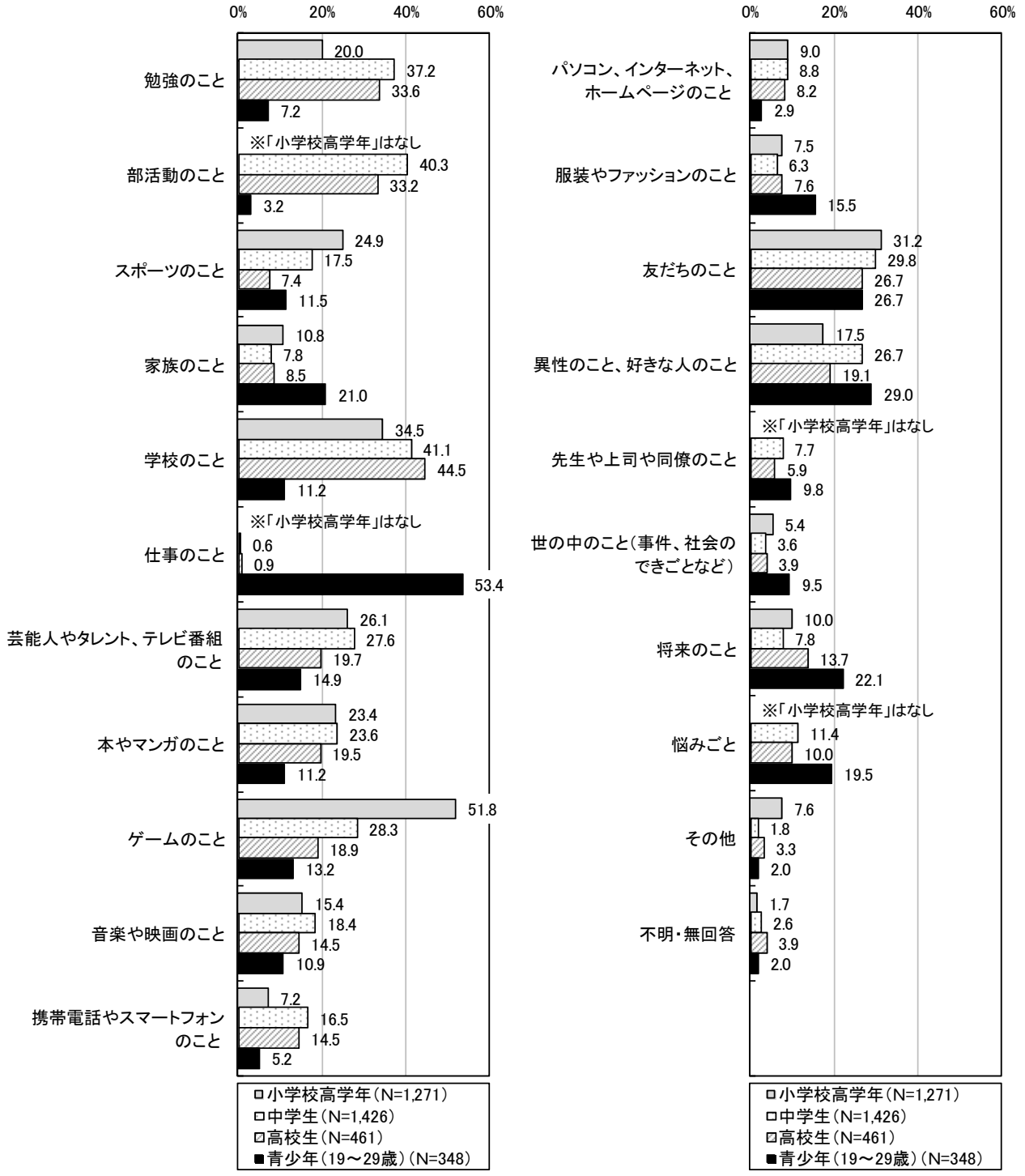


「何でも話せる仲のよい友だちがいる」「仲のよい友だちはいるが、何でも話せるわけではない」と回答した人のみ

友だちとの話の内容 〈複数回答〉

小学校低学年では「ゲームのことが 51.8%、小学校高学年、中学生では「学校のこと」がそれぞれ 41.1%、44.5%、青少年(19～29 歳)では「仕事のこと」が 53.4%と最も高くなっています。

小学校高学年問 16-1、中学生以上問 17-1、青少年(19～29 歳)問7-1

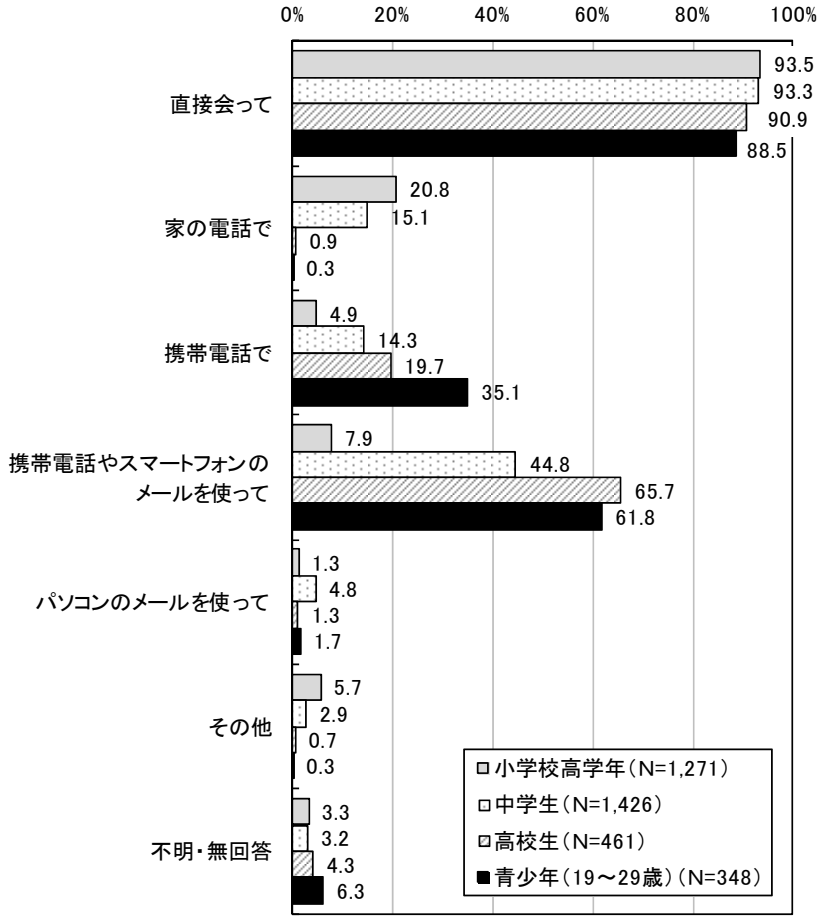


「何でも話せる仲のよい友だちがいる」「仲のよい友だちはいるが、何でも話せるわけではない」と回答した人のみ

友だちとの話の手段 〈複数回答〉

いずれの年代も「直接会って」が9割前後と最も高いものの、「携帯電話やスマートフォンのメールを使って」が高校生、青少年(19～29 歳)で6割を超えています。

小学校高学年問 16-2、中学生以上問 17-2、青少年(19～29 歳)問7-2

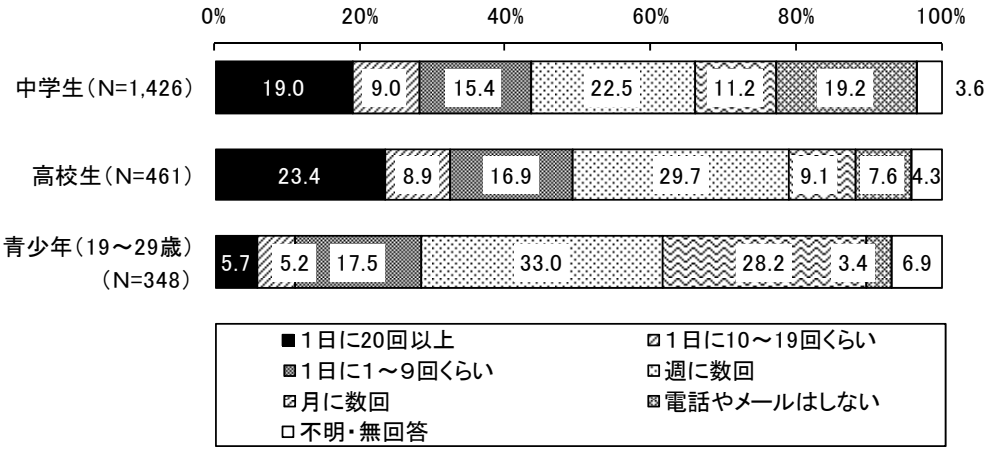


「何でも話せる仲のよい友だちがいる」「仲のよい友だちはいるが、何でも話せるわけではない」と回答した人のみ

友だちとの話の電話やメールの頻度 〈複数回答〉

いずれの年代も「週に数回」が3割前後と最も高いものの、中学生、高校生では「1日に20回以上」が2割前後となっています。

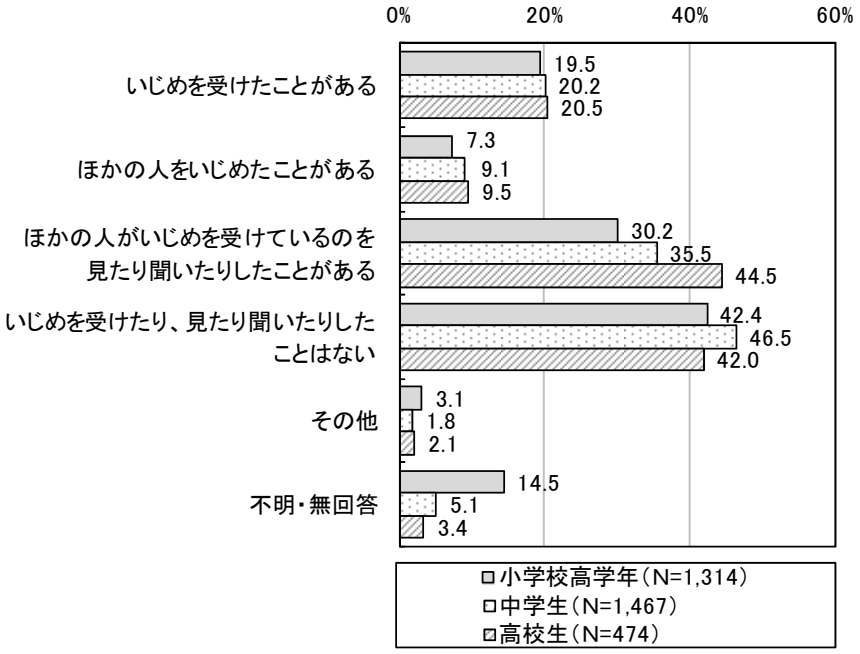
中学生以上問 17-3、青少年(19～29 歳)問7-3



これまでにいじめを受けたり、見たり聞いたりしたことがあるか 〈単数回答〉

いずれの年代でも「いじめを受けたり、見たり聞いたりしたことはない」が4割を超えて高くなっています。「ほかの人がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある」が、年代が上がるにしたがい高くなっています。なお、「いじめを受けたことがある」は2割前後、「ほかの人をいじめたことがある」は1割弱となっています。

小学校高学年問 17、中学生以上問 18

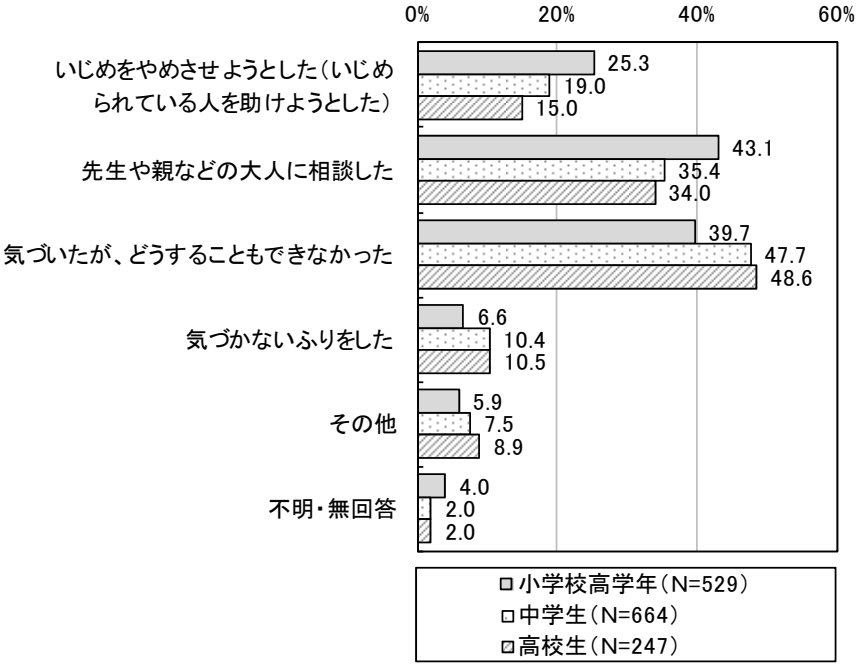


「いじめを受けたことがある」「ほかの人がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある」と回答した人のみ

いじめを受けたり、見たり聞いたりした場合の対処方法 〈複数回答〉

いずれの年代も「気づいたが、どうすることもできなかった」が4割弱～5割弱と高く、「先生や親などの大人に相談した」は3割強～4割強となっています。年代が上がるにしたがい、「いじめをやめさせようとした（いじめられている人を助けようとした）」「先生や親などの大人に相談した」の割合は低くなっています。

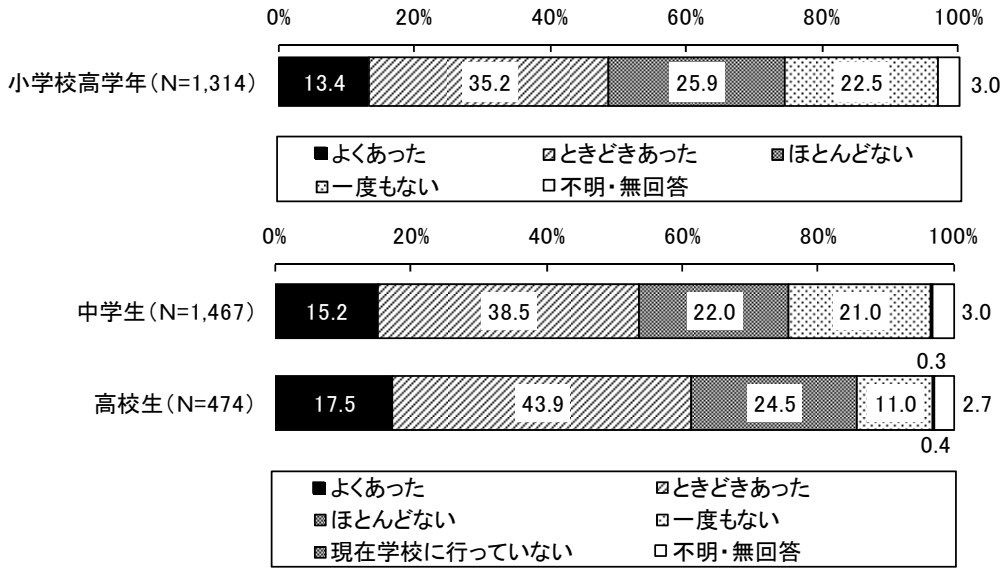
小学校高学年問 17-1、中学生以上問 18-1



これまでに学校に行きたくないと思ったことはあるか 〈単数回答〉

学校に行きたくないと思ったことが『あった』（＝「よくあった」＋「ときどきあった」）は、小学校高学年が 48.6%、中学生が 53.7%、高校生が 61.4%であり、年代が上がるにしたがい高くなっています。

小学校高学年問 18、中学生以上問 19

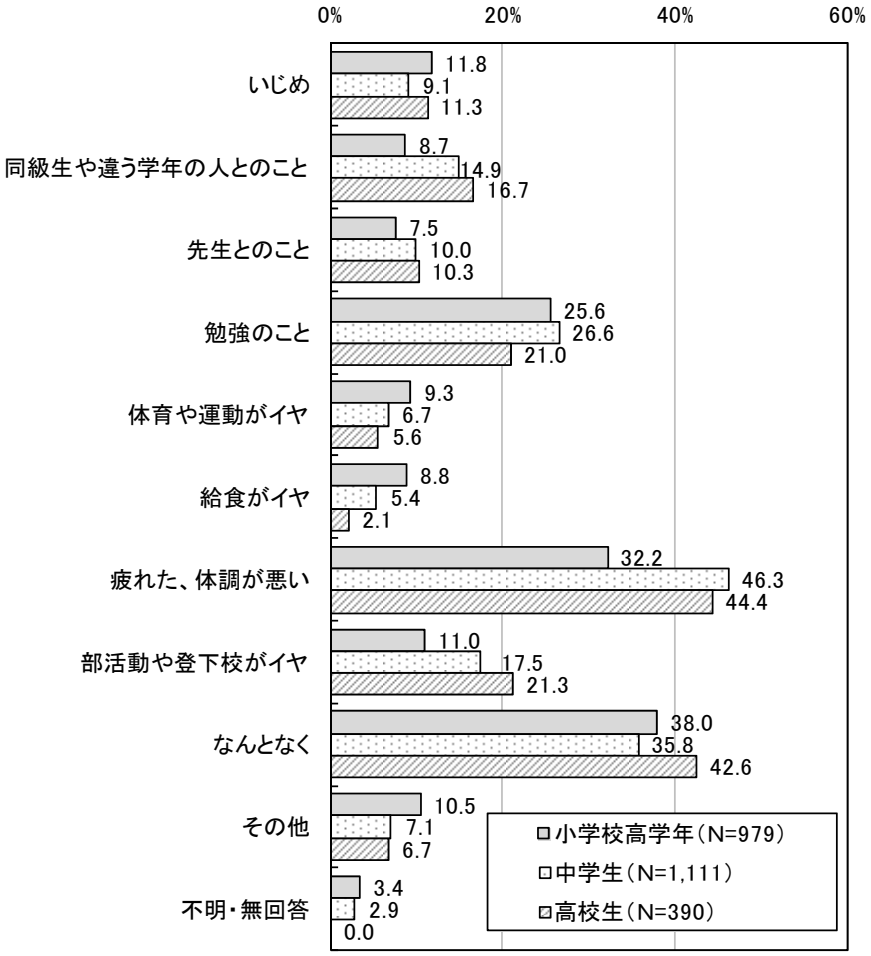


学校に行きたくないと思ったことが「よくあった」「ときどきあった」「ほとんどない」と回答した人のみ

学校に行きたくないと思った理由 〈複数回答〉

いずれの年代も「疲れた、体調が悪い」「なんとなく」が3割強～5割弱と高くなっています。「いじめ」は1割前後となっています。

小学校高学年問 18-1、中学生以上問 19-1

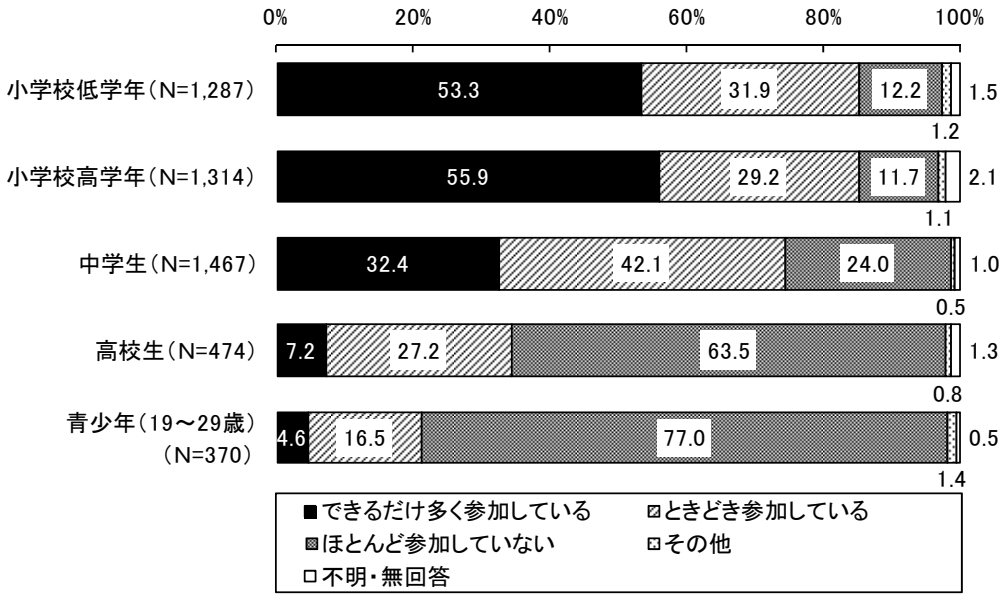


4　学校や職場以外での地域の生活

地域の行事や活動（地域の役、ボーイ・ガールスカウト、ボランティア活動、地域のおまつりなど）への参加の有無 〈単数回答〉

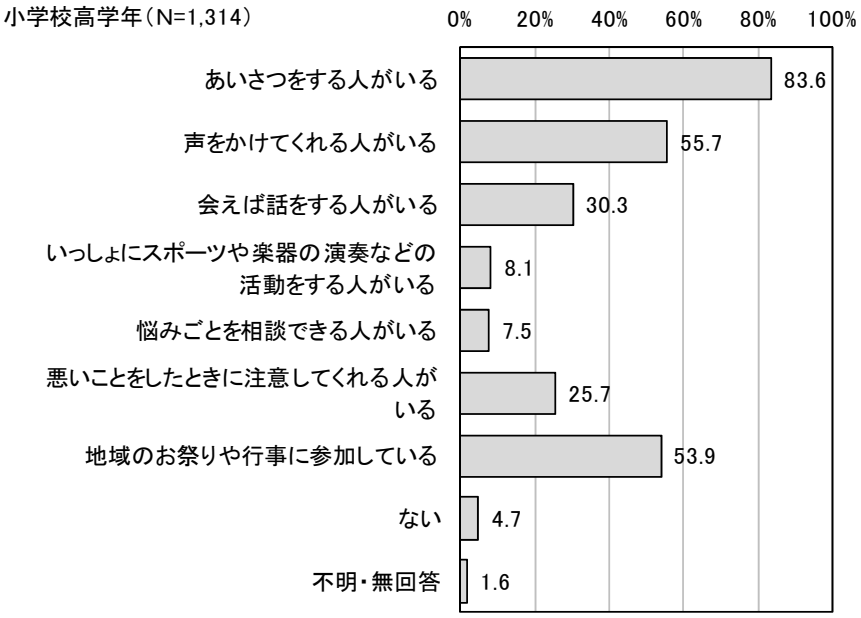
小学校低学年・高学年では「できるだけ多く参加している」が5割を超えているものの、中学生では 32.4%、高校生は 7.2%と低くなっており、年代が上がるにしたがい、「ほとんど参加していない」が高くなっています。

小学校低学年問 14、小学校高学年問 19、中学生以上問 20、青少年（19～29 歳）問8



近所や地域のおとなとのかかわり 〈単数回答〉

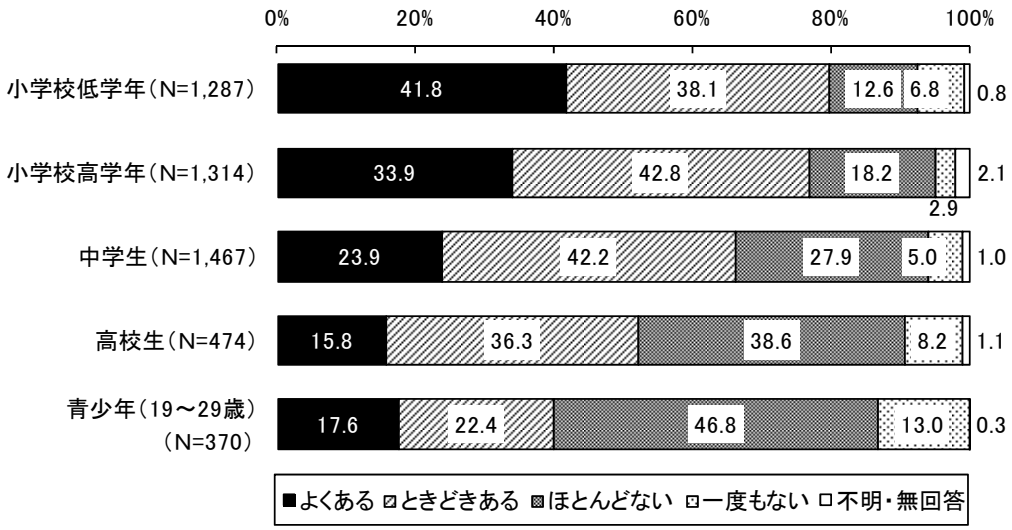
小学校高学年問 20



違う学年の人（きょうだいを除く）や違う世代の人（小中学生、高校生や高齢者）とかかわったり、遊ぶことの有無 〈単数回答〉

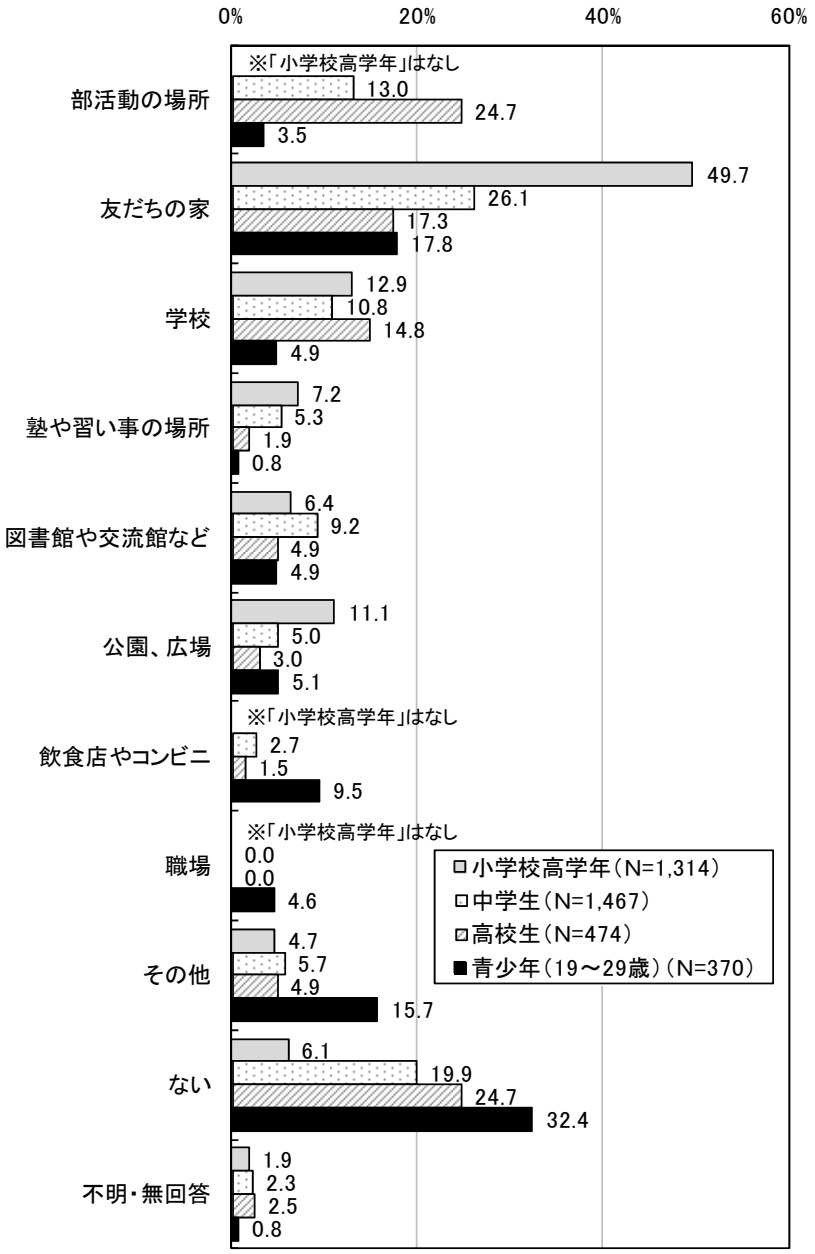
異なる学年や年代の人とかかわったり、遊ぶことが『ある』(＝「よくある」＋「ときどきある」)は、小学校低学年で79.9%となっているものの、年代が上がるにしたがい低くなっており、青少年(19～29歳)で40.0%となっています。

小学校低学年問15、小学校高学年問21、中学生以上問21、青少年(19～29歳)問9



自分の家以外で楽しい、またはほっとできる場所〈単数回答〉

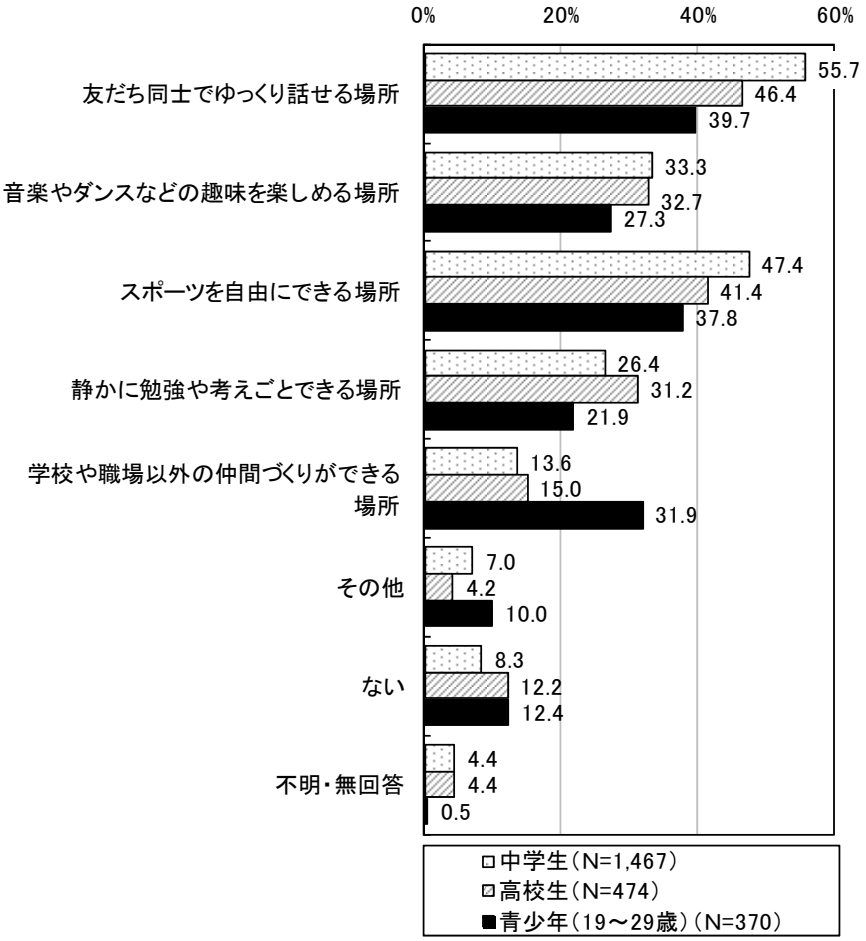
小学校高学年問 22、中学生以上問 22、青少年（19～29 歳）問 10



地域であったらよいと思う場所 〈単数回答〉

いずれの年代も「友だち同士でゆっくり話せる場所」が4割弱～5割強と最も高くなっています。なお、青少年(19～29 歳)では「学校や職場以外の仲間づくができる場所」が 31.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

中学生以上問 23、青少年(19～29 歳)問 11



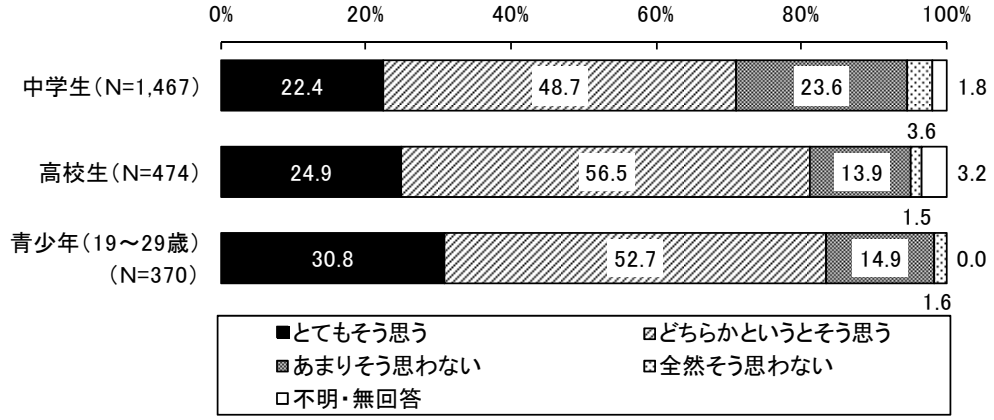
5　ふだんの気持ちや周囲の人との関係

ふだんの生活で感じていることや思っていること 〈単数回答〉

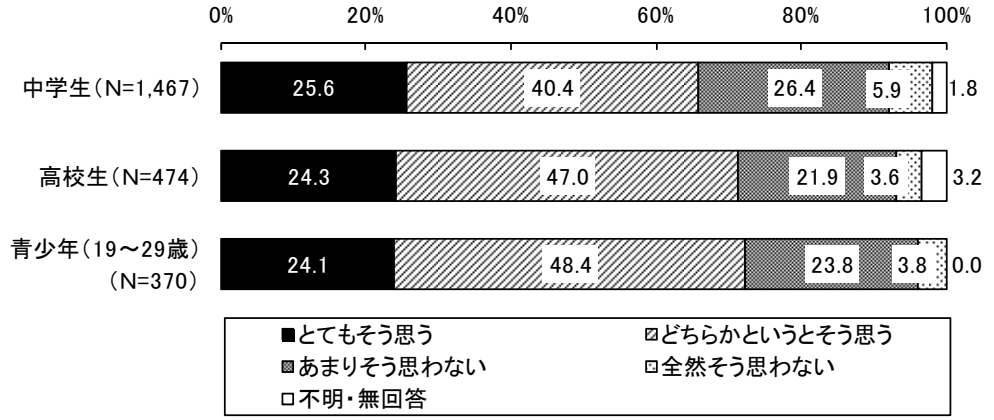
「自分はまわりから大切にされている」について『そう思う』(＝「とてもそう思う」＋「どちらかというとそう思う」)は、中学生は71.1%、高校生は81.4%、青少年(19～29歳)は83.5%と、年代が上がるにしたがい高くなっています。また、「他人の考えを尊重することは大切だと思う」「他人の命は大切だ」「自分の命は大切だ」については、『そう思う』がいずれの年代も9割を超えています。

中学生以上問24、青少年(19～29歳)問12

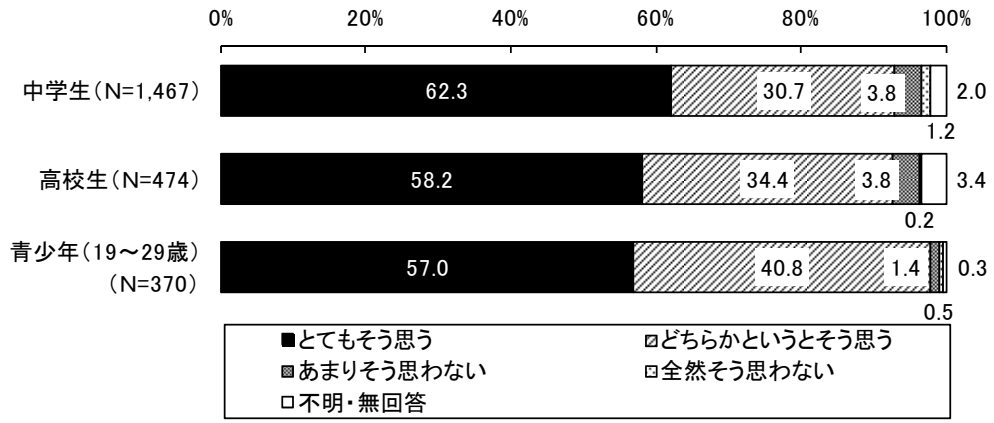
①自分はまわりから大切にされている



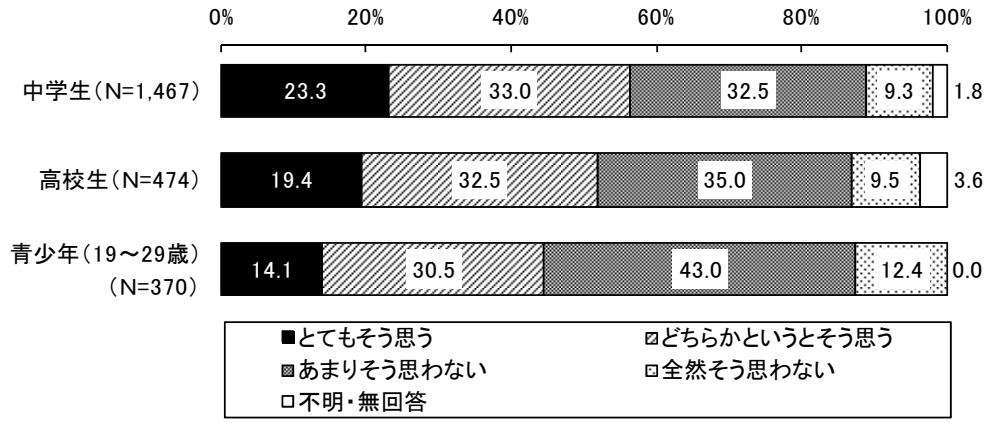
②自分の意見が言えている



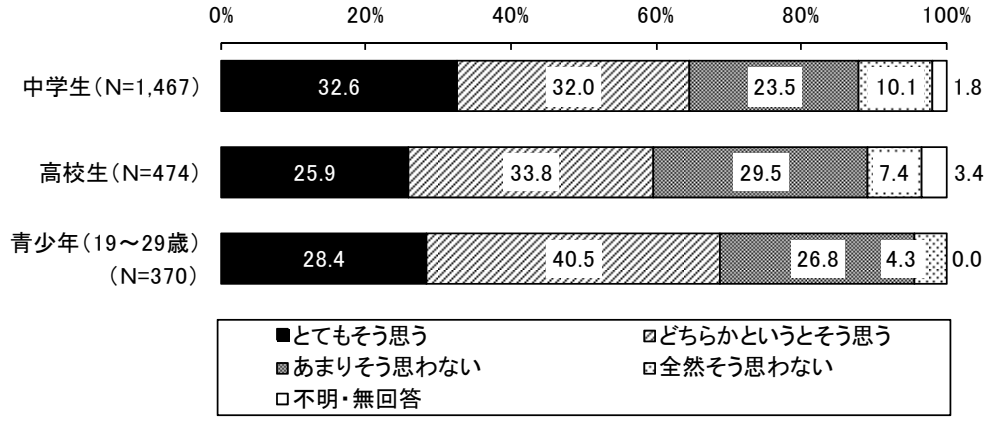
③他人の考えを尊重することは大切だと思う



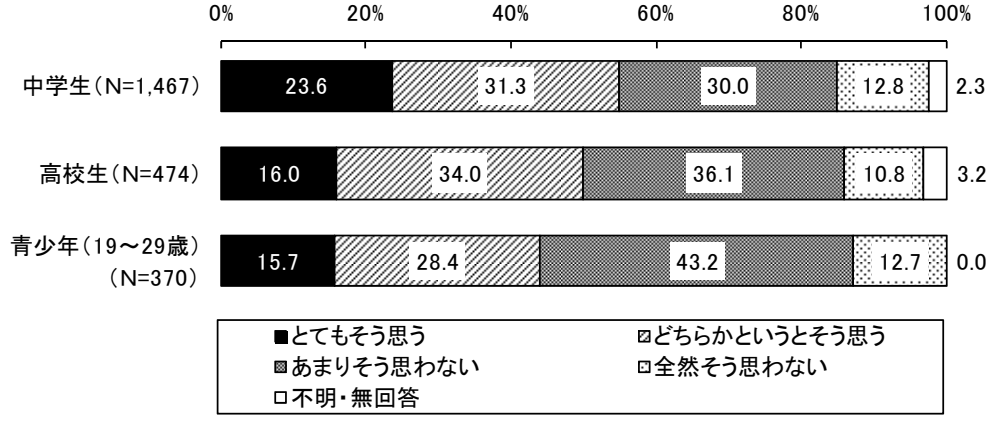
④休みや休息する時間が少ない



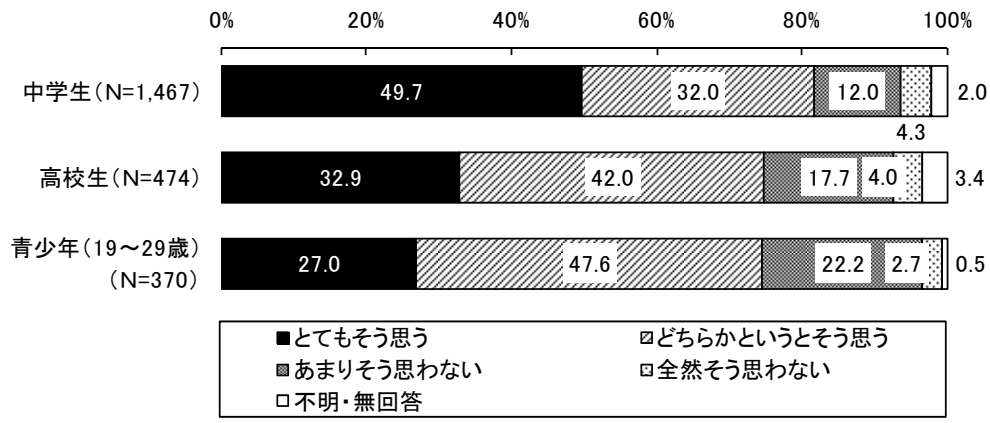
⑤ストレスやプレッシャーを感じることが多い



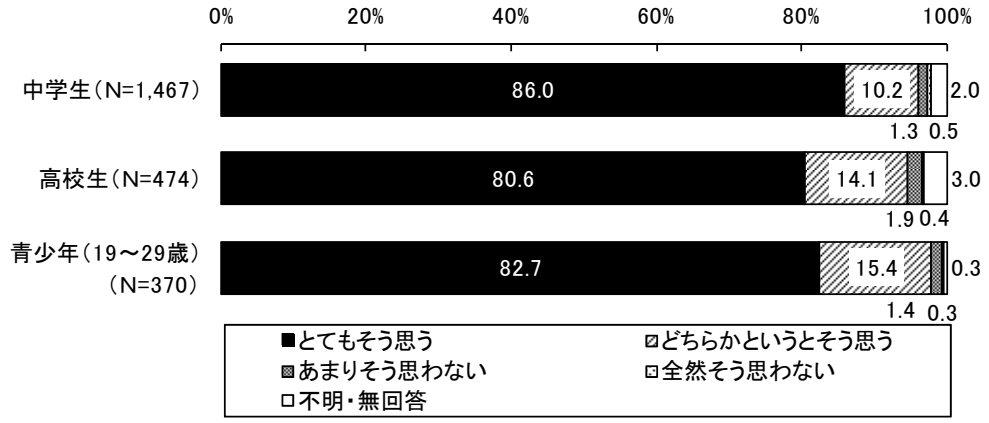
⑥むかついたり切れそうになったりすることが多い



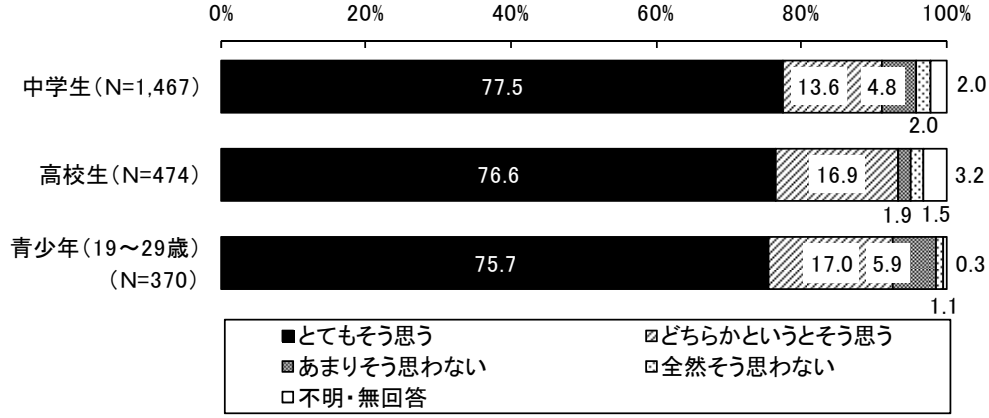
⑦人と一緒にいることが好きだ



⑧他人の命は大切だ



⑨自分の命は大切だ



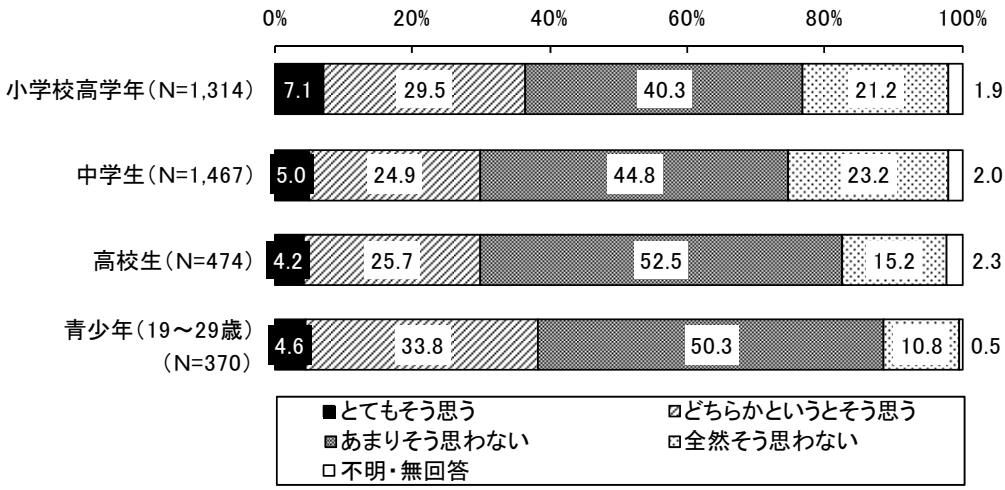
自分のことについてどのように思っているか 〈単数回答〉

「何事にもがんばる」では、「とてもそう思う」が年代が上がるにしたがい低くなっています。

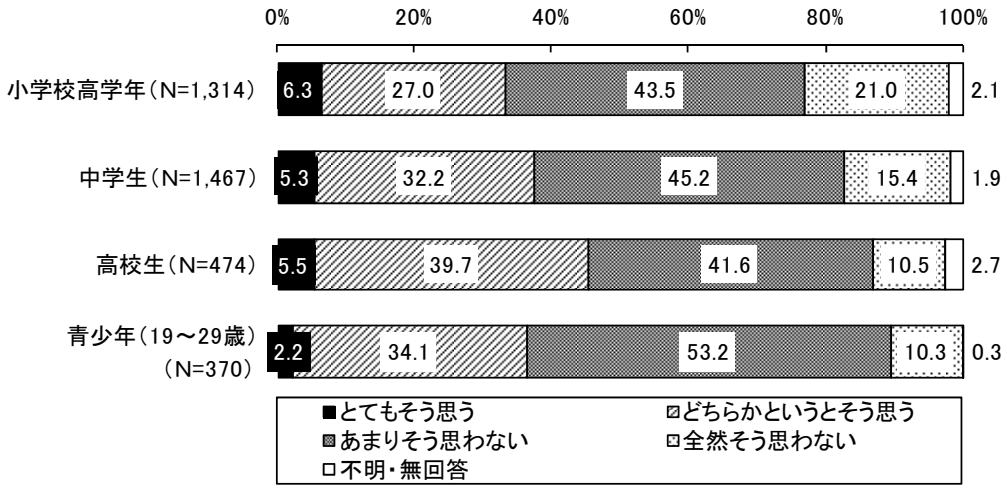
「自分のことが好きだ」では、中学生で他の年代に比べて『そう思わない』(＝「あまりそう思わない」＋「全然そう思わない」)が 61.1%と高くなっています。

小学校高学年問 24、中学生以上問 25、青少年（19～29 歳）問 13

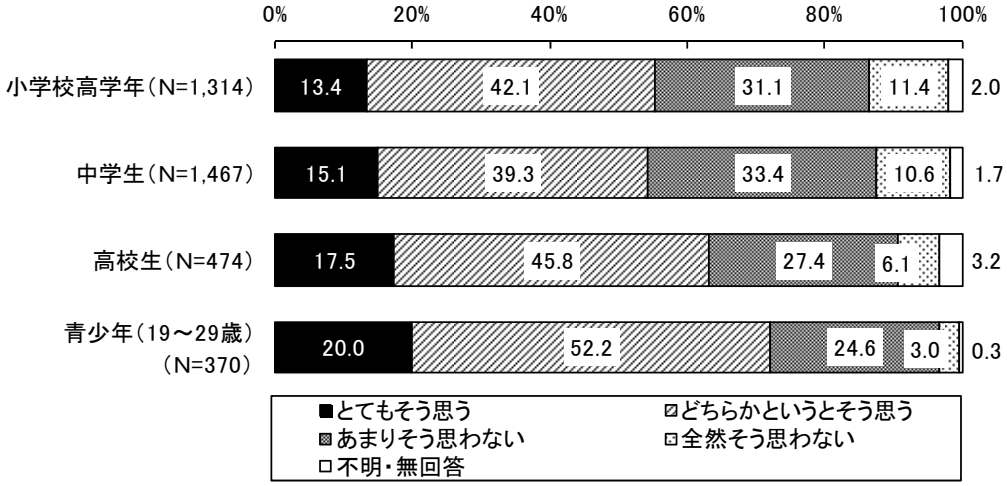
①勉強や仕事ができる



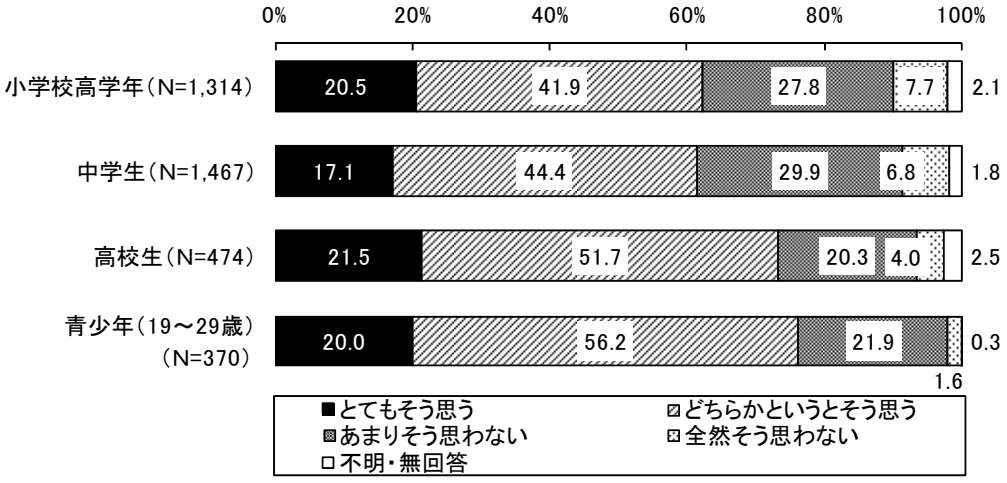
②友だちから人気がある



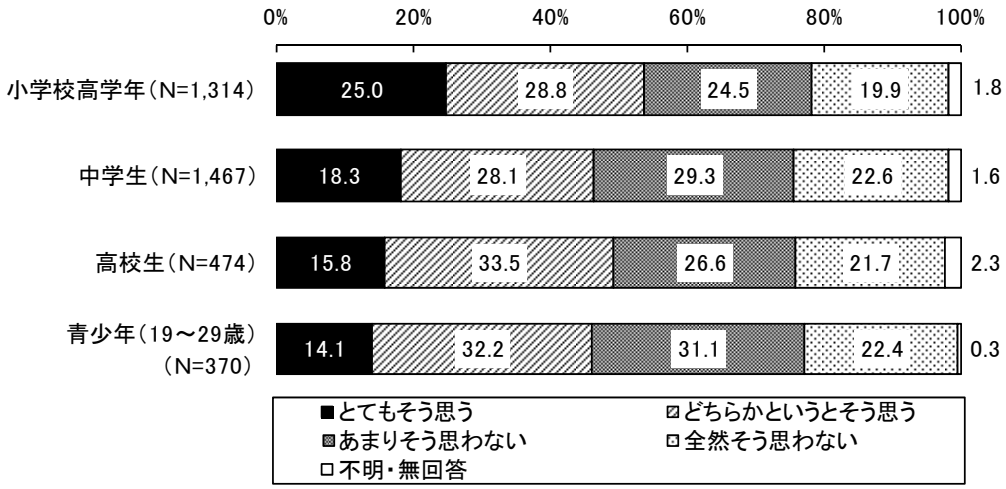
③正直だ



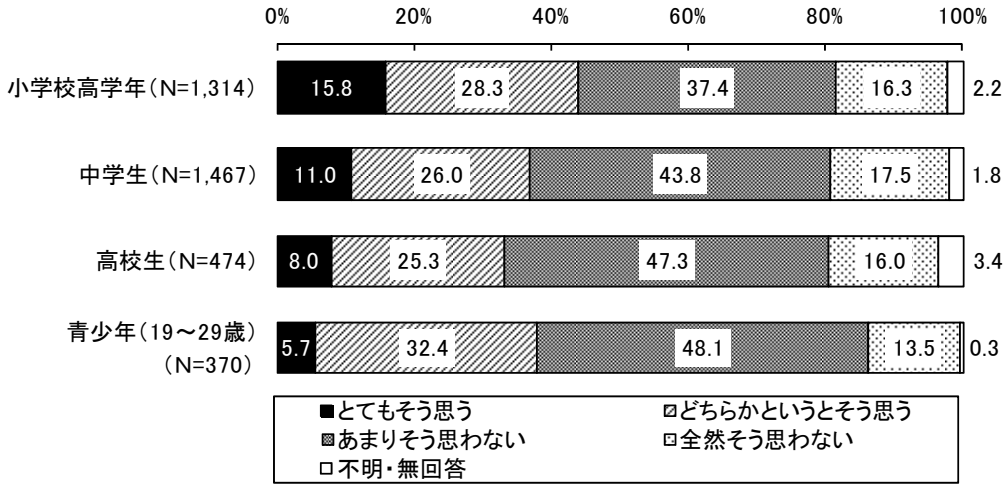
④人にやさしい



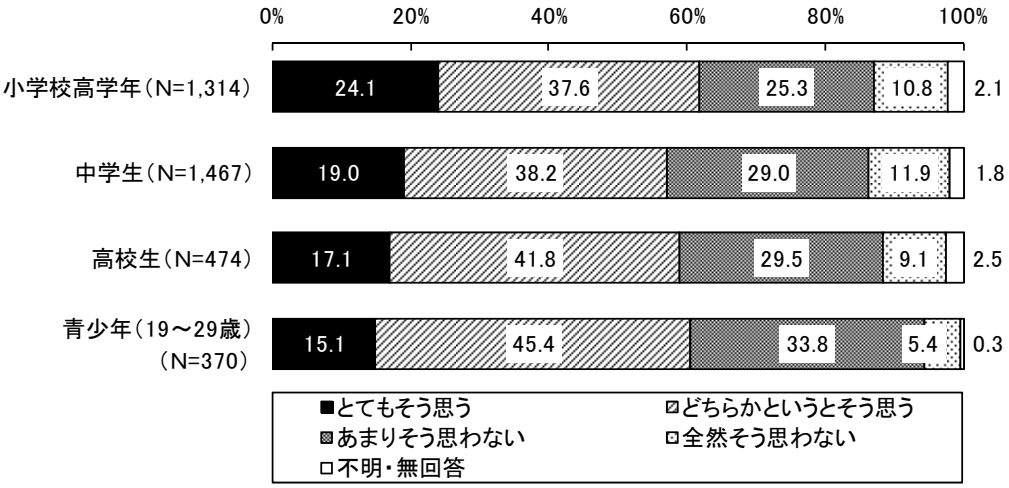
⑤運動が得意だ



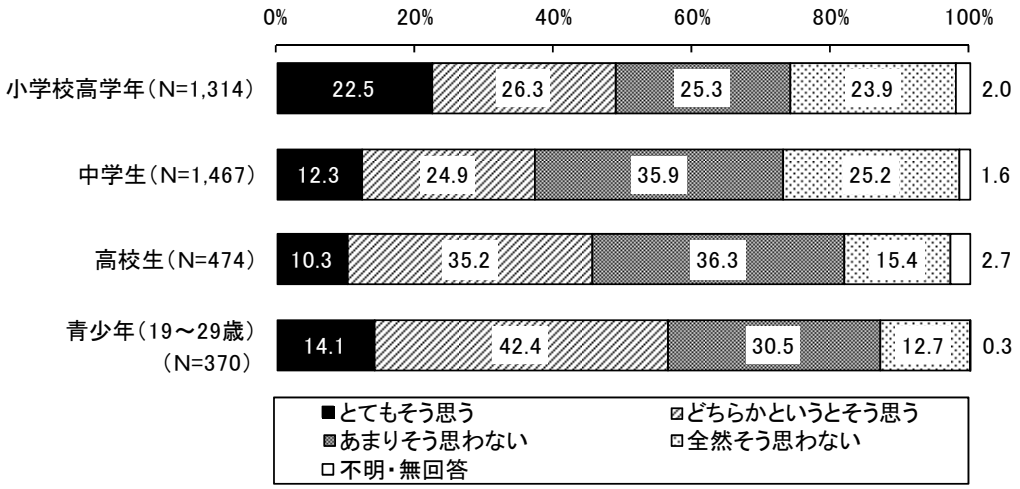
⑥勇気がある



⑦何事にもがんばる

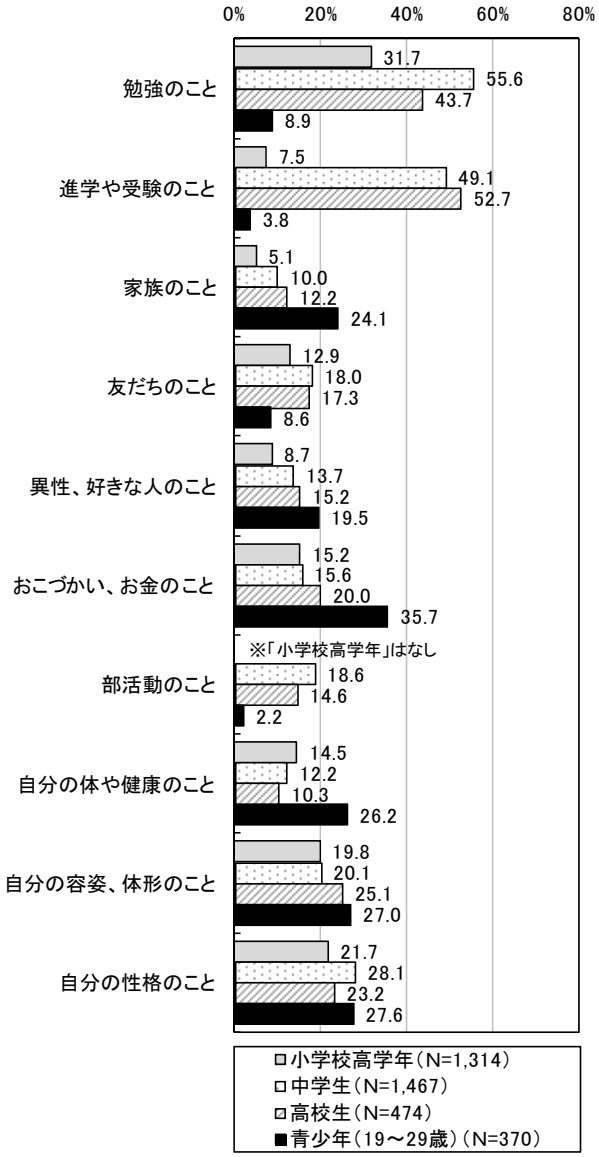


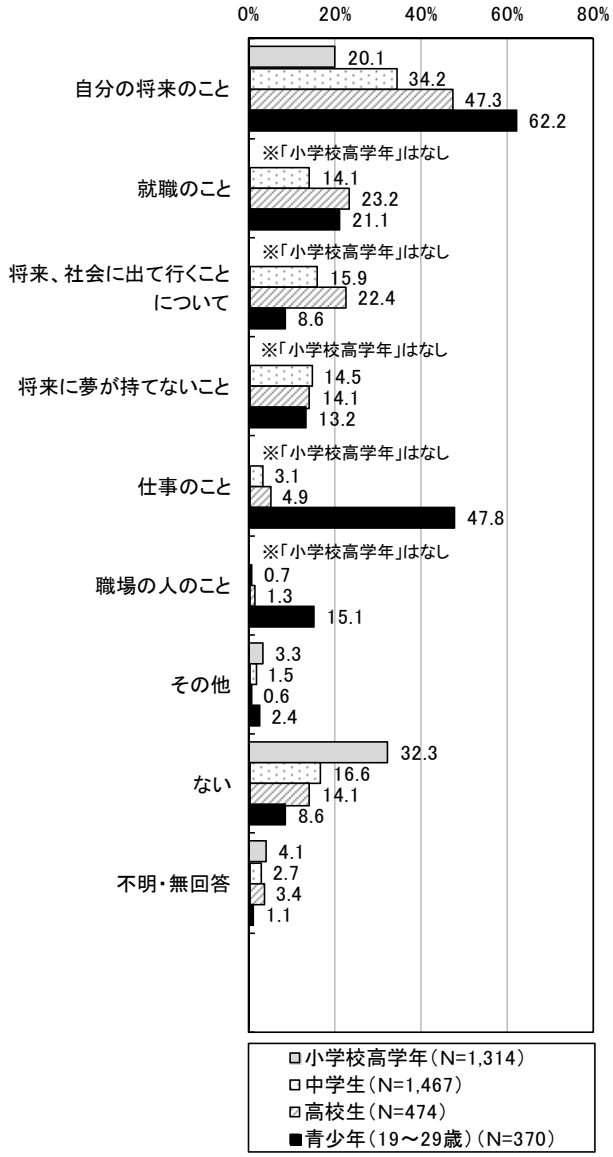
⑧自分のことが好きだ



悩みや不安の内容 〈複数回答〉

小学校高学年問 25、中学生以上問 26、青少年（19～29 歳）問 14



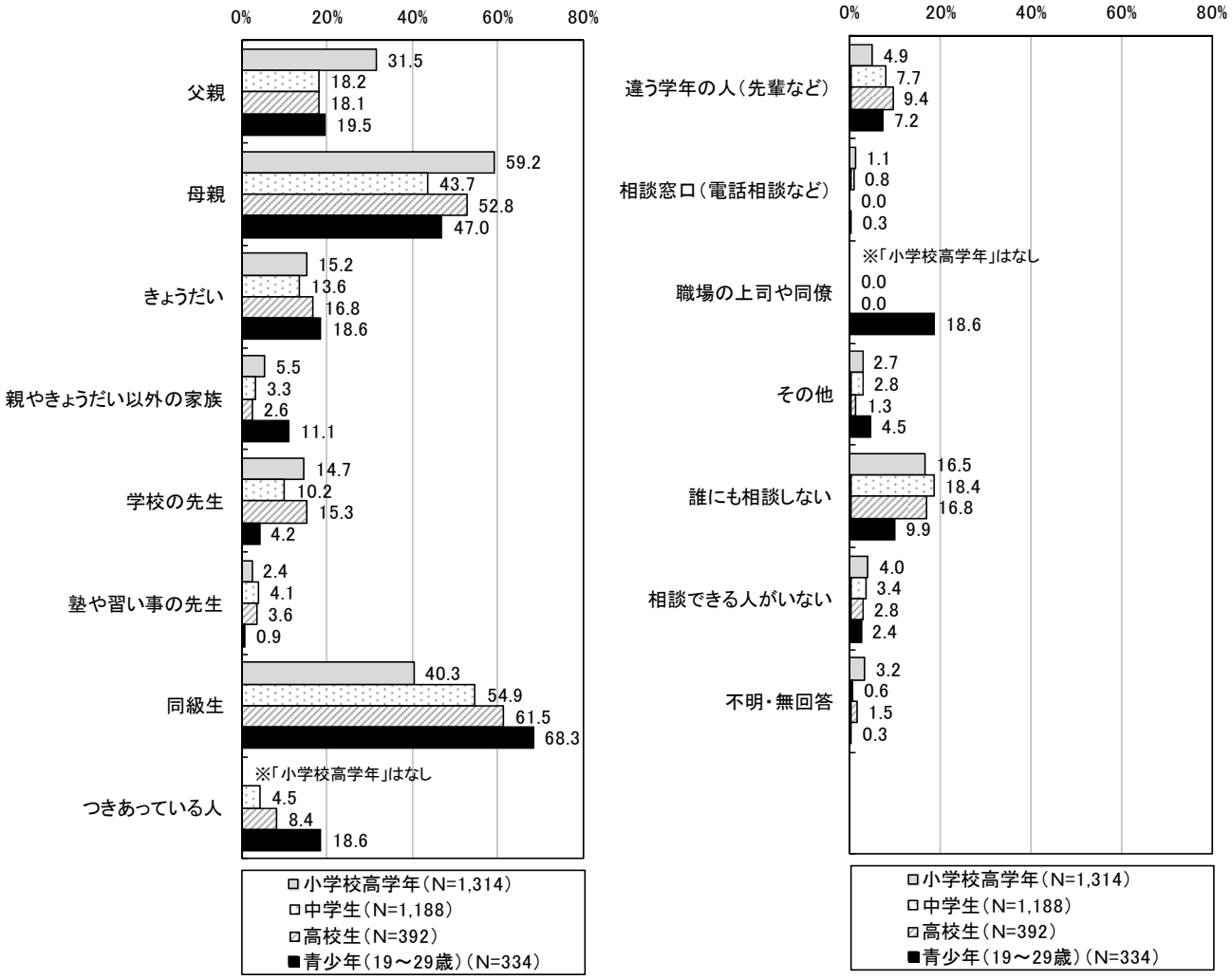


悩みや不安があると回答した人のみ（「ない」「不明・無回答」と回答した人以外）

悩みや不安の相談先 〈複数回答〉

小学校高学年では「母親」が59.2%、中学生、高校生、青少年（19～29歳）では「同級生」が5割強～7割弱とそれぞれ最も高く、「母親」への相談はいずれの年代も5割弱～6割弱となっています。なお、いずれの年代も「誰にも相談しない」が1割弱～2割弱、「相談できる人がいない」が数パーセントとなっています。

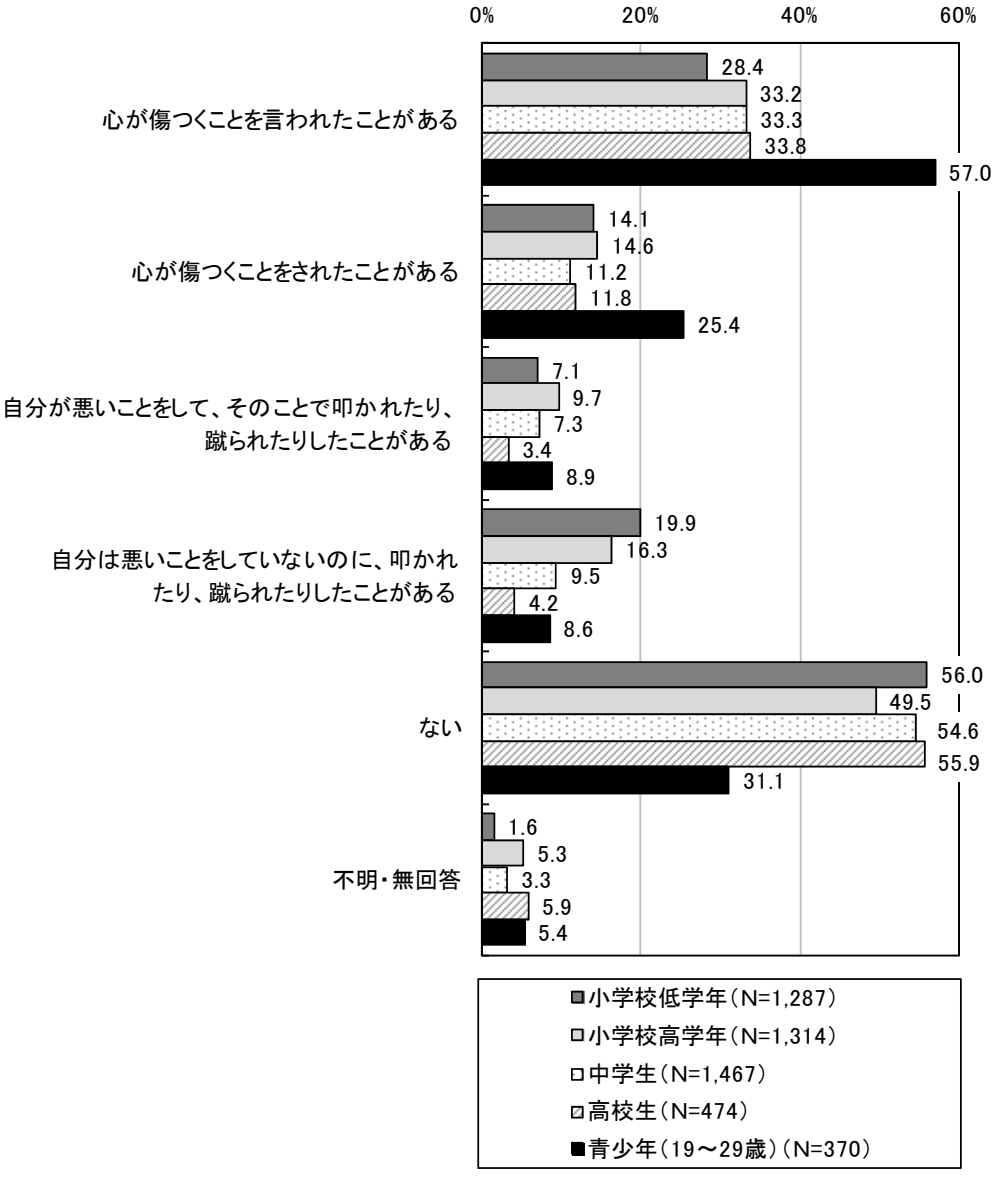
小学校高学年問 25-1、中学生以上問 26-1、青少年（19～29 歳）問 14-1



周囲の人から嫌なことをされたり、言われたりしたことの有無 〈複数回答〉28

小学校低学年・高学年、中学生、高校生では「ない」が5割弱～6割弱、青少年（19～29 歳）では「心が傷つくことを言われたことがある」が 57.0%と、それぞれ最も高くなっています。なお、「自分が悪いことをして、そこのことで叩かれたり、蹴られたりしたことがある」はいずれの年代も1割弱、「自分は悪いことをしていないに、叩かれたり、蹴られたりしたことがある」は小学校低学年・高学年で2割弱となっています。

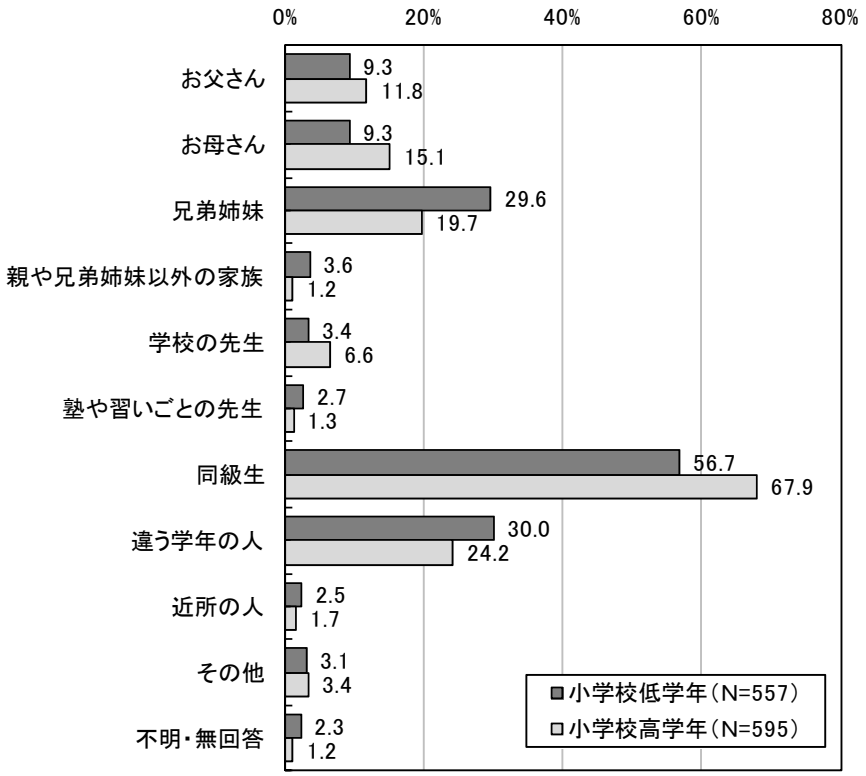
小学校低学年問 13、小学校高学年問 26、中学生以上問 27、青少年（19～29 歳）問 15



「心が傷つくことを言われたことがある」「心が傷つくことをされたことがある」「自分が悪いことをして、そのことで叩かれたり、蹴られたりしたことがある」と回答した人のみ

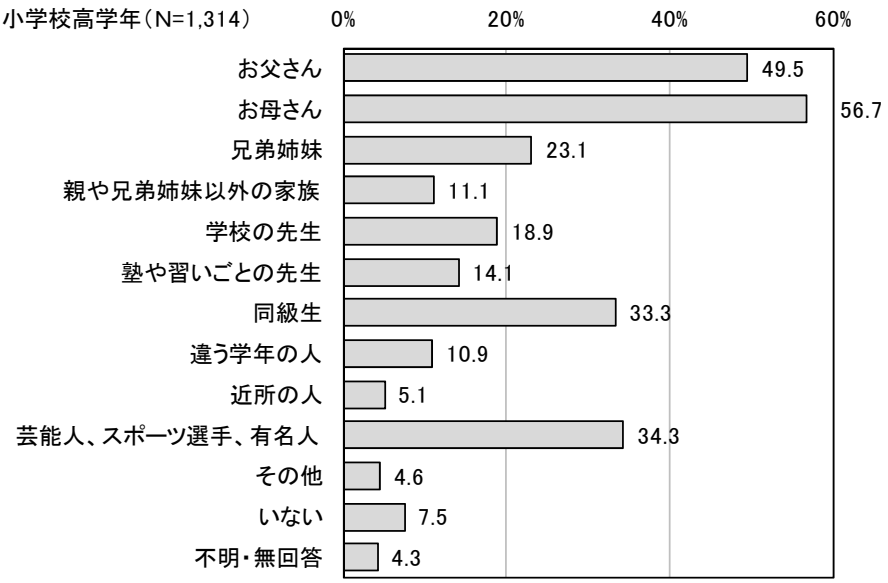
嫌なことをしたり、言ったりした相手 〈複数回答〉

小学校低学年問 13-1、小学校高学年問 26-1



尊敬する人 〈複数回答〉

小学校高学年問 32

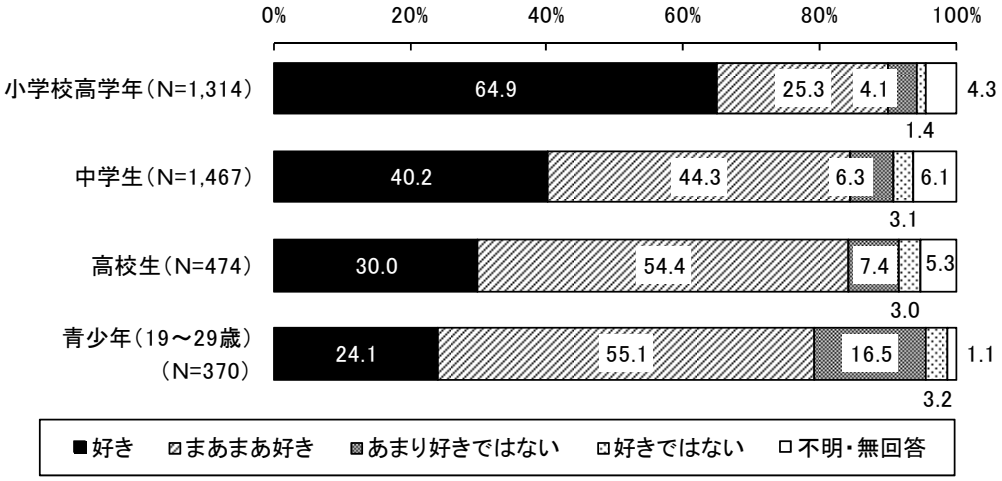


6　地域や地域活動

自分が住んでいる地域が好きか　〈単数回答〉

『好き』(＝「好き」＋「まあまあ好き)は、8割弱～9割弱となっています。年代が上がるにしたがい、『好き』が低くなっています。

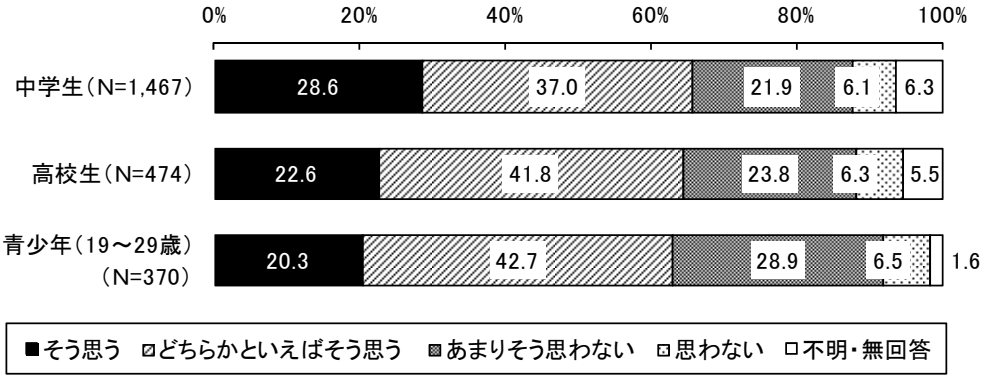
小学校高学年問 23、中学生以上問 34、青少年(19～29 歳)問 17



現在自分が住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思うか　〈単数回答〉

『そう思わない』(＝「あまりそう思わない」＋「思わない」)は、3割程度となっており、年代が上がるにしたがって高くなっています。

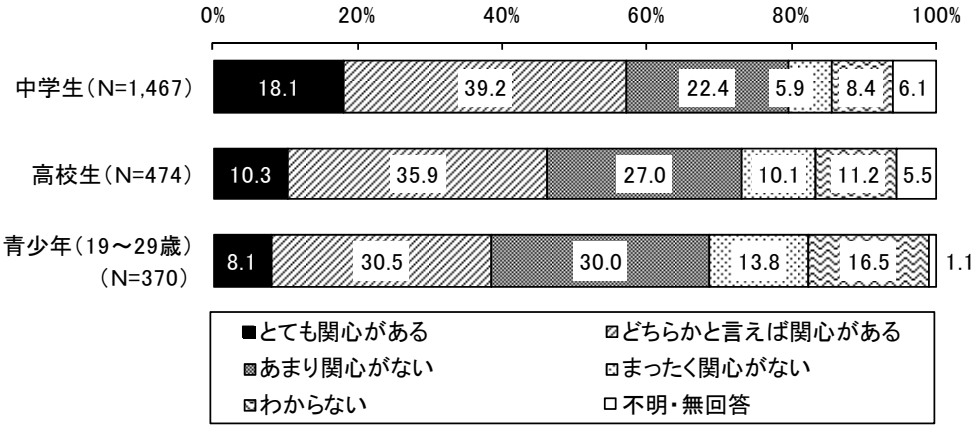
中学生以上問 35、青少年(19～29 歳)問 18



ボランティアへの関心 〈単数回答〉

『関心がある』(＝「とても関心がある」＋「どちらかと言えば関心がある」)は、4割弱～6割弱となっており、年代が上がるにしたがって低くなっています。

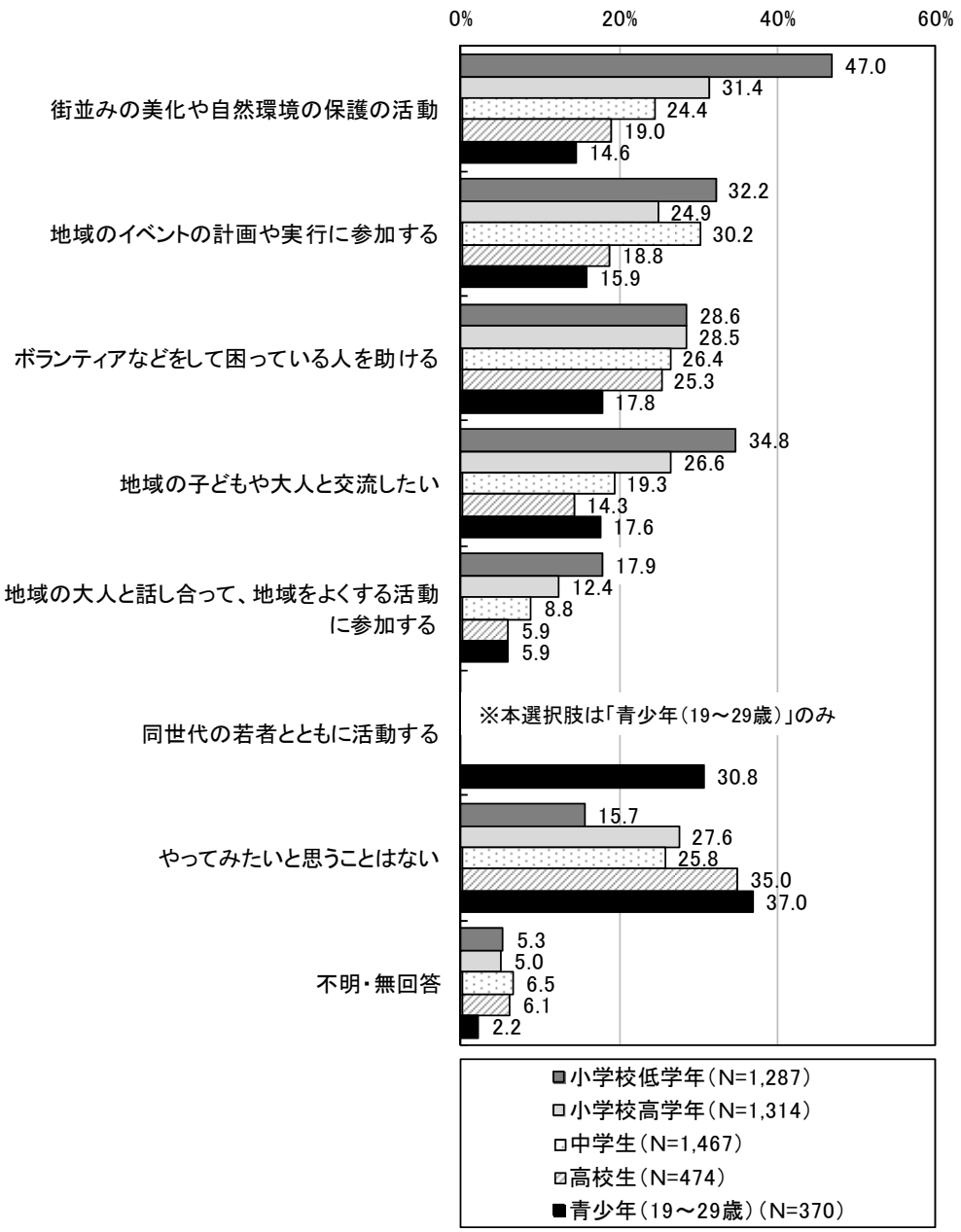
中学生以上問 36、青少年(19～29 歳)問 19



今後やってみたいと思う活動内容 〈単数回答〉

「街並みの美化や自然環境の保護の活動」「ボランティアなどをして困っている人を助ける」「地域の大人と話し合って、地域をよくする活動に参加する」は、年代が上がるにしたがい割合が低くなっています。「やってみたいと思うことはない」は、高校生で 35.0%、青少年(19～29 歳)で 37.0%となっています。

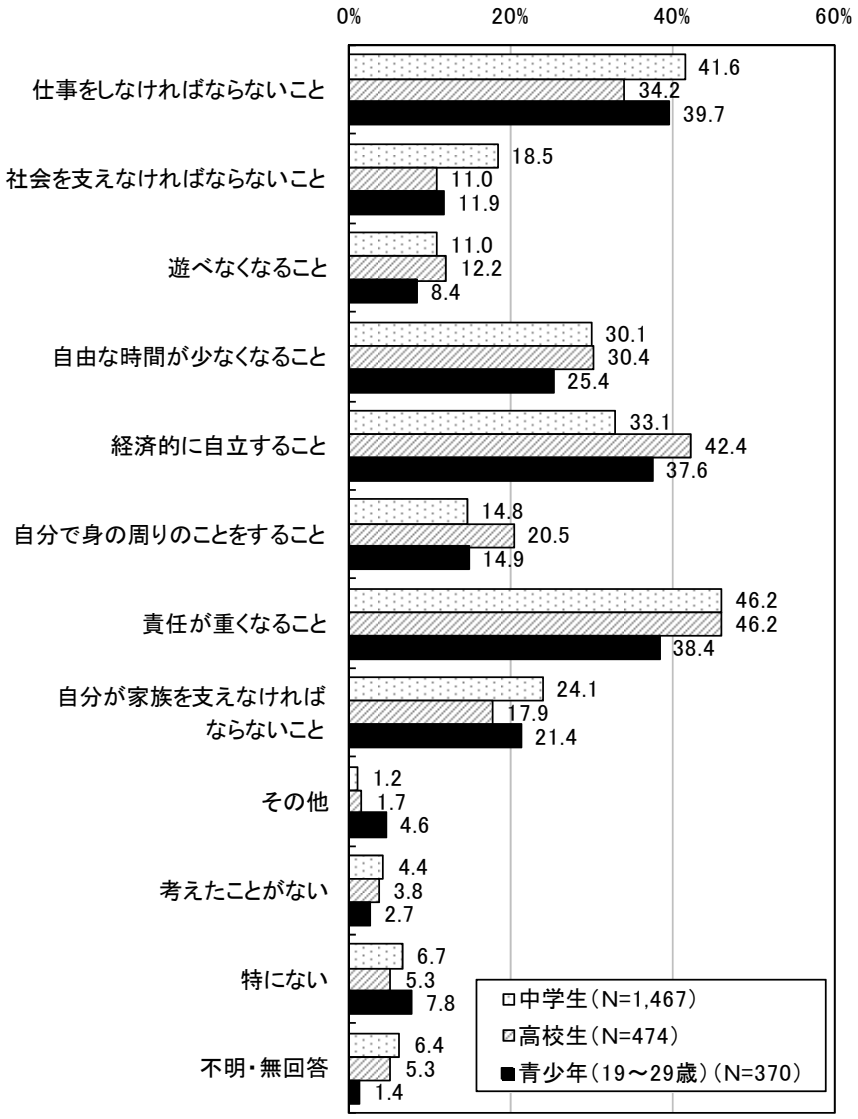
小学校低学年問 16、小学校高学年問 33、中学生以上問 37、青少年(19～29 歳)問 20



7　夢や将来

おとなになると大変そうだなと思うこと・今後大変そうだなと思うこと〈複数回答〉

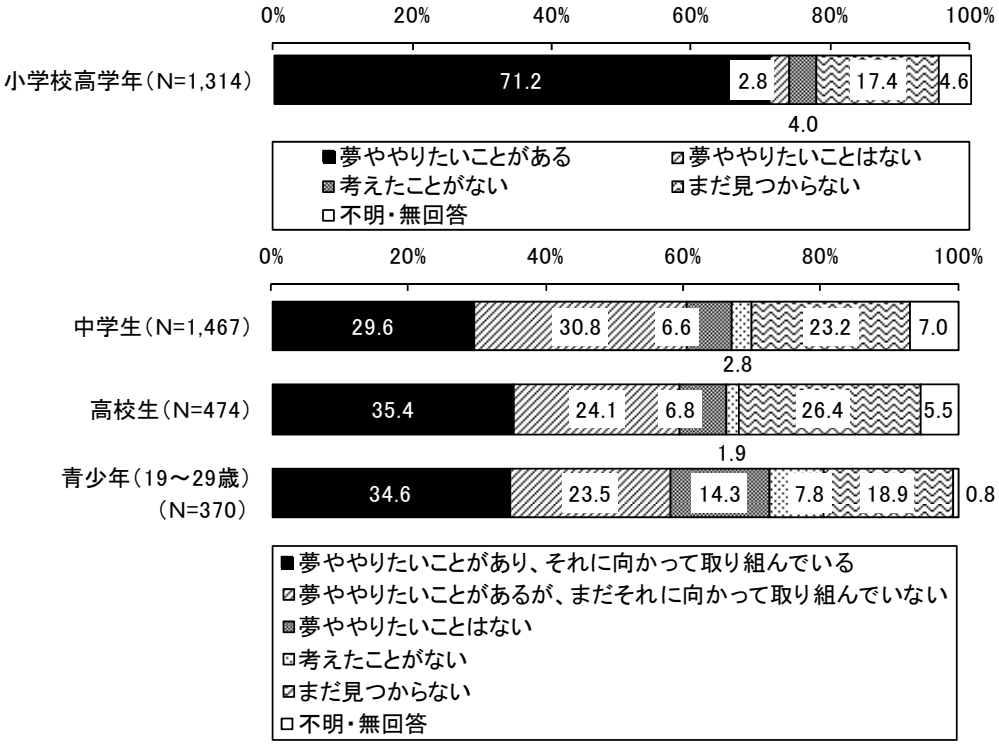
中学生以上問 38、青少年（19～29 歳）問 21



将来の夢ややりたいこと 〈単数回答〉

小学校高学年では、「夢ややりたいことがある」が 71.2%と最も高くなっています。中学生では、「夢ややりたいことがあるが、まだそれに向かって取り組んでいない」が 30.8%、高校生、青少年(19～29 歳)では「夢ややりたいことがあり、それに向かって取り組んでいる」がそれぞれ 35.4%、34.6%と、最も高くなっています。なお、いずれの年代も「まだ見つからない」が2割前後となっています。

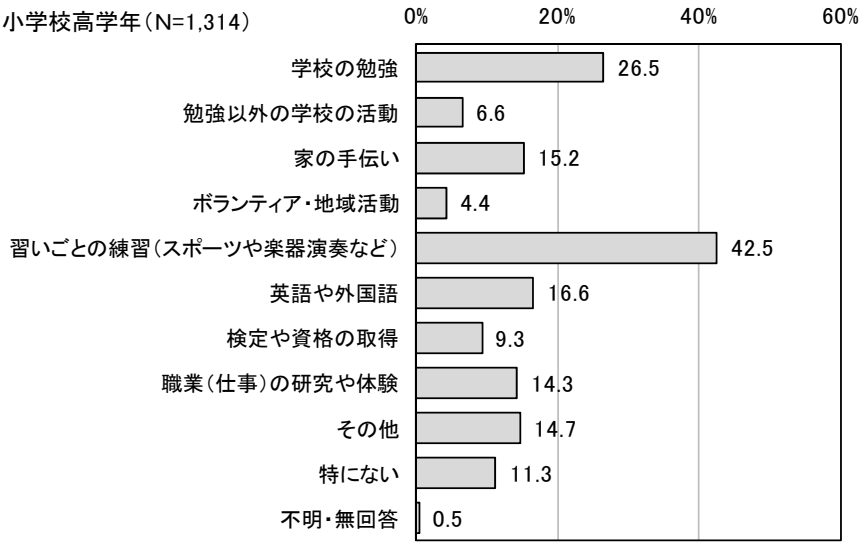
小学校高学年問 31、中学生以上問 39、青少年(19～29 歳)問 22



小学校高学年で「夢ややりたいことがある」と回答した人のみ

夢ややりたいことに向かってしていること、努力していること〈複数回答〉

小学校高学年問 31-1



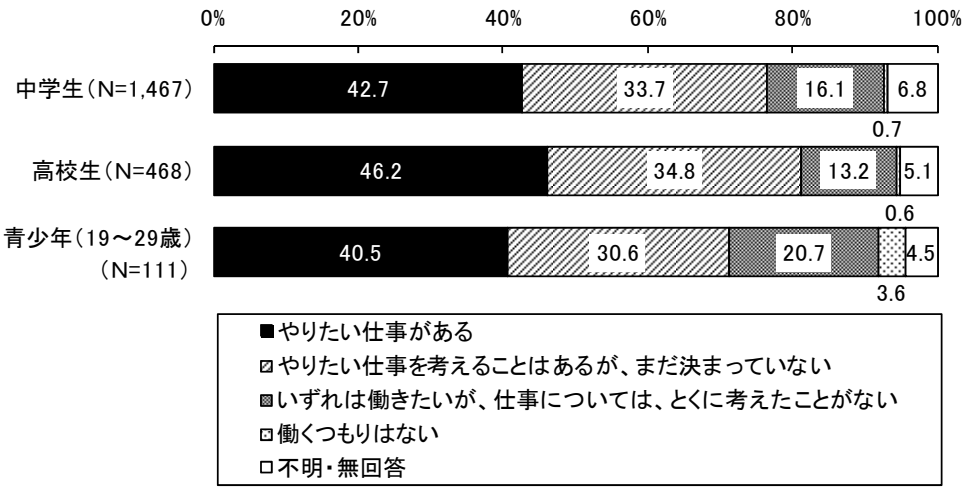
「中学１年生」「中学２年生」「中学３年生」「高校１年生」「高校２年生」「高校３年生」、青少年（19～29 歳）で働いていない（「高等学校」「専門学校」「高等専門学校・短期大学」「４年制大学・大学院」「浪人・予備校」「その他の学校」「無職・家事専業」）と回答した人のみ

将来の仕事について考えたことがあるか　〈単数回答〉

いずれの年代も「やりたい仕事がある」が4割以上と最も高く、次いで「やりたい仕事を考えることはあるが、まだ決まっていない」が3割強となっています。なお、青少年（19～29 歳）の 3.6%が「働くつもりはない」と回答しています。

中学生以上 問 40、青少年（19～29 歳）問 23

※「高校生」については、就労者を除いた値



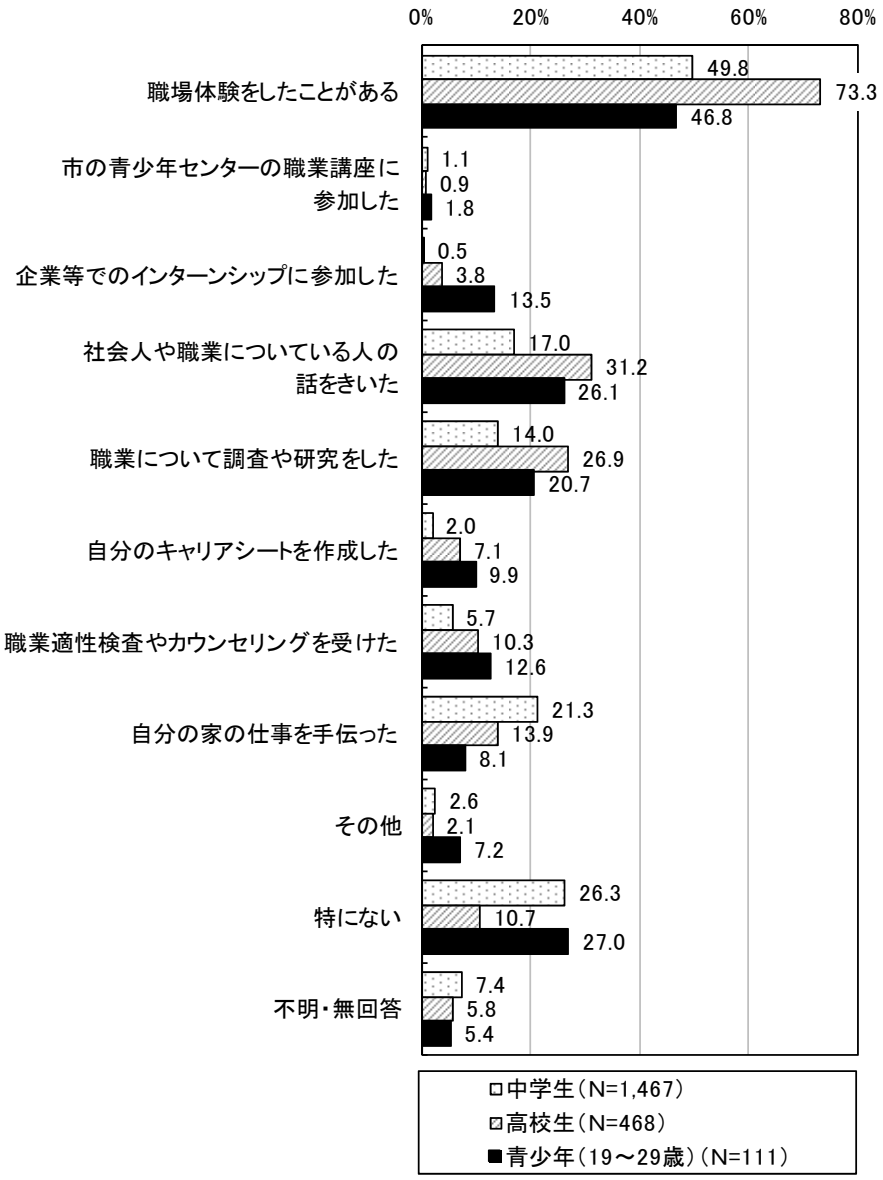
「中学１年生」「中学２年生」「中学３年生」「高校１年生」「高校２年生」「高校３年生」、青少年（19～29 歳）で働いていない（「高等学校」「専門学校」「高等専門学校・短期大学」「４年制大学・大学院」「浪人・予備校」「その他の学校」「無職・家事専業」）と回答した人のみ

就業のために実行していること ＜複数回答＞

いずれの年代も「職場体験をしたことがある」が5割弱～7割強と最も高くなっています。なお、中学生、青少年（19～29 歳）の3割弱が「特にない」と回答しています。

中学生以上 問 41、青少年（19～29 歳）問 24

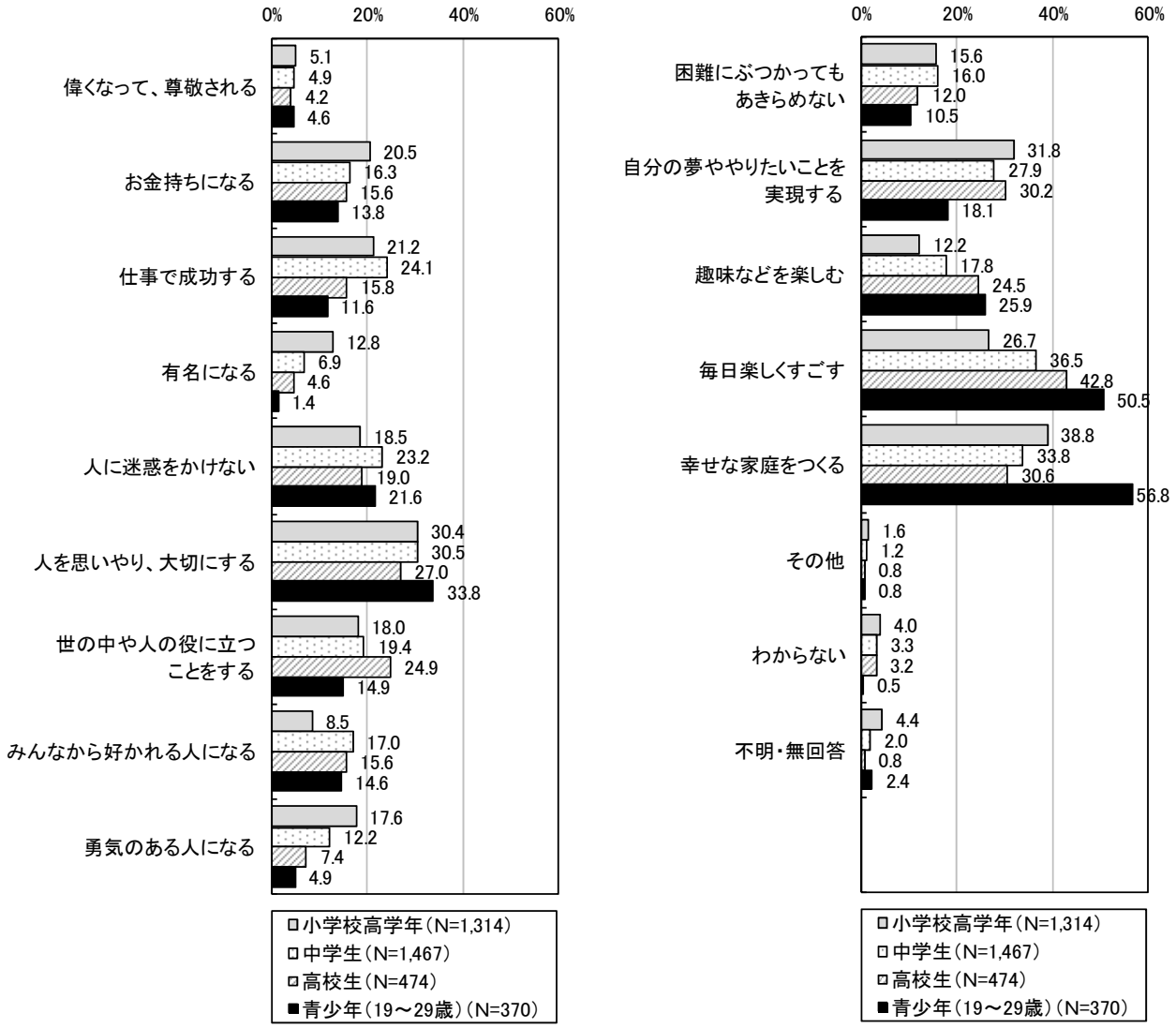
※「高校生」については、就労者を除いた値



将来の生き方で、大切にしたいこと 〈複数回答〉

いずれの年代も「毎日楽しく過ごす」「幸せな家庭をつくる」「人を思いやり、大切にする」が上位となっています。

小学校高学年問 34、中学生以上問 42、青少年（19～29 歳）問 25



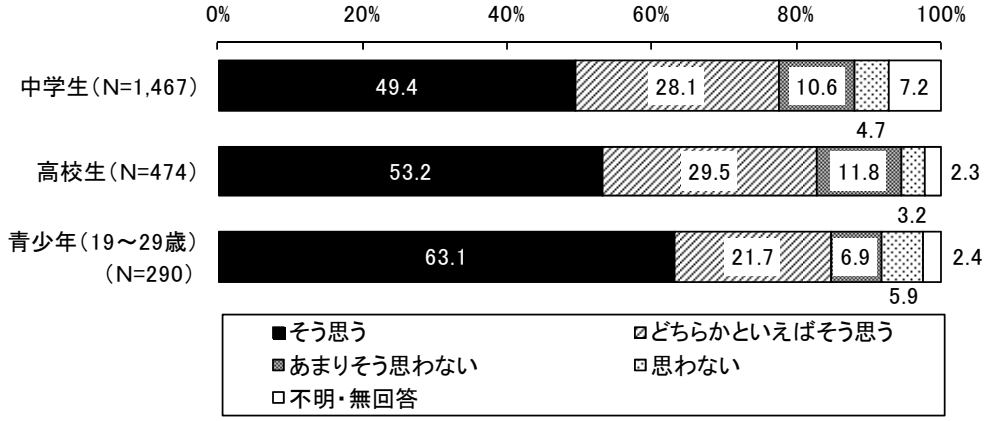
まだ結婚していない人のみ

将来結婚したいと思うか 〈単数回答〉

いずれの年代も『結婚したい』(＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」)が8割前後であり、年代が上がるにしたがい高くなっています。青少年(19～29 歳)では、『結婚したくない』(＝「思わない」＋「あまりそう思わない」)が12.8%となっています。

中学生以上 問 43、青少年(19～29 歳) 問 26

※「青少年(19～29 歳)」については、問3で配偶者がいると回答した人を除いた値



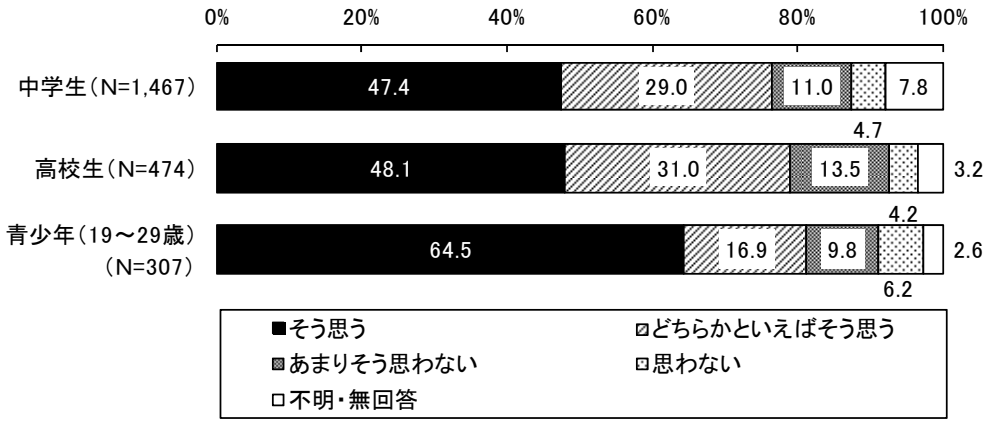
まだ子どもがいない人のみ

将来子どもを育てたいと思うか 〈単数回答〉

青少年(19～29 歳)では、『将来子どもを育てたくない』(＝「思わない」＋「あまりそう思わない」)が16.0%となっています。)

中学生以上 問 44、青少年(19～29 歳) 問 27

※「青少年(19～29 歳)」については、問3で子どもがいると回答した人を除いた値

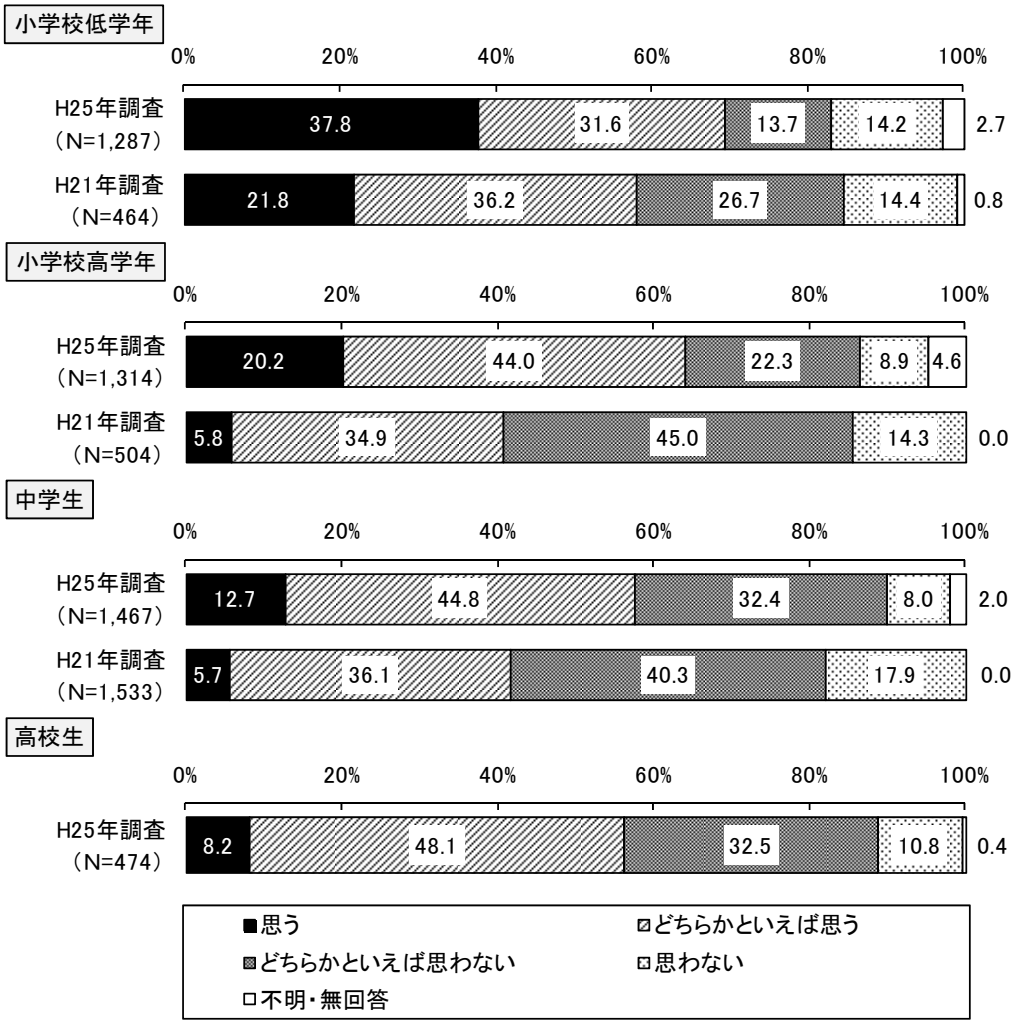


8　豊田市について（子どもが感じる子どもにやさしいまち）

豊田市は、ゴミなどがないきれいなまちだと思うか　〈単数回答〉

きれいなまちだと『思う』(＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」)は小学校低学年が 69.4%と他の年代に比べて最も高く、年代が上がるにしたがい低くなっています。H21 年調査と比べて、『思う』の割合は増加しています。

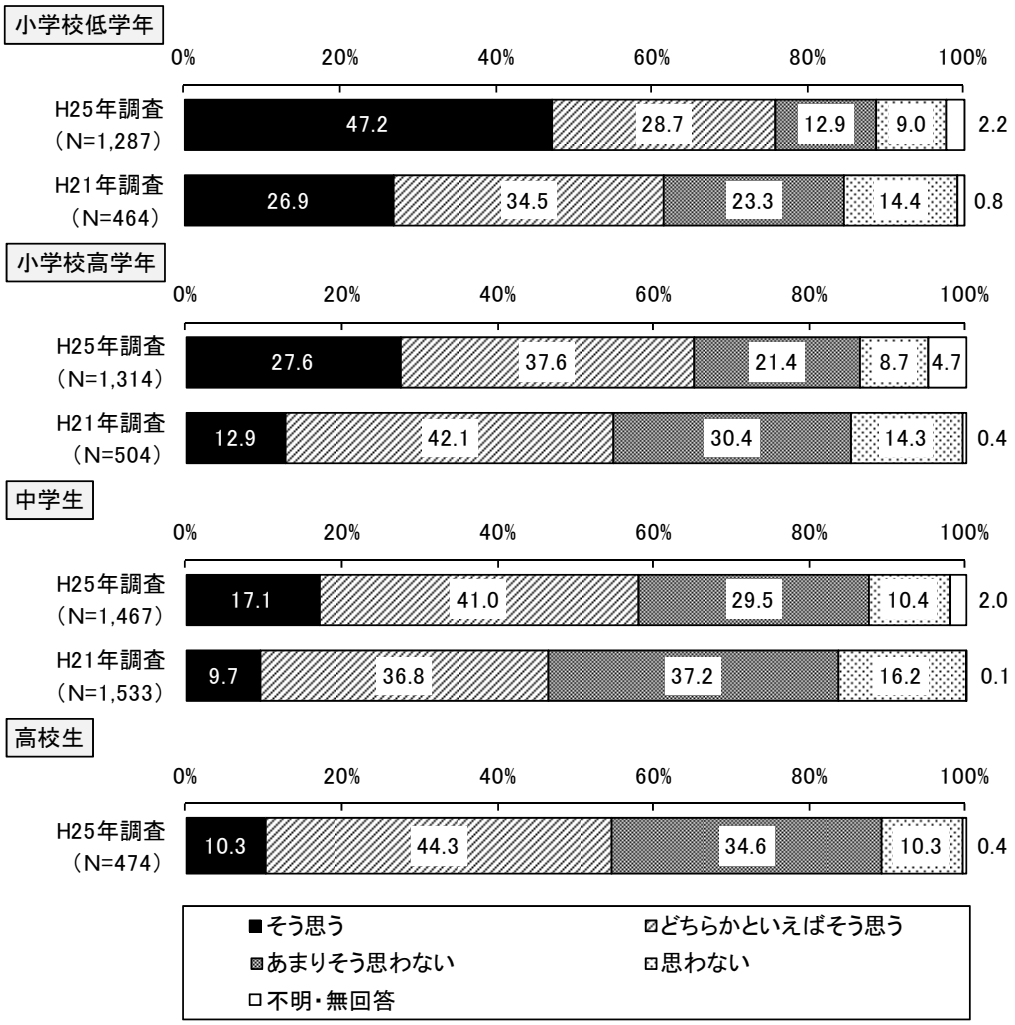
小学校低学年問 19、小学校高学年問 35、中学生以上問 45



豊田市は、安心・安全なまちだと思うか 〈単数回答〉

安心・安全なまちだと『思う』(＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」)は小学校低学年が 75.9%と他の年代に比べて最も高く、年代が上がるにしたがい低くなっています。H21 年調査と比べて、『思う』の割合は増加しています。

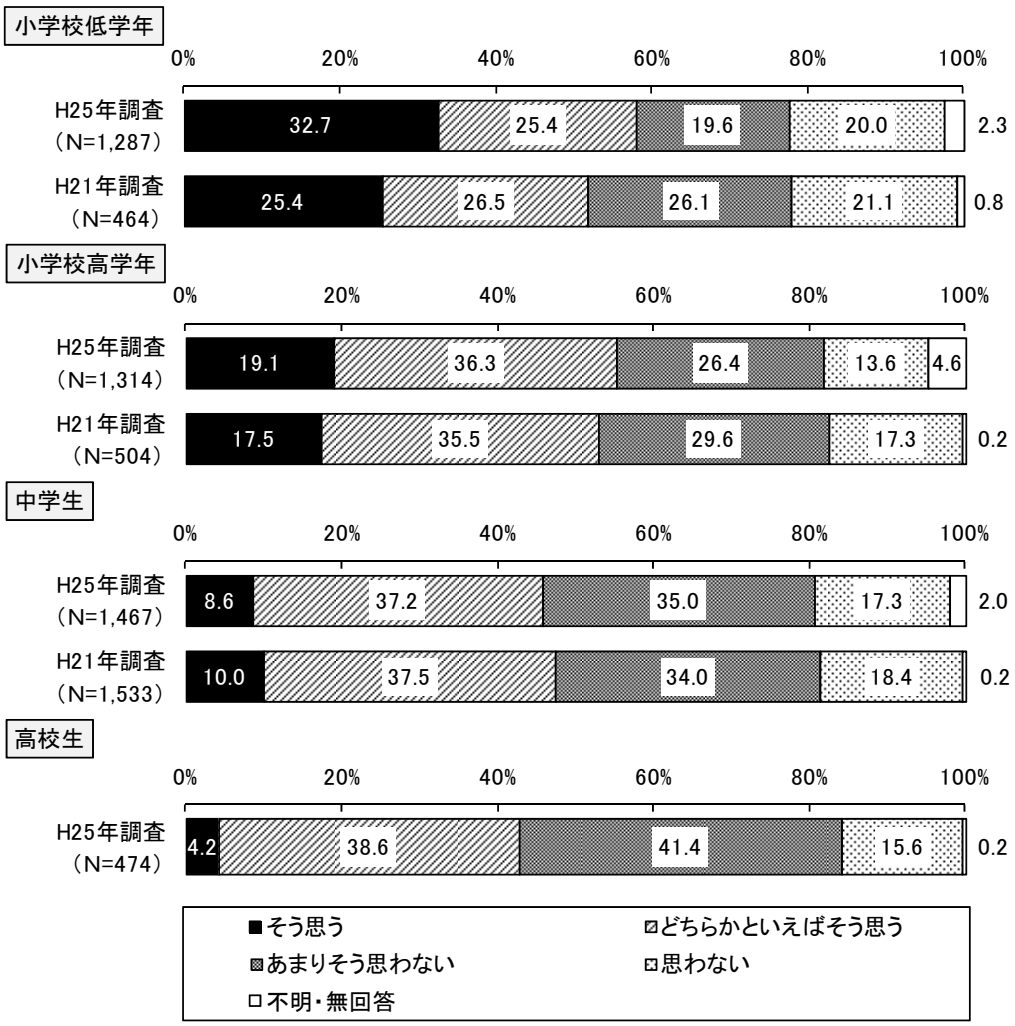
小学校低学年問 20、小学校高学年問 36、中学生以上問 46



豊田市は、いじめがないまちだと思うか 〈単数回答〉

いじめがないまちだと『思う』(＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」)は小学校低学年で58.1%と他の年代に比べて最も高く、年代が上がるにしたがい低くなっています。H21 年調査と比べて、小学校低学年・高学年では『思う』の割合は増加しているものの、中学生では 1.7 ポイント減少しています。

小学校低学年問 21、小学校高学年問 37、中学生以上問 47

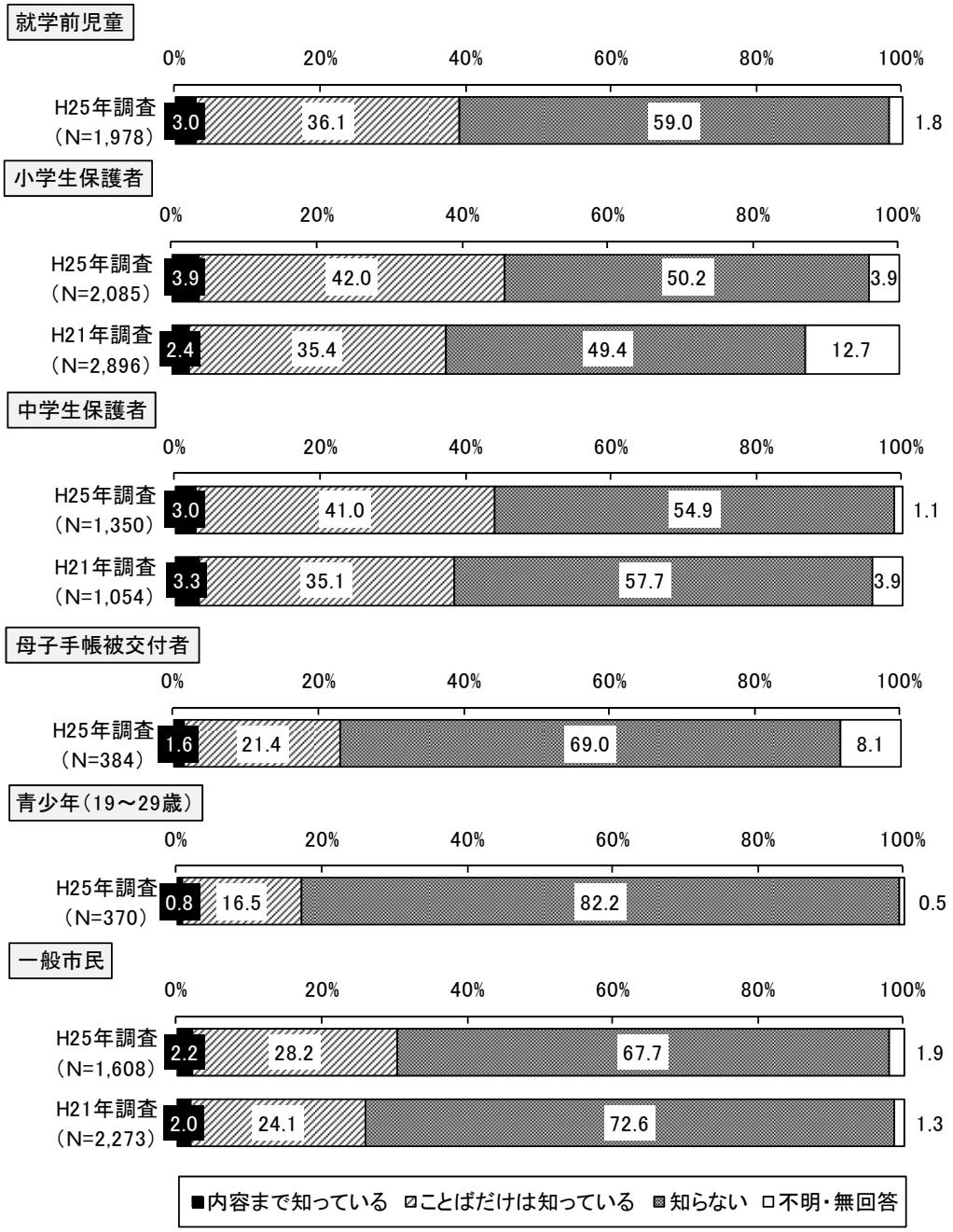


Ⅶ　子どもの権利に関する意識

1　条例、相談室の認知度

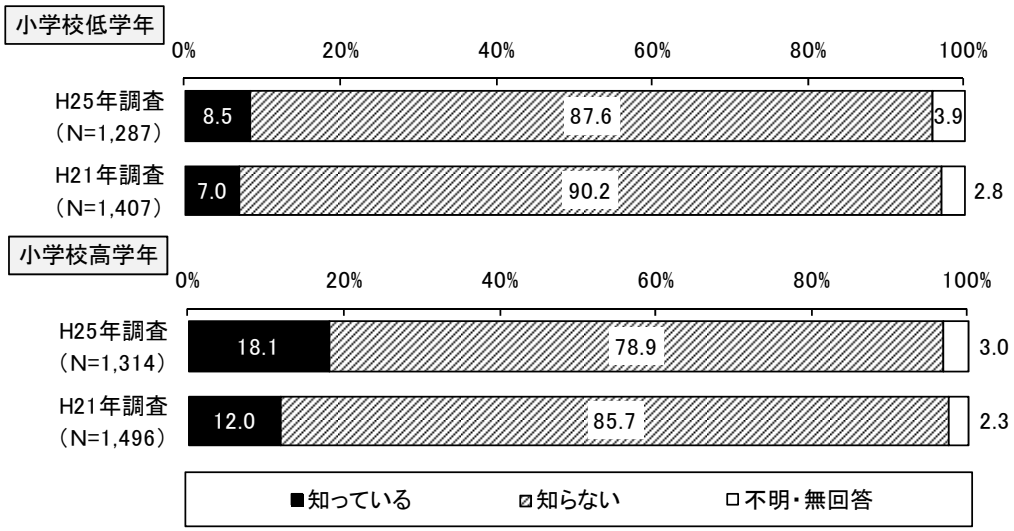
「豊田市子ども条例」の認知度　〈単数回答〉

就学前児童問 31、小学生保護者問 28、中学生保護者問 18、母子手帳被交付者問 24、青少年（19～29 歳）問 16、一般市民問 12



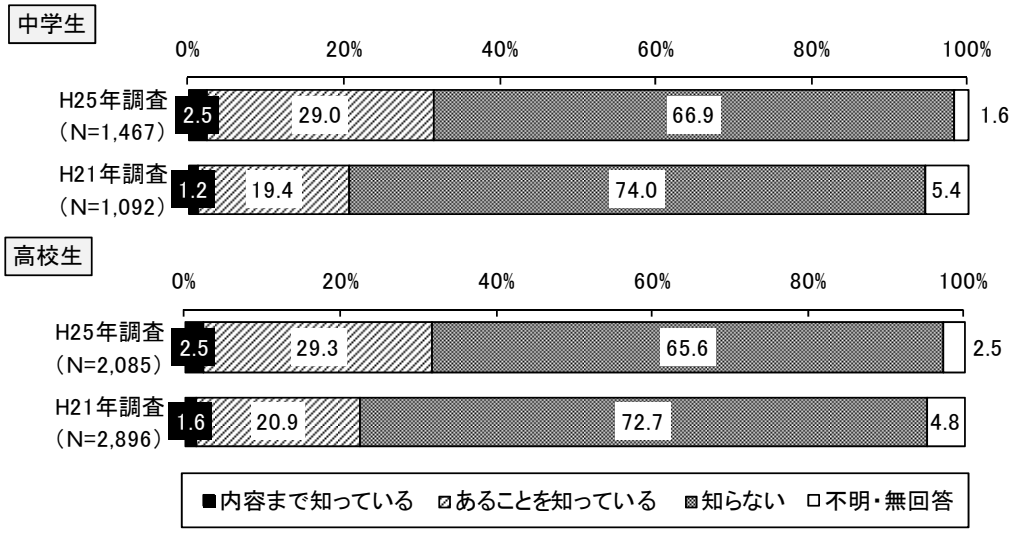
「知っている」がH21年調査と比べて、小学校低学年で1.5ポイント、小学校高学年で6.1ポイント高くなっています。

小学校低学年問17、小学校高学年問27



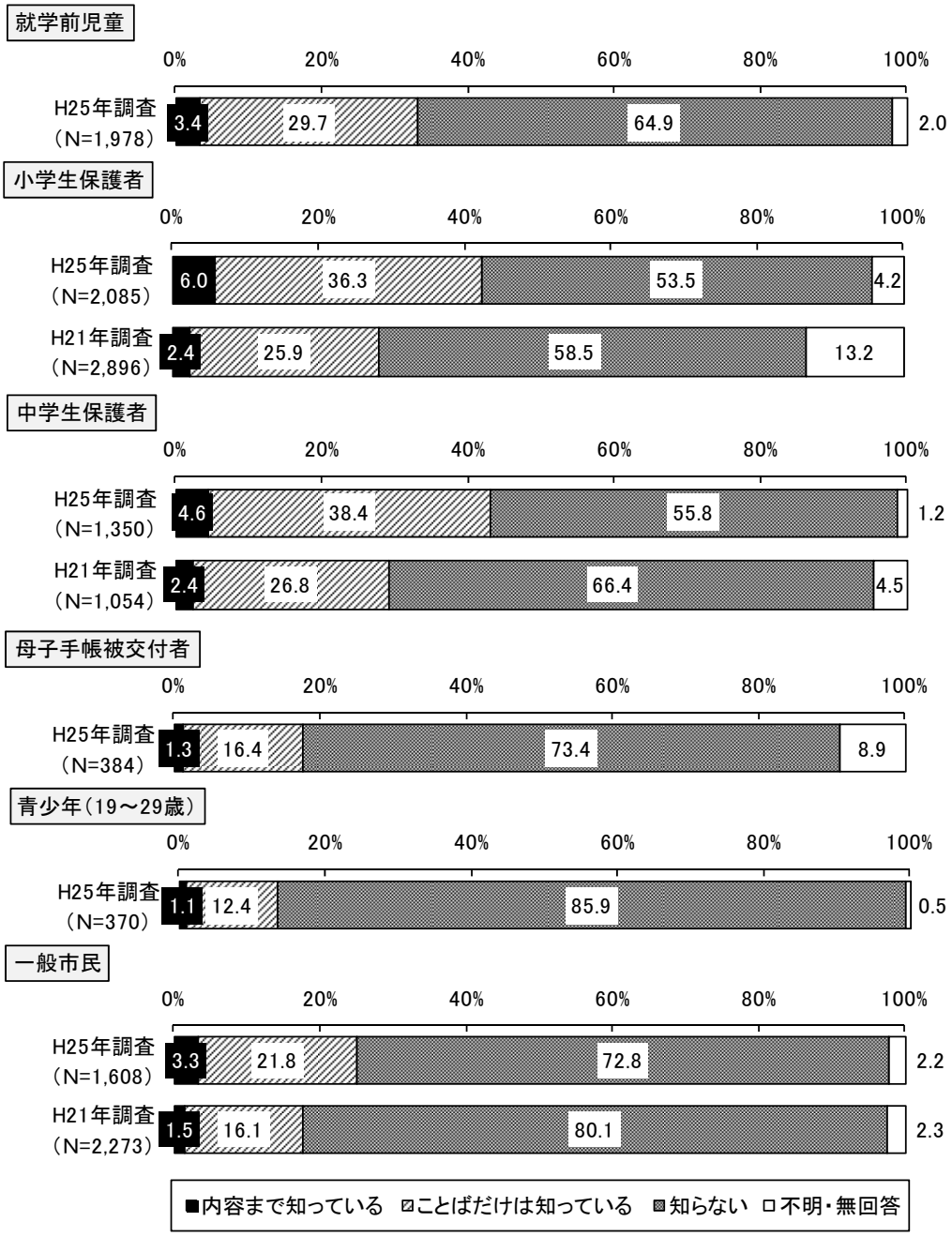
『知っている』(＝「内容まで知っている」＋「あることを知っている」)は、H21年調査と比べて、中学生で10.9ポイント、高校生で9.3ポイント高くなっています。

中学生以上問28



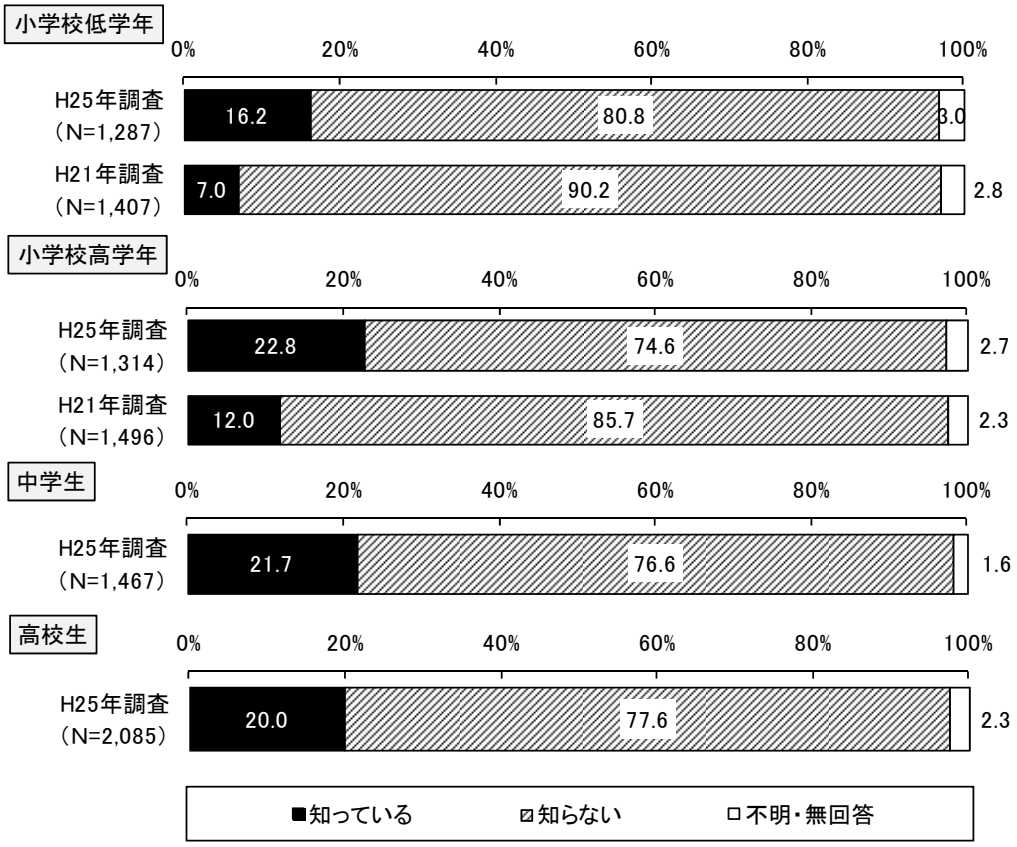
「とよた子どもの権利相談室」の認知度 〈単数回答〉

就学前児童問 31、小学生保護者問 28、中学生保護者問 18、母子手帳被交付者問 24、青少年（19～29 歳）問 16、一般市民問 12



「知っている」が、H21 年調査と比べて、小学校低学年で 9.2 ポイント、小学校高学年で 10.8 ポイント高くなっています。

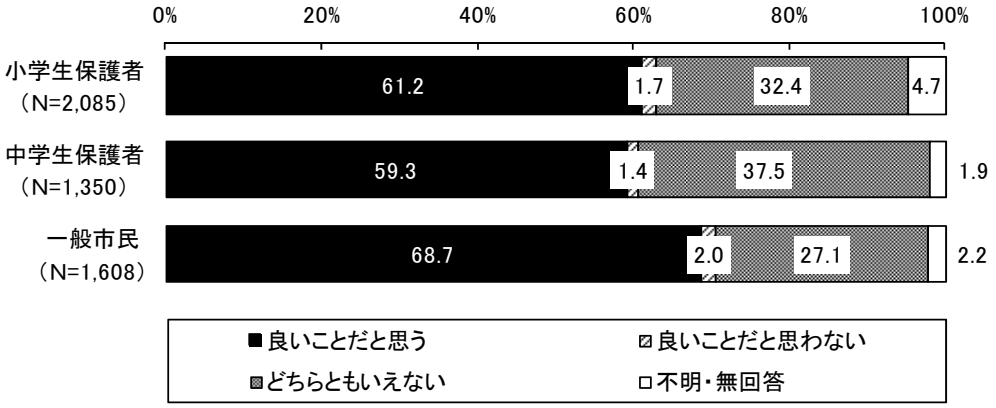
小学校低学年問 17、小学校高学年問 27、中学生以上問 28



2　子どもの権利

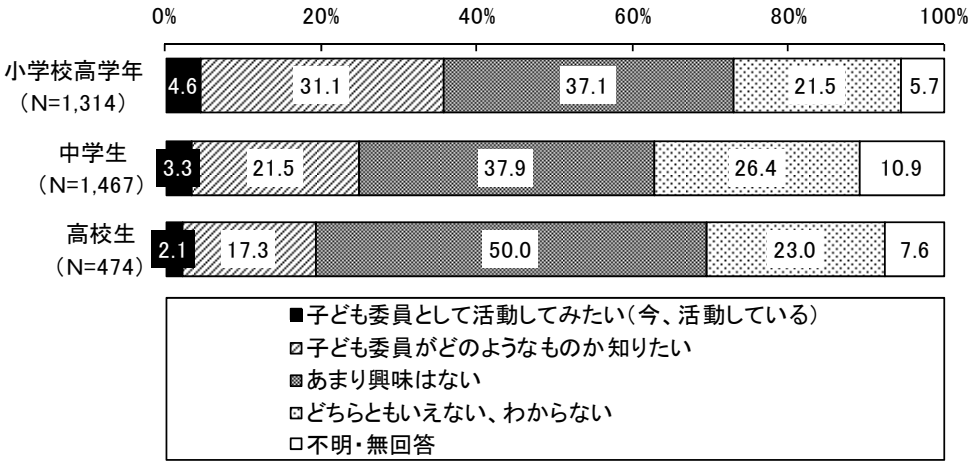
「豊田市子ども条例」の推進の一つとして、子どものまちづくり参加の向上などを目的とした「子ども委員」活動についてどのように考えているか　〈単数回答〉

小学生保護者問 29、中学生保護者問 19



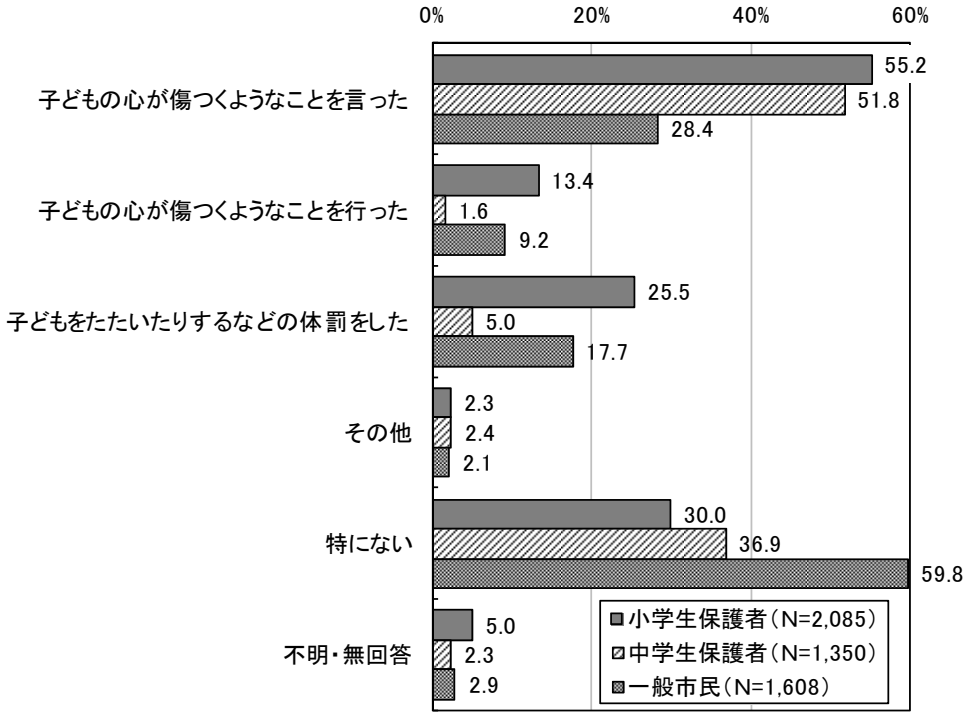
年代が上がるにしたがい、「あまり興味はない」が高くなっています。

小学校高学年問 30、中学生以上問 32



子どもに対して大変いやな思い、つらい思いをするようなことを言ったり、行ったことがあるか 〈複数回答〉

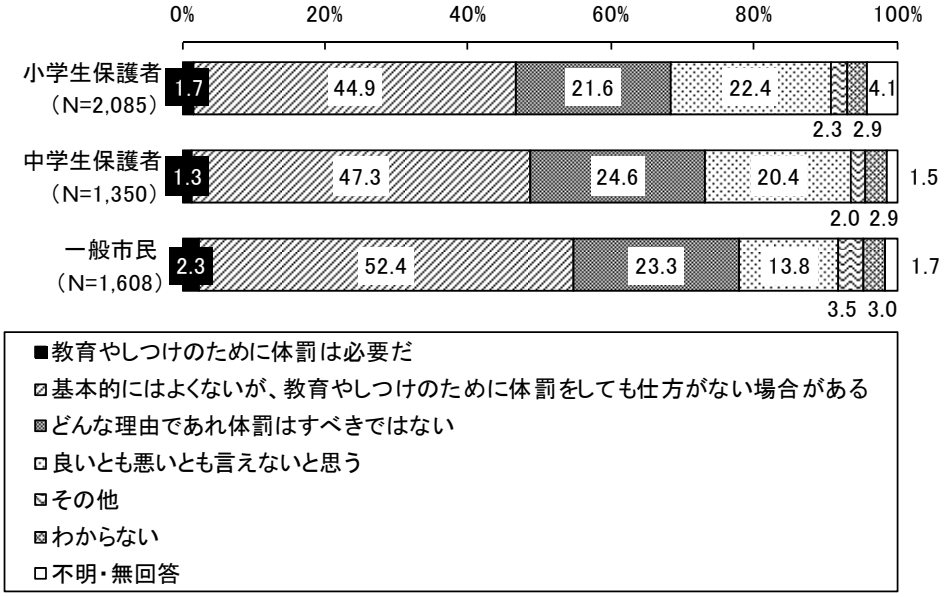
小学生保護者問 31、中学生保護者問 21、一般市民問 14



体罰についてどう思うか 〈単数回答〉

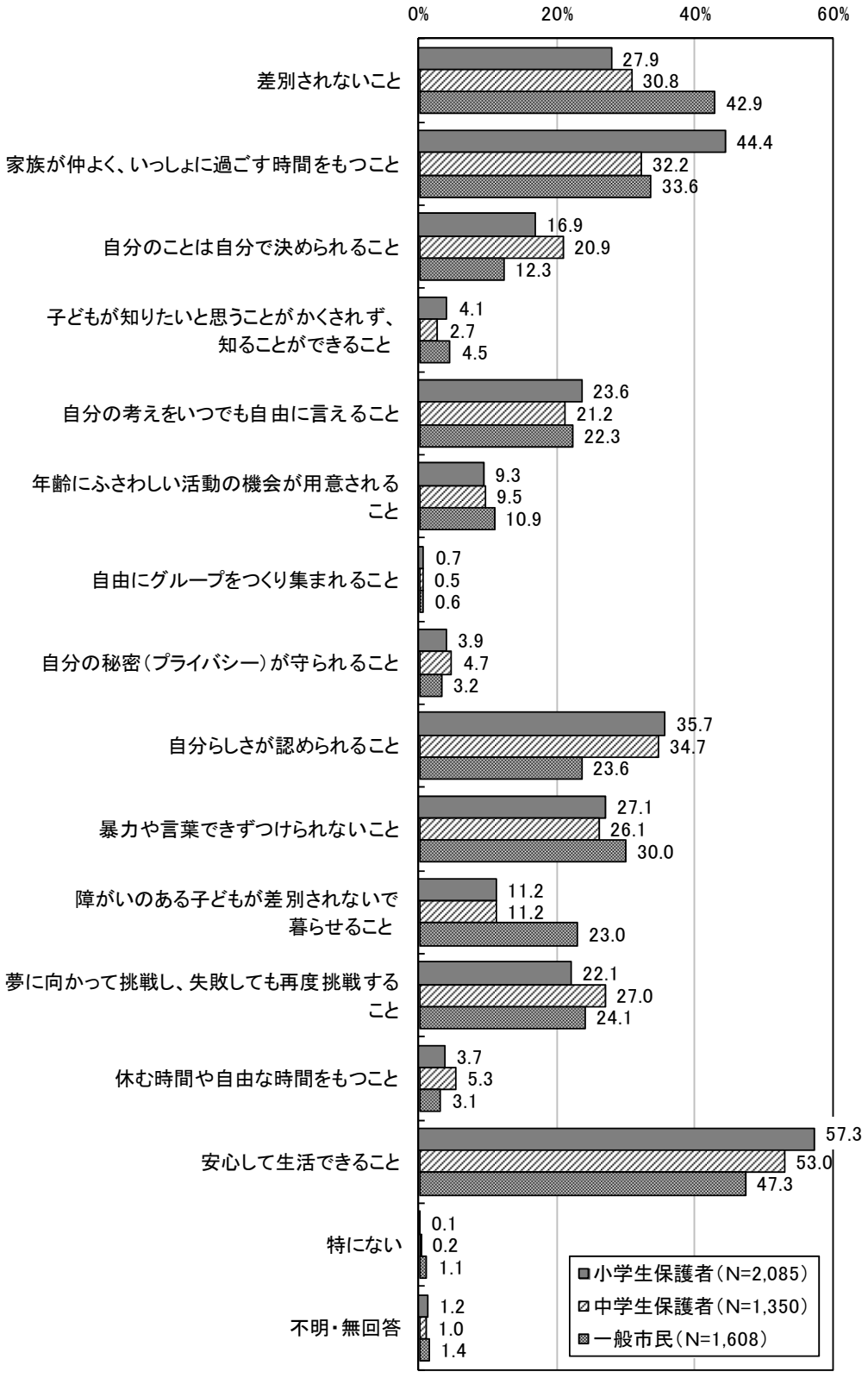
『体罰は必要』(＝「教育やしつけのために体罰は必要だ」＋「基本的にはよくないが、教育やしつけのために体罰をしても仕方がない場合がある」)は、小学生保護者、中学生保護者、一般市民のいずれも5割前後となっており、「どんな理由であれ体罰はすべきではない」の2割強を上回っています。

小学生保護者問 32、中学生保護者問 22、一般市民問 15



子どもの権利の中で、特に大切にしたいと思う権利　〈複数回答〉

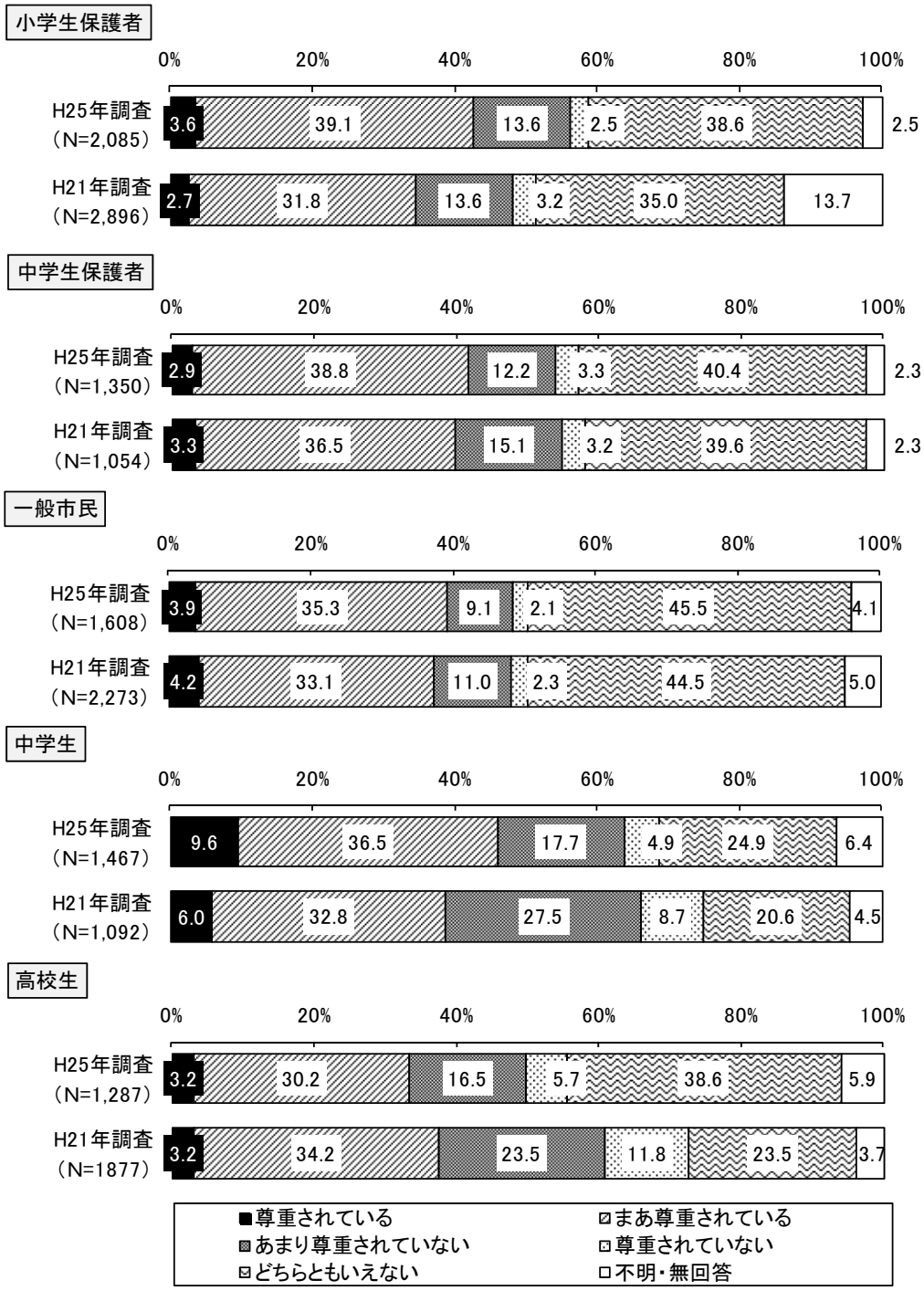
小学生保護者問 33、中学生保護者問 23、一般市民問 29



豊田市では「子どもの権利」が尊重されていると思うか　〈単数回答〉

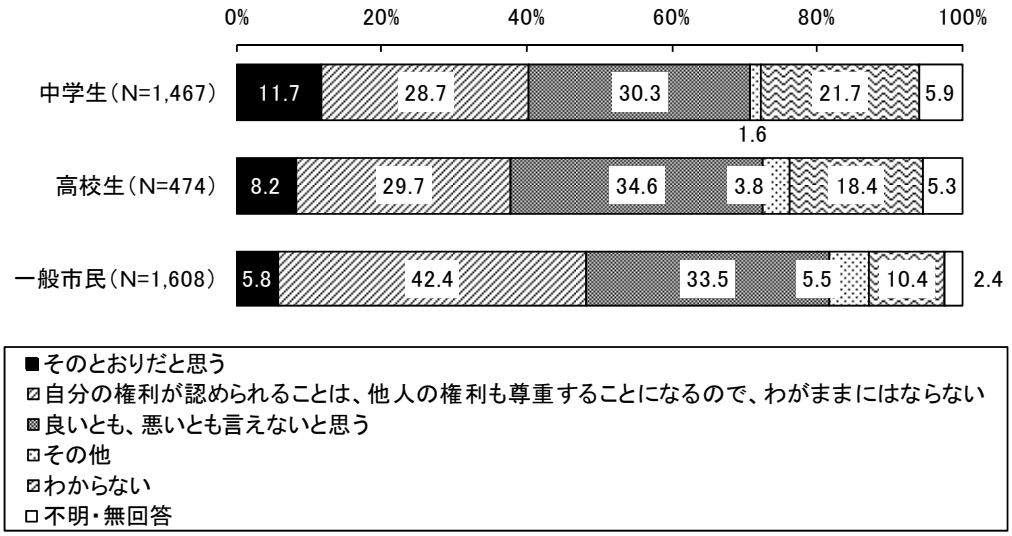
「尊重されている」はいずれも3%前後で、特に中学生では9.6%と比較的高く、H21年調査より3.6ポイント高くなっています。

小学生保護者問34、中学生保護者問24、中学生以上問33、一般市民問18



「子どもの権利を認めることは、子どものわがままを認めることにつながる」という意見についてどのように考えるか〈単数回答〉

中学生以上問30、一般市民問16

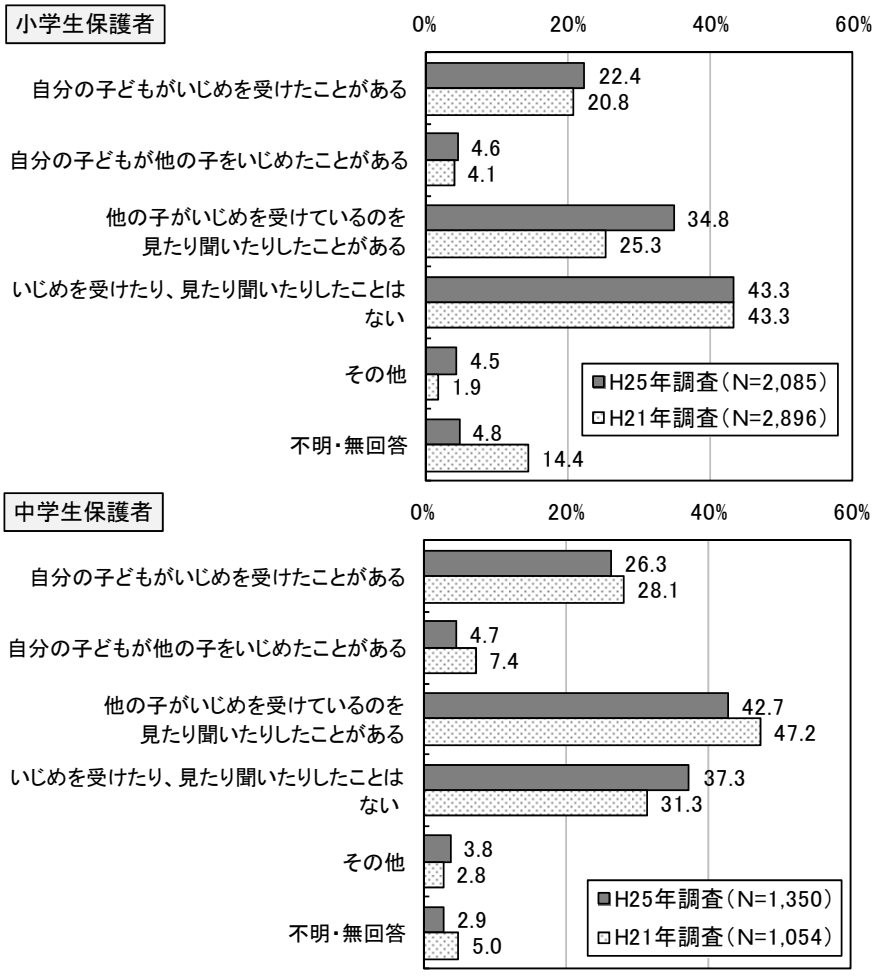


3　いじめ・不登校

対象の子どもが、これまでにいじめを受けたり、他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがあるか 〈単数回答〉

小学生保護者、中学生保護者ともに「いじめを受けたり、見たり聞いたりしたことはない」「他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある」がそれぞれ3割強～4割強となっています。また、実際に「自分の子どもがいじめを受けたことがある」がいずれも2割強となっています。

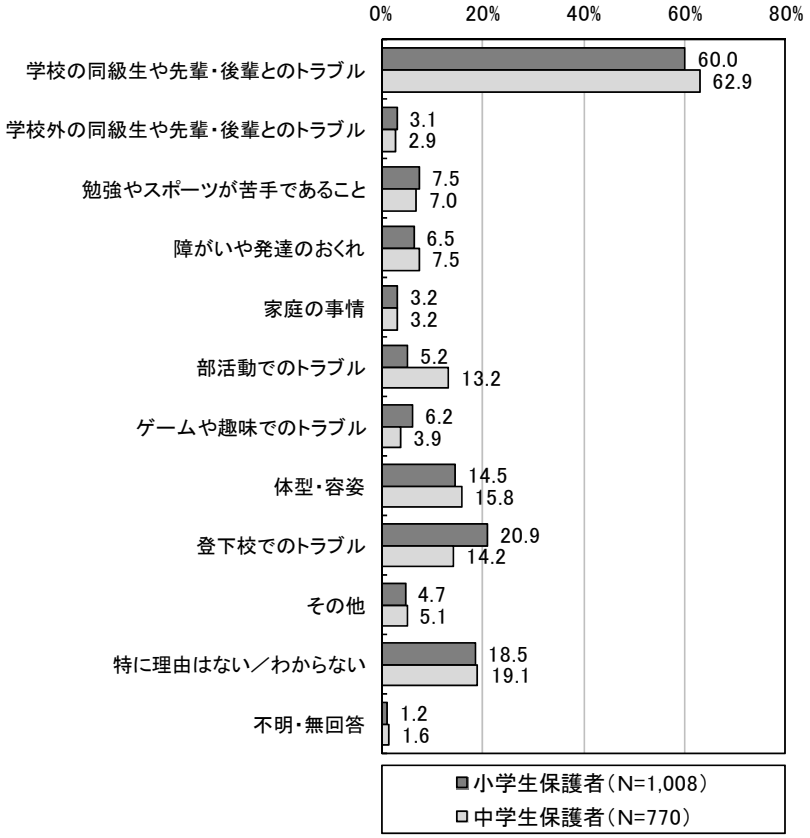
小学生保護者問 26、中学生保護者問 16



「自分の子どもがいじめを受けたことがある」「自分の子どもが他の子をいじめたことがある」「他の子がいじめを受けているのを見たり聞いたりしたことがある」と回答した人のみ

いじめの理由 〈複数回答〉

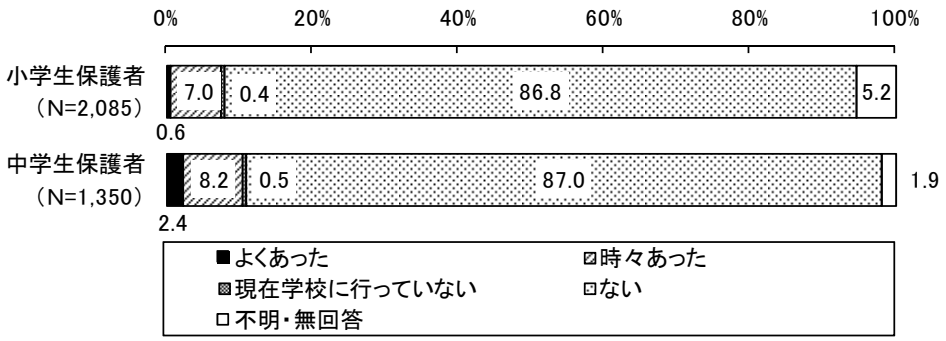
小学生保護者問 26-1、中学生保護者問 16-1



対象の子どもは、これまでに学校に行かなくなったこと（不登校）があるか 〈単数回答〉

「よくあった」「時々あった」「現在学校に行っていない」を合わせると、小学生保護者で 8.0%、中学生保護者で 11.1%となっています。

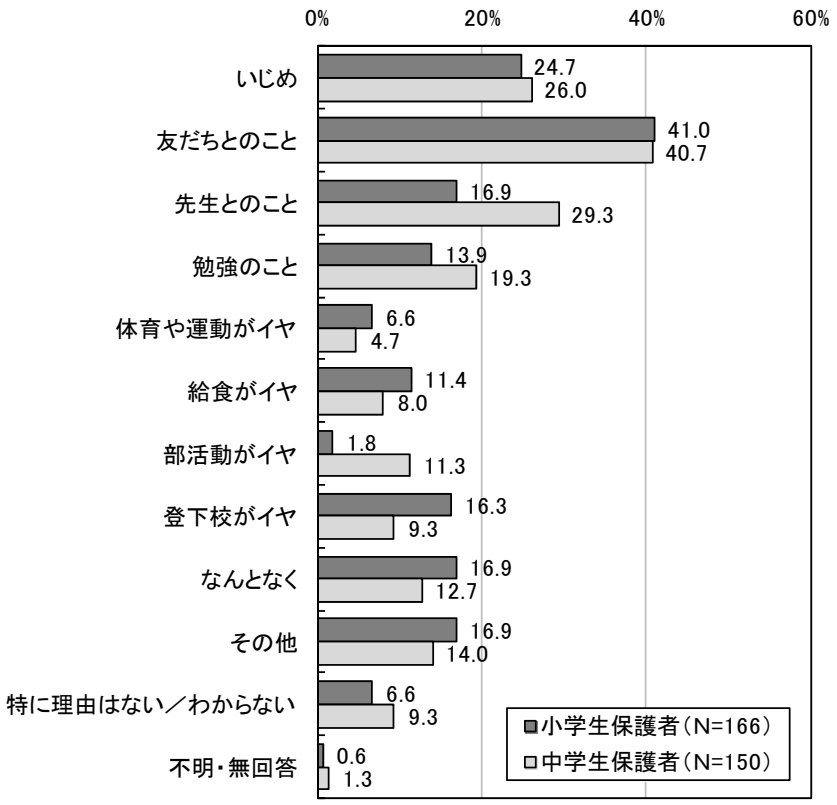
小学生保護者問 27、中学生保護者問 17



学校に行かなくなったことが「よくあった」「時々あった」「現在学校に行っていない」と回答した人のみ

学校に行かなくなった理由 〈複数回答〉

小学生保護者問 27-1、中学生保護者問 17-1



「豊田市子ども・子育て支援に関する市民意向調査」
「豊田市子ども・青少年の生活と意識に関する調査」
報告書

発　　行　：　豊田市
編　　集　：　豊田市　子ども部　次世代育成課
発行年月日　：　平成 26 年３月